

深 川 市

地域公共交通網リバイバルプラン

(地域公共交通実態調査編)

令和 5 年 3 月

目 次

1. 市民アンケート調査.....	1
2. 路線バス乗降調査及び意識調査	62
2.1 目的.....	62
2.2 調査の概要.....	62
2.3 調査実施のスケジュール.....	62
2.4 乗降調査結果	63
2.5 意識調査結果	116
資料 付属資料.....	133
資料-1 住民アンケート調査票	133
資料-2 バス乗降調査ヒアリング調査票	149

1. 市民アンケート調査

1) アンケートの概要

① 目的

今後のウィズコロナ、アフターコロナの中での方向性や諸課題への対応を検討し、より良い公共交通網の構築に向けた参考とするために、広く市民に公共交通に関する調査を実施しました。

② 対象者

市内にお住いの1,300世帯を無作為に抽出しました。なお、1世帯あたり最大3人まで回答可能なアンケート票としています。（回答は16歳以上の方が対象）

③ 実施期間

R4年7月14日（木）～7月31日（日）

④ 配布・回収方法

郵送

⑤ 回収数

558件（42.9%）

⑥ 調査項目

- ・個人属性について（居住地、性別、年齢、家族構成、運転免許証保有状況 等）
- ・日頃の公共交通の利用状況
- ・新型コロナウイルス感染症拡大前との外出状況の違い
- ・市内公共交通について（路線バスの利用状況、デマンド交通の認知度・利用状況 等）
- ・複合施設の整備検討について（中央公民館の利用状況・複合施設で利用したい機能等）

1. 市民アンケート調査

2) アンケート結果

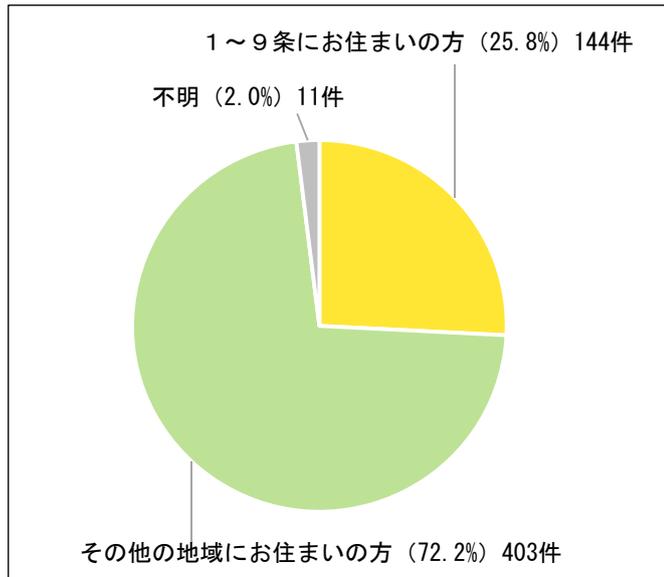
問1 ご自身、ご家族のことについてお答えください。

Q1. 居住地域をお答えください。(一つに〇)

「1～9条にお住まいの方」が144件、「その他の地域にお住まいの方」が403件、「不明」が11件となり、その他の地域が全体の7割以上を占めました。

図表 回答者の居住地域（1～9条とその他の地域の構成比）（単数回答、単位：件）

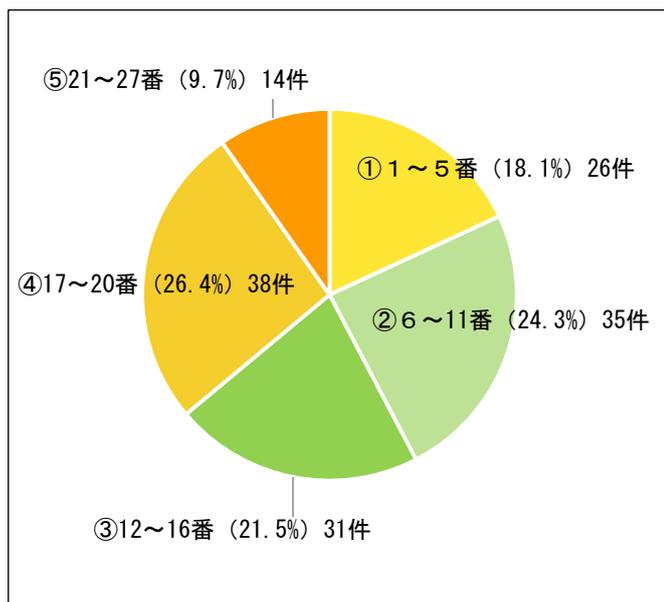
項目	合計
1～9条にお住まいの方 (①～⑤)	144
その他の地域にお住まいの方 (⑥～⑨)	403
不明	11
合計	558



「1～9条にお住まいの方」の居住地域では、「④17～20番」が38件で最も多く、続いて「②6～11番」が35件、「③12～16番」が31件となりました。

図表 回答者の居住地域（1～9条にお住まいの方）（単数回答、単位：件）

項目	合計
①1～5番	26
②6～11番	35
③12～16番	31
④17～20番	38
⑤21～27番	14
合計	144



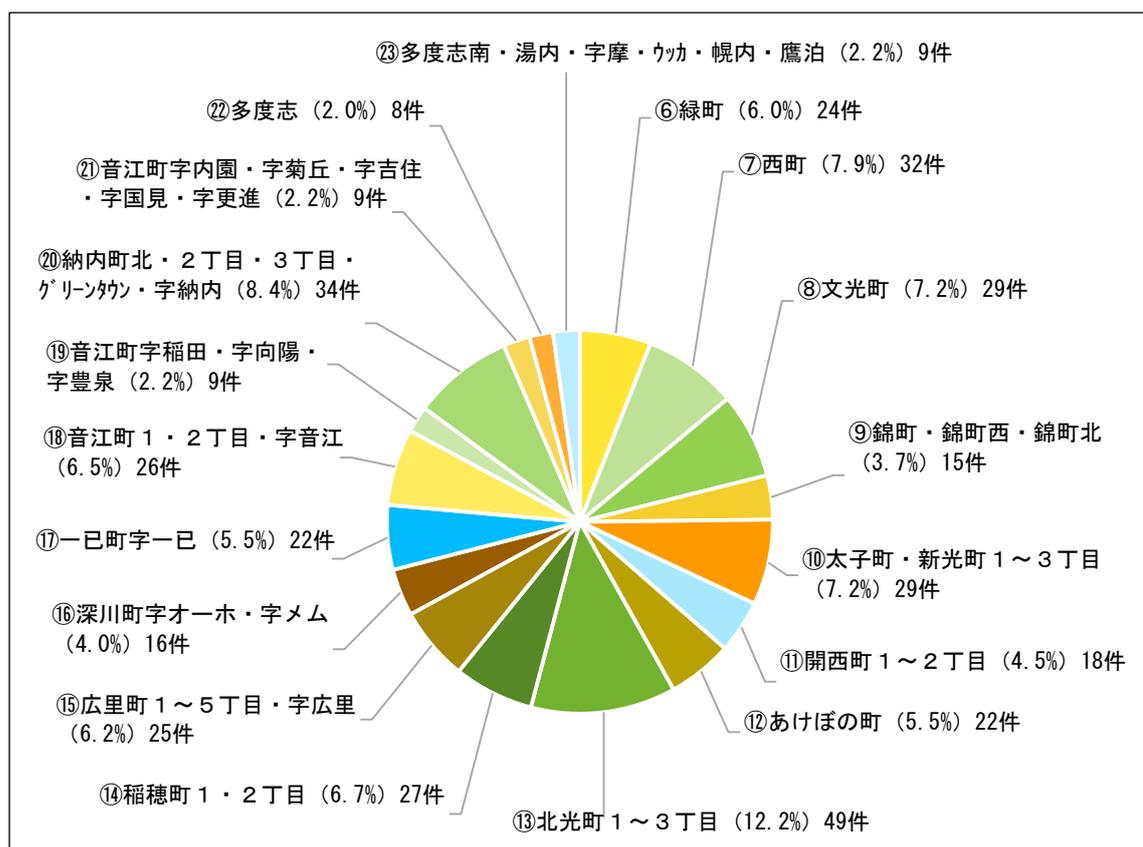
1. 市民アンケート調査

「その他の地域にお住まいの方」の居住地域では、「⑬北光町1～3丁目」が49件で最も多く、続いて「⑳納内町北・2丁目・3丁目・グリーンタウン・字納内」が34件、「⑦西町」が32件となりました。

回答が少なかった地域は、「㉒多度志」が8件、「⑲音江町字稲田・字向陽・字豊泉」、「㉑音江町字内園・字菊丘・字吉住・字国見・字更進」、「㉓多度志南・湯内・字摩・ウツカ・幌内・鷹泊」が9件でした。

図表 回答者の居住地域（その他の地域にお住まいの方）（単数回答、単位：件）

項目	合計	項目	合計
⑥緑町	24	⑯深川町字オーホ・字メム	16
⑦西町	32	⑰一已町字一已	22
⑧文光町	29	⑱音江町1・2丁目・字音江	26
⑨錦町・錦町西・錦町北	15	⑲音江町字稲田・字向陽・字豊泉	9
⑩太子町・新光町1～3丁目	29	⑳納内町北・2丁目・3丁目・ グリーンタウン・字納内	34
⑪開西町1～2丁目	18		
⑫あけぼの町	22	㉑音江町字内園・字菊丘・ 字吉住・字国見・字更進	9
⑬北光町1～3丁目	49	㉒多度志	8
⑭稲穂町1・2丁目	27	㉓多度志南・湯内・字摩・ ウツカ・幌内・鷹泊	9
⑮広里町1～5丁目・字広里	25		
		合計	403



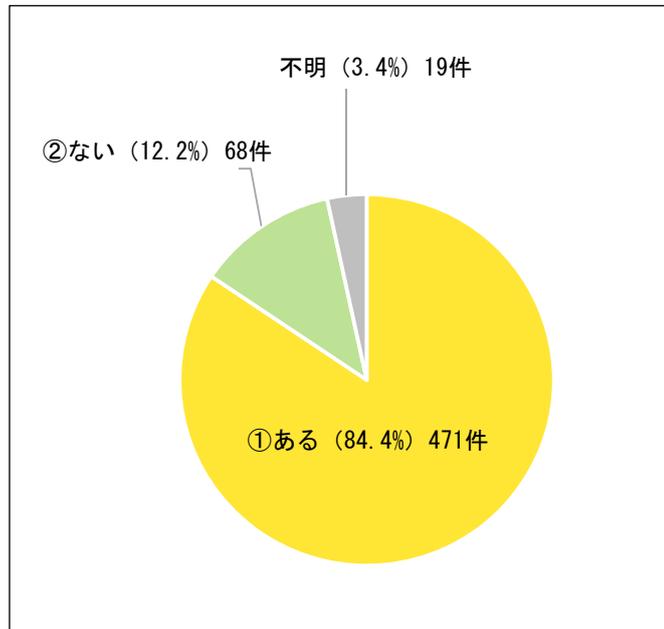
1. 市民アンケート調査

Q2. 最寄りのバス停は歩いて行こうと思える距離にありますか。(一つに○)

「①ある」が471件で最も多く、回答の8割以上を占めました。

図表 バス停が歩いていける距離にあるか(単数回答、単位:件)

項目	合計
①ある	471
②ない	68
不明	19
合計	558



1. 市民アンケート調査

居住地域別に見ると、大半の地域は「①ある」の回答が多くなりました。

「②ない」は、「音江町字内園・字菊丘・字吉住・字国見・字更進」のみで多く、77.8%となりました。

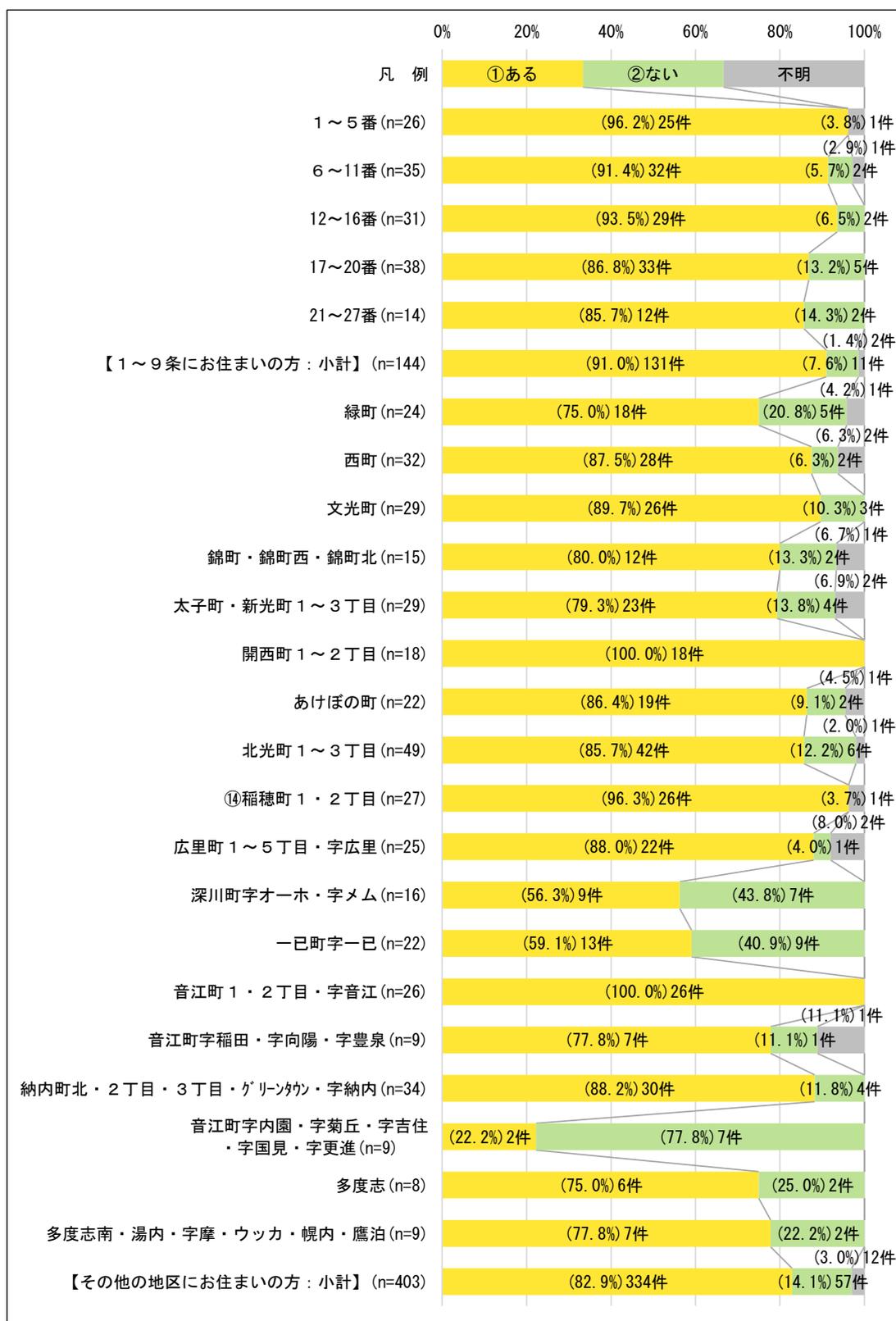


図 バス停が歩いていける距離にあるか（居住地域別）

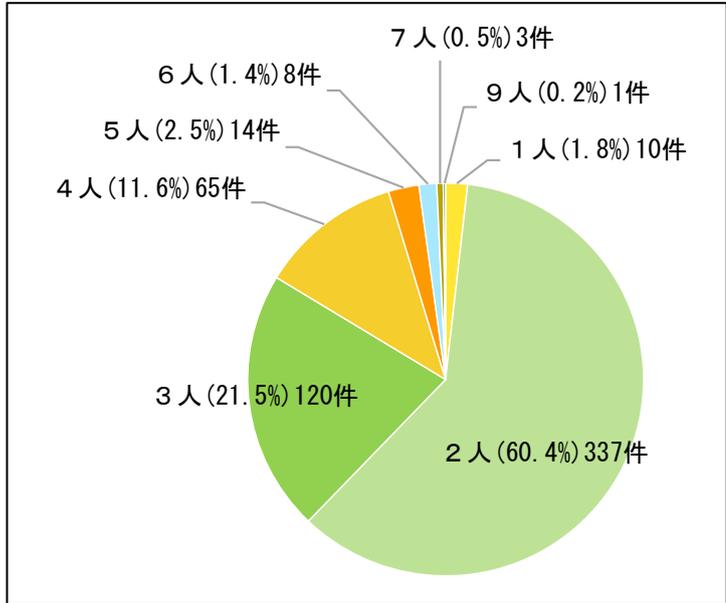
1. 市民アンケート調査

Q 3. 同居のご家族全員の人数と、年齢構成別の人数をお答えください。

「2人」が最も多く、続いて「3人」、「4人」となりました。
 最も多い家族は「9人」で、1件の回答がありました。

図表 家族の人数（単数回答、単位：件）

項目	合計
1人	10
2人	337
3人	120
4人	65
5人	14
6人	8
7人	3
8人	0
9人	1
不明	0
合計	558



同居家族人数別に年齢を見ると、「1人」は「75～85歳」、「2人」は「65～74歳」、「3人」は「50～64歳」、「4人」は「30～49歳」が最も多くなりました。

「5人」以上になると、「0～15歳」が最も多く、家族の人数が多いほど若い年齢の居住者が多くなりました。

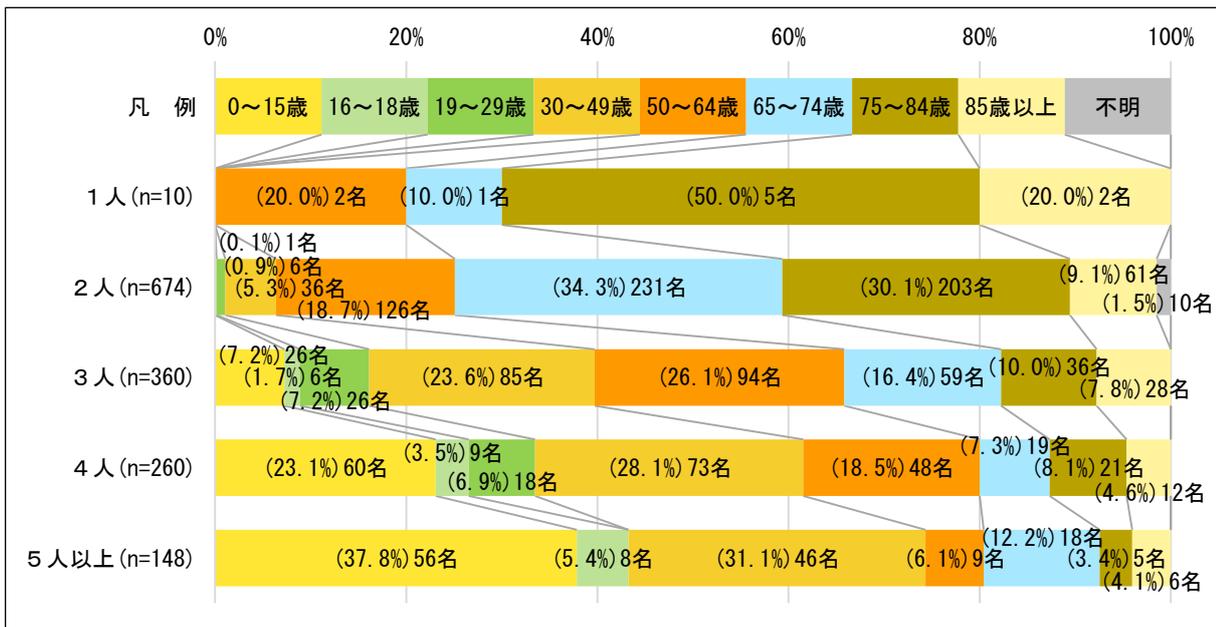


図 回答者家族の年齢構成（同居家族人数別）

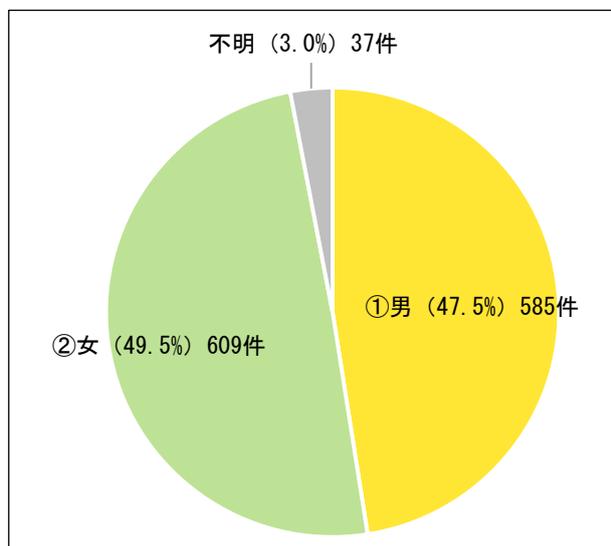
Q 4. 「性別」をお答えください。(一つに○)

「②女」が49.5%、「①男」が47.5%と、女性の回答者が男性よりも若干多くなりました。

図表 回答者家族の性別（単数回答、単位：件）

項目	合計
①男	585
②女	609
不明	37
合計	1,231

※0～15歳を除く回答者の性別分類

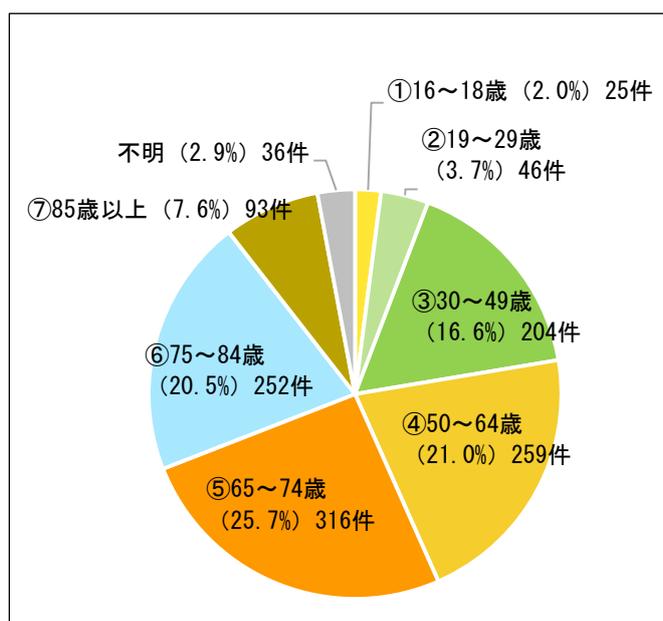


Q 5. 「年齢」をお答えください。(一つに○)

「⑤65～74歳」が25.7%で最も多く、続いて「④50～64歳」が21.0%、「⑥75～84歳」が20.5%となりました。

図表 回答者家族の年齢構成（単数回答、単位：件）

項目	合計
①16～18歳	25
②19～29歳	46
③30～49歳	204
④50～64歳	259
⑤65～74歳	316
⑥75～84歳	252
⑦85歳以上	93
不明	36
合計	1,231



1. 市民アンケート調査

Q 6. あなたは自動車運転免許証をお持ちですか。(一つに〇)

「①持っている」が77.7%となり、「②持っていない」を大きく上回りました。

図表 回答者家族の運転免許証の有無（単数回答、単位：件）

項目	合計
①持っている	957
②持っていない	245
不明	29
合計	1,231



年齢構成別に見ると、「19～29歳」から「65～74歳」の年齢については、「①持っている」が8割以上を占めました。

「②持っていない」は、運転免許を持つことができない16歳と17歳が含まれているため「16～18歳」が80.0%で最も多く、「85歳以上」も持っていない回答者が61.3%と、持っている回答者の数を上回りました。

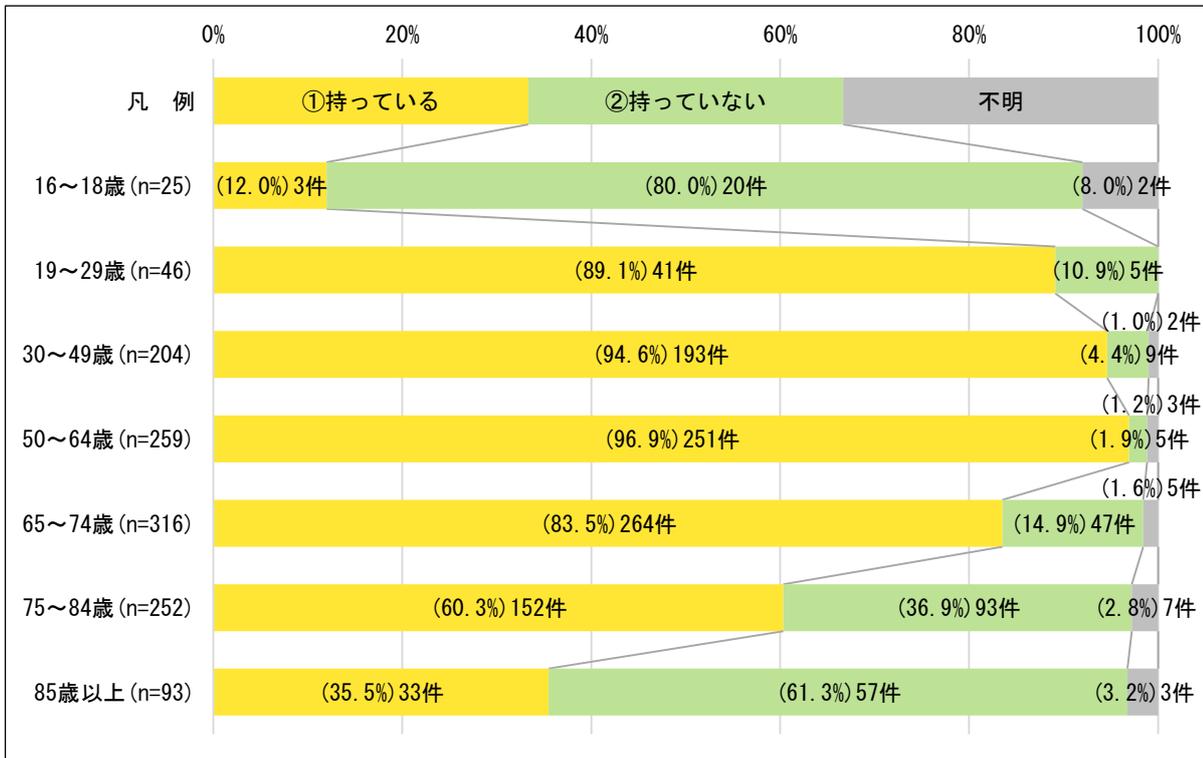


図 回答者家族の運転免許証の有無（年齢構成別）

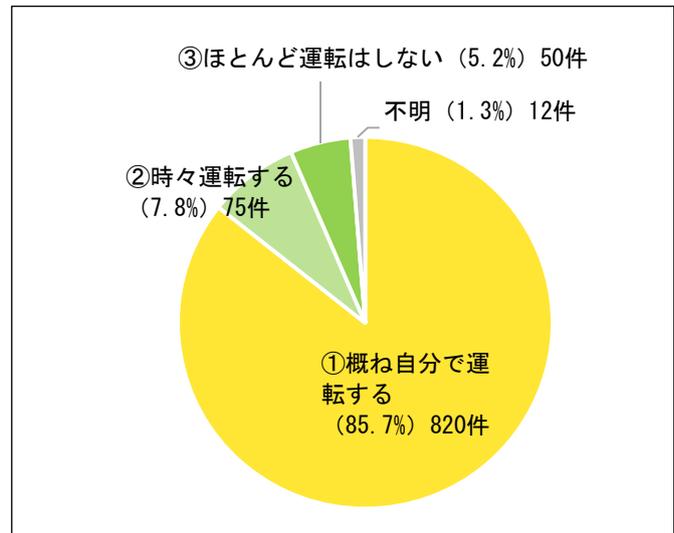
1. 市民アンケート調査

Q 7. Q6で「①持っている」と回答した方にお聞きします。普段は自分で運転しますか。
(一つに〇)

「①概ね自分で運転する」が8割以上を占め、「③ほとんど運転はしない」は5.2%で最少となりました。

図表 普段は自分で運転するか（単数回答、単位：件）

項目	合計
①概ね自分で運転する	820
②時々運転する	75
③ほとんど運転はしない	50
不明	12
合計	957



年齢構成別に見ると、すべての年齢で「①概ね自分で運転する」が最も多く、特に「30～49歳」は9割以上の回答者が該当しました。

「③ほとんど運転はしない」は、「16～18歳」の33.3%を除くと回答が少なく、年齢による運転頻度の違いはあまり見られませんでした。



図 普段は自分で運転するか（年齢構成別）

1. 市民アンケート調査

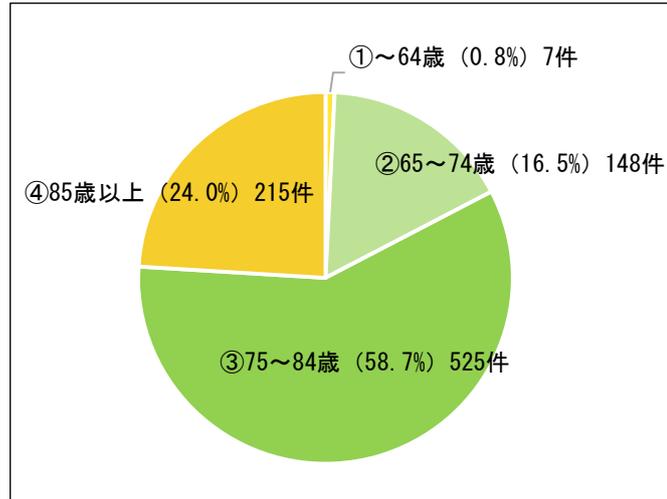
Q 8. Q 7で「①概ね自分で運転する」もしくは「②時々運転する」と回答した方にお聞きします。

Q 8 - 1. 何歳くらいまで自分で運転したいと考えていますか。(年齢記入)

「③75～84歳」が58.7%で最も多く、続いて「④85歳以上」、「②65～74歳」となり、「①～64歳」が0.8%で最も少なくなりました。

図表 何歳まで運転を続けたいか（単数回答、単位：件）

項目	合計
①～64歳	7
②65～74歳	148
③75～84歳	525
④85歳以上	215
合計	895



年齢構成別に見ると、「④85歳以上まで運転したい」は「85歳以上」の回答者はすべて、「75～84歳」は61.6%となり、高齢の方ほど長く運転を続けたい傾向がありました。

「65～74歳」以下の回答者については、「③75～84歳まで運転したい」が最も多くなりました。

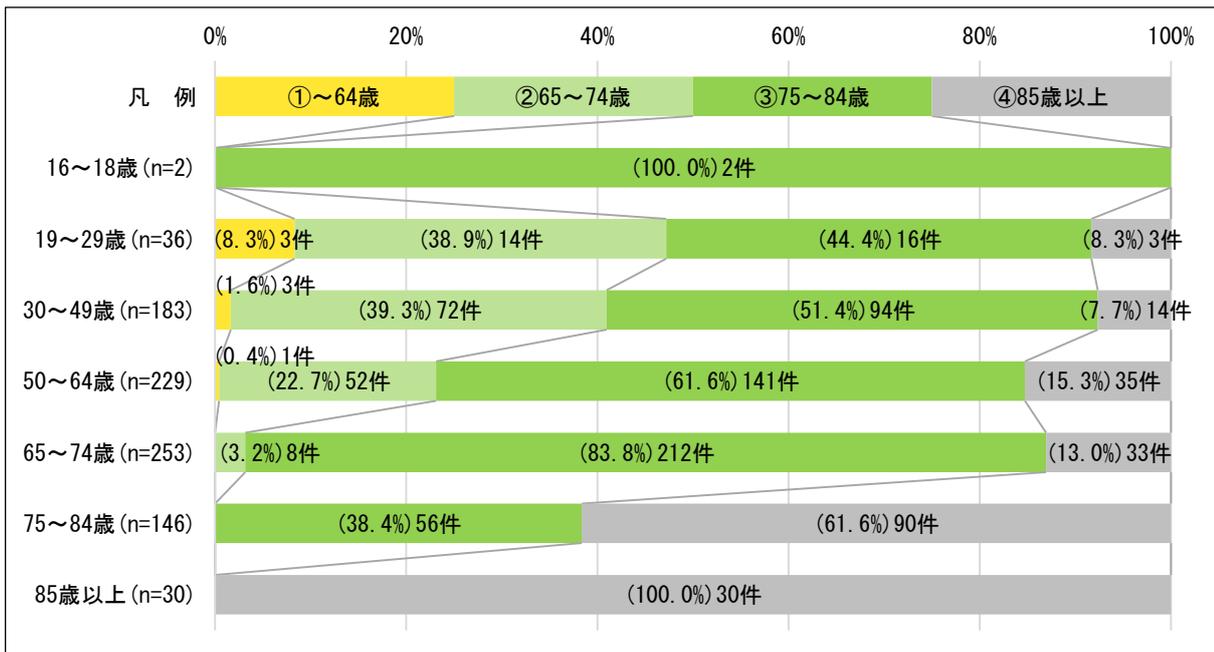


図 何歳まで運転を続けたいか（年齢構成別）

Q8-2. 今後運転が困難になった場合の移動についてどのように考えていますか。(一つに〇)

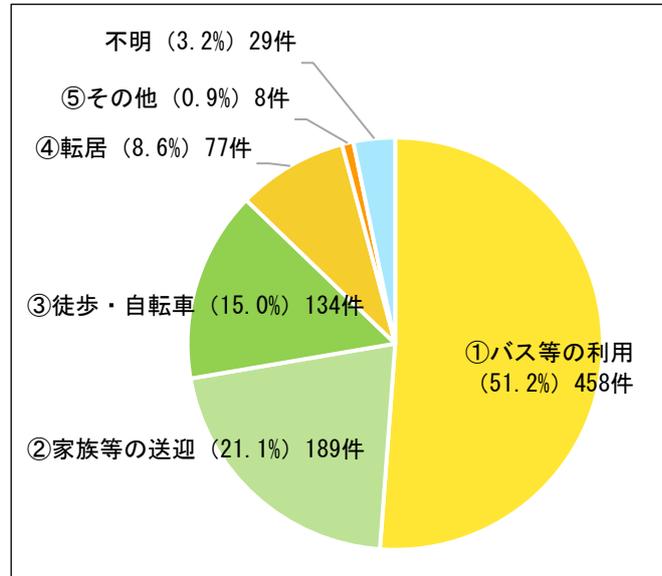
「①バスなどの公共交通に頼る」が51.2%で最も多く、「②家族・知人に送迎してもらう」が21.1%、「③自転車や徒歩により移動する」が15.0%で続きました。

図表 今後運転が困難になった場合の移動（単数回答、単位：件）

項目	合計
①バスなどの公共交通に頼る	458
②家族・知人に送迎してもらう	189
③自転車や徒歩により移動する	134
④長い距離の移動が必要のない市街地などに引っ越す	77
⑤その他	8
不明	29
合計	895

▼「⑤その他」の記述内容

- ・考慮中、わからない（7件）
- ・その他（1件）：公共交通か送迎を考える



1. 市民アンケート調査

居住地域別に見ると、大半の地域は「①バスなどの公共交通に頼る」が最も多く、「あけぼの町」では71.4%と最多となりました。

「②家族・知人に送迎してもらう」は、「多度志南・湯内・字摩・ウツカ・幌内・鷹泊」で52.6%、「深川町字オーホ・字メム」で40.0%、「錦町・錦町西・錦町北」で30.4%と最多となりました。

「③自転車や徒歩により移動する」は、「12～16番」で34.5%と最多となりました。

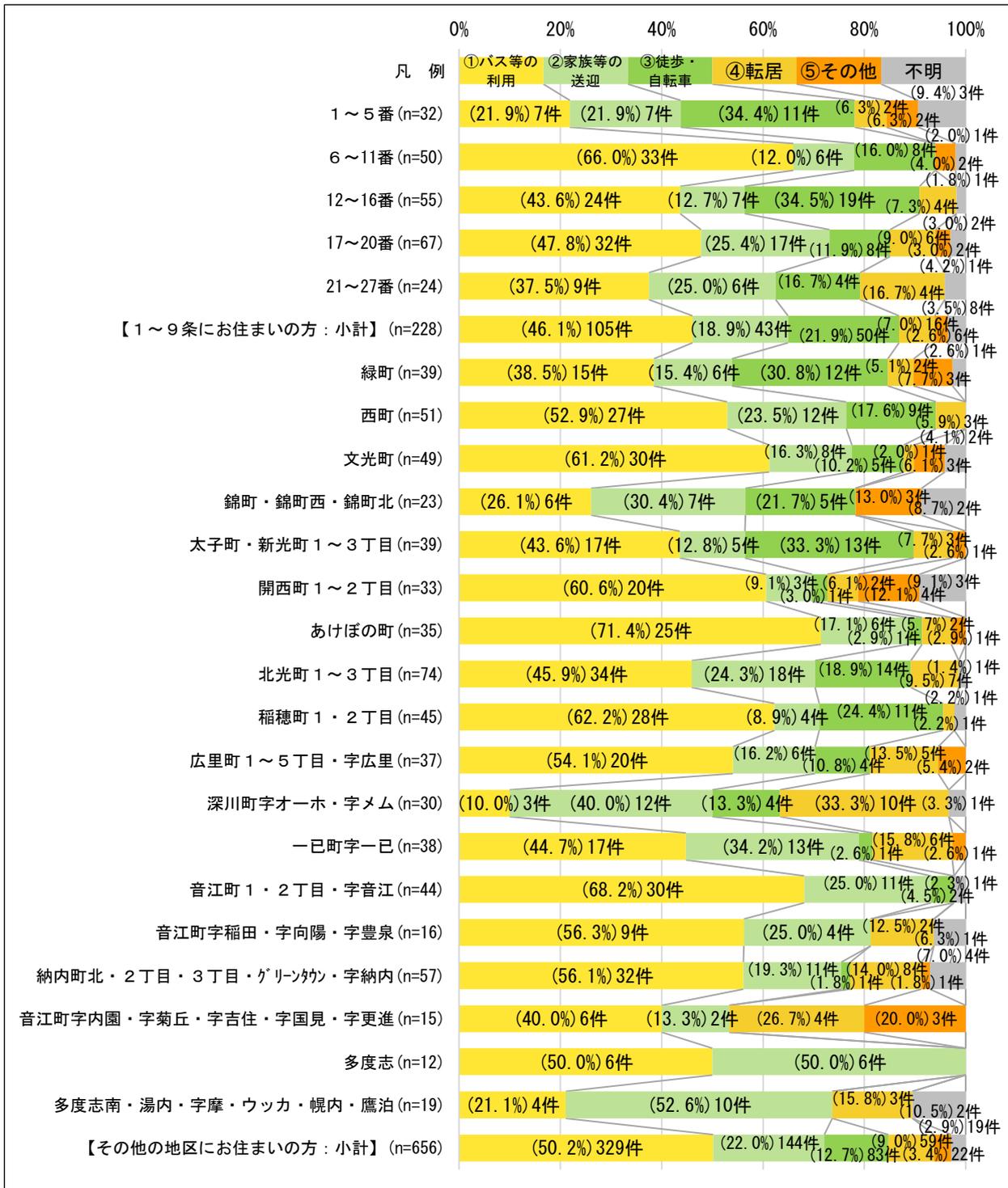


図 今後運転が困難になった場合の移動 (居住地域別)

1. 市民アンケート調査

年齢構成別に見ると、「16～18歳」以外のすべての年齢では、「①バスなどの公共交通に頼る」、「②家族・知人に送迎してもらう」の順に回答が多く、年齢による違いはほとんど見られませんでした。

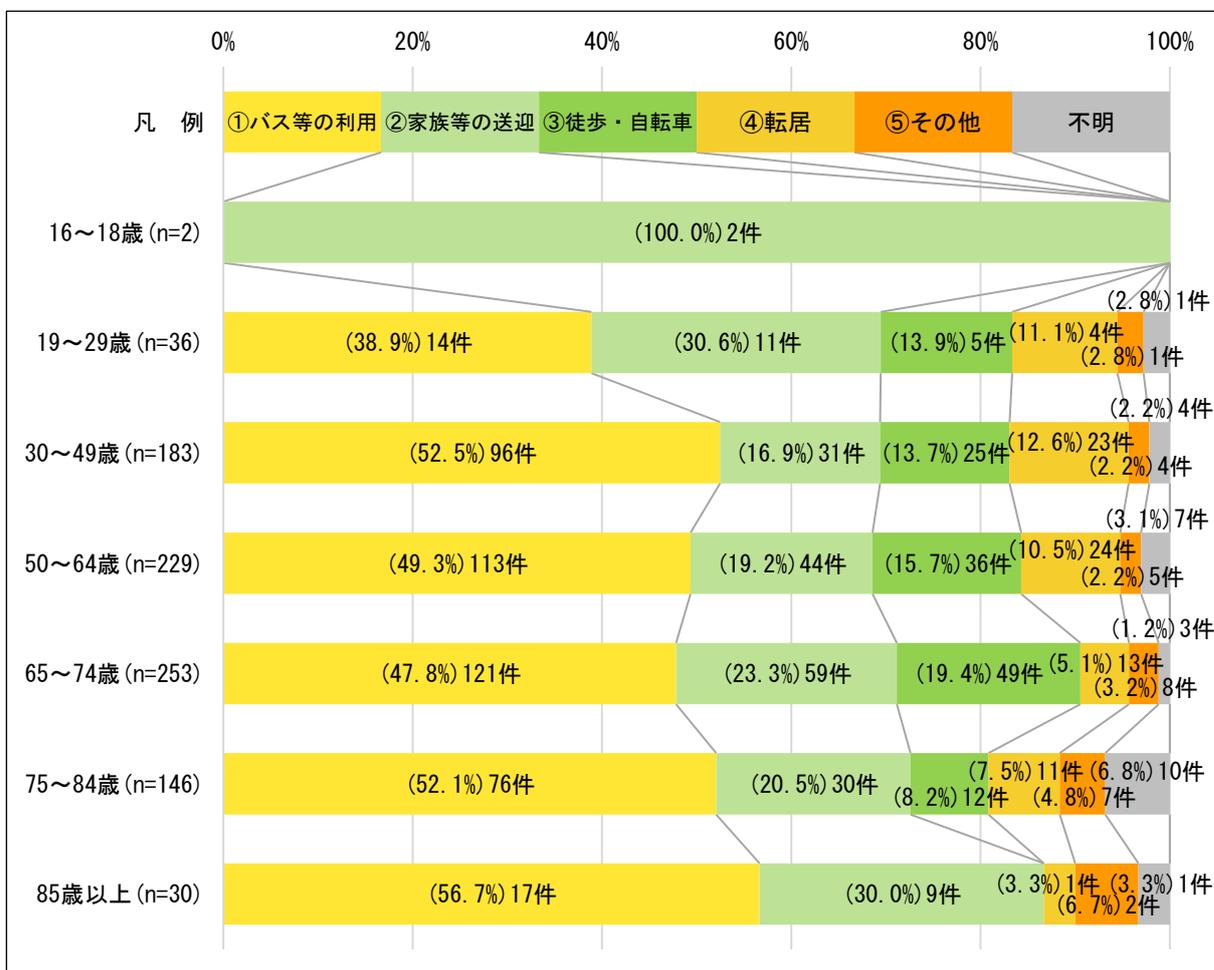


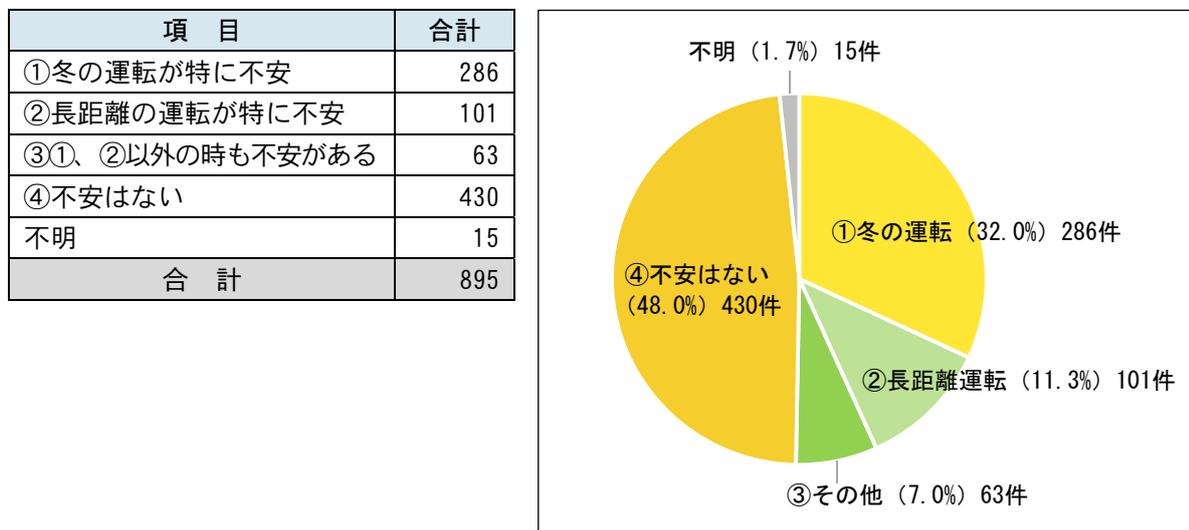
図 今後運転が困難になった場合の移動（年齢構成別）

1. 市民アンケート調査

Q 8 - 3. 運転に不安を感じる時がありますか。(一つに○)

「④不安はない」が48.0%で最多となり、続いて「①冬の運転が特に不安」、「②長距離の運転が特に不安」の順に多くなりました。

図表 運転に不安を感じる時があるか (単数回答、単位：件)



年齢構成別に見ると、「75～84歳」は「①冬の運転が特に不安」が40.4%で最も多く、「④不安はない」が30.8%となりました。

その他の年齢については、すべて「④不安はない」が最も多く、回答数はどの年齢も5割程度とほとんど違いがありませんでした。

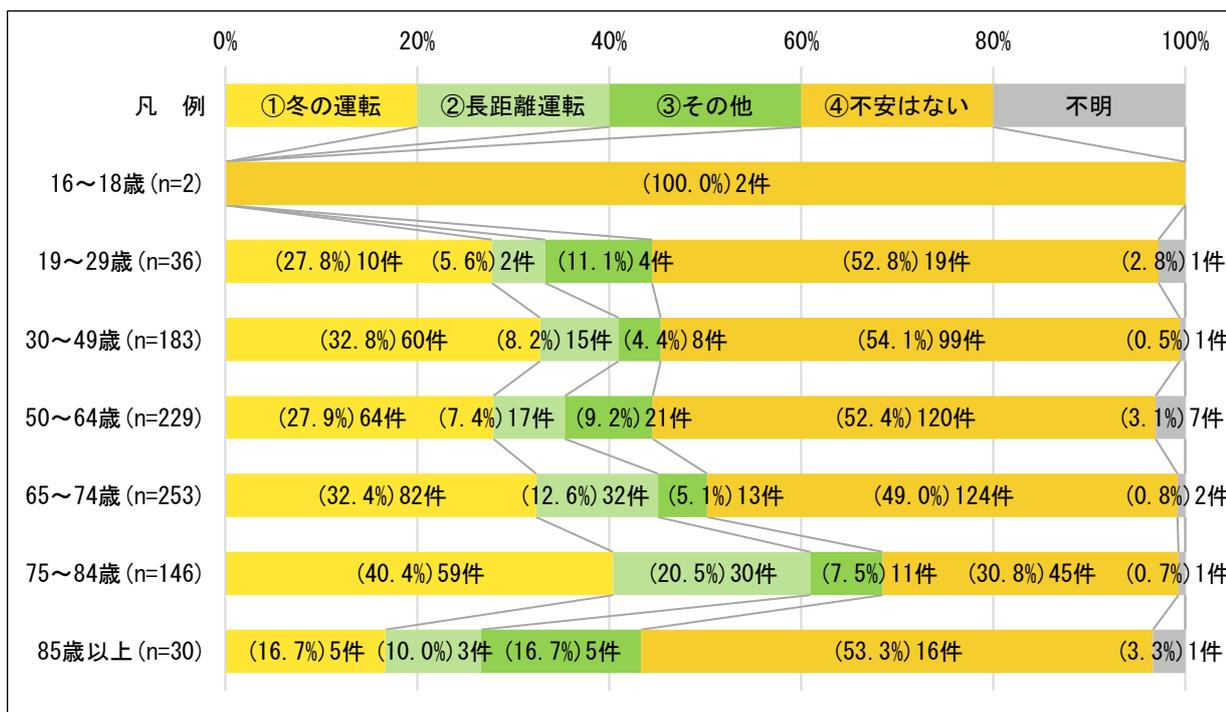


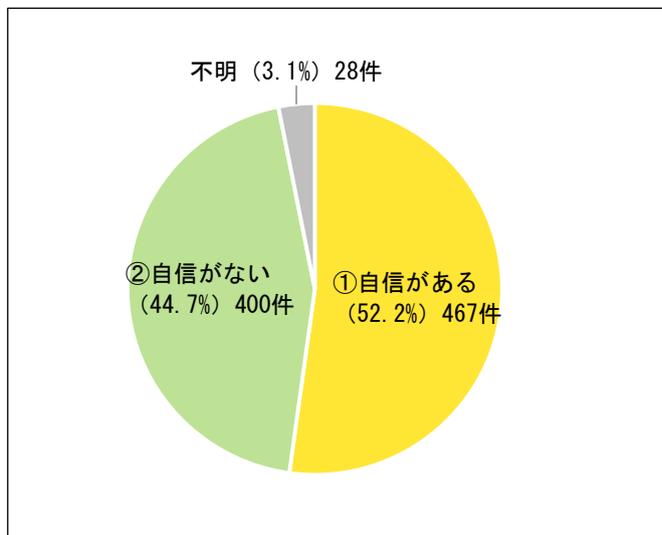
図 運転に不安を感じる時があるか (年齢構成別)

Q8-4. もしもの時に事故を回避できる自信がありますか。(一つに〇)

「①自信がある」が52.2%となり、「②自信がない」の回答を上回りましたが、回答数に大きな差はありませんでした。

図表 事故を回避できる自信があるか (単数回答、単位：件)

項目	合計
①自信がある	467
②自信がない	400
不明	28
合計	895



年齢構成別に見ると、「19～29歳」と「30～49歳」は「②自信がない」が最も多く、若い世代ほど事故を回避できる自信が低い傾向が見られました。

その他の年齢については、すべて「①自信がある」が最も多く、特に「85歳以上」は76.7%と回答が突出して多くなりました。

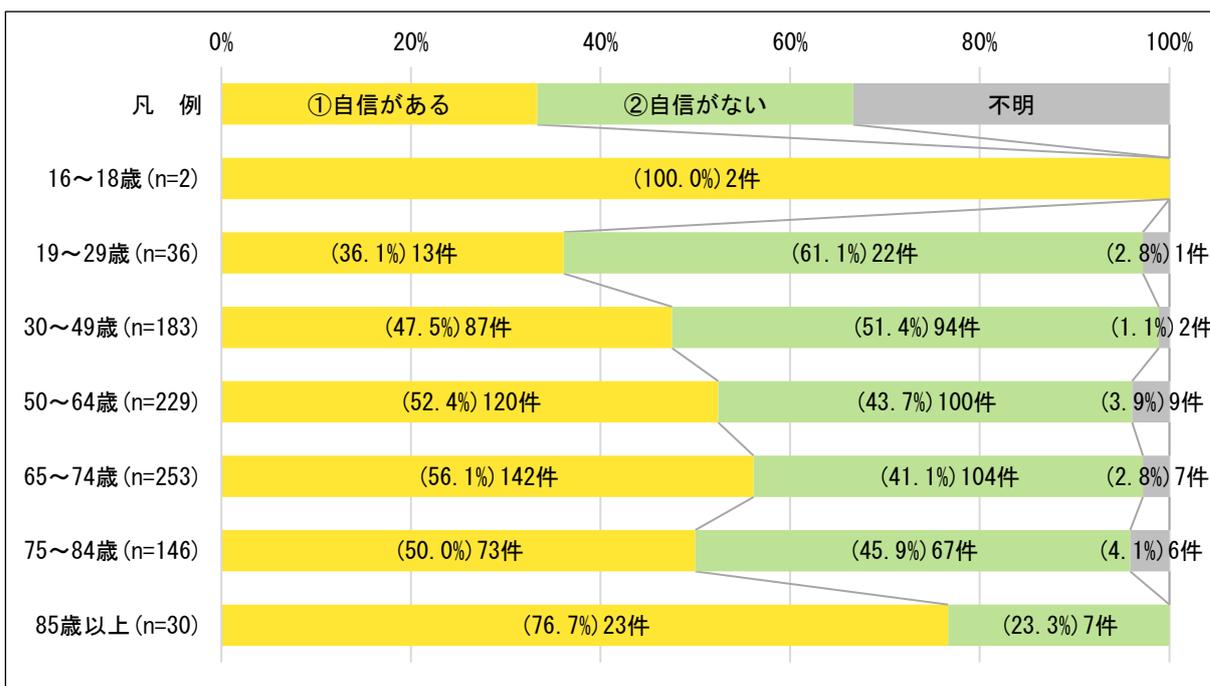


図 事故を回避できる自信があるか (年齢構成別)

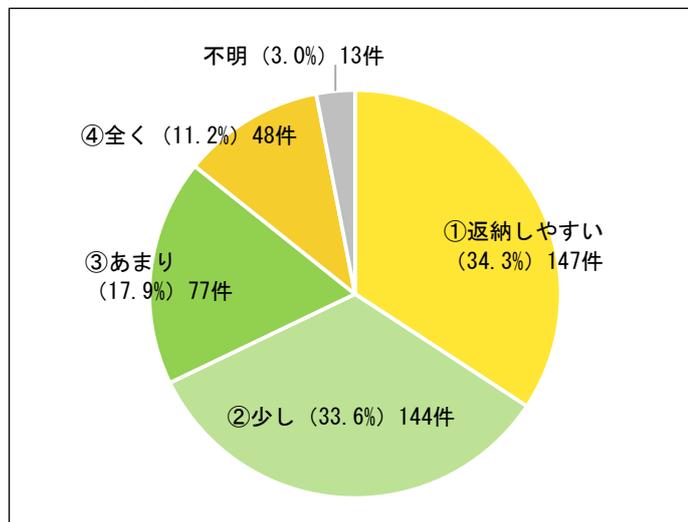
1. 市民アンケート調査

Q 8 - 5. 65 歳以上の方へお聞きします。免許証返納の特典等があれば、返納しやすくなりますか。(一つに○)

「①返納しやすくなる」が34.3%、「②少し返納しやすくなる」が33.6%と続きました。

図表 免許証返納の特典等があれば返納しやすくなるか（単数回答、単位：件）

項目	合計
①返納しやすくなる	147
②少し返納しやすくなる	144
③あまり返納しやすくない	77
④全く返納しやすくない	48
不明	13
合計	429



年齢構成別に見ると、「75～84歳」は「①返納しやすくなる」が45.9%、「65～74歳」は「②少し返納しやすくなる」が39.4%で最も多く、「④全く返納しやすくない」は1割程度で最も少なくなりました。

「85歳以上」については、「①返納しやすくなる」と「③あまり返納しやすくない」がともに26.7%で最多となり、各項目に対する回答の割合はほとんど変わりませんでした。

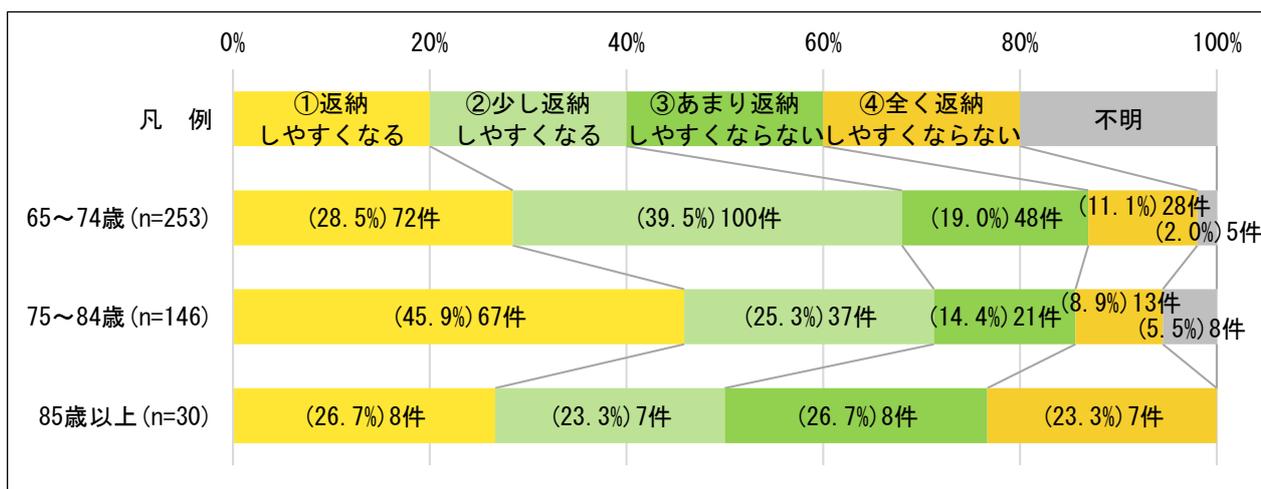


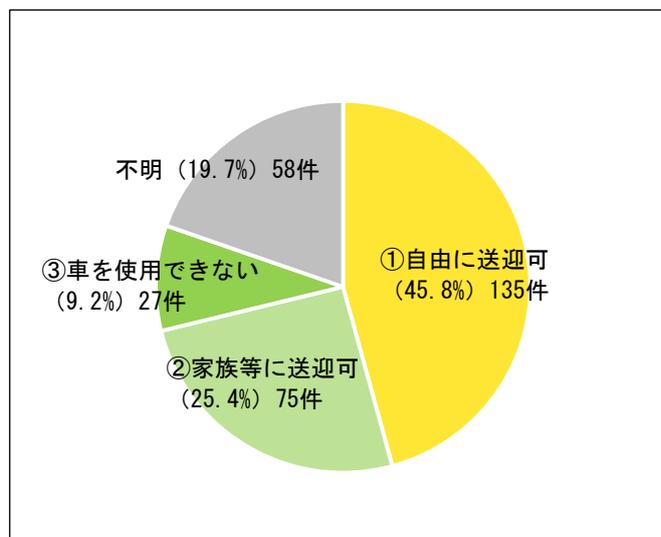
図 免許証返納の特典等があれば返納しやすくなるか（年齢構成別）

Q 9. Q 6で自動車運転免許証を「②持っていない」、あるいはQ 7で「③ほとんど運転はしない」と回答した方にお聞きします。自分以外が運転する車での移動状況を教えてください。(一つに〇)

「①自分の希望に合わせて家族や知り合いに比較的自由に送迎してもらえる」が45.8%で最も多く、続いて「②家族や知り合いに送迎してもらえる時もある」が25.4%となりました。

図表 自分以外が運転する車での移動状況（単数回答、単位：件）

項目	合計
①自分の希望に合わせて家族や知り合いに比較的自由に送迎してもらえる	135
②家族や知り合いに送迎してもらえる時もある	75
③車で移動する方法はない	27
不明	58
合計	295



1. 市民アンケート調査

年齢構成別に見ると、すべての年齢で「①自分の希望に合わせて家族や知り合いに比較的自由に送迎してもらえる」が最も多く、若い世代ほど多い割合を示しました。

50歳以上の各年齢では、「①自分の希望に合わせて家族や知り合いに比較的自由に送迎してもらえる」が4割程度、「②家族や知り合いに送迎してもらえる時もある」が2割から3割程度となりました。

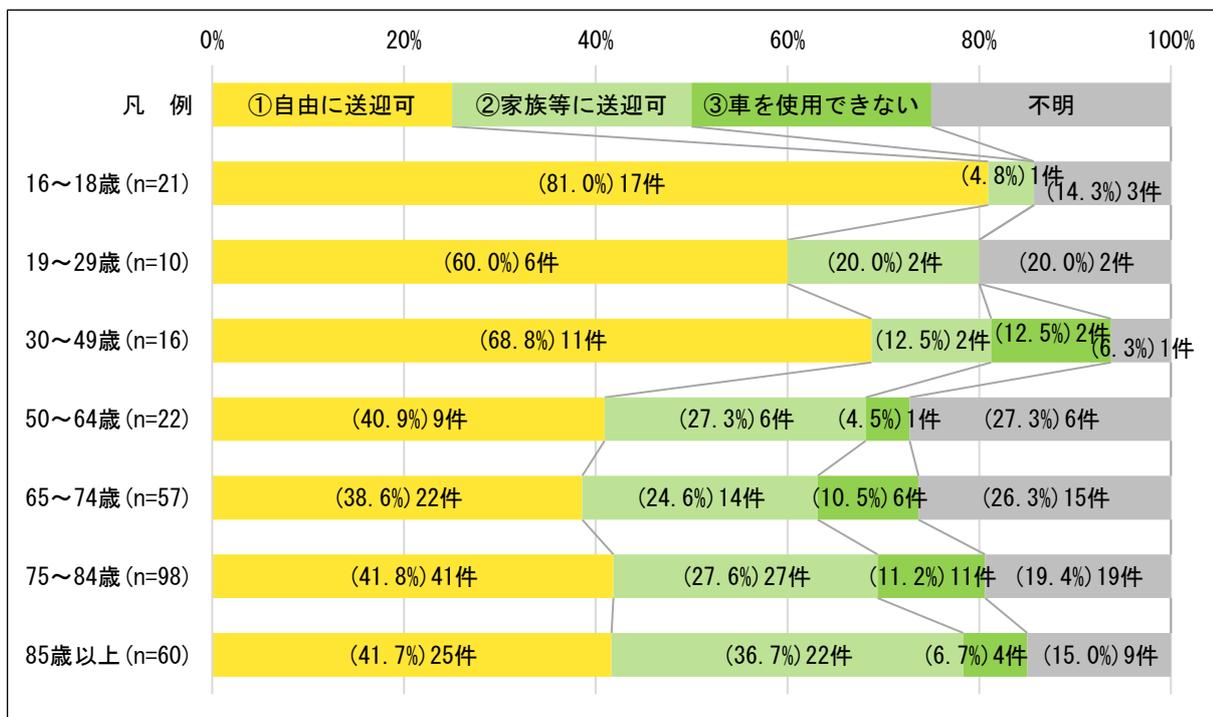


図 自分以外が運転する車での移動状況（年齢構成別）

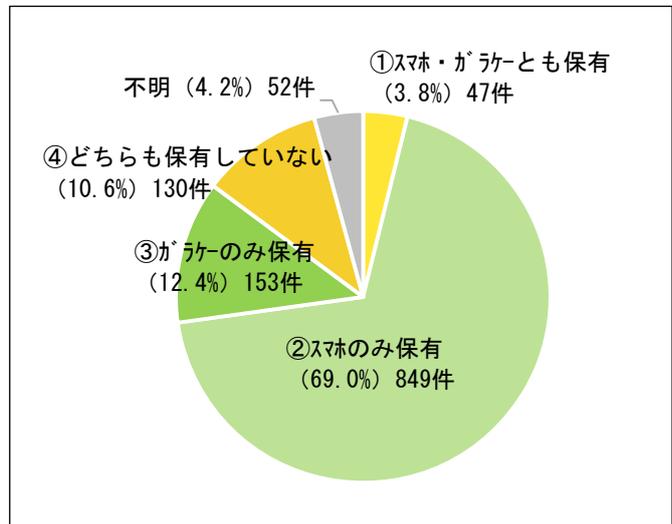
1. 市民アンケート調査

Q10. スマートフォン（スマホ）や携帯電話（ガラケー）をお持ちですか。（一つに○）

「②スマホのみ保有」が69.0%、「③ガラケーのみ保有」が12.4%、「④どちらも保有していない」が10.6%となりました。

図表 スマホ・ガラケーの保有状況（単数回答、単位：件）

項目	合計
①スマホ・ケータイとも保有	47
②スマホのみ所有	849
③ガラケーのみ保有	153
④どちらも保有していない	130
不明	52
合計	1,231



年齢構成別に見ると、「30～49歳」以下は「②スマホのみ保有」がそれぞれ9割以上を占め、「50～64歳」でも8割以上が保有している状況でした。

「75～84歳」は、「②スマホのみ保有」が38.9%で最多でしたが、「85歳以上」は、「④どちらも保有していない」が54.8%で最も多くなりました。



図 スマホ・ガラケーの保有状況（年齢構成別）

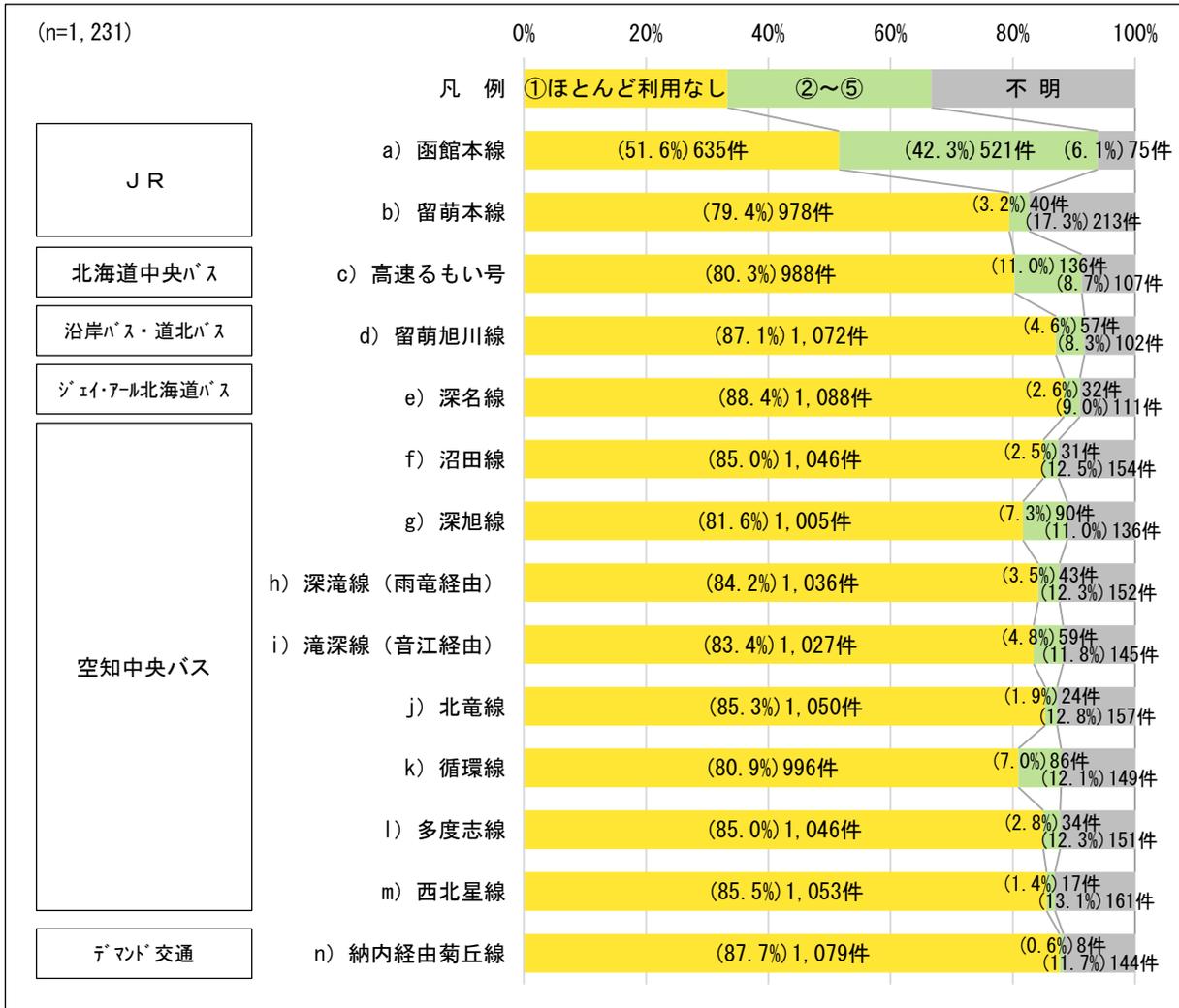
1. 市民アンケート調査

問2. 公共交通などによる日常的な外出についてお答えください。

Q 1 1. 市内外を運行する次の公共交通の利用状況について、次の凡例から該当する番号をそれぞれ教えてください。(項目ごとに一つに○)

すべての路線で「①ほとんど利用なし」が最も多くなっており、路線バスにおいては全路線が8割以上となりました。

「a) 函館本線」は、概ね4割の回答者が利用している状況であることがわかりました。



注)②~⑤:年に数回利用～概ね毎日利用

図 公共交通手段の利用状況

1. 市民アンケート調査

Q11の選択肢②から⑤の回答の詳細を整理すると、「a) 函館本線」は、「②年に数回」が36.7%とすべての路線のなかで最も多くなりましたが、「③月に数回」、「④週に数回」、「⑤概ね毎日」はほとんど回答がありませんでした。

バスについては、広域路線では「c) 高速るもい号」、市内路線では「k) 循環線」が最も利用されていることがわかりました。

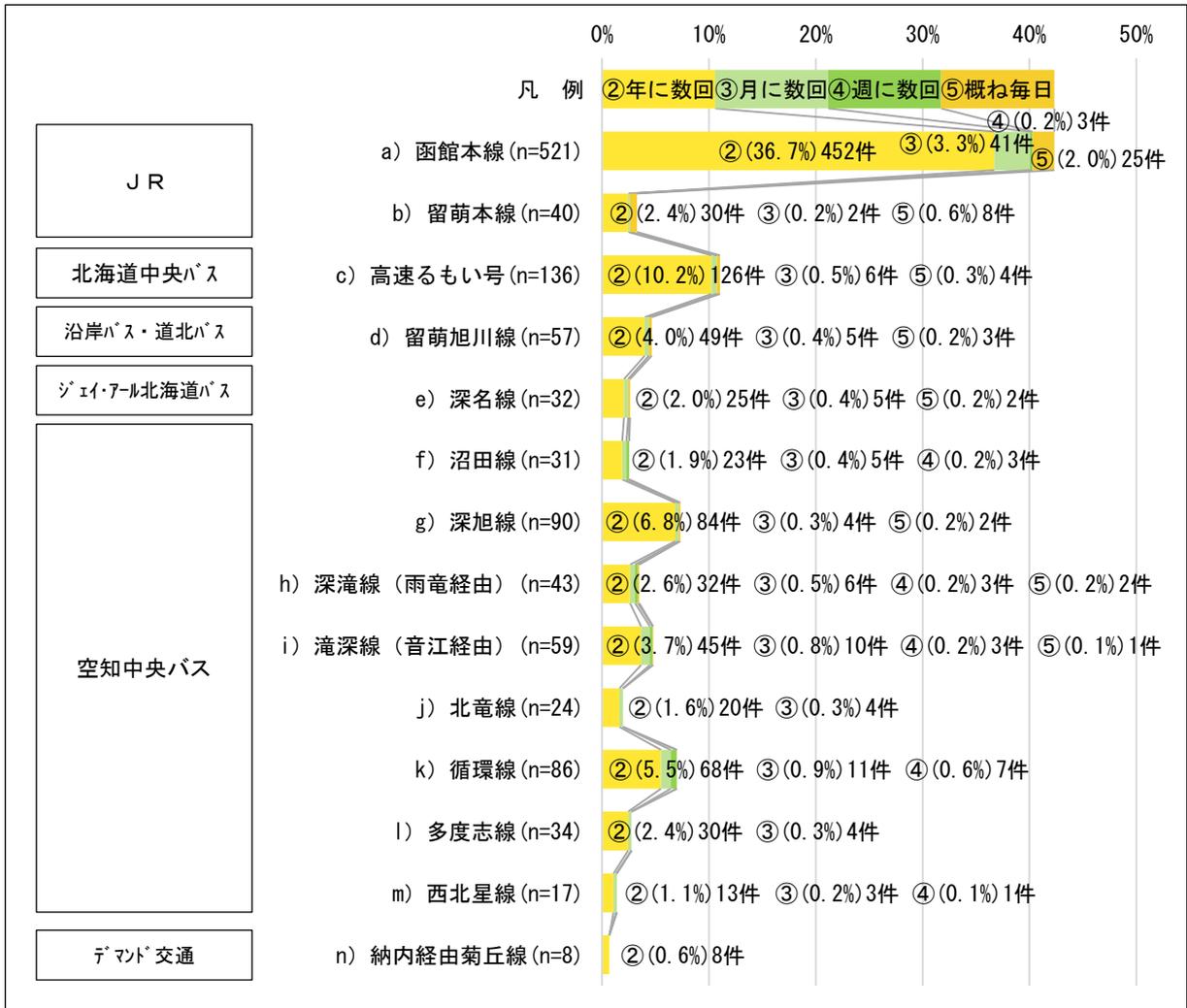


図 公共交通手段の利用状況（選択肢②から⑤の内訳）

1. 市民アンケート調査

Q 1 2. 先週 1 週間の外出状況について、Q 1 2 - 1 から Q 1 2 - 6 をお答えください。

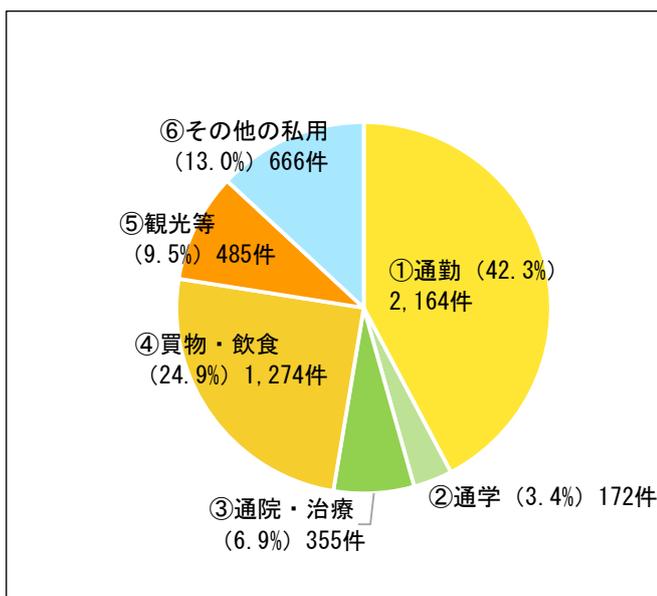
Q 1 2 - 1. 外出した目的を選択肢から選んで番号を回答欄に記入してください。

「①通勤」が42.3%で最も多く、「④買物・飲食」が24.9%となり、この2項目が比較的高い割合となりました。

続いて「⑤観光等」が9.5%、「③通院・治療」が6.9%、「②通学」が3.4%となりました。

図表 1 週間の外出状況（複数回答、単位：件）

項目	合計
①通勤	2,164
②通学	172
③通院・治療	355
④買物・飲食	1,274
⑤観光等	485
⑥その他の私用	666
合計	5,116



1. 市民アンケート調査

曜日別の先週1週間の外出状況は、「①通勤」と「②通学」は平日が8割強、「④買物・飲食」と「⑤観光等」は休日が4割強、「③通院・治療」は平日のなかでも特に「月曜日」が27.9%と多くなりました。

1週間あたりに換算すると、「①通勤」は5.25回、「②通学」は5.21回、「④買物・飲食」は2.34回、「⑤観光等」は2.17回外出していることになりました。

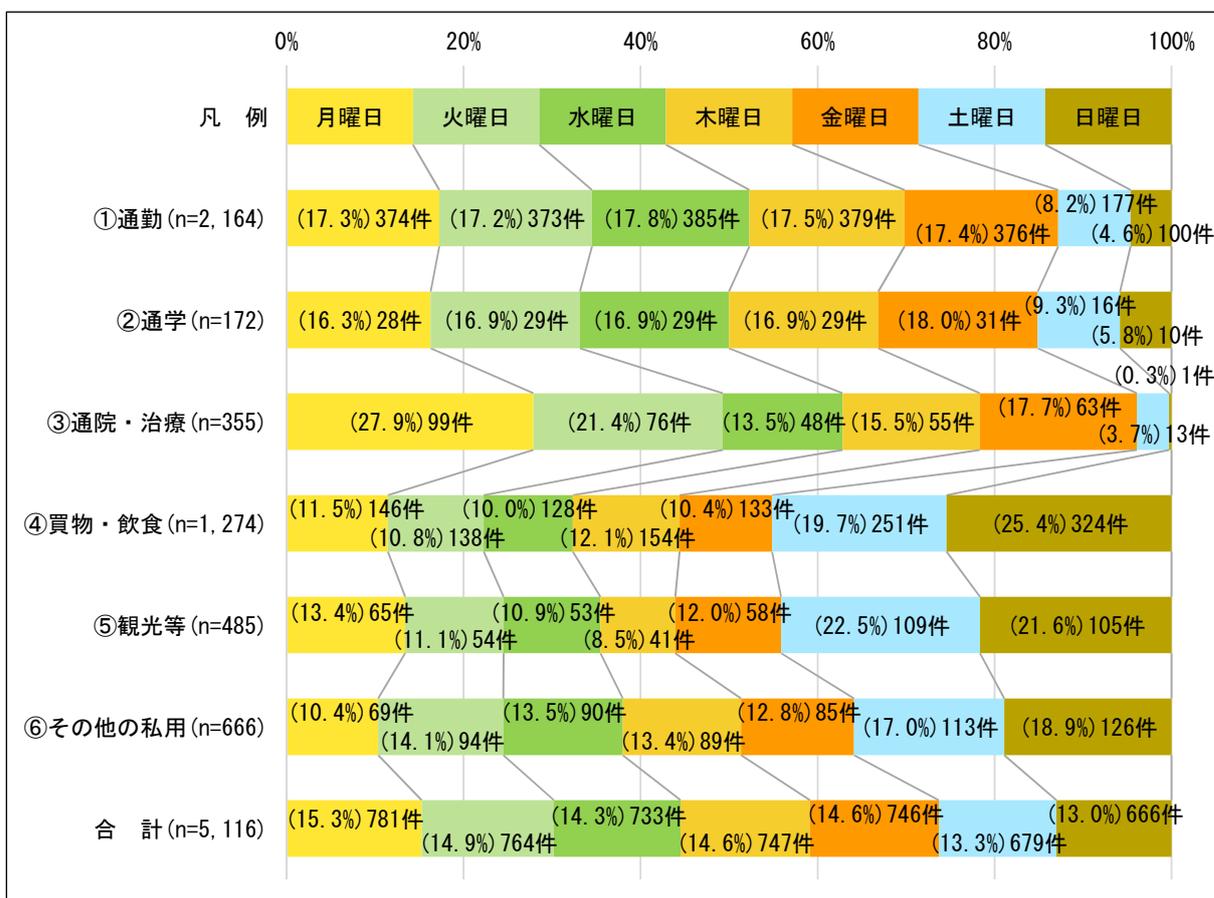
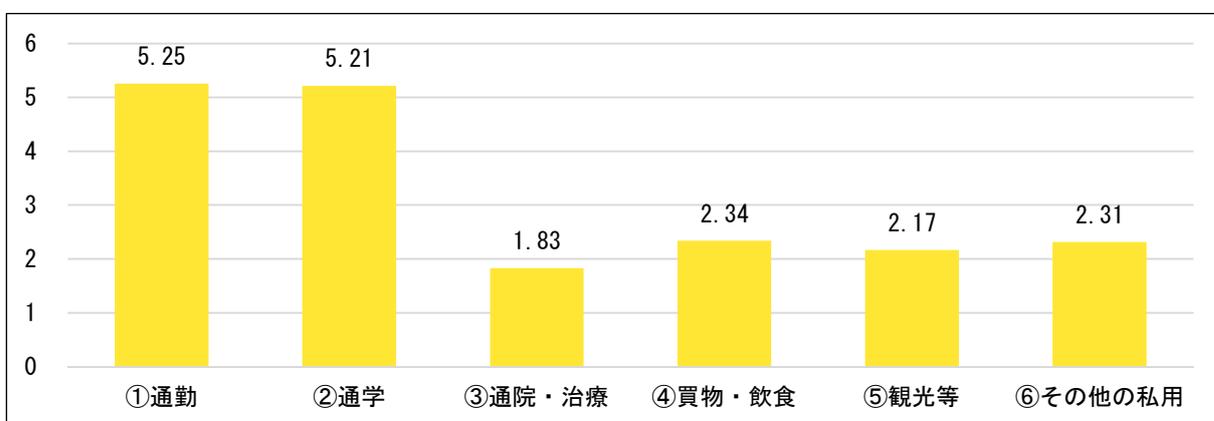


図 1 週間の外出状況（曜日別）



注) 1週間でその目的で外出した方の1週間当たりの外出日数

図 1 週間の外出状況（週当たりの目的別の外出日数）

1. 市民アンケート調査

Q 1 2 - 2. 家を出た時間と帰宅した時間をおおよそで構いませんので回答欄に記入してください。

外出は「8時」が1,531件、帰宅は「18時」が990件で最も多くなりました。平休日別では、「平日」は外出が「8時」、帰宅が「18時」、「休日」は外出が「9時」、帰宅が「12時」で最も多くなりました。

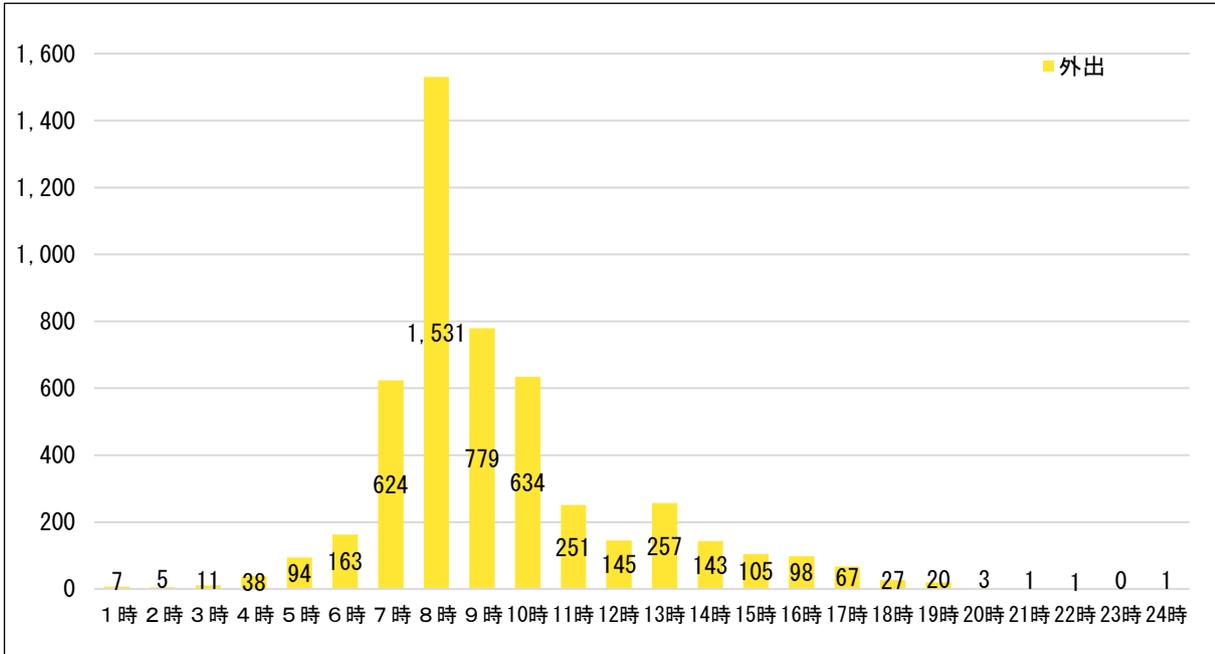


図 外出の時間

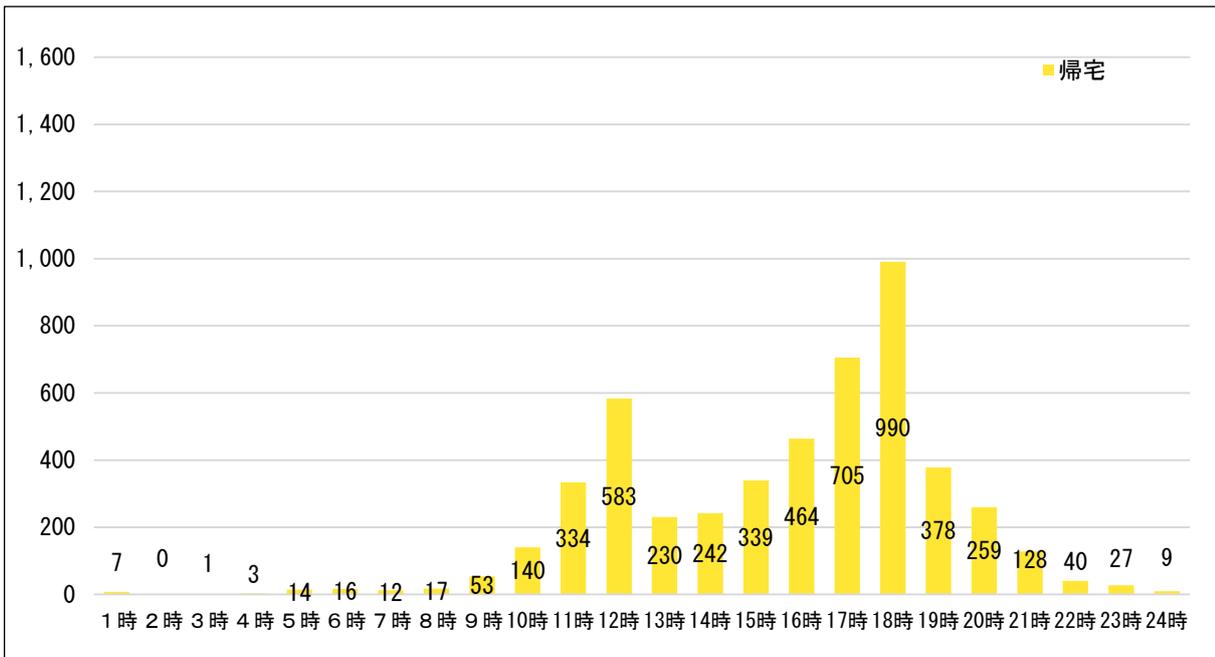


図 帰宅の時間

1. 市民アンケート調査

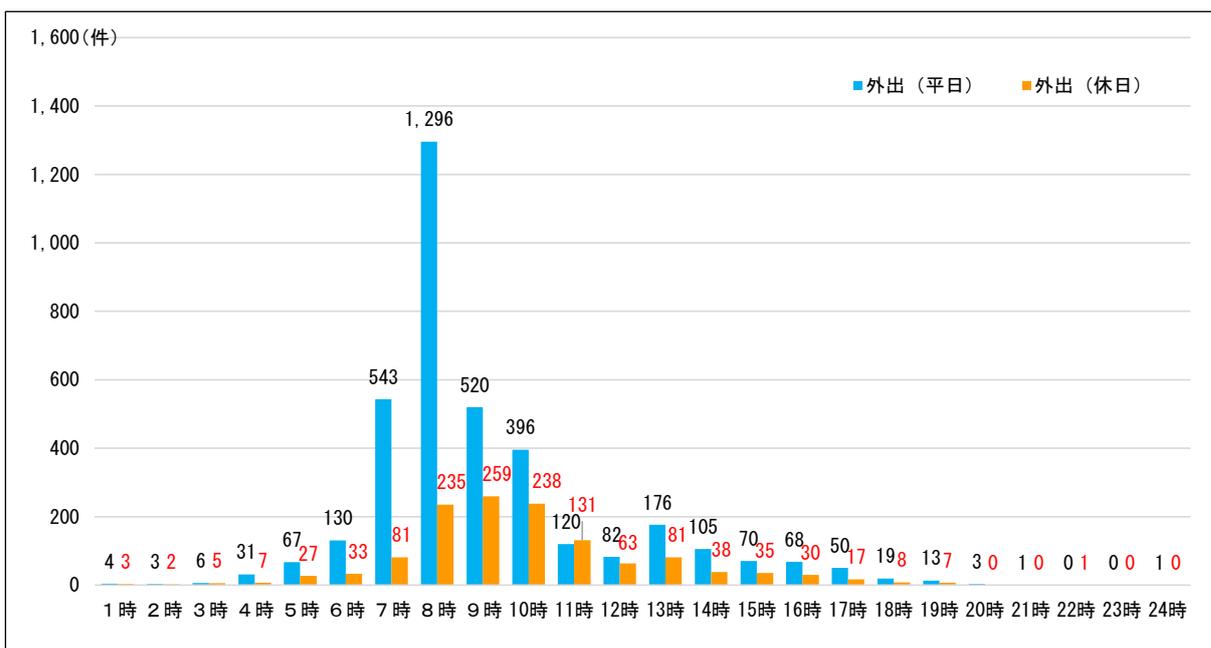


図 外出の時間 (平休日別)

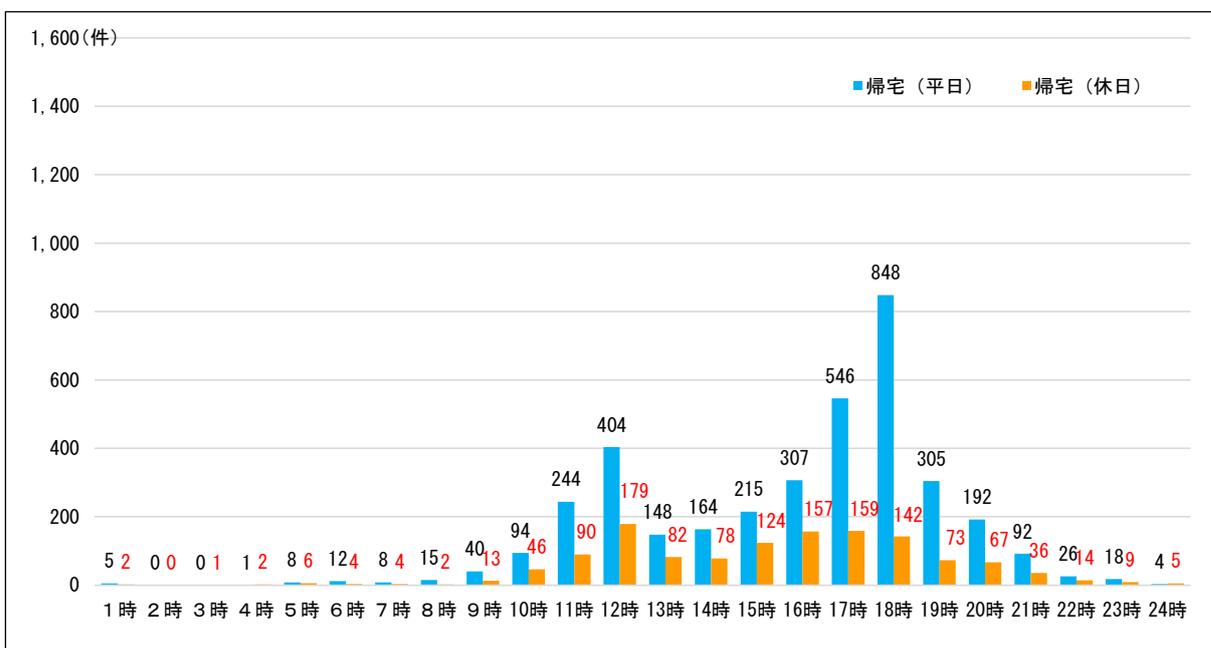


図 帰宅の時間 (平休日別)

1. 市民アンケート調査

外出時間を目的別に見ると、「①通勤」は8時、「②通学」は7時、「③通院・治療」と「⑤観光等」は9時が最も多くなりました。

「④買物・飲食」は10時が最も多く、すべての目的が午前中の時間帯に多く行われていました。

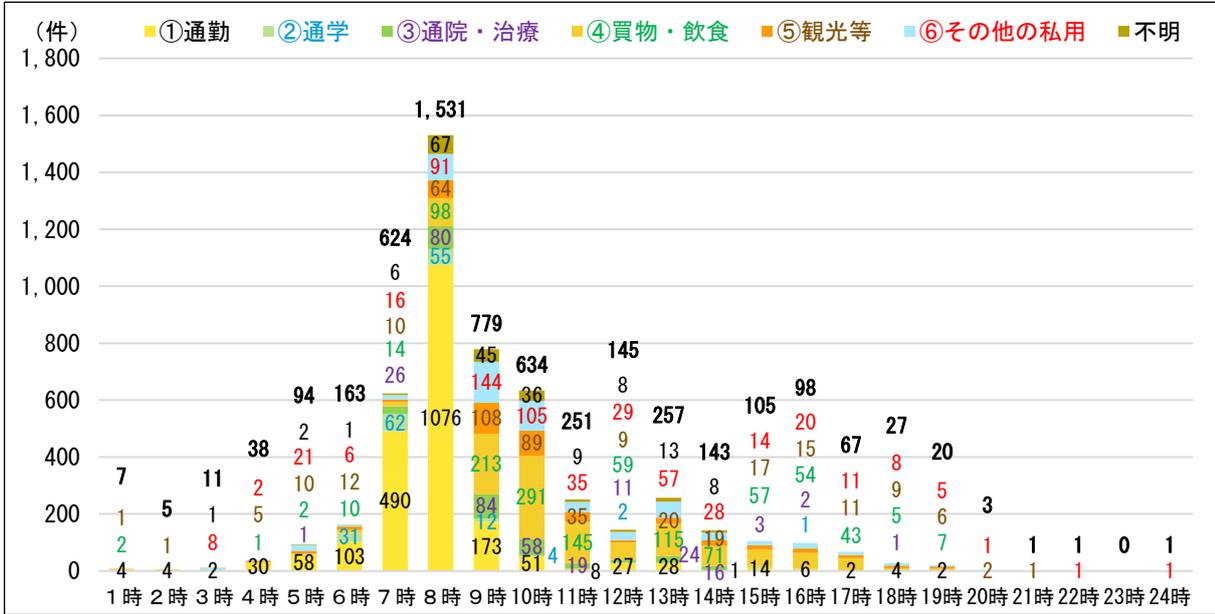


図 外出の時間（目的別）

帰宅時間を目的別に見ると、「①通勤」は18時、「②通学」は20時、「⑤観光等」は16時が最も多くなりました。

「③通院・治療」と「④買物・飲食」は12時が最も多く、午前中のうちに外出と帰宅を済ませる場合が大半を占めることがわかりました。

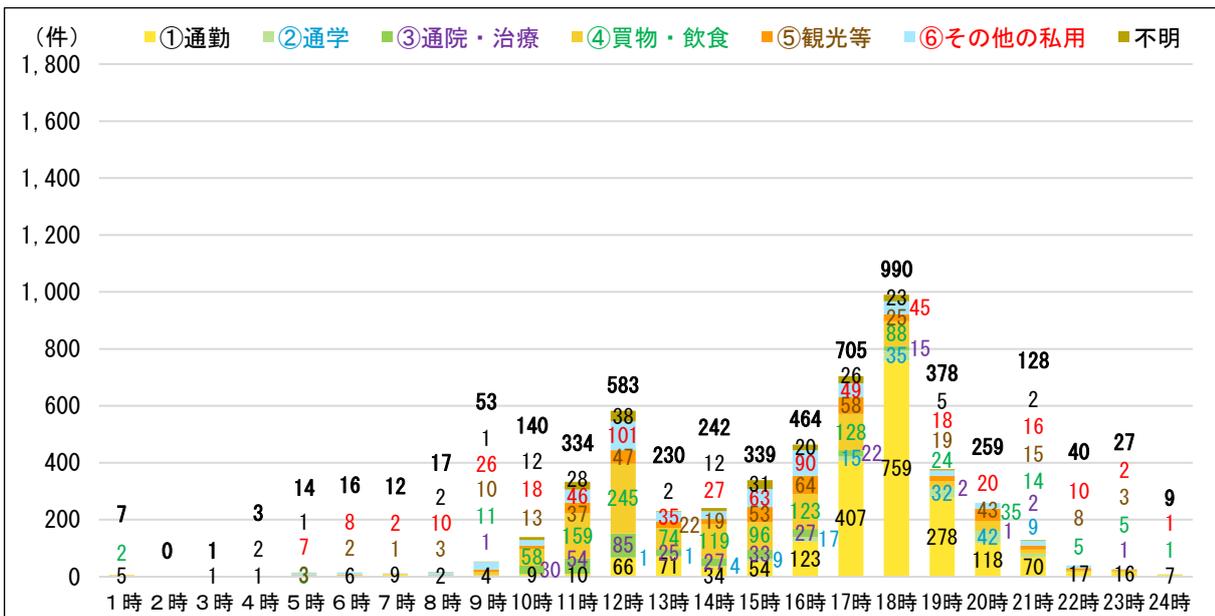


図 帰宅の時間（目的別）

1. 市民アンケート調査

Q12-3. 行先について、右の図を参考に選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。なお、行先が複数ある場合は、行った順に番号をお書きください。選択肢に無い場合、直接回答欄に市町村名をお書きください。

平日では「②6～11番」が646件で最も多く、続いて「④17～20番」が402件、「⑬北光町1～3丁目」が376件となりました。

休日では「⑭旭川市」が244件で最も多く、続いて「②6～11番」が187件、「⑬北光町1～3丁目」が171件となりました。

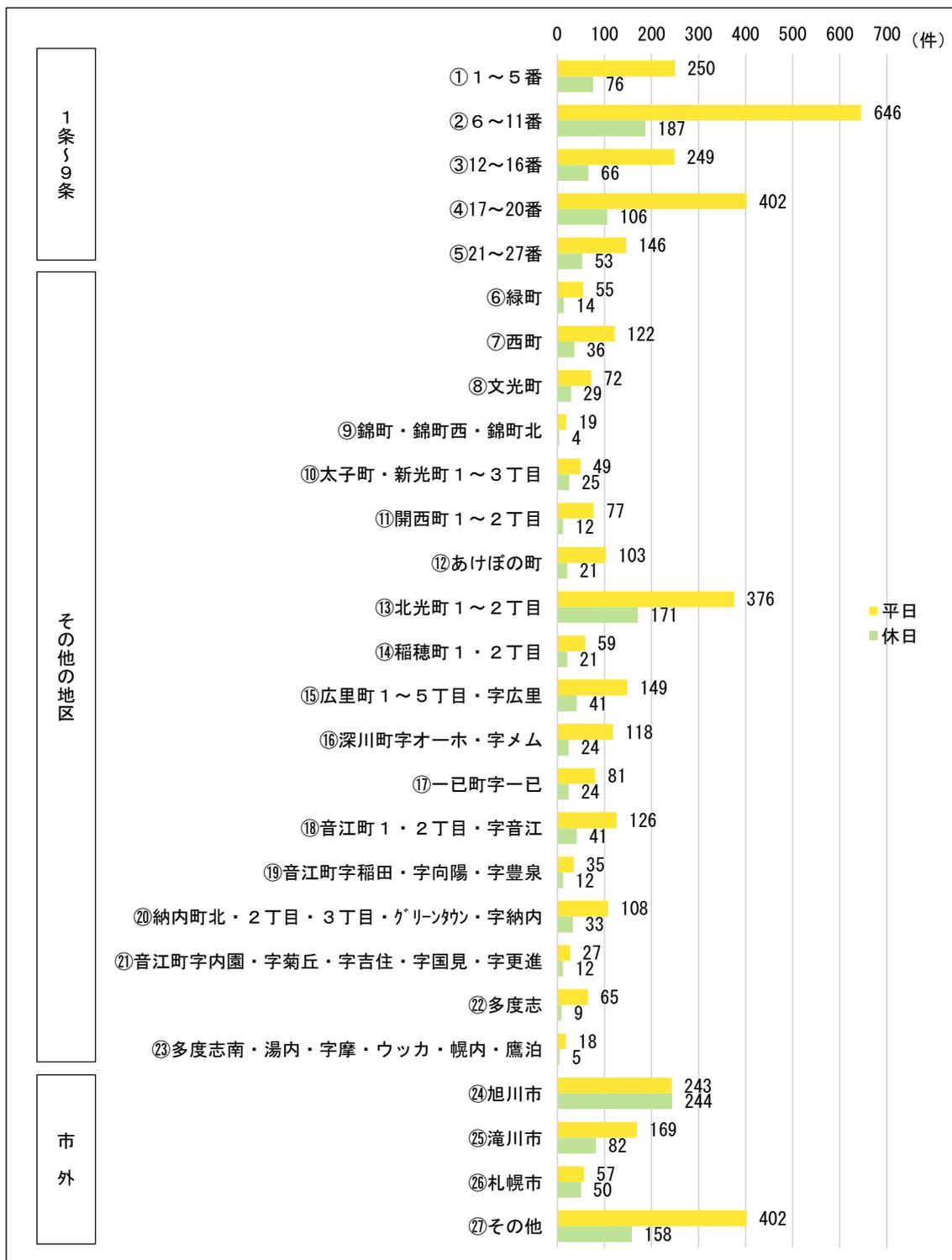


図 外出の行先（平日・休日別）

1. 市民アンケート調査

Q12-4. 最初に行った行先へは、どの交通手段を利用しましたか。利用した順に交通手段の番号を回答欄に記入してください。

平日・休日ともに「①自家用車（自分で運転）」が最も多く、続いて「②自家用車（家族などによる送迎）」、「③徒歩」、「④自転車・バイク」となりました。

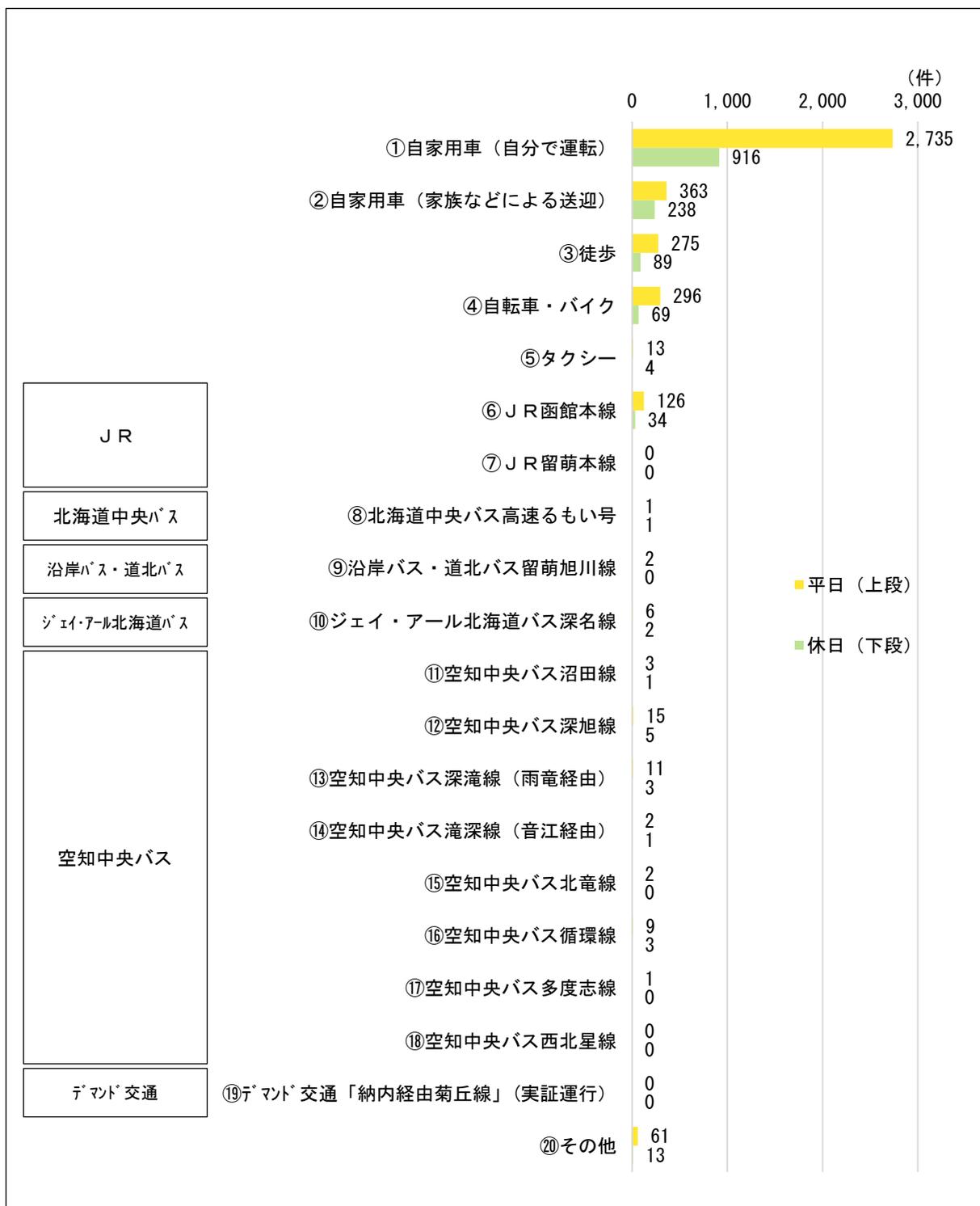


図 最初に行った行先に利用した交通手段 (平日・休日別)

1. 市民アンケート調査

全交通手段利用者の出発地と到着地を整理すると、最も多いのは出発地・到着地ともに「②6～11番」で61件であり、続いて多いのは出発地・到着地ともに「③12～16番」で60件でした。

発生集中交通量は、「②6～11番」が881件で最も多く、合計では1条～9条で2,907件、その他の地区で4,908件、市外で1,167件となりました。

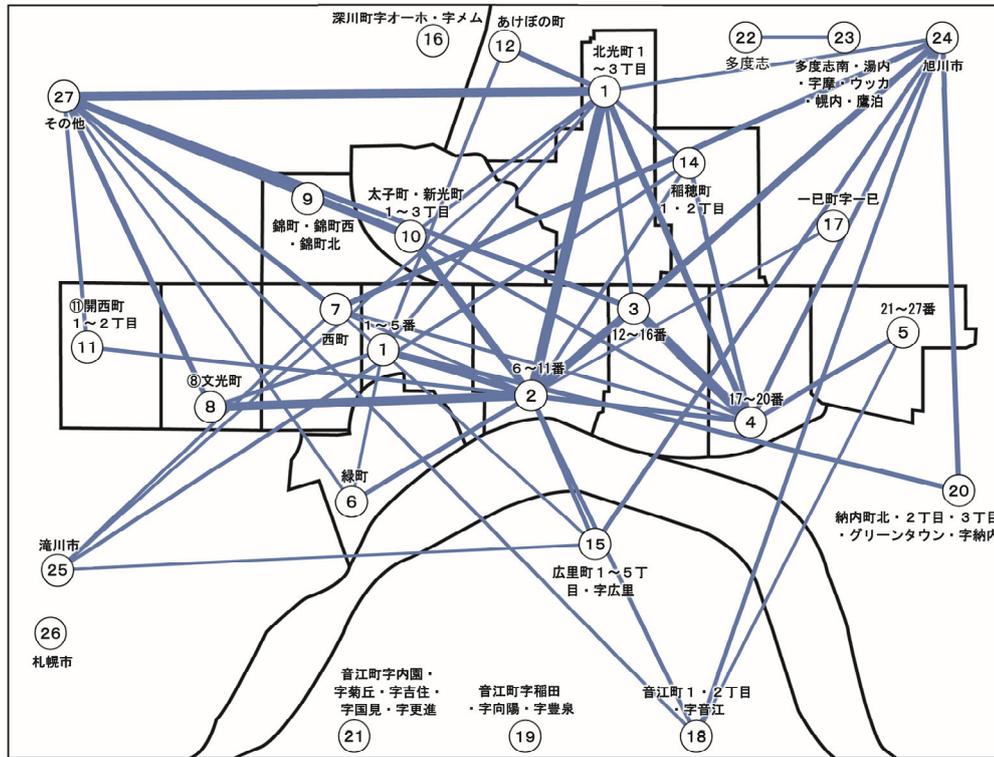


図 全交通手段 交通分布図

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	市外合計	発生量	発生集中交通量	
①	1	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
②	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
③	1	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
④	1	1	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑤	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑥	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑧	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑨	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑩	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑪	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑬	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑭	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑮	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑯	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑰	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑱	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑲	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
⑳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
㉑	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
㉒	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
㉓	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
㉔	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
㉕	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
㉖	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
㉗	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
市外合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
集中量	280	608	281	359	159	1,497	52	142	85	20	47	65	98	337	58	146	96	88	137	42	124	39	64	17	1,653	401	212	89	485	1,493	8,922

図 全交通手段 O D表

1. 市民アンケート調査

公共交通機関利用者は全交通手段利用者の2.3%となります。出発地と到着地を整理すると、最も多いのは、出発地が「③12～16番」で到着地が「④旭川市」と、出発地・到着地ともに「⑩太子町・新光町1～3丁目」で、8件となりました。

発生集中交通量は、「④旭川市」が44件で最も多く、合計では1条～9条で40件、その他の地区で102件、市外で68件となりました。

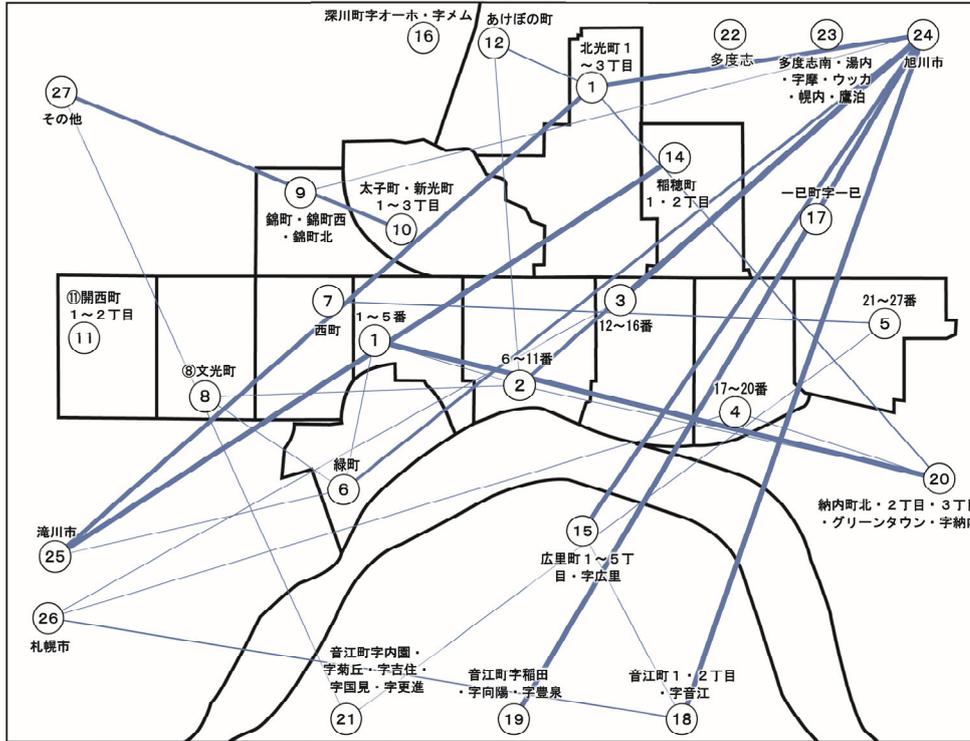


図 公共交通機関 交通分布図

	①1～5番	②6～11番	③12～16番	④17～20番	⑤21～27番	⑥緑町	⑦西町	⑧文光町	⑨錦町・錦町西・錦町北	⑩太子町・新光町1～3丁目	⑪開西町1～2丁目	⑫あけぼの町	⑬北光町1～3丁目	⑭稲穂町1～2丁目	⑮深川町字オーホ・字メム	⑯一巳町字一巳	⑰音江町1～2丁目・字音江	⑱音江町字稲田・字向陽・字豊泉	⑲音江町字内園・字菊丘・字吉住・字国見・字栗進	⑳納内町北・2丁目・3丁目・グリーンタウン・字納内	㉑多度志	㉒多度志南・湯内・字摩・ウツカ・幌内・廣泊	㉓旭川市	㉔滝川市	㉕札幌市	㉖その他	発生集中交通量				
①1～5番	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11		
②6～11番	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5	13		
③12～16番	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	1	0	9	9		
④17～20番	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
⑤21～27番	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	5	
1条～9条計	1	3	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	13	0	2	15	40		
⑥緑町	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	5	6		
⑦西町	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
⑧文光町	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2	
⑨錦町・錦町西・錦町北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	
⑩太子町・新光町1～3丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	5	5	13	21	
⑪開西町1～2丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑫あけぼの町	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	3	
⑬北光町1～3丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	12	12	16	
⑭稲穂町1～2丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7	7	
⑮深川町字オーホ・字メム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	6	9	13
⑯一巳町字一巳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑰音江町1～2丁目・字音江	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
⑱音江町字稲田・字向陽・字豊泉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
⑲音江町字内園・字菊丘・字吉住・字国見・字栗進	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
⑳納内町北・2丁目・3丁目・グリーンタウン・字納内	7	1	0	1	0	9	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	11	11
㉑多度志	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
㉒多度志南・湯内・字摩・ウツカ・幌内・廣泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の地区計	8	3	0	1	2	14	1	0	0	8	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	17	31	14	2	6	53	84	102	
旭川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	
滝川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
札幌市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
市外合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	
集中量	9	6	0	1	3	19	1	0	0	8	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	18	44	14	4	6	68	105	120

図 公共交通機関 O D表

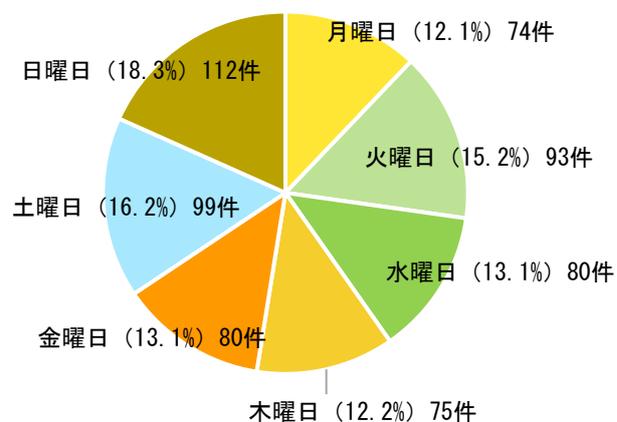
Q12-5. Q12-4の交通手段で「①」、「②」の自家用車をご記入した方へお聞きします。公共交通が今よりも便利になったら、移動手段を自家用車から他の公共交通に変えてみても良い曜日はありますか。変えてみても良いと考える曜日に「○」をお書きください。

「日曜日」が18.3%と最も多く、続いて「土曜日」が12.2%となりました。

平日では、「火曜日」が15.2%と最も多くなりましたが、曜日ごとの違いはほとんどありませんでした。

図表 公共交通に変えてみても良いと考える曜日（単数回答、単位：件）

項目	合計
月曜日	74
火曜日	93
水曜日	80
木曜日	75
金曜日	80
土曜日	99
日曜日	112
合計	613



1. 市民アンケート調査

公共交通が便利になったら利用する人は現在の公共交通利用者数と比較すると4.4倍で、公共交通利用の潜在需要があります。出発地と到着地を整理すると、最も多いのは出発地が「㉓多度志南・湯内・字摩・ウッカ・幌内・鷹泊」、到着地が「㉒多度志」で19件でした。

発生集中交通量は、「㉒6～11番」が106件、「㉔旭川市」が77件で多く、合計では1条～9条で276件、その他の地区で499件、市外で141件となりました。

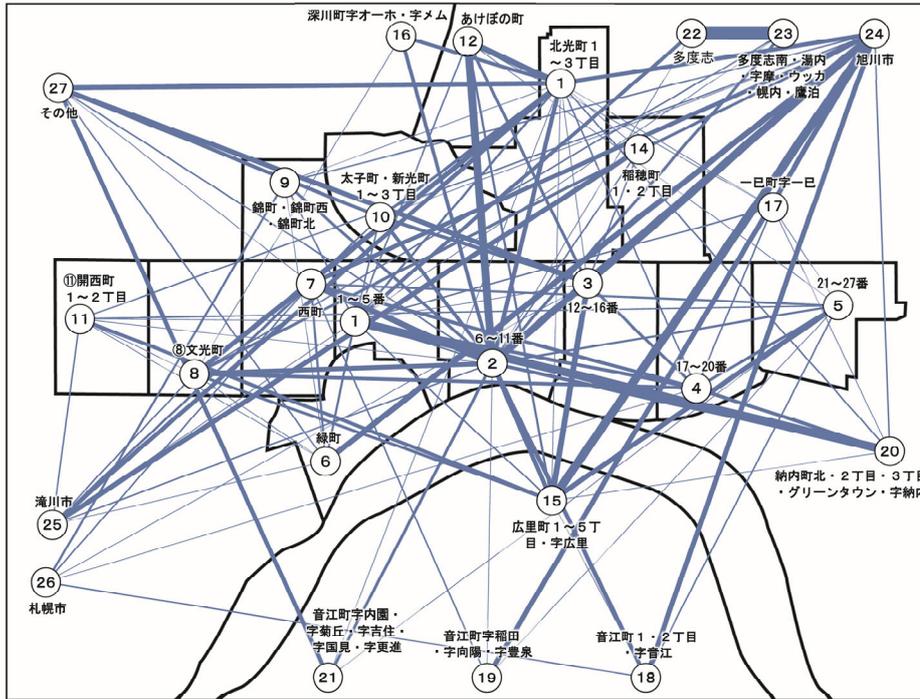


図 公共交通機関 交通分布図（便利になった場合）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	市外合計	発生集中交通量			
① ①1～5番	1	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	6	0	1	0	0	1	10	46	
② ②6～11番	1	5	0	0	0	6	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	9	10	2	0	2	14	29	106	
③ ③12～16番	0	1	9	0	0	10	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	10	0	1	7	18	34	62	
④ ④17～20番	5	0	4	1	1	11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	13	35	
⑤ ⑤21～27番	0	3	0	3	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	8	27	
1条～9条計	7	10	14	4	2	37	0	4	0	5	0	2	0	1	0	0	2	1	7	1	7	1	0	23	20	3	2	9	34	94	276	
⑥ ⑥緑町	3	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	1	0	2	11	15	20	
⑦ ⑦西町	0	4	0	5	3	12	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	3	2	1	12	28	45	
⑧ ⑧文光町	0	7	0	5	0	12	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	2	0	0	6	24	34	
⑨ ⑨緑町・錦町西・錦町北	2	4	0	0	0	8	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	3	0	5	13	13	
⑩ ⑩太子町・新光町1～3丁目	2	5	0	0	0	7	0	2	0	0	8	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	1	1	0	5	7	28	41	
⑪ ⑪開西町1～2丁目	1	1	0	0	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	2	0	0	4	14	15	
⑫ ⑫あけぼの町	2	11	4	0	1	18	0	0	0	0	0	0	8	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	30	39	
⑬ ⑬北光町1～3丁目	2	6	1	1	0	10	0	4	5	0	0	0	1	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	18	6	0	7	18	45	68		
⑭ ⑭稲穂町1・2丁目	0	2	2	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7	0	7	12	12	
⑮ ⑮広里町1～5丁目・字広里	2	6	7	0	7	22	0	2	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	9	12	0	0	0	12	43	62	
⑯ ⑯深川町字オーホ・字メム	0	5	0	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6	11		
⑰ ⑰一巳町字一巳	2	0	0	2	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	8		
⑱ ⑱音江町1・2丁目・字音江	0	4	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	0	2	0	9	16	18	
⑲ ⑲音江町字稲田・字向陽・字豊泉	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	0	0	0	7	10	11	
⑳ ⑳納内町北・2丁目・3丁目・グリーンタウン・字納内	7	3	0	5	0	15	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	3	0	0	0	7	2	0	0	2	24	34		
㉑ ㉑音江町字内園・字菊丘・字吉住・字国見・字東進	0	4	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6	11	12		
㉒ ㉒多度志	5	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	25		
㉓ ㉓多度志南・湯内・字摩・ウッカ・幌内・鷹泊	1	4	0	0	0	5	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	7	28	0	0	0	33	40		
その他の地区計	29	67	14	18	17	145	5	12	10	0	8	1	0	21	0	18	5	3	0	0	3	0	19	7	112	57	22	7	21	107	364	499
⑳ ㉔旭川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	
㉕ ㉕滝川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	
㉖ ㉖札幌市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
㉗ ㉗その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	
市外合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	141
集中量	36	77	28	22	19	182	5	16	10	9	13	1	0	23	0	19	5	3	2	1	10	1	19	7	135	77	25	9	30	141	458	916

図 公共交通機関 OD表（便利になった場合）

1. 市民アンケート調査

Q12-6. 公共・公益施設及びスーパーなど利便施設に行かれた方は、該当する番号を回答欄に記入してください。選択肢に無い場合、直接回答欄に施設名をお書きください。

「E-5 コープさっぽろふかがわ店」が305件で最も多く、続いて「E-3 マックスバリュ深川店」が206件、「E-2 スーパーアークス深川店」が191件と、上位はすべて商業施設になりました。

施設の種類としては、「E商業」の割合が非常に多く、続いて「A医療・福祉」、「Fレクリエーション」、「D行政・金融」の順に多くなりました。

表 外出の際に行った施設（全回答）

A 医療・福祉	A-1 中央病院	20	D 行政・金融	D-1 市役所	50
	A-2 市立病院	112		D-2 深川郵便局	8
	A-3 吉本病院	7		D-3 北洋銀行深川支店	5
	A-4 デ・アイ	2		D-4 北空知信用金庫本店	8
	A-5 総合福祉センター	7		D-5 JR深川駅	16
	A-6 深川第一病院	21		D-6 JR納内駅	2
	A-7 東ヶ丘病院	4		D-7 JR北一已駅	0
	Aその他（直接回答欄に記入）	41		Dその他（直接回答欄に記入）	0
	B 文化・集会	B-1 中央公民館		21	E 商業
B-2 文化交流ホール「み・らい」		4	E-2 スーパーアークス深川店	191	
B-3 アートホール東洲館		2	E-3 マックスバリュ深川店	206	
B-4 生きがい文化センター		12	E-4 ホクレンショップイチャン店	65	
B-5 北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川		2	E-5 コープさっぽろふかがわ店	305	
Bその他（直接回答欄に記入）		11	Eその他（直接回答欄に記入）	22	
C 学校・教育		C-1 深川西高等学校	33	F レクリエーション	F-1 広里ふれあいパーク
	C-2 深川東高等学校	0	F-2 グリーンパーク21		7
	C-3 拓殖大学北海道短期大学	16	F-3 深川総合運動公園		46
	C-4 高等看護学院	1	F-4 温水プール「ア・エール」		10
	C-5 准看護学院	0	F-5 道の駅「ライスランドふかがわ」		16
	C-6 クラーク記念国際高等学校	0	F-6 アグリ工房「まあぶ」		28
	Cその他（直接回答欄に記入）	27	Fその他（直接回答欄に記入）		16
				合計	1,455

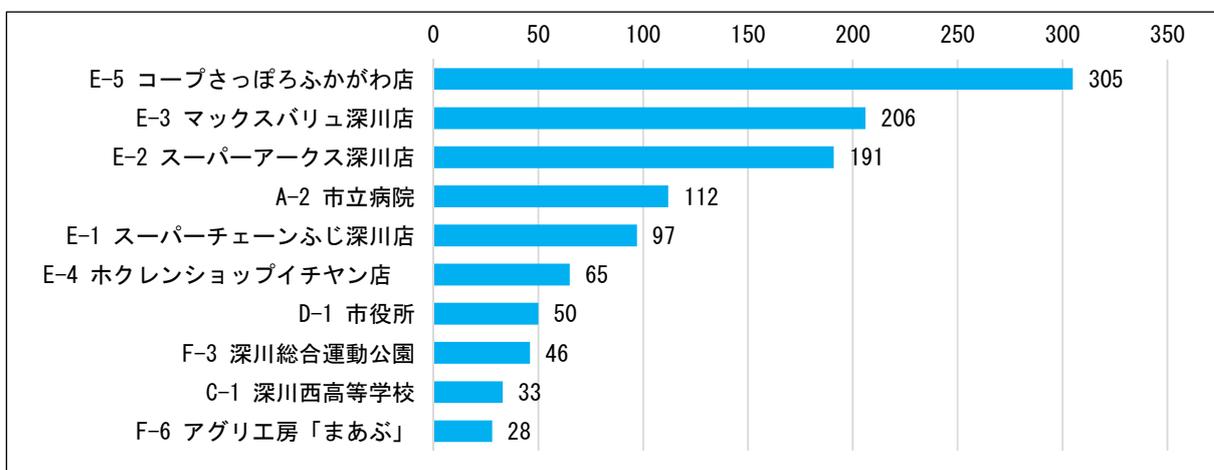


図 外出の際に行った施設（上位10位）

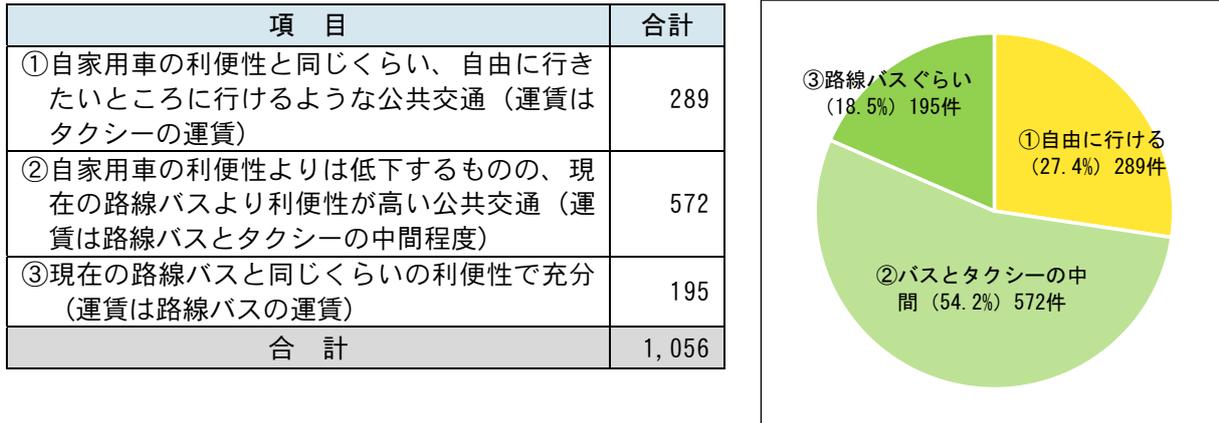
1. 市民アンケート調査

問3. 今後の公共交通への要望等についてお答えください。

Q13-1. 自家用車に頼らない生活を送る時、公共交通はどうあって欲しいですか。選択肢から番号を一つ選んで回答欄にお書きください。

「②自家用車の利便性よりは低下するものの、現在の路線バスより利便性が高い公共交通」が54.2%と最も多く、続いて「①自家用車の利便性と同じくらい、自由に行きたいところに行けるような公共交通」が27.4%となりました。

図 自家用車に頼らないための公共交通のあり方（単数回答、単位：件）



年齢構成別に見ると、すべての年齢で、「②自家用車の利便性よりは低下するものの、現在の路線バスより利便性が高い公共交通」が最も多くなりました。

「①自家用車の利便性と同じくらい、自由に行きたいところに行けるような公共交通」は「85歳以上」、「③現在の路線バスと同じくらいの利便性で充分」は「16～18歳」と「19～29歳」でそれぞれ約3割を占めました。

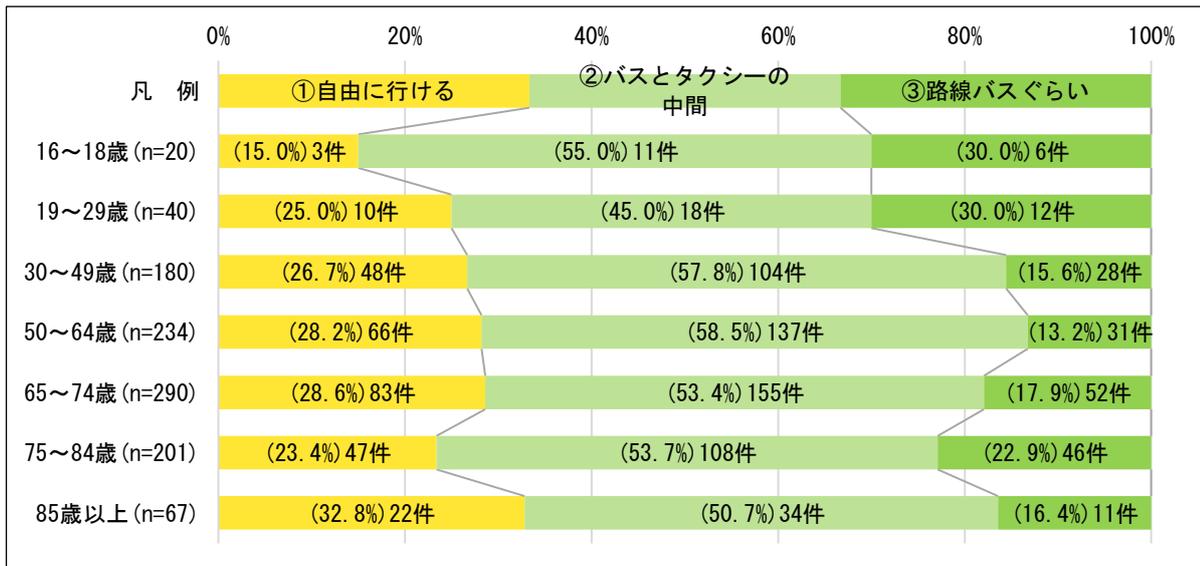


図 自家用車に頼らないための公共交通のあり方（年齢構成別）

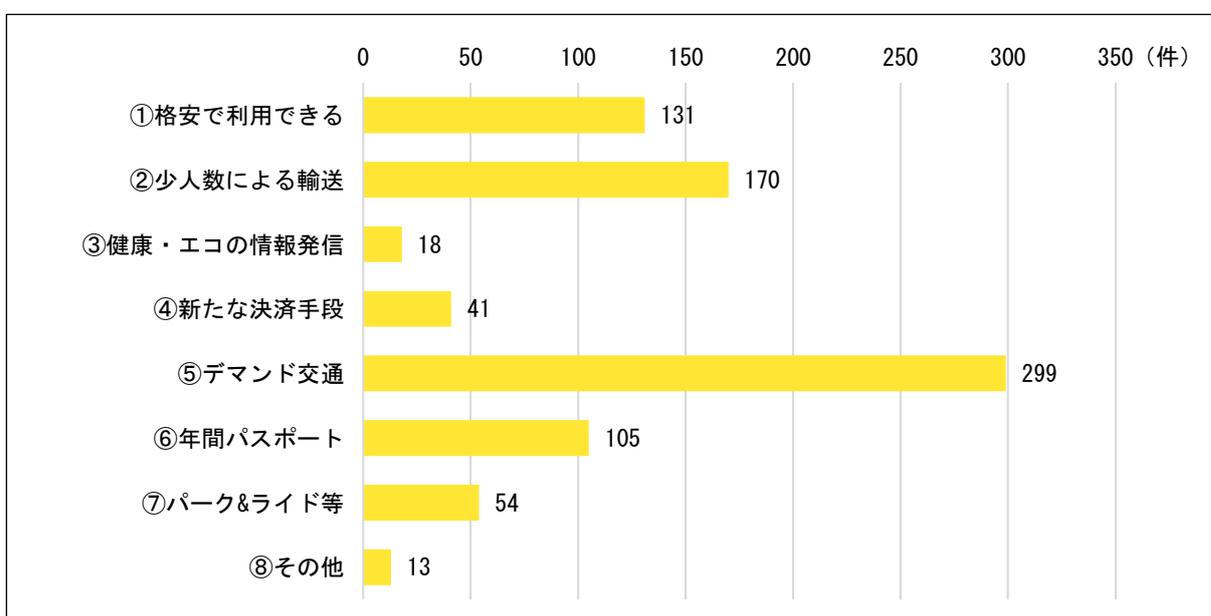
1. 市民アンケート調査

Q13-2. 公共交通の利用を促進するために、有効と思われる方策についてお答えください。選択肢から二つまで番号を選んで回答欄にお書きください。

「⑤デマンド交通」が299件と最も多く、「②少人数による輸送」が170件、「①格安で利用できる」が131件、「⑥年間パスポート」が105件となりました。

図表 公共交通の利用を促進するために、有効と思われる方策（二つまで選択・回答、単位：人）

項目	合計
①公共交通を格安で利用できる期間を設けて、まずは乗ったことのない方も含めて乗るきっかけを提供する	131
②19～65歳数が乗り合う従来の輸送方法から、少人数による輸送方法に変える	170
③公共交通の利用は健康づくりや環境（エコ）に寄与することを情報発信する	18
④QRコードやタッチ決済などの新たな決済手段を導入する	41
⑤自宅や自宅近くの乗降所から病院、スーパー、役所など公共・公益施設との間を運行する乗り合い型デマンド交通を導入する	299
⑥例えば半年間の定期代により通年で乗車できる年間パスポート券を導入する	105
⑦パーク&ライドやパーク&バスライドを推進することにより、既存の公共交通を維持する	54
⑧その他	13
合計	831



▼「⑧その他」の記述内容

- ・バス等の本数増加（3件）
- ・タクシーの充実（2件）：無料券の交付、介護タクシーの増加 ・現実的に難しい（2件）
- ・わからない（2件）
- ・利用に応じた特典の付与（1件）：買物代金値下げ、配送料無料、病院の待ち時間短縮、年間の乗車や距離に応じたポイント、花火大会優先席、抽選会、入浴券、カラオケなど

1. 市民アンケート調査

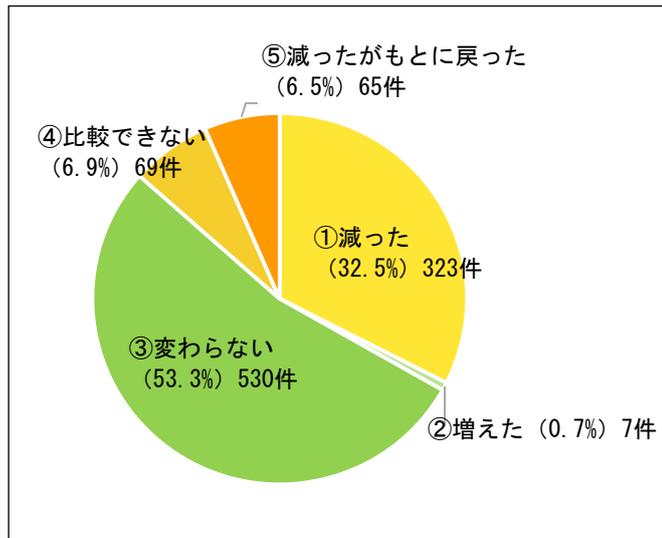
Q14. 新型コロナウイルス感染症拡大前（2019年12月以前）との外出状況の違いについてお答えください。

Q14-1. 感染拡大前と比べて公共交通の利用頻度はどのようになりましたか。選択肢から番号を一つ選んで回答欄にお書きください。

「③公共交通の利用頻度は変わらない」が53.3%で最も多く、続いて「①公共交通の利用頻度が減った」が32.5%となりました。

図表 感染拡大前との公共交通の利用頻度の違い（単数回答、単位：件）

項目	合計
①公共交通の利用頻度が減った	323
②公共交通の利用頻度が増えた	7
③公共交通の利用頻度は変わらない	530
④コロナ前と現在で生活が変わったため、比較できない	69
⑤一時的に利用頻度は減ったが、元に戻った	65
合計	994

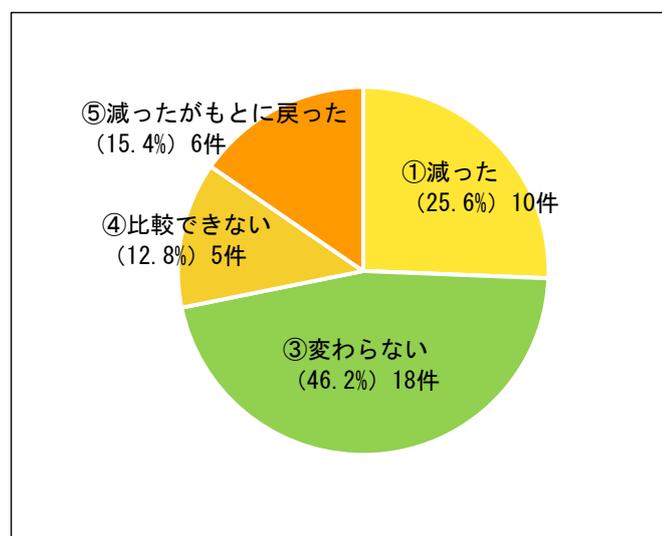


Q7の「運転免許を持っているがほとんど運転しない」と回答した方とのクロス集計では、「③公共交通の利用頻度は変わらない」が最も多く、続いて「①公共交通の利用頻度が減った」となりました。

クロス集計の結果は、全体での傾向とほとんど違いがなく、運転をする・しないにかかわらず、公共交通の利用頻度はコロナ前と変わっていない人が多いことがわかりました。

図表 感染拡大前との公共交通の利用頻度の違い（Q7.（運転免許を持っているが）「③ほとんど運転しない」と回答した方とのクロス集計）（単位：件）

項目	合計
①公共交通の利用頻度が減った	10
②公共交通の利用頻度が増えた	0
③公共交通の利用頻度は変わらない	18
④コロナ前と現在で生活が変わったため、比較できない	5
⑤一時的に利用頻度は減ったが、元に戻った	6
合計	39



1. 市民アンケート調査

年齢構成別に見ると、すべての年齢で「③公共交通の利用頻度は変わらない」が最も多く、特に「30～49歳」では6割以上となりました。

「①公共交通の利用頻度が減った」は「75～84歳」の回答では39.9%となり、「③変わらない」に対する回答とほぼ同数となりました。

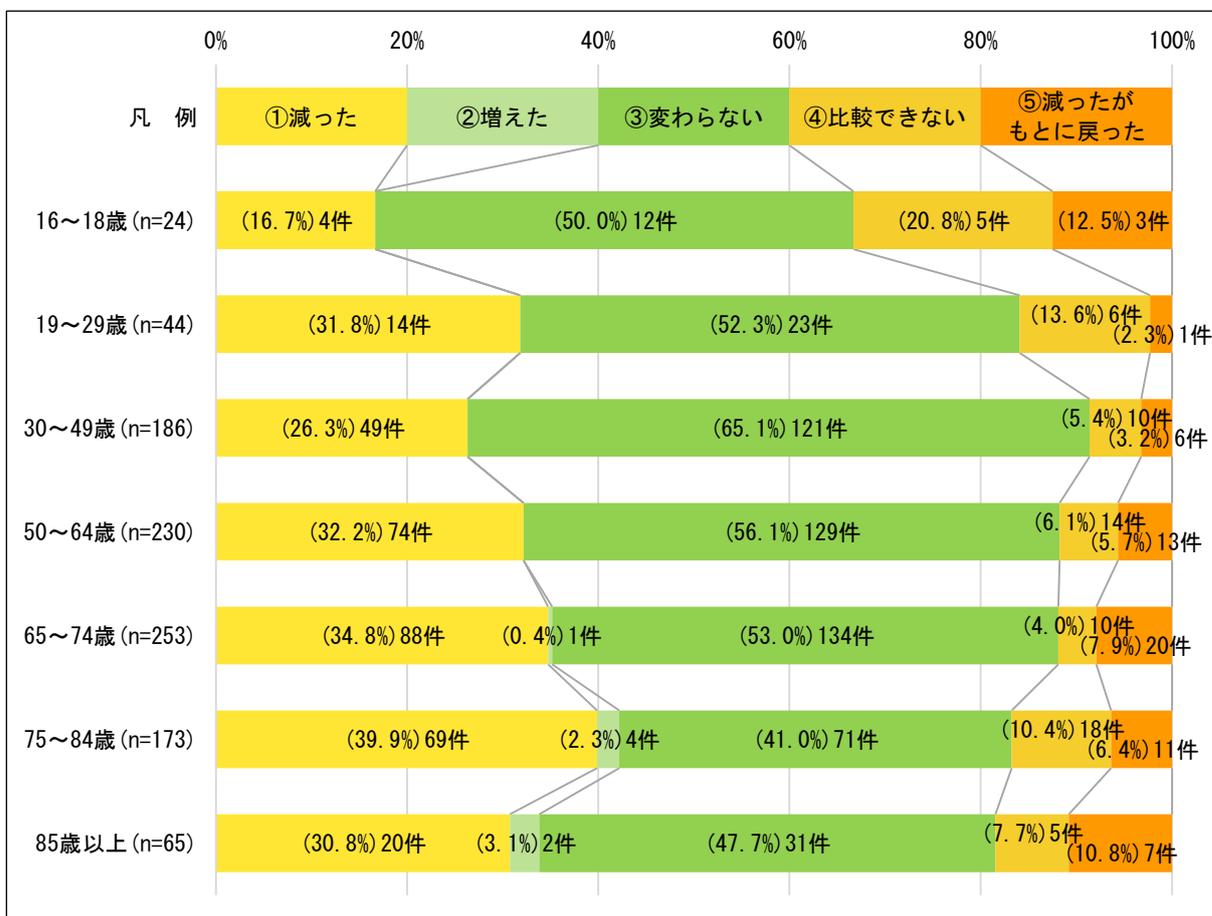


図 感染拡大前との公共交通の利用頻度の違い（年齢構成別）

1. 市民アンケート調査

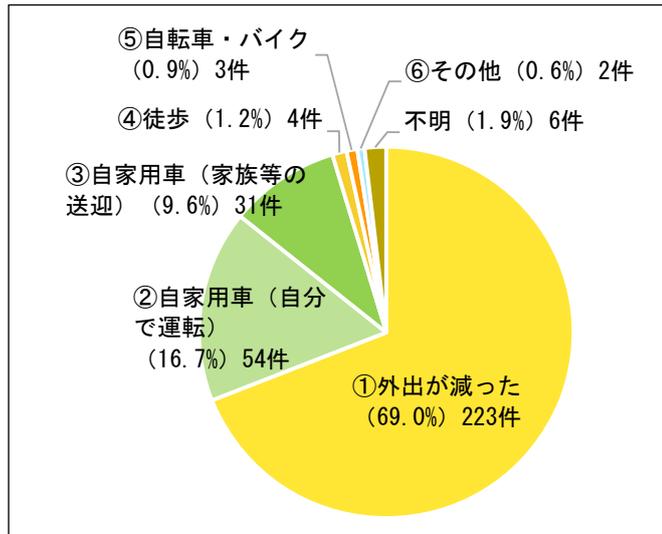
Q14-2. Q14-1で「①公共交通の利用頻度が減った」と答えた方へお聞きします。公共交通の利用頻度が減った要因について選択肢から番号を一つ選んで回答欄にお書きください。

「①外出そのものが減った」が69.0%で最も多くなりました。

続いて「②「自家用車（自分で運転）」を利用することが多くなった」が16.7%、「③「自家用車（家族などによる送迎）」を利用することが多くなった」が9.6%となりました。

図表 公共交通の利用頻度が減った要因（単数回答、単位：件）

項目	合計
①外出そのものが減った	223
②「自家用車（自分で運転）」を利用することが多くなった	54
③「自家用車（家族などによる送迎）」を利用することが多くなった	31
④「徒歩」による移動が多くなった	4
⑤「自転車・バイク」を利用することが多くなった	3
⑥その他	2
不明	6
合計	323

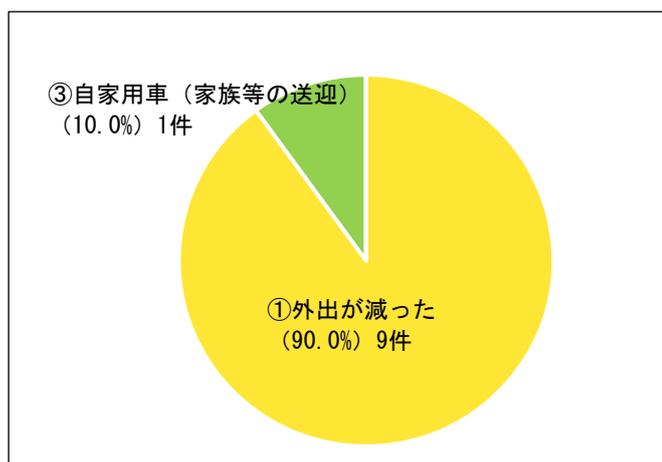


Q7の「運転免許を持っているがほとんど運転しない」と回答した方とのクロス集計では、「①外出そのものが減った」が最も多く、続いて「③「自家用車（家族などによる送迎）」を利用することが多くなった」となりました。

クロス集計の結果は、「外出そのものが減った」が回答の大半であり、公共交通とは別の手段を用いて外出している状況はほとんど確認できませんでした。

図表 公共交通の利用頻度が減った要因（Q7.（運転免許を持っているが）「③ほとんど運転しない」と回答した方とのクロス集計）（単位：件）

項目	合計
①外出そのものが減った	9
②「自家用車（自分で運転）」を利用することが多くなった	0
③「自家用車（家族などによる送迎）」を利用することが多くなった	1
④「徒歩」による移動が多くなった	0
⑤「自転車・バイク」を利用することが多くなった	0
⑥その他	0
合計	10



1. 市民アンケート調査

年齢構成別に見ると、すべての年齢で「①外出そのものが減った」が最も多く、「50～64歳」以下の各年齢では7割以上を占めました。

「②「自家用車（自分で運転）」を利用することが多くなった」は「75～84歳」が20.9%、「③「自家用車（家族などによる送迎）」を利用することが多くなった」は「16～18歳」と「85歳以上」が25.0%で多くなりました。

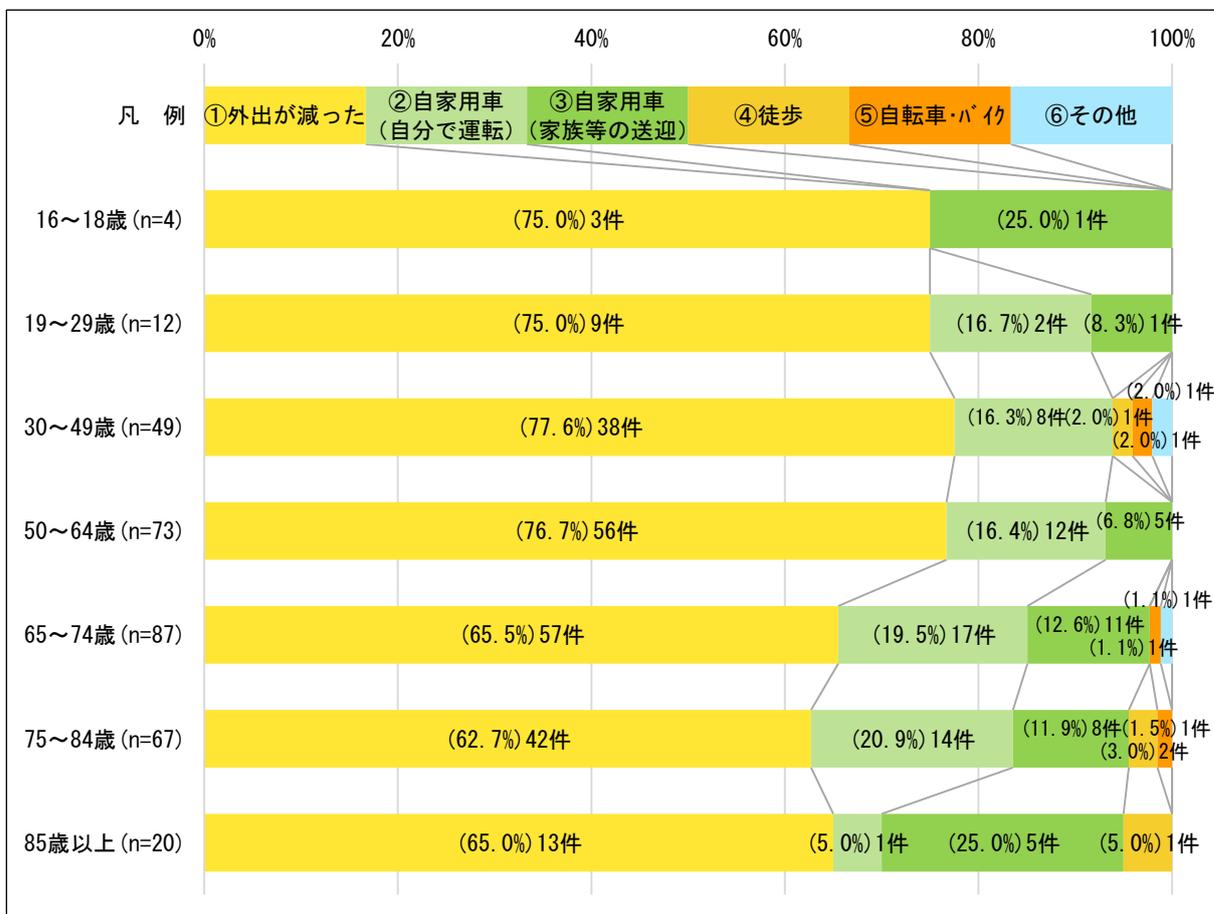


図 公共交通の利用頻度が減った要因（年齢構成別）

1. 市民アンケート調査

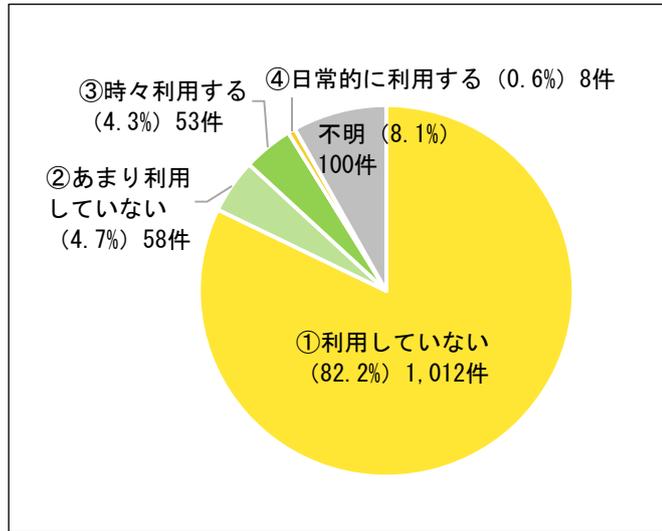
Q15. 空知中央バス循環線についてお聞きします。

Q15-1. 循環線は利用されますか。(一つに○)

「①利用していない」が82.2%で最も多く、「②あまり利用していない」が4.7%、「③時々利用する」が4.3%と同程度で続きました。

図表 循環線の利用状況（単数回答、単位：件）

項目	合計
①利用していない	1,012
②あまり利用していない	58
③時々利用する	53
④日常的に利用する	8
不明	100
合計	1,231



年齢構成別に見ると、すべての年齢で「①利用していない」が最も多く、特に「19～29歳」では9割以上となりました。

残りの選択肢については、どの年齢もほとんど回答がなく、「19～29歳」から「65～74歳」までの年齢では、「④日常的に利用する」への回答がありませんでした。

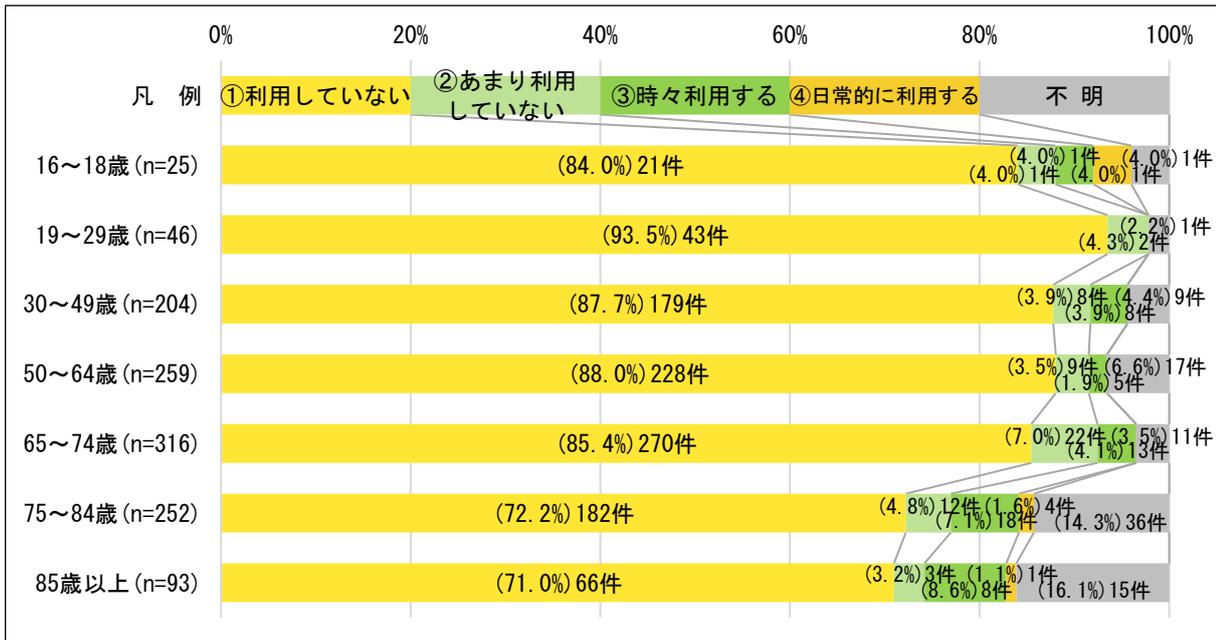


図 循環線の利用状況（年齢構成別）

1. 市民アンケート調査

居住地域別に見ると、すべての居住地で「①利用していない」が最も多く、「音江町字内園・字菊丘・字吉住・字国見・字更進」では全く利用がありませんでした。

「1～9条にお住まいの方」と「その他の地区にお住まいの方」では、どちらも「①利用していない」が約80%と居住地域による違いはあまり見られませんでした。

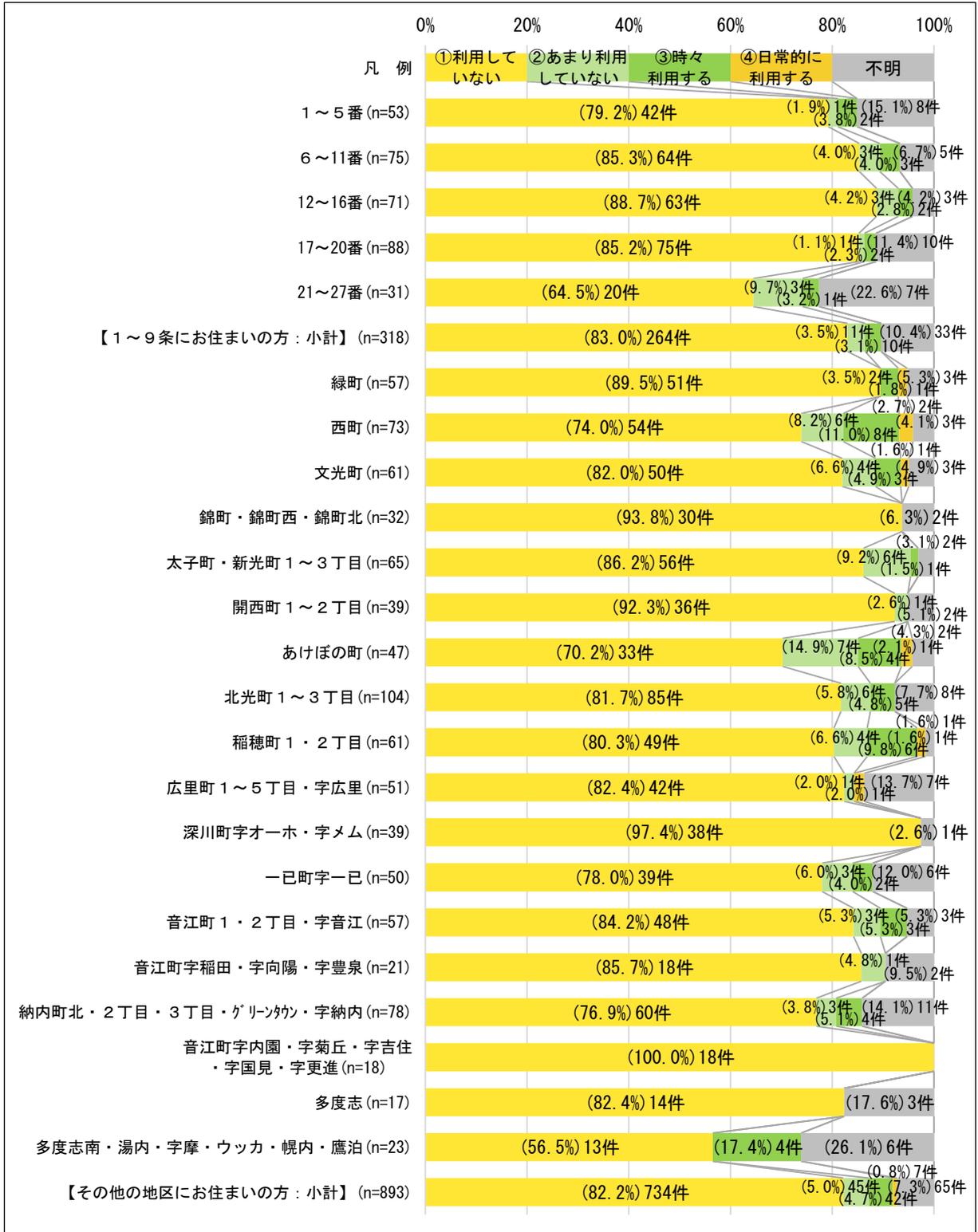


図 循環線の利用状況（居住地域別）

1. 市民アンケート調査

Q 1 5 - 2. 循環線の満足度についてお答えください。なお、回答はご家族で相談してそれぞれの項目に対して該当するものに○を付けてください。(項目ごとに一つ○)

「満足」の回答は「e) 運賃 (190円)」が41.6%で最も高く、続いて「f) 自宅と停留所間の距離」が30.9%、「g) 目的地と停留所間の距離」が28.5%となり、「不満」の回答は「c) 最終時刻」が40.9%で多くなりました。

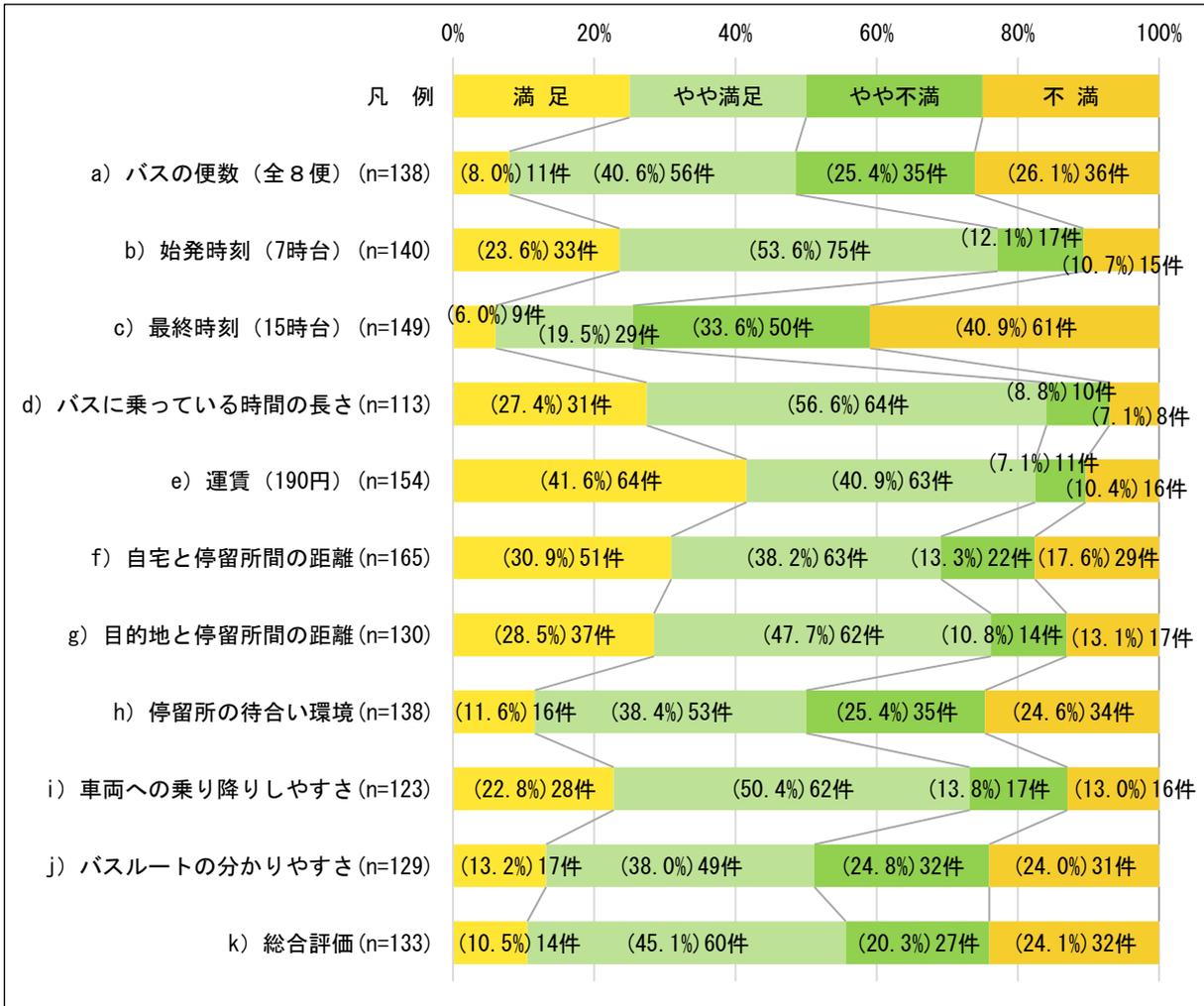


図 循環線の満足度

1. 市民アンケート調査

Q7の「運転免許を持っているがほとんど運転しない」と回答した方とのクロス集計では、「満足」の回答は「d) バスに乗っている時間の長さ」と「i) 車両への乗り降りしやすさ」が45.5%で最も高く、続いて「e) 運賃 (190円)」が44.4%となりました。

「不満」の回答は、「j) バスルートの分かりやすさ」が50.0%、「a) バスの便数 (全8便)」が43.8%と多く、全体の回答とは違った傾向が見られました。

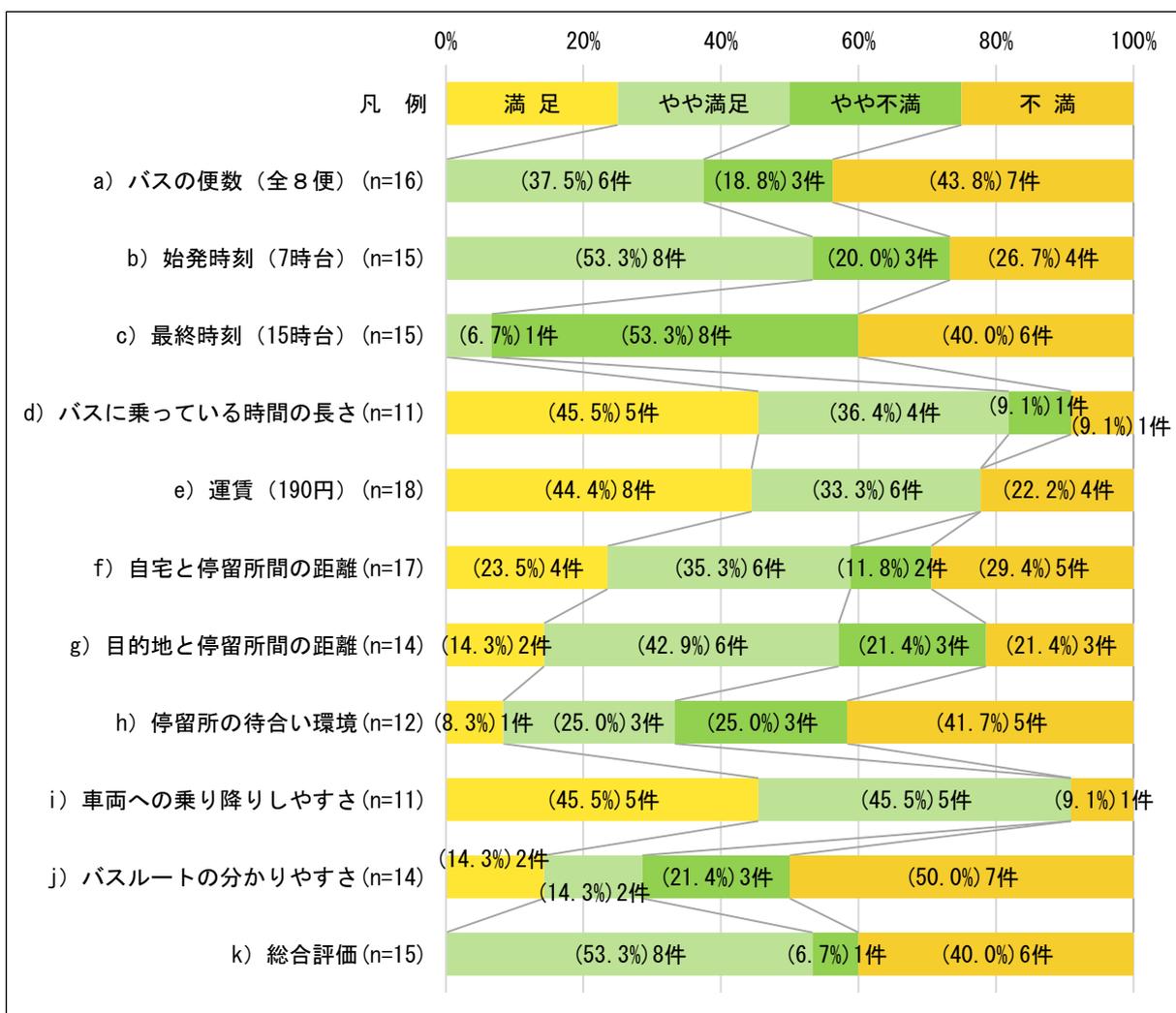


図 市内循環線の満足度 (Q7. (運転免許を持っているが)「③ほとんど運転しない」と回答した方とのクロス集計)

1. 市民アンケート調査

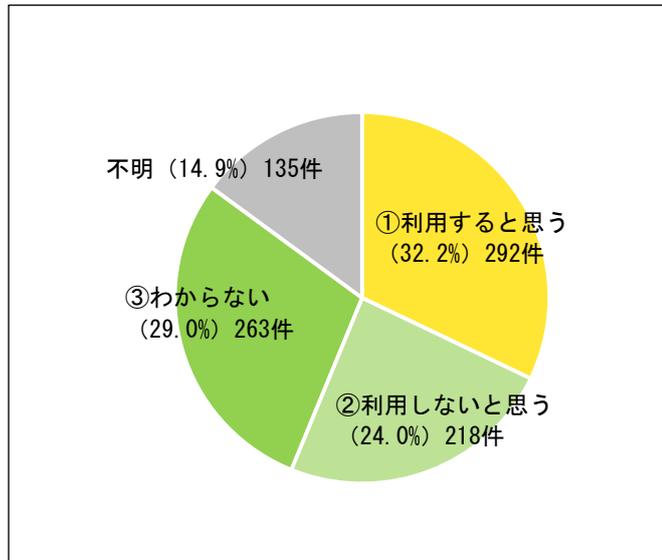
Q16. Q1で①～⑤をお答えの方へお聞きします。

Q16-1. 現在よりもバス停留所が細かく設置され、乗りたいときに電話などで連絡をしたら、最寄りのバス停留所まで10分程度で小型のバスが来てくれると仮定します。あなたは利用すると思いますか。(一つに〇)

「①利用すると思う」が32.2%で最も多くなりました。

図表 バスが改善されたら利用するか（単数回答、単位：件）

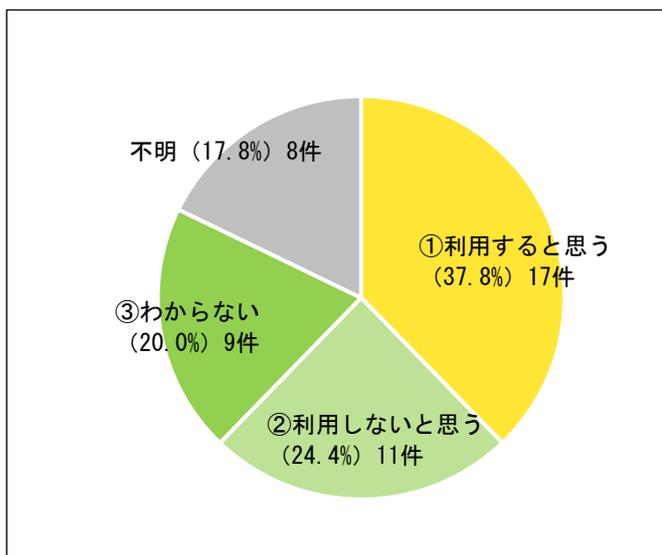
項目	合計
①利用すると思う	292
②利用しないと思う	218
③わからない	263
不明	135
合計	908



Q7の「運転免許を持っているがほとんど運転しない」と回答した方とのクロス集計では、「①利用すると思う」が最も多く、続いて「②利用しないと思う」、「③わからない」となりました。

図表 バスが改善されたら利用するか（Q7.（運転免許を持っているが）「③ほとんど運転しない」と回答した方とのクロス集計）（単位：件）

項目	合計
①利用すると思う	17
②利用しないと思う	11
③わからない	9
不明	8
合計	45



1. 市民アンケート調査

年齢構成別に見ると、「①利用すると思う」が最も多いのは、「16～18歳」の他に、「65～74歳」、「75～84歳」、「85歳以上」と年齢が高い層の回答が特に多くなりました。

対して、「19～29歳」、「30～49歳」は、「②利用しないと思う」が最も多い回答となり、年齢による違いが表れました。

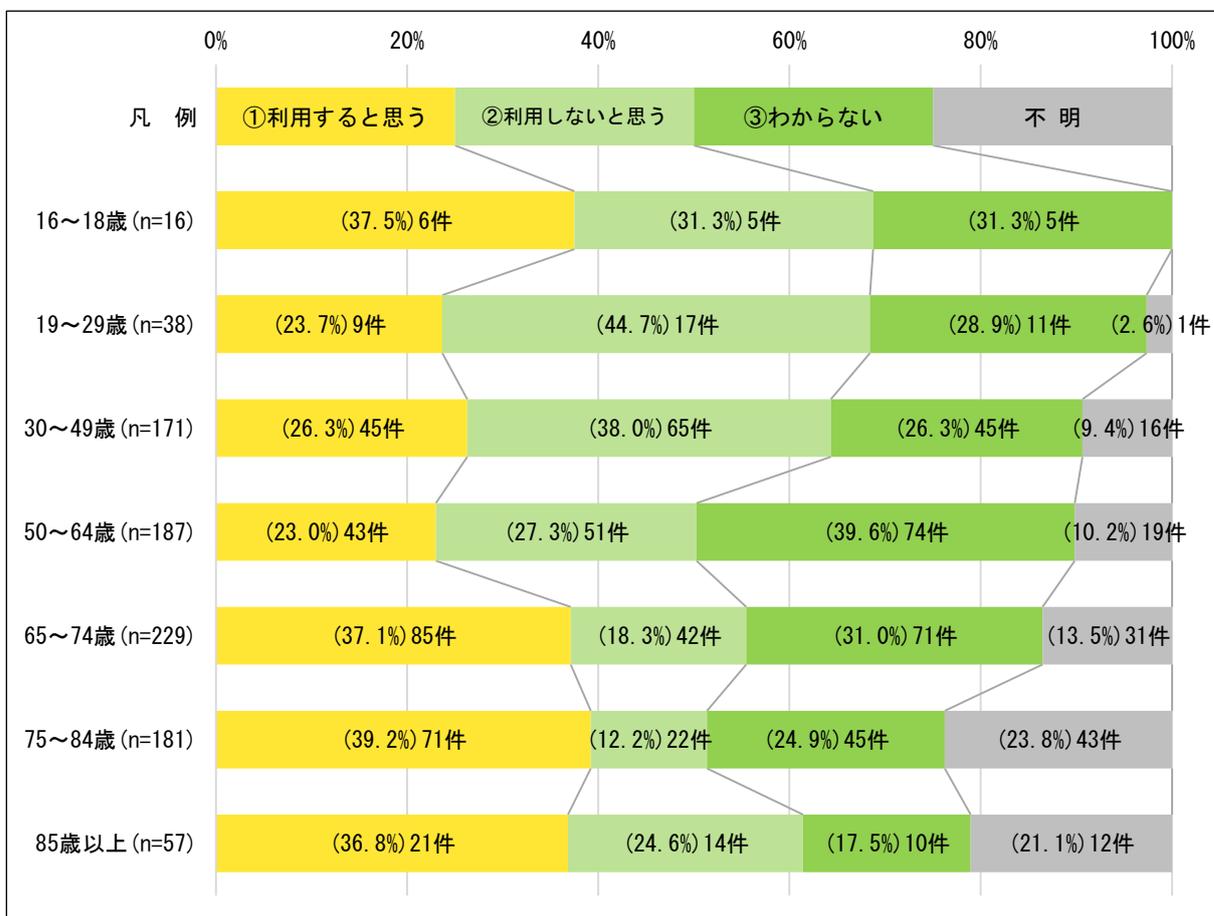


図 バスが改善されたら利用するか（年齢構成別）

1. 市民アンケート調査

居住地域別に見ると、「①利用すると思う」は、「あけぼの町」が40.4%と最も多く、続いて「緑町」が38.6%、「錦町・錦町西・錦町北」が37.5%となりました。

また、「1～9条にお住まいの方」は28.9%、「その他の地区にお住まいの方」が33.9%となり、郊外の居住者のほうが利用への意向が高くなりました。



図 バスが改善されたら利用するか（居住地域別）

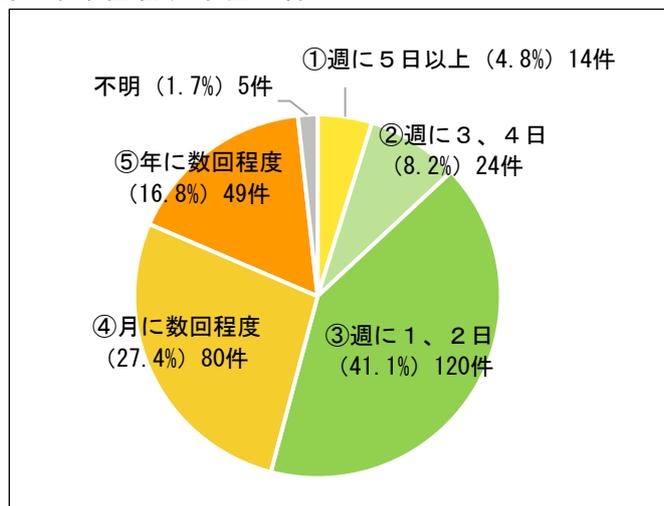
1. 市民アンケート調査

Q16-2. Q16-1で「①利用すると思う」をお答えの方へお聞きします。どのぐらいの頻度でご利用されますか。(一つに〇)

「③週に1、2日」が41.1%と最も多く、続いて「④月に数回程度」が27.4%となりました。

図表 バスが改善された場合の利用頻度（単数回答、単位：件）

項目	合計
①週に5日以上	14
②週に3、4日	24
③週に1、2日	120
④月に数回程度	80
⑤年に数回程度	49
不明	5
合計	292



年齢構成別に見ると、「16～18歳」は、「①週に5日以上」が50.0%と半数を占め、各年齢のなかで最も利用頻度が高い回答となりました。

他の年齢では、「③週に1、2日」または「④月に数回程度」との回答が多い傾向にありました。

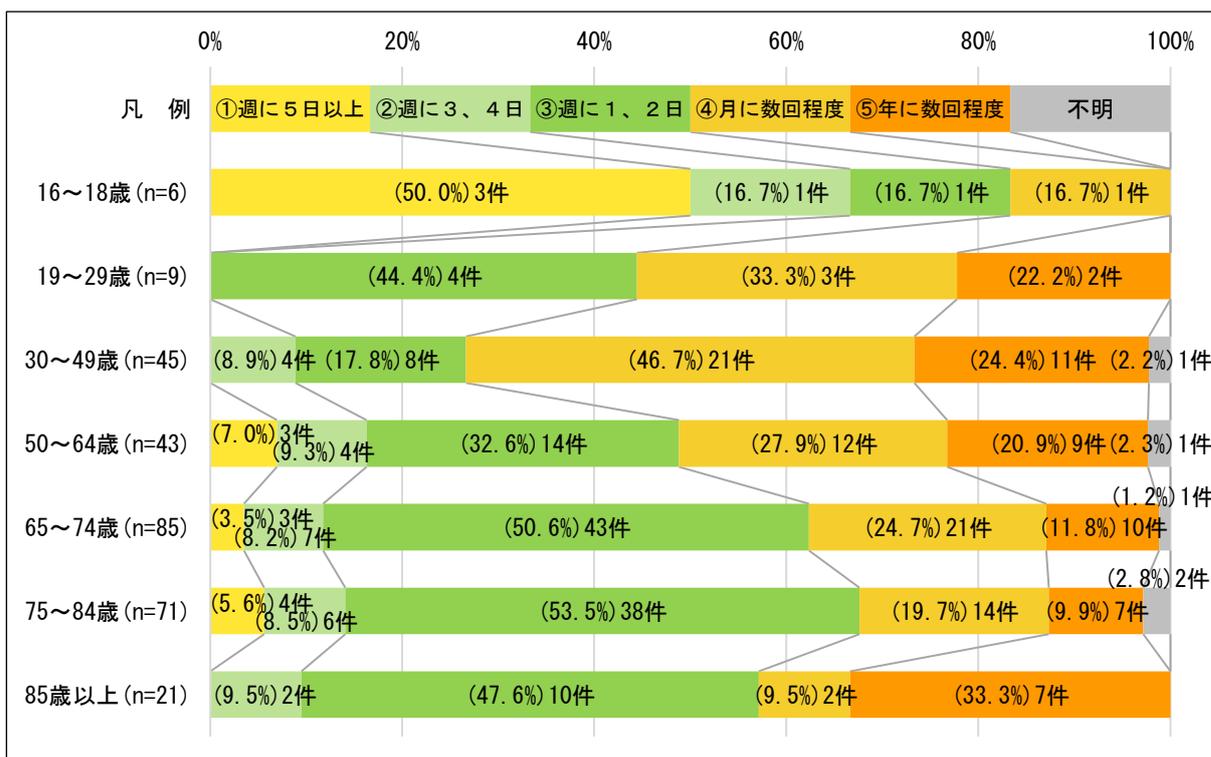


図 バスが改善された場合の利用頻度（年齢構成別）

1. 市民アンケート調査

Q16-3. Q16-1のバスが下記の運賃の場合、利用しますか。(それぞれ一つに○)

「250円」までは「①利用する」が多く、「300円」では「②利用しない」の割合が上回り、「400円」以上になると「②利用しない」が8割以上となりました。

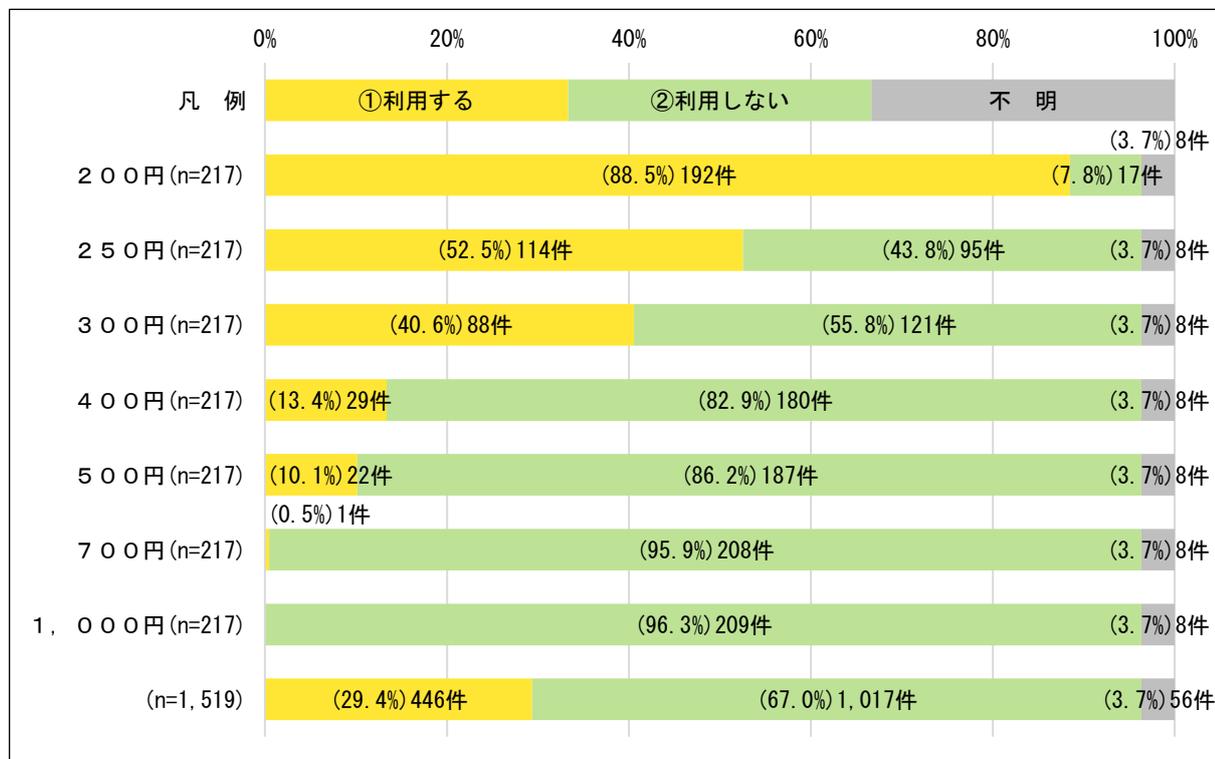


図 バスが改善された場合の運賃

1. 市民アンケート調査

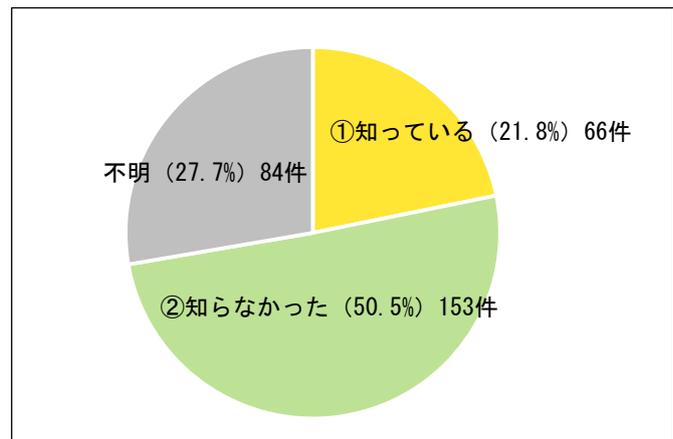
Q 17. Q 1で⑯～㉓をお答えの方へお聞きします。デマンド交通の運行について、Q 17-1からQ 17-4をお答えください。

Q 17-1. 現在、空知中央バス「更進線」と北海道中央バス「芦旭線」の代替交通としてデマンド交通「納内経由菊丘線」の実証運行が行われていますが、ご存知でしょうか。(一つに○)

「②知らなかった」が50.5%と半数以上の方に認知されていない状況にあることが示されました。

図表 デマンド交通の実証運行の認知度（単数回答、単位：件）

項目	合計
①知っている	66
②知らなかった	153
不明	84
合計	303



年齢構成別に見ると、最も認知度が高かったのは「65～74歳」で、「①知っている」が30.1%となり、続いて「50～64歳」が27.1%となりました。

「16～18歳」と「19～29歳」は、「①知っている」の回答が全くなく、若い年代には認知されていない状況にあることが示されました。

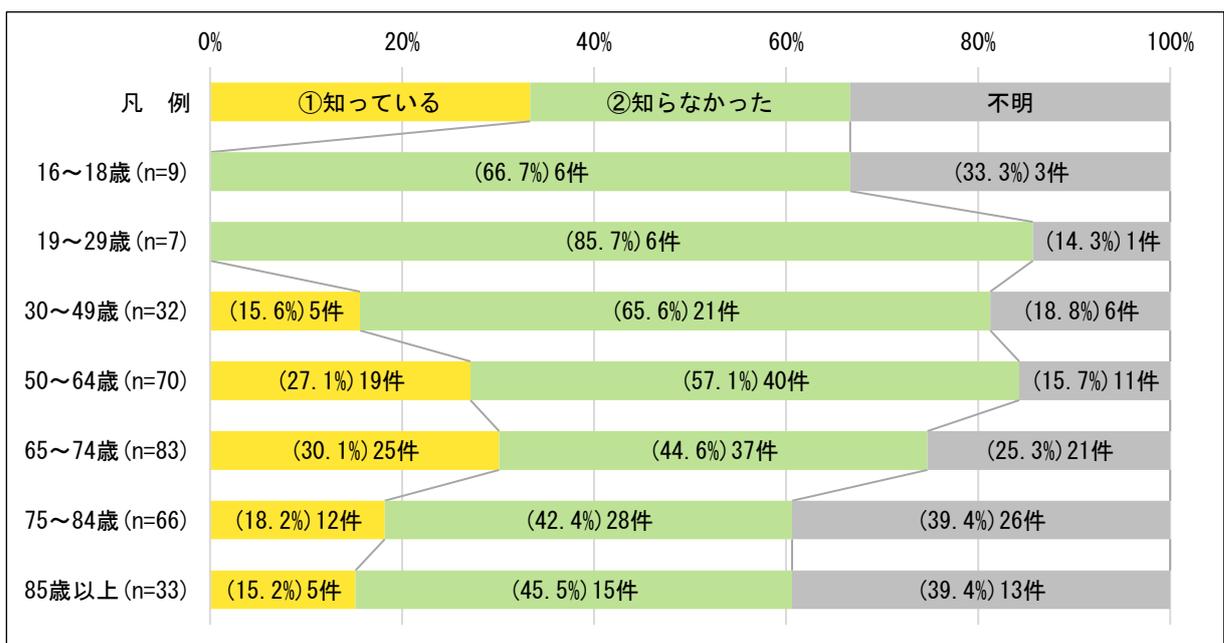


図 デマンド交通の実証運行の認知度（年齢構成別）

1. 市民アンケート調査

居住地域別に見ると、最も認知度が高かったのは実証実験の対象エリアである「音江町字内園・字菊丘・字吉住・字国見・字更進」で、「①知っている」が66.7%となりました。

それ以外の地域は、「②知らなかった」の割合が高く、「多度志」と「多度志南・湯内・字摩・ウッカ・幌内・鷹泊」は、「①知っている」の回答がありませんでした。

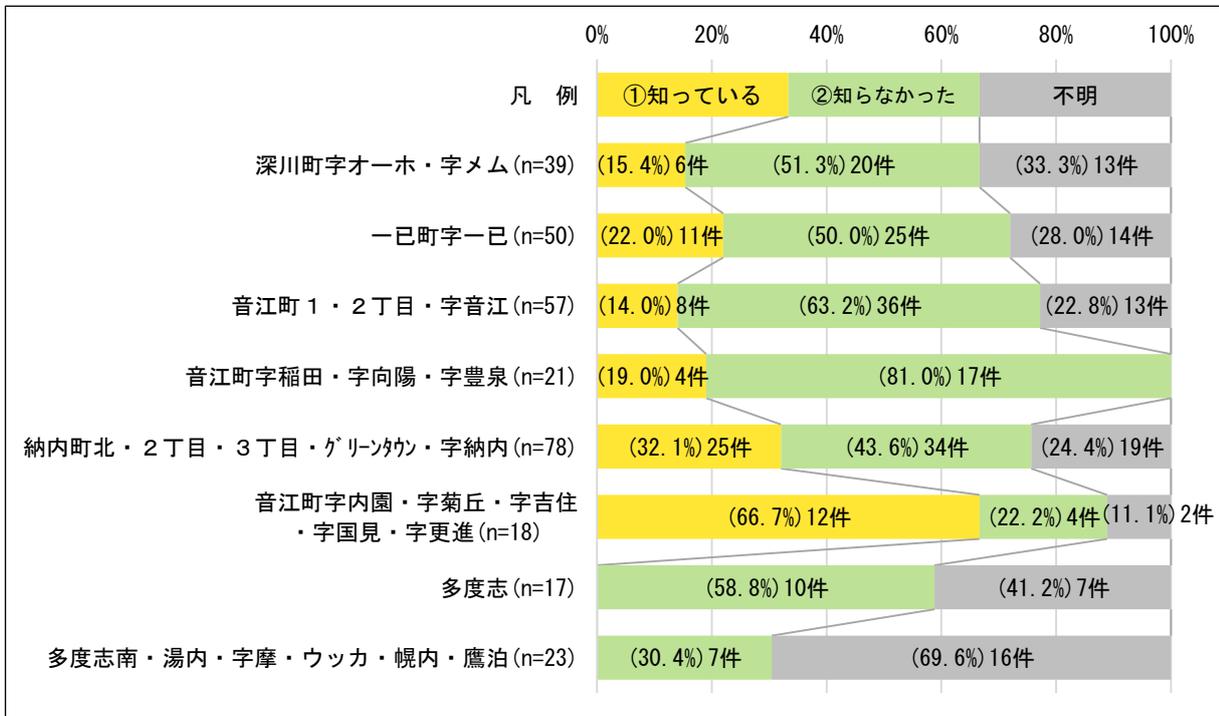


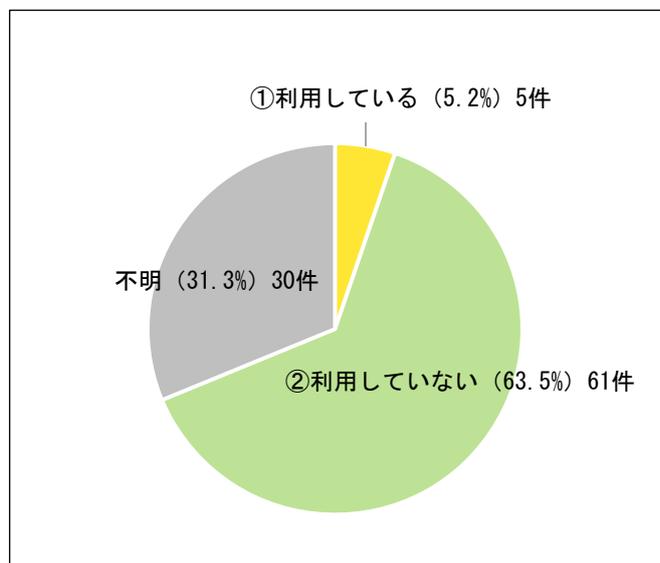
図 デマンド交通の実証運行の認知度（居住地域別）

Q 17-2. デマンド交通「納内経由菊丘線」の対象地域にお住まいの方にお聞きします。
現在ご利用はされていますか。(一つに○)

「②利用していない」が63.5%となり、一方で「①利用している」は5.2%とほとんど利用されていないことが示されました。

図表 デマンド交通の利用（単数回答、単位：件）

項目	合計
①利用している	5
②利用していない	61
不明	30
合計	96



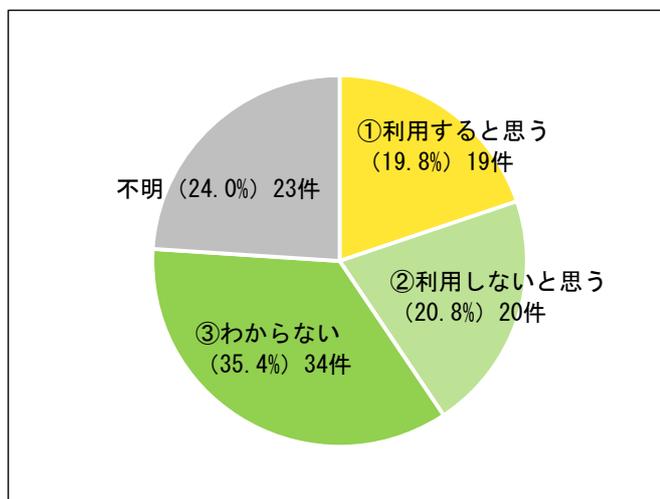
1. 市民アンケート調査

Q 17-3. デマンド交通をご自宅で利用できるようになった場合の利用の有無についてお答えください。(一つに〇)

「③わからない」が35.4%で最も多く、続いて「②利用しないと思う」と「①利用すると思う」がほぼ同数となりました。

図表 デマンド交通を利用できる場合の意向（単数回答、単位：件）

項目	合計
①利用すると思う	19
②利用しないと思う	20
③わからない	34
不明	23
合計	96



年齢構成別に見ると、最も利用への意向が高かったのは「65～74歳」で33.3%となり、続いて「75～84歳」が23.8%、「85歳以上」が20.0%となりました。

「16～18歳」と「19～29歳」は、「①利用すると思う」の回答がありませんでした。

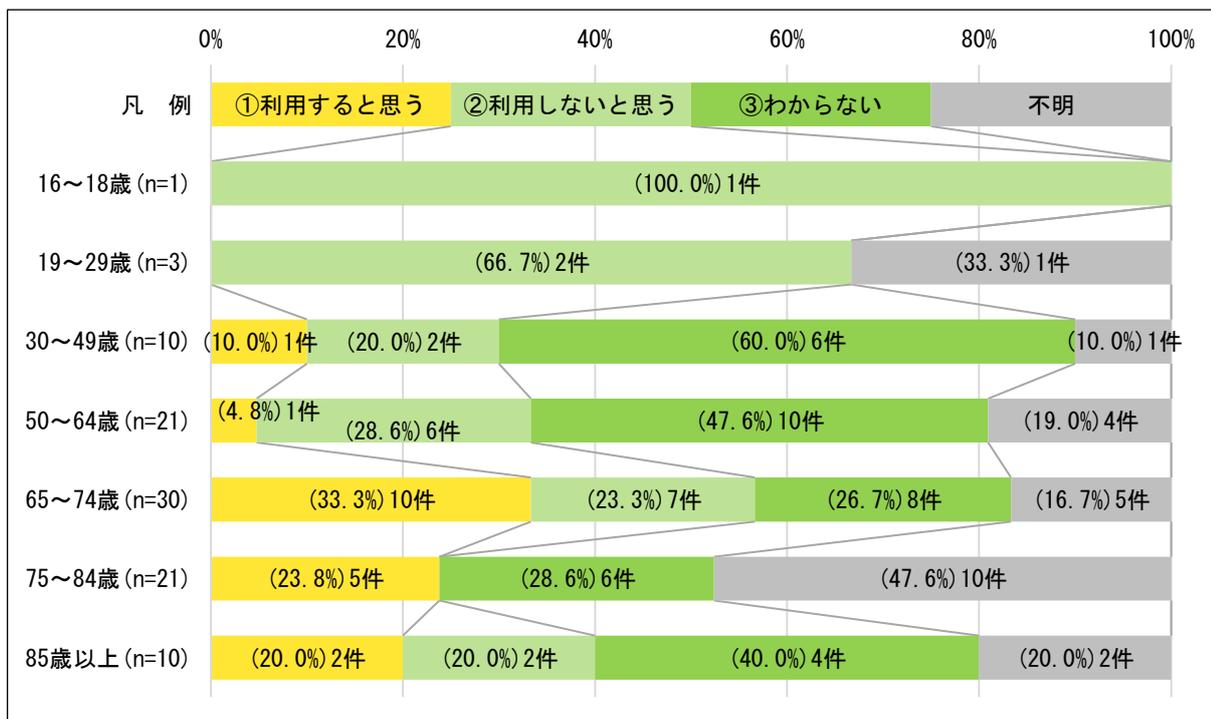


図 デマンド交通を利用できる場合の意向（年齢構成別）

1. 市民アンケート調査

居住地域別に見ると、最も利用意向が高かったのは「多度志」で、「①利用すると思う」が41.2%となり、「②利用しないと思う」に対しては回答がありませんでした。

「音江町字内園・字菊丘・字吉住・字国見・字更進」は、「①利用すると思う」が38.9%を占めました。また、「②利用しないと思う」も33.3%となり、それ以外の地域は、「③わからない」が最も多くなりました。

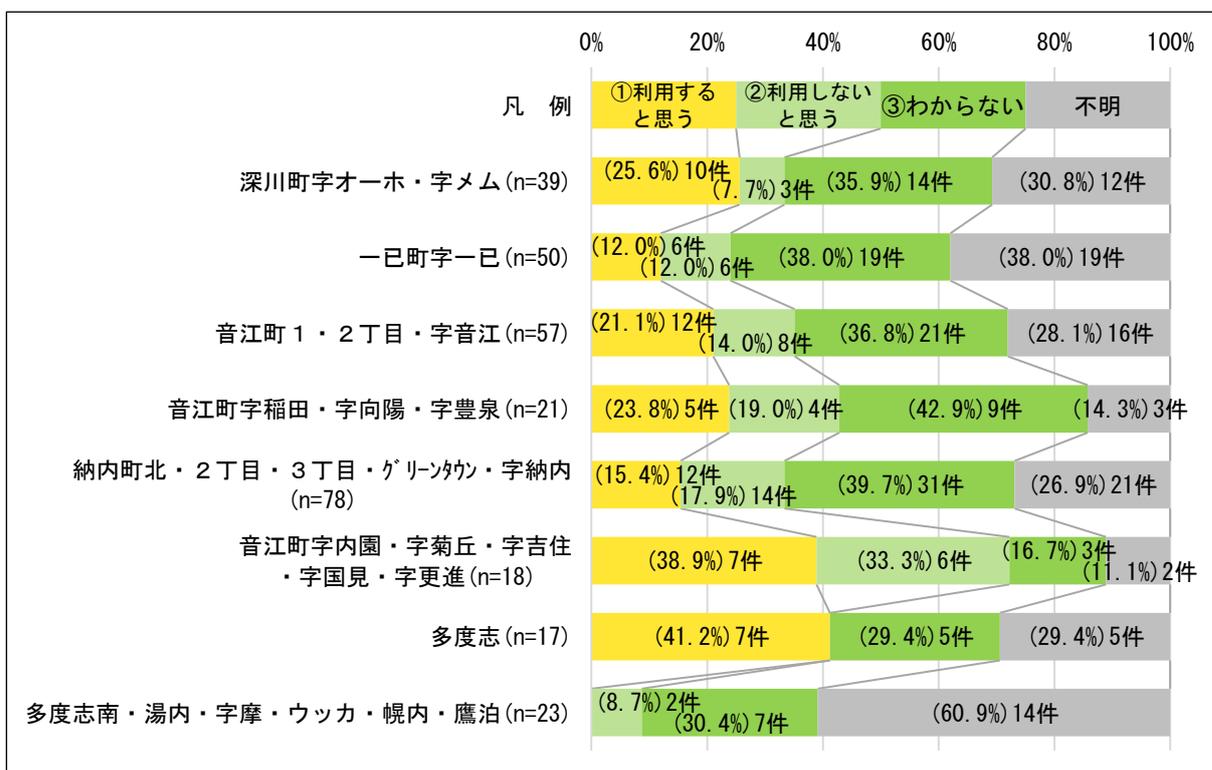


図 デマンド交通を利用できる場合の意向（居住地域別）

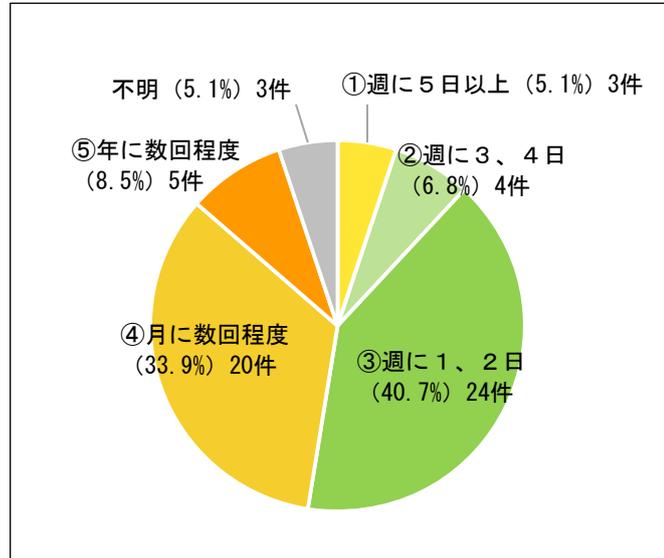
1. 市民アンケート調査

Q17-4. Q17-3で「①利用すると思う」をお答えの方へお聞きします。どのぐらいの頻度でご利用されると思いますか。(一つに〇)

「③週に1、2日」が40.7%、続いて「④月に数回程度」が33.9%となりました。

図表 デマンド交通を利用する場合の頻度（単数回答、単位：件）

項目	合計
①週に5日以上	3
②週に3、4日	4
③週に1、2日	24
④月に数回程度	20
⑤年に数回程度	5
不明	3
合計	59



年齢構成別に見ると、比較的利用が多い「65～74歳」では「③週1、2日」と「④月に数回程度」が41.7%と最も多く、「75～84歳」では「③週1、2日」が47.8%と最も多い回答となりました。

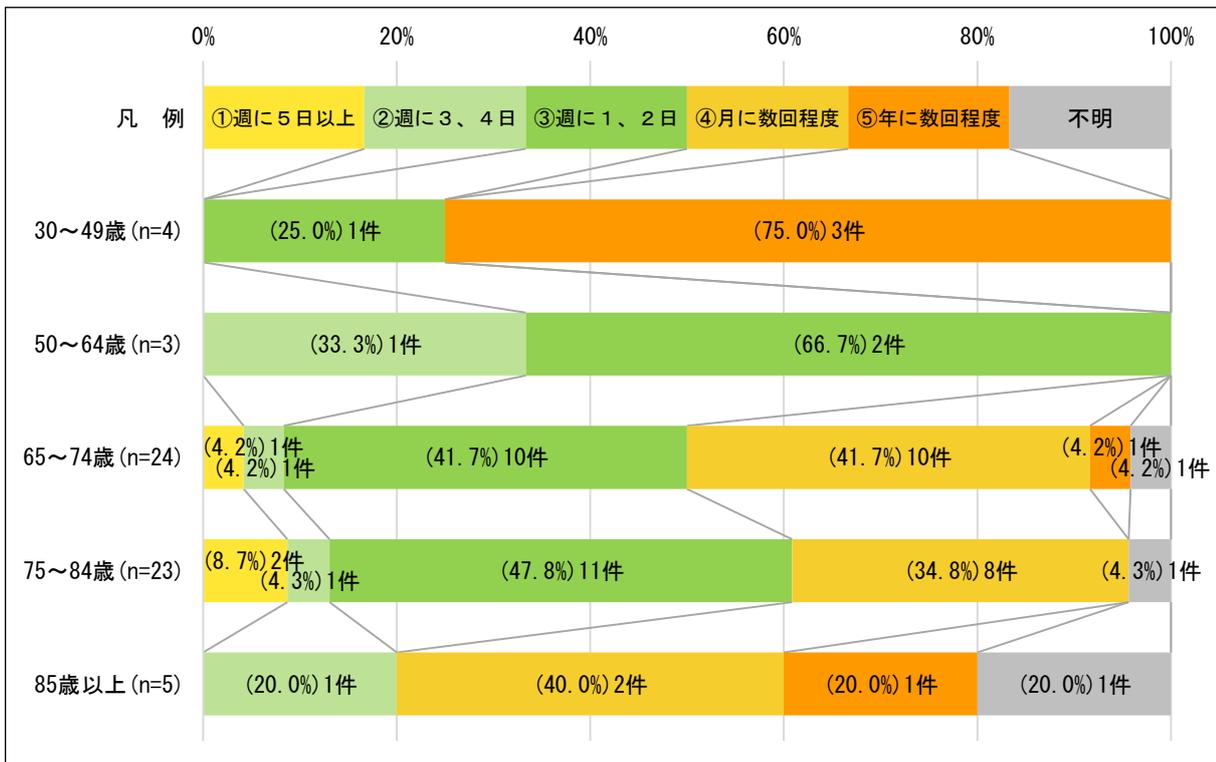


図 デマンド交通を利用する場合の頻度（年齢構成別）

Q 17-5. デマンド交通が下記の運賃の場合、利用しますか。(それぞれ一つに○)

「300円」は「①利用する」が8割以上、「400円」は「①利用する」と「②利用しない」が拮抗し、「750円」以上になると「②利用しない」が大半を占めるといった結果になりました。

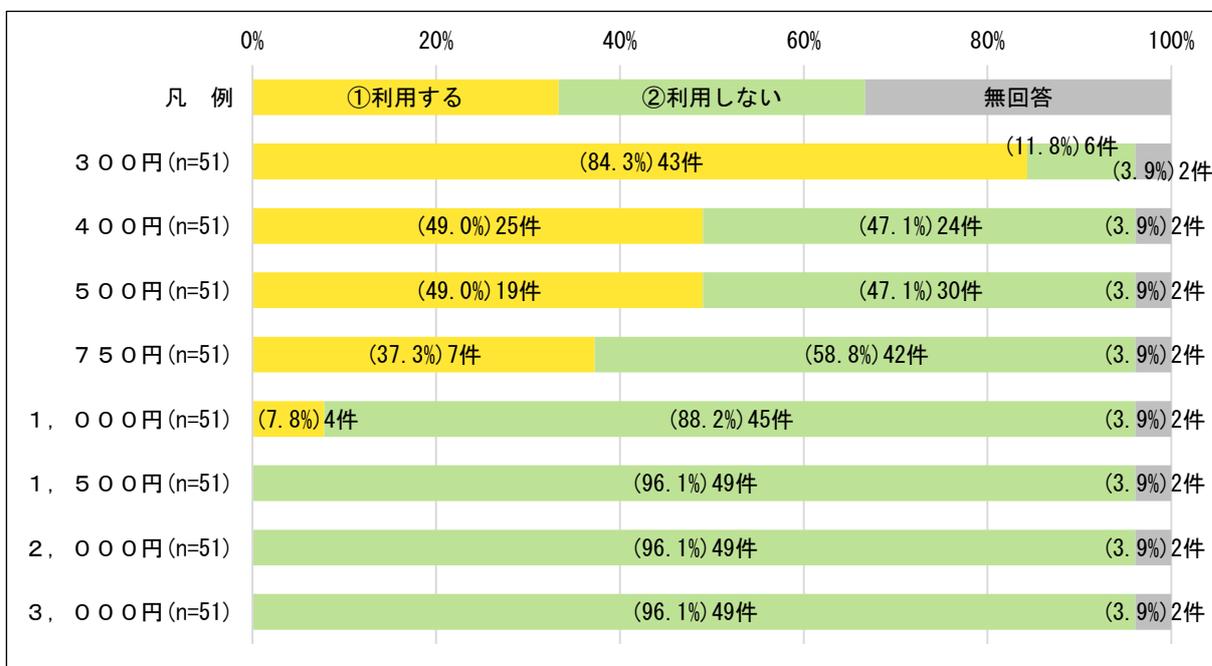


図 デマンド交通の運賃

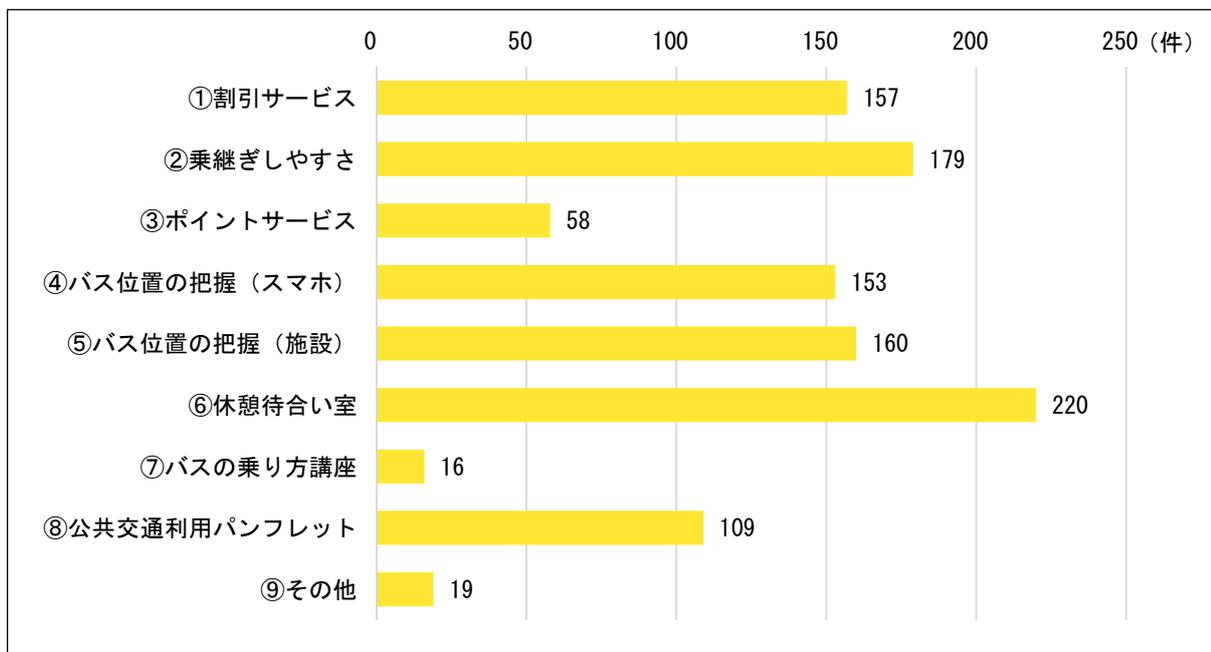
1. 市民アンケート調査

Q18. バスなど公共交通にあると便利なサービス等についてお答えください。(三つ以内を○で囲んでください)

「⑥休憩待合い室」が220件で最も多く、続いて「②乗継ぎしやすさ」が179件、「⑤バス位置の把握（施設）」が160件、「①割引サービス」が157件、「④バス位置の把握（スマホ）」が153件となりました。

図表 公共交通にあると便利なサービス（三つ以内選択・回答、単位：件）

項目	合計
①商店・店舗と連携して、バスの利用に応じた買物や飲食の割引サービス	157
②空知中央バス循環線とJR函館本線や空知中央バス郊外線等との接続、乗継ぎしやすさ	179
③空知中央バス循環線に乗車するごとにポイントが貯まるサービス	58
④スマートフォンで、今バスがどこを運行しているか把握できるサービス	153
⑤店舗や病院等にモニターを設置して、バスがどの辺りを動いているか、何分後に到着するかが分かるサービス	160
⑥店舗や病院等の一角にバスなどを待てる休憩室の確保	220
⑦バスの乗り方がよくわからないので、バスの乗り方教室などを開催する	16
⑧空知中央バス循環線の運行時刻とJR函館本線や空知中央バス郊外線等との接続時刻がわかる公共交通利用パンフレット	109
⑨その他	19
合計	1,071



▼「⑧その他」の記述内容

- ・ICカード、電子マネー（5件）
- ・わからない（3件）
- ・運行本数の増加（3件）
- ・目的地までの経路や方法が分かるアプリ（1件）
- ・デマンド（1件）
- ・無人の循環運行バス（1件）
- ・介助の必要な高齢者も利用できるサービス（1件）
- ・その他（3件）：スマホは使えないなど

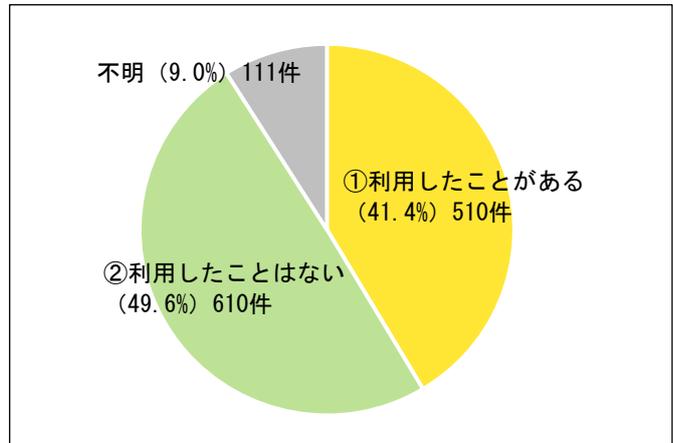
Q19. 市では、平成19年に廃止されて以降未整備となっているバスターミナルと、老朽化が進む中央公民館（深川市5条7-23）の現状を踏まえて、JR深川駅西側に交通結節機能の強化を図ることが可能な、新たなまちの交流拠点となる「複合施設」の整備検討を進めています。この施設の中核となるバスターミナル機能と生涯学習機能についてお聞きします。

Q19-1. 複合施設の整備にあたり、機能が組み込まれる現在の中央公民館について、これまでの利用有無と利用頻度をお答えください。（それぞれ一つに○）

「②利用したことはない」が49.6%となり、「①利用したことがある」より回答が多くなりました。

図表 中央公民館の利用有無（単数回答、単位：件）

項目	合計
①利用したことがある	510
②利用したことはない	610
不明	111
合計	1,231



年齢構成別に見ると、「75～84歳」以外の年代では「②利用したことはない」の回答が多くなりました。

「②利用したことはない」の回答については、「30～49歳」が60.8%で最も多く、続いて「19～29歳」が58.7%、「16～18歳」が52.0%となり、若年者層で多い傾向が見られました。

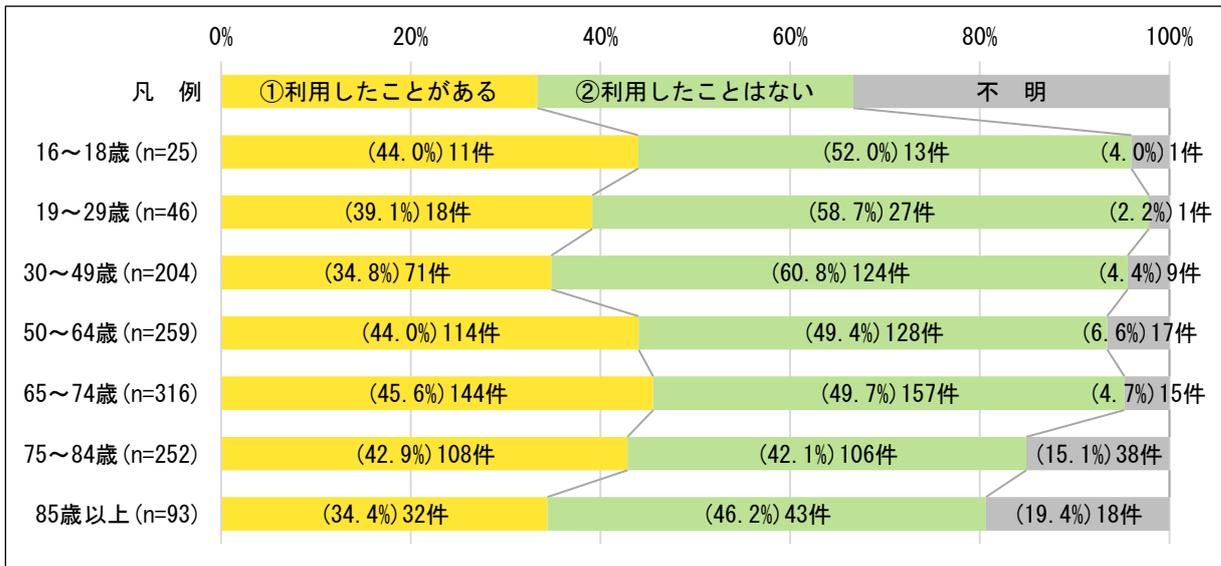


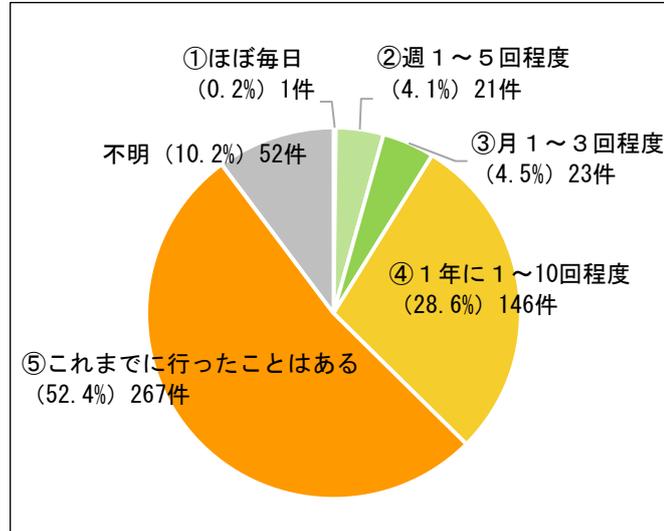
図 中央公民館の利用有無（年齢構成別）

1. 市民アンケート調査

中央公民館の利用頻度は、「⑤これまでに行ったことはある」が52.4%、「④1年に1～10回程度」が28.6%となり、定期的にご利用している人は少ないと言える結果となりました。

図表 中央公民館の利用頻度（単数回答、単位：件）

項目	合計
①ほぼ毎日	1
②週1～5回程度	21
③月1～3回程度	23
④1年に1～10回程度	146
⑤これまでに行ったことはある	267
不明	52
合計	510



年齢構成別に見ると、「65～74歳」以下の層では「⑤これまでに行ったことはある」が最も多くなり、「75～84歳」以上では、「④1年に1～10回程度」が最も多くなりました。また、定期的にご利用する人は高齢層に高い傾向が見られました。



図 中央公民館の利用頻度（年齢構成別）

1. 市民アンケート調査

Q 1 9 - 2. 現在の中央公民館について、満足度をお答えください。ご家族で相談してそれぞれの項目に対して該当する満足度に○を付けてください。(項目ごとに一つ○)

満足度が高かった(「満足」と「やや満足」)のは「a)交通の便」で55.8%、満足度が低かった(「やや不満」と「不満」)のは「f)駐車場・駐輪場の数」で63.7%となりました。

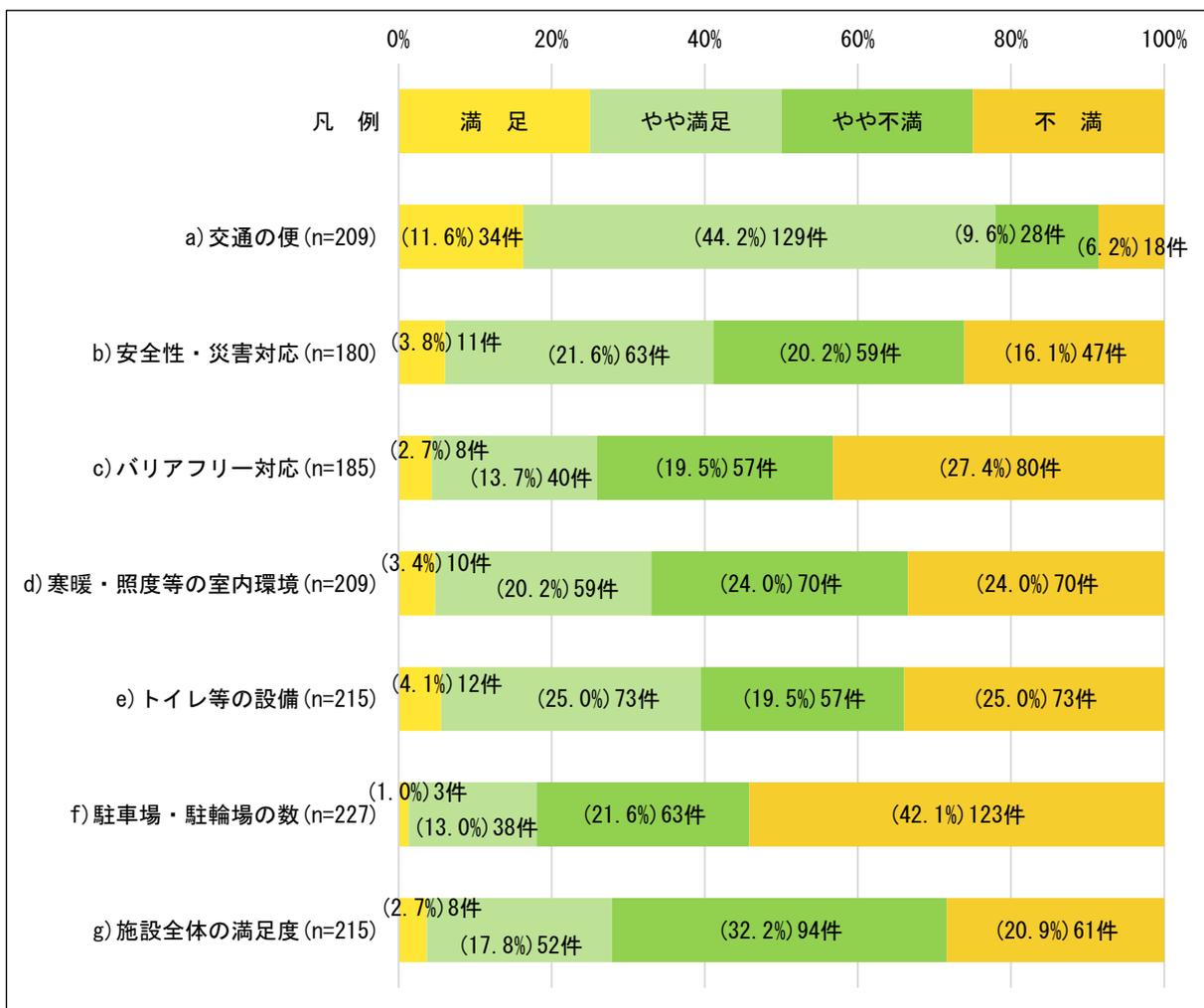


図 中央公民館の満足度

1. 市民アンケート調査

Q 19 - 3. バスターミナル機能と生涯学習機能を中心とした、新たなまちの交流拠点として、利用したいと思う機能（空間）について、ご家族で相談してお答えください。（当てはまるもの三つまで○）

「①JR・バス待合」が292件で最も多く、続いて「②軽飲食（カフェ）」が266件、「④特産品等販売」が162件、「⑦講演・展示・イベント」が103件となりました。

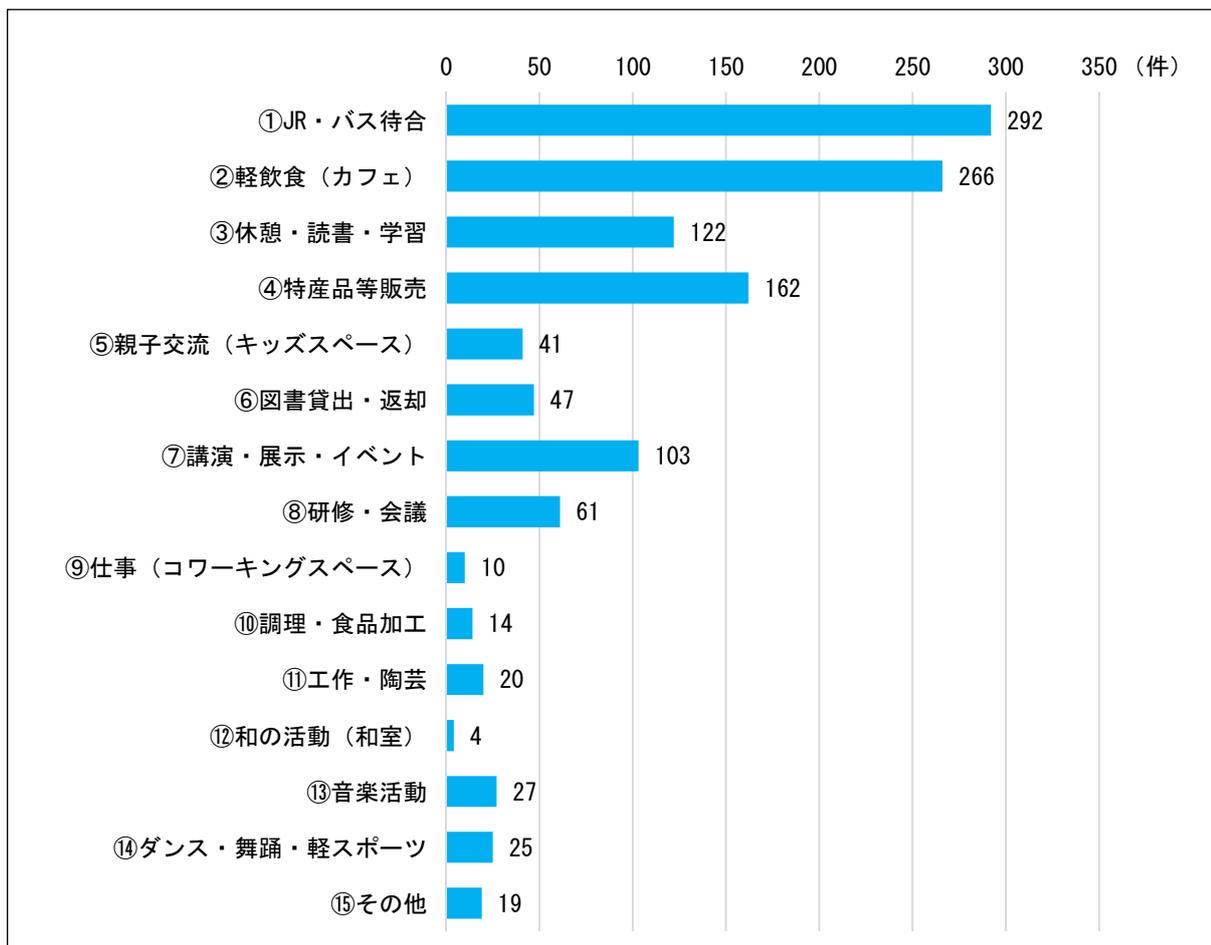


図 新たなまちの交流拠点で利用したいと思う機能（空間）（三つまで選択・回答）

▼「⑮その他」の記述内容

- ・子どもたちの遊び場、娯楽施設（4件）：囲碁将棋、スケボーパークなど
- ・公共機能（3件）：市等の各種手続き等が出来る窓口やキャッシュコーナーなど
- ・無料Wi-Fi（2件）
- ・駐車場（2件）
- ・飲食（1件）：地域の美味しい物が食べられるところ
- ・トイレ（1件）
- ・レンタルスペース（1件）
- ・その他（2件）：木を感じられる建物

1. 市民アンケート調査

問4. その他、公共交通についてご意見等がありましたら、お書きください。

自由意見では、71人の回答者から「循環バス」、「高齢者や子どもへの配慮」、「バスの接続・本数・定時性」、「デマンドに関する内容」など、様々な意見を得ることができました。

項目	件数	内容
循環線に関する意見	11	路線がわかりにくい、乗車券の購入が不便、認知度向上が必要
高齢者や子どもへの配慮・やさしい体制を希望	10	乗降の段差解消、免許返納後の対応
施設に関する意見	10	災害時の避難場所としての利用、ターミナル内の充実・周辺施設と複合化など
アンケートに関する意見	10	質問が難しい、直接ヒアリングを要望
バスの接続・本数・定時性の改善要望	7	開西町地区から市役所へはとても不便、土日のバス本数が少ない、地域間での運行本数の是正
デマンドタクシーの導入希望	6	無駄の少ない運行（AI化）、事故の減少に期待
バスの小型化を要望	5	現状での利用が少数、小型車両への変更
自家用車があるため公共交通（バス）には乗らない、利用しない	4	
駐車場の整備・充実を希望	4	深川駅周辺の駐車場増加、パークアンドライドの推進
まちづくりとの連携を要望	4	コンパクト化によるエコ推進、広域連携
運賃の割引希望	4	割引券・無料券の配布、利用目的に応じた割引制度
冬の運行、除雪の強化を要望	4	冬の移動困難の解消、除雪の徹底
郊外の居住者の意見を反映した施策を重視	2	運転できなくなっても住み続けられる環境整備
バスやJRの最終時間・本数の見直し要望	2	
JR留萌線の廃線に関する意見	2	バス転換への対応
バス停の位置・数の増加要望	2	新光町のバス停
その他	6	ICカードの使用、コロナへの対応

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

2 路線バス乗降調査及び意識調査

2.1 目的

利用者に着目することで公共交通の利用状況の細部を具体的に把握するとともに、公共交通利用者の利用実態及び公共交通に関する意向を把握することを目的とします。

2.2 調査の概要

各調査の概要は、以下のとおりです

表 調査の概要

種別	調査の概要
路線バス乗降調査	<ul style="list-style-type: none"> ・市内線及び広域路線全便に対して、深川市内のバス停留所において乗用車人数と降車人数をカウント（世代別、性別） ・調査員が乗車する区間は、市内区間のみとし、広域路線は市外利用者に対する聞き取り調査から乗降停留所を把握
路線バス意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ・市内線及び広域路線全便を対象とした乗降調査と併せ、乗客に直接ヒアリング（アンケート） ・ヒアリングの概要 <ul style="list-style-type: none"> ▶住まい ▶路線ごとの住まいの詳細 ▶バスの利用状況（行き・帰りの利用、利用頻度） ▶外出目的 ▶公共・公益施設の利用 ▶乗継ぎの状況 ▶バスの満足度

2.3 調査実施のスケジュール

調査実施スケジュールは、以下のとおりです。

表 調査実施スケジュール

路線名	バス会社名	調査区間	調査日時
循環線	空知中央バス	深川市立病院～深川駅（あけぼの先回り）	R4年7月19日（火） 6:30～20:30
循環線	空知中央バス	深川市立病院～深川駅（西高先回り）	R4年7月19日（火） 6:30～20:30
多度志線	空知中央バス	深川市立病院～多度志	R4年7月19日（火） 6:30～20:30
西北星線	空知中央バス	深川西高校前～西北星	R5年1月17日（火） 7:00～19:00
滝深線	空知中央バス	深川市立病院～江部乙中央通	R4年7月19日（火） 6:30～20:30
深滝線	空知中央バス	深川市立病院～妹背牛	R4年7月19日（火） 6:30～20:30
深旭線	空知中央バス	深川市立病院～神威古潭神社前	R4年7月20日（水） 7:00～20:45
沼田線	空知中央バス	深川市立病院～ちっぶゆう&ゆ入口前	R4年7月19日（火） 6:30～20:30
北竜線	空知中央バス	深川市立病院～妹背牛	R4年7月19日（火） 6:30～20:30
留萌旭川線	沿岸バス・道北バス	深川市境界～高津山入口	R4年7月20日（水） 7:00～20:45
深名線	ジェイ・アール北海道バス	深川駅～鷹泊自然公園入口	R4年7月20日（水） 7:00～20:45

2.4 乗降調査結果

1) 市内線循環線（あけぼの方面先回り）

①利用者数

利用者数は、合計で20人となり、「第2便」が10人で最も多く、続いて「第3便」が5人、「第1便」が3人、「第4便」が2人となりました。

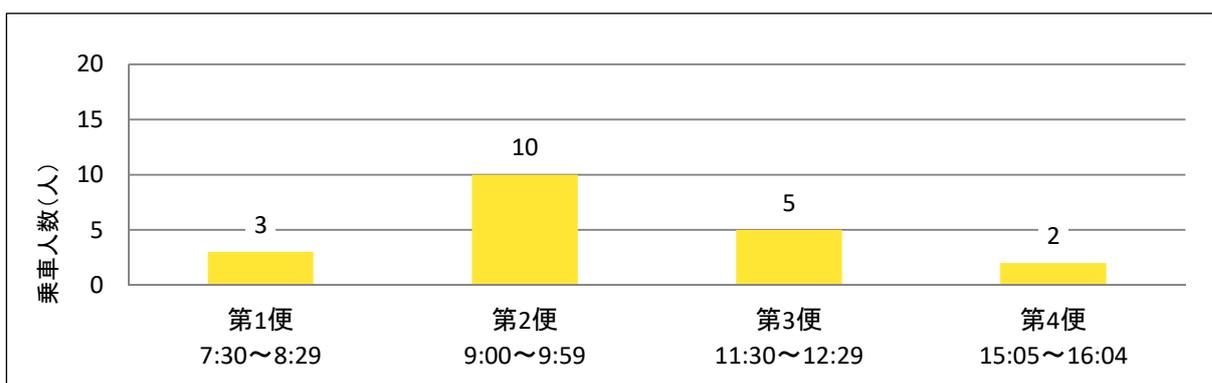


図 利用者数

②年齢

乗客の年齢階層は、第1便は「16~18歳」と「19~65歳」、第2便は「65歳以上」、第3便は「19~65歳」、第4便は「19~65歳」と「65歳以上」の利用が多くなりました。

「6歳以下」については、第2便と第3便で利用が確認できました。

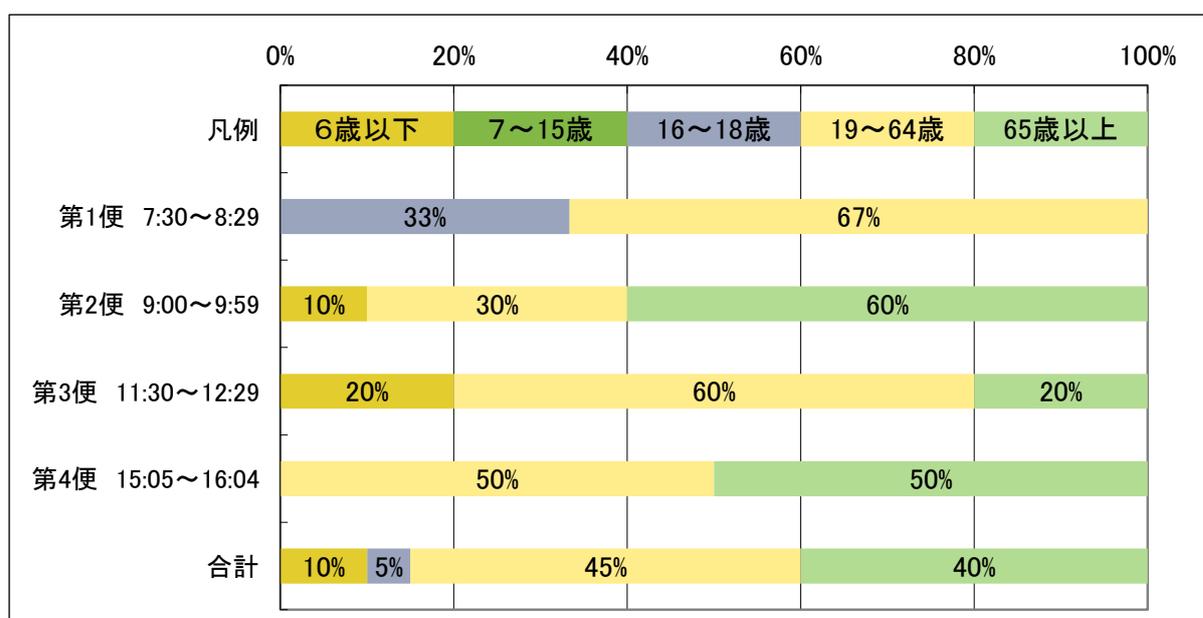


図 乗客の年齢階層

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

③性別

乗客の性別では、各便で「女性」の利用が多く、第1便は乗客すべて、第2便と第3便は乗客の80%を占めました。

「男性」の利用は、第4便で乗客の50%を占めました。

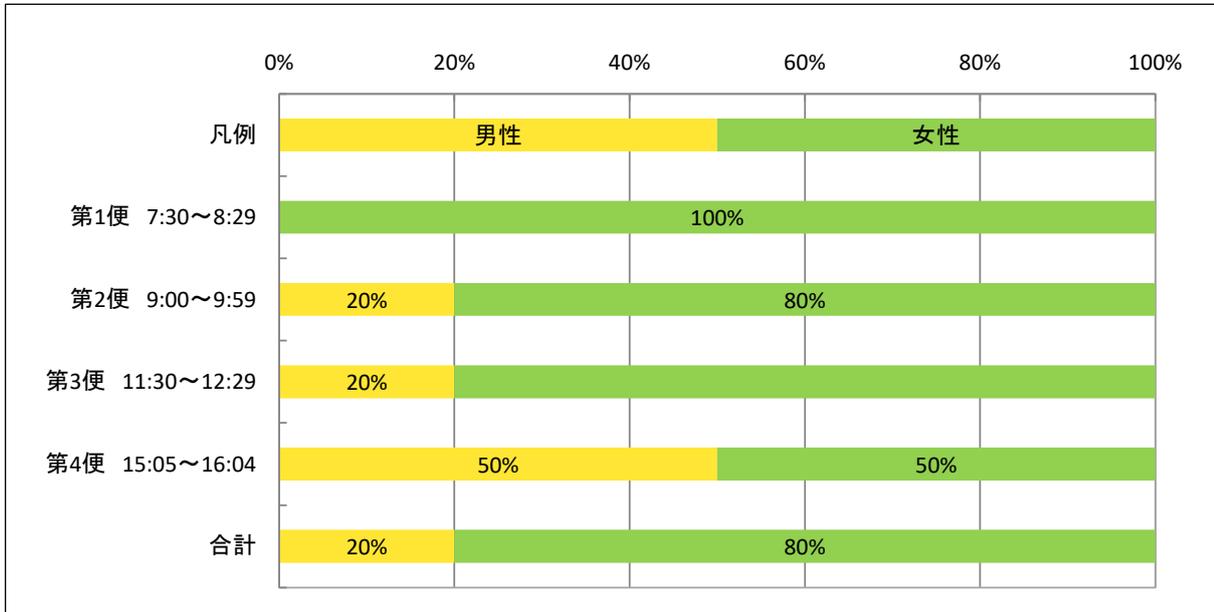


図 乗客の性別

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

④各停留所の乗降人数と区間人数

停留所の乗降人数は、「深川市役所の1巡目」が6人で最も多く、続いて「深川市立病院前の1巡目」、「曙団地」、「市道2番通」、「深川市役所の2巡目」の4箇所が4人となりました。

区間人数は、「曙団地-市営住宅前」と「一已7丁目-深川市役所」が9人で最も多い状況でした。

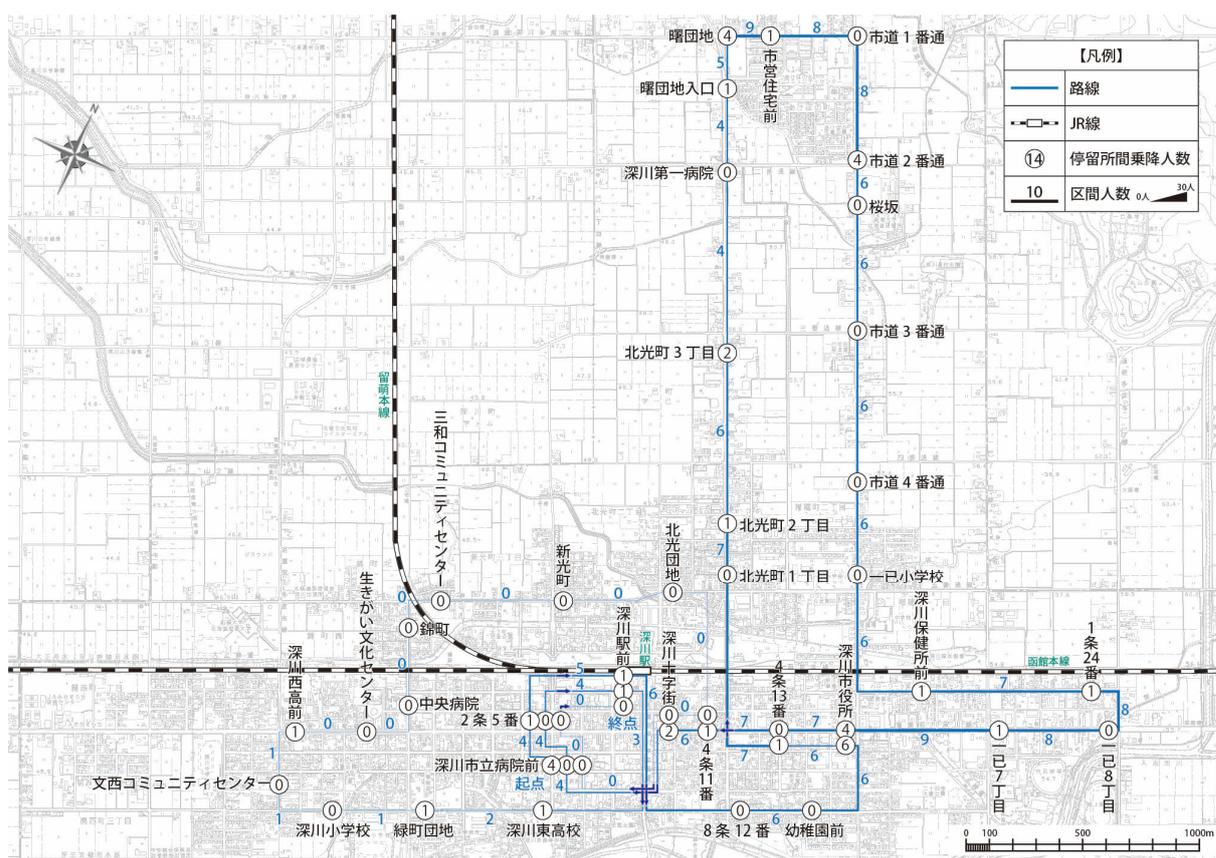


図 乗降調査図 (区間人数及び停留所乗降人数)

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

⑤ 停留所間の移動人数

停留所間の移動人数は、「曙団地」と「深川市役所の2巡目」間の移動が3人で最も多く、続いて「深川市役所の1巡目」と「市道2番通」間で2人の移動がありました。

利用が多い停留所は、「深川市役所」、「曙団地」、「市道2番通」、「深川市立病院前」と限られており、それ以外の停留所及び区間ではあまり利用がない状況であることが把握できました。

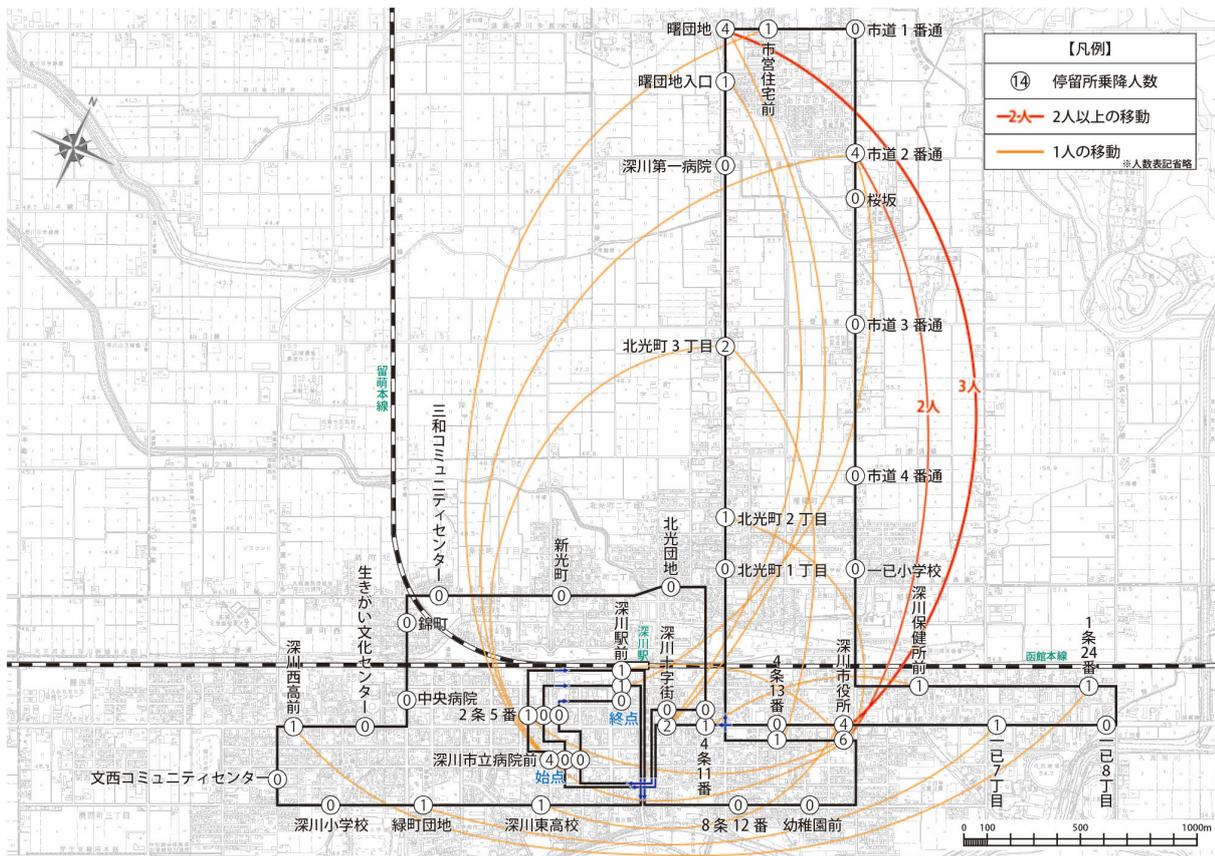


図 乗降調査図（停留所間移動人数）

1) 市内線循環線（深川西高校方面先回り）

①利用者数

利用者数は、合計で27人となり、「第2便」が12人で最も多く、続いて「第1便」と「第3便」が6人となりました。

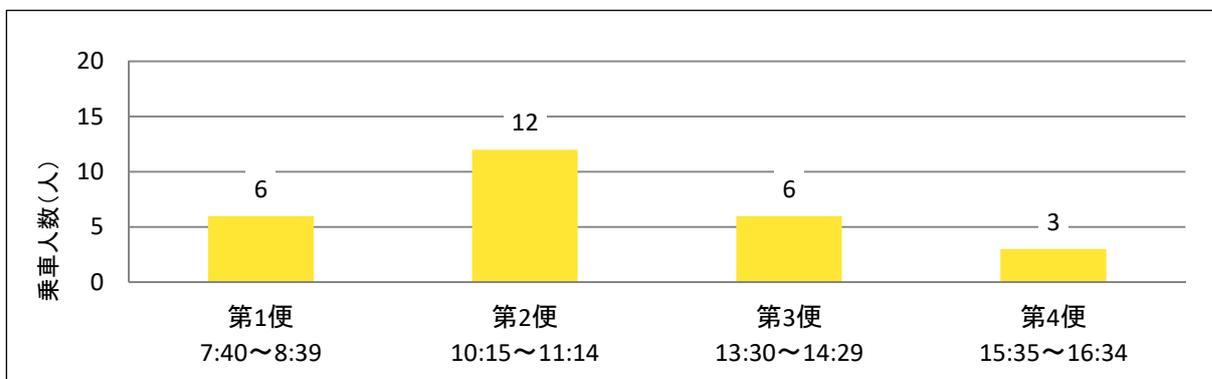


図 利用者数

②年齢

乗客の年齢階層は、第1便は「19～65歳」、第2便から第4便は「65歳以上」の利用が多く、「7～15歳」は第1便で17%の利用が確認できました。

「6歳以下」と「16～18歳」については、すべての便で利用がありませんでした。

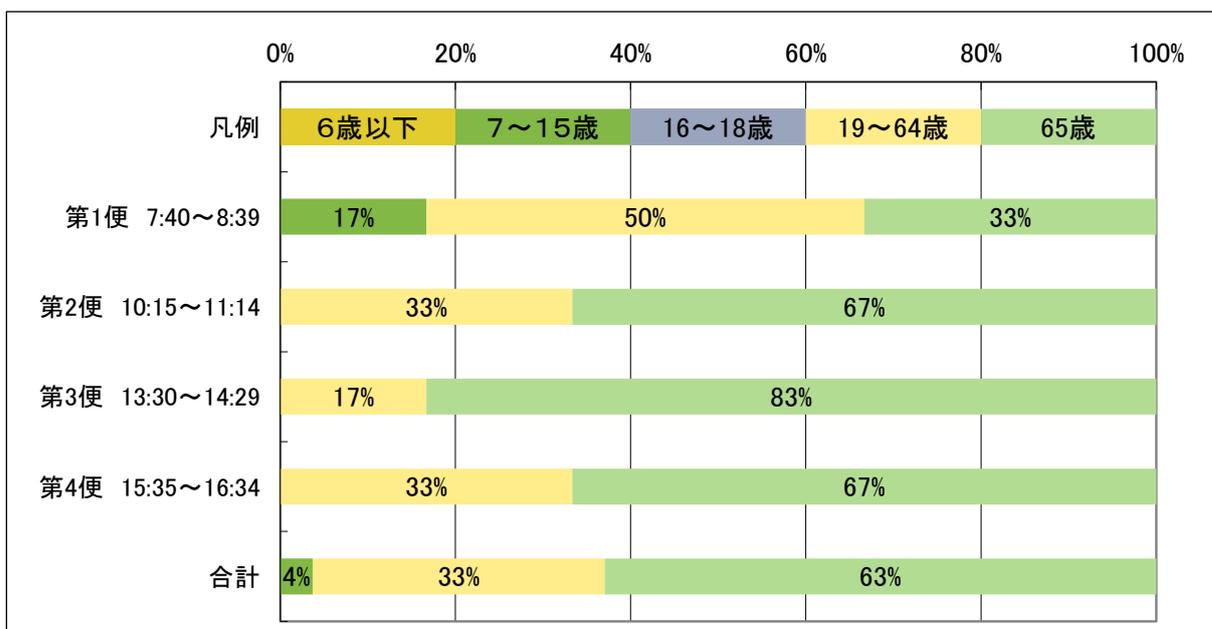


図 乗客の年齢階層

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

③性別

乗客の性別では、各便で「女性」の利用が多く、第3便では乗客の83%を占めました。「男性」の利用は、第2便で乗客の42%、第1便と第4便で33%となりました。

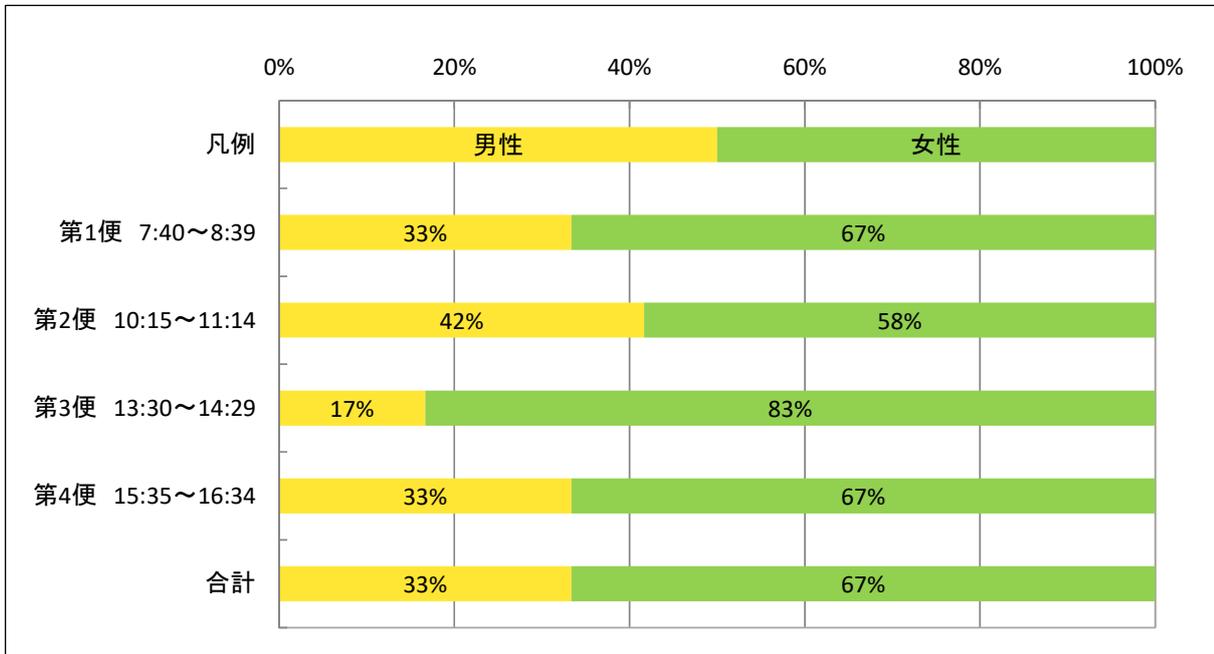


図 乗客の性別

④各停留所の乗降人数と区間人数

停留所の乗降人数は、「市営住宅前」が8人で最も多く、続いて「北光町3丁目」が5人、「深川市立病院前の3巡目」が4人となりました。

区間人数は、「市営住宅前-曙団地」が12人で最も多く、続いて「4条13番-深川市役所」が11人、「曙団地-曙団地入口」が10人となり、北光町では7～9人の乗車がある状況でした。

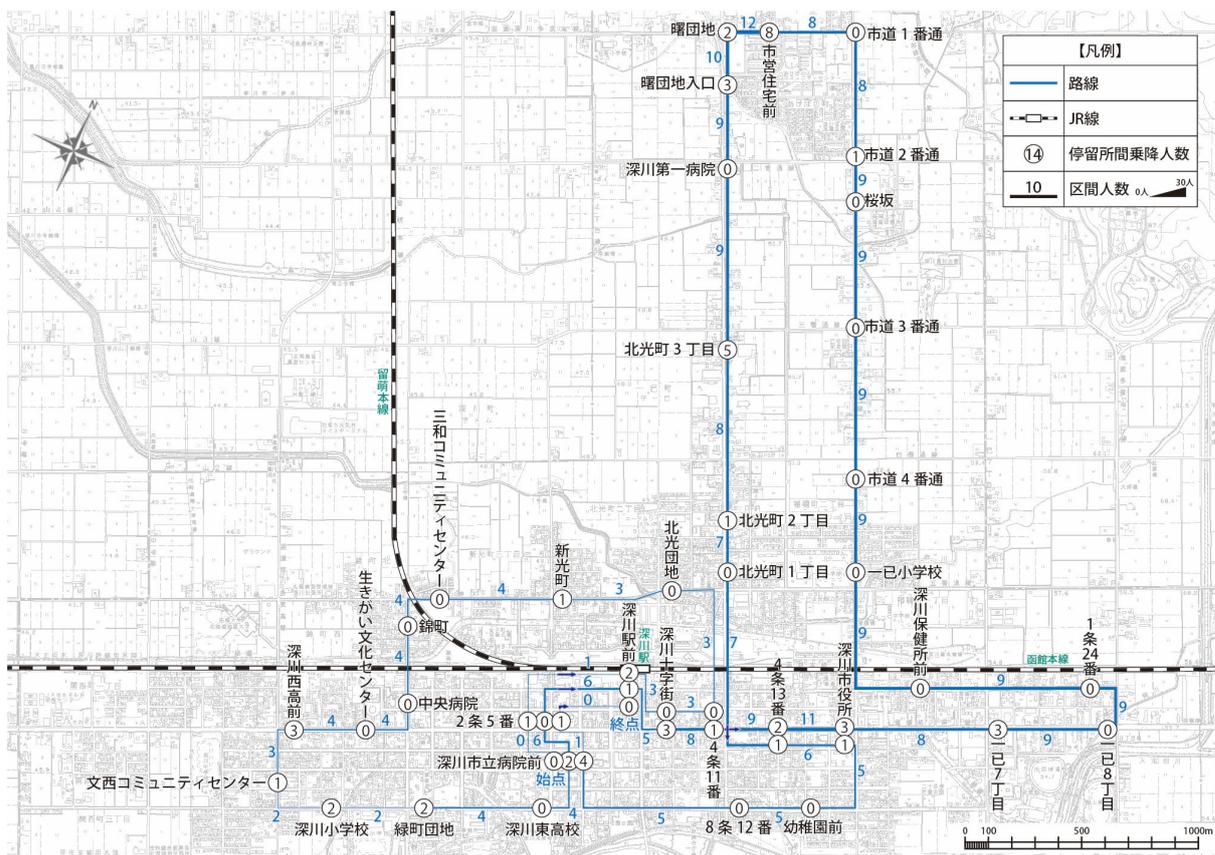


図 乗降調査図（区間人数及び停留所乗降人数）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

⑤ 停留所間の移動人数

停留所間の移動人数は、「市営住宅前」と「深川市立病院前の3巡目」間の移動が3人で最も多く、「深川市役所」と「緑町団地」間、「深川西高前」と「深川駅前」間で2人の移動がありました。

利用が少なかった区間としては、「一已8丁目」から「市道1番通」までは乗降が1人、「深川十字街」から「生きがい文化センター」までは乗降が1人しかありませんでした。

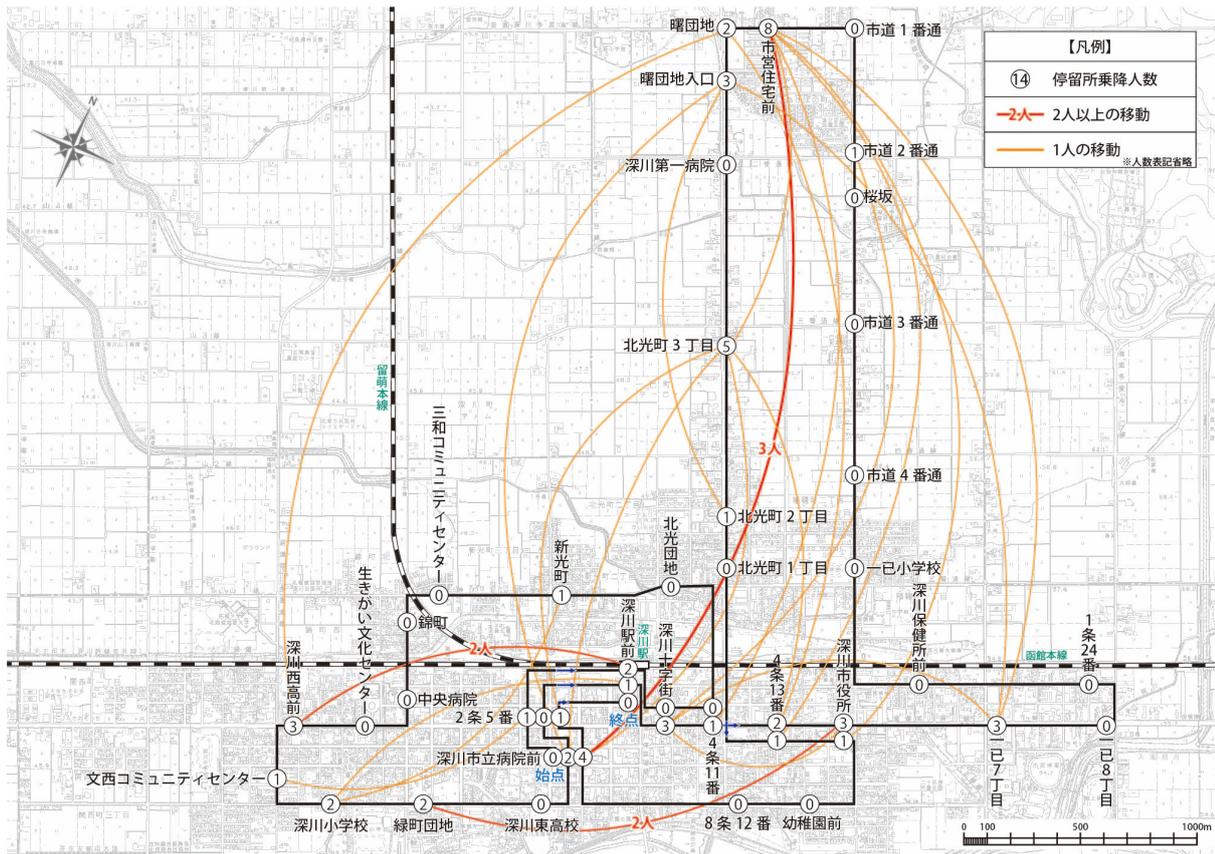


図 乗降調査図 (停留所間移動人数)

2) 多度志線

①利用者数

深川行き（往路）の利用者数は、合計で4人となり、「第1便」が4人で「第2便」は利用がありませんでした。

多度志行き（復路）の利用者数は、合計で2人となり、「第1便」が2人で「第2便」は利用がありませんでした。

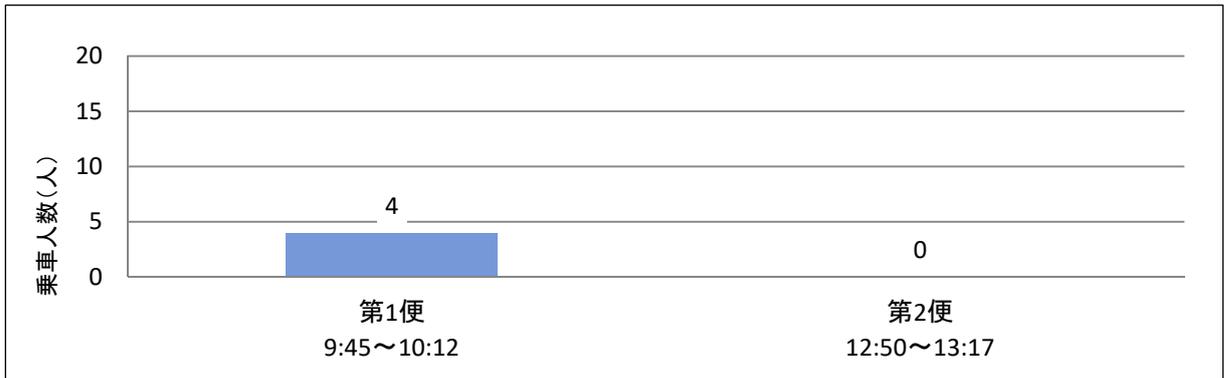


図 深川行き（往路）の利用者数（多度志線）

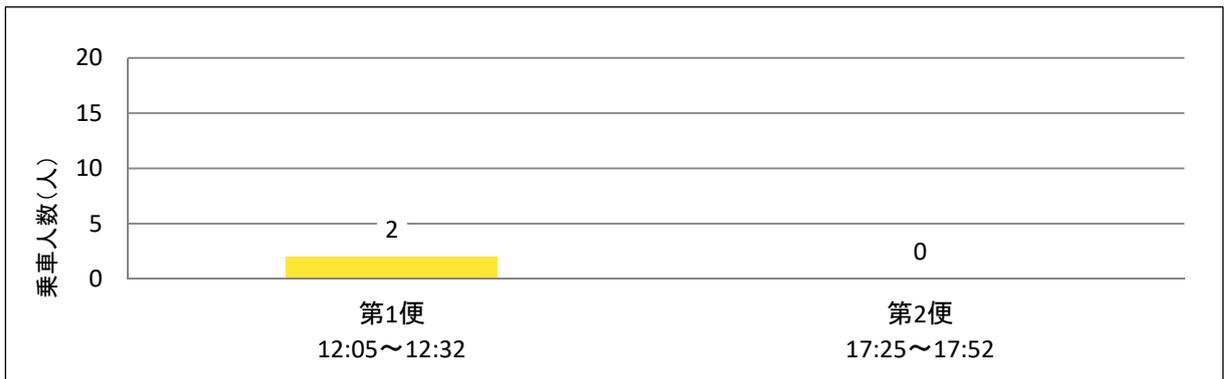


図 多度志行き（復路）の利用者数（多度志線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

②年齢

深川行き（往路）の乗客の年齢階層は、第1便では「65歳以上」のみの乗車となりました。

多度志行き（復路）の乗客の年齢階層は、第1便では「19～65歳」と「65歳以上」がそれぞれ50%と半数を占めました。

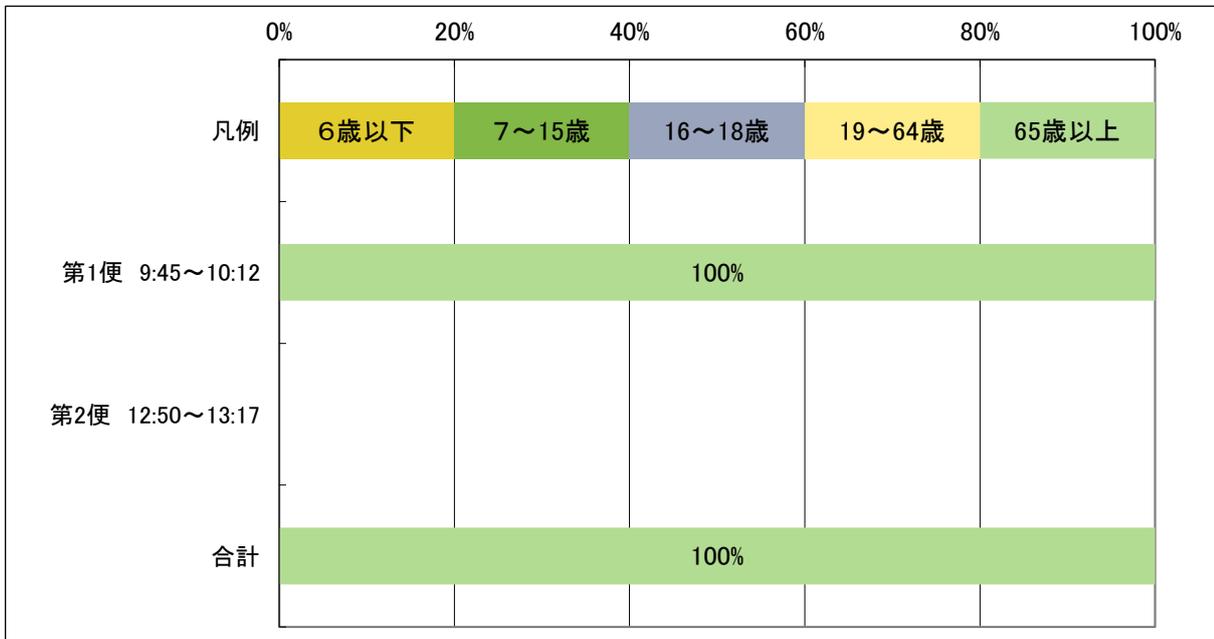


図 深川行き（往路）の乗客の年齢階層（多度志線）

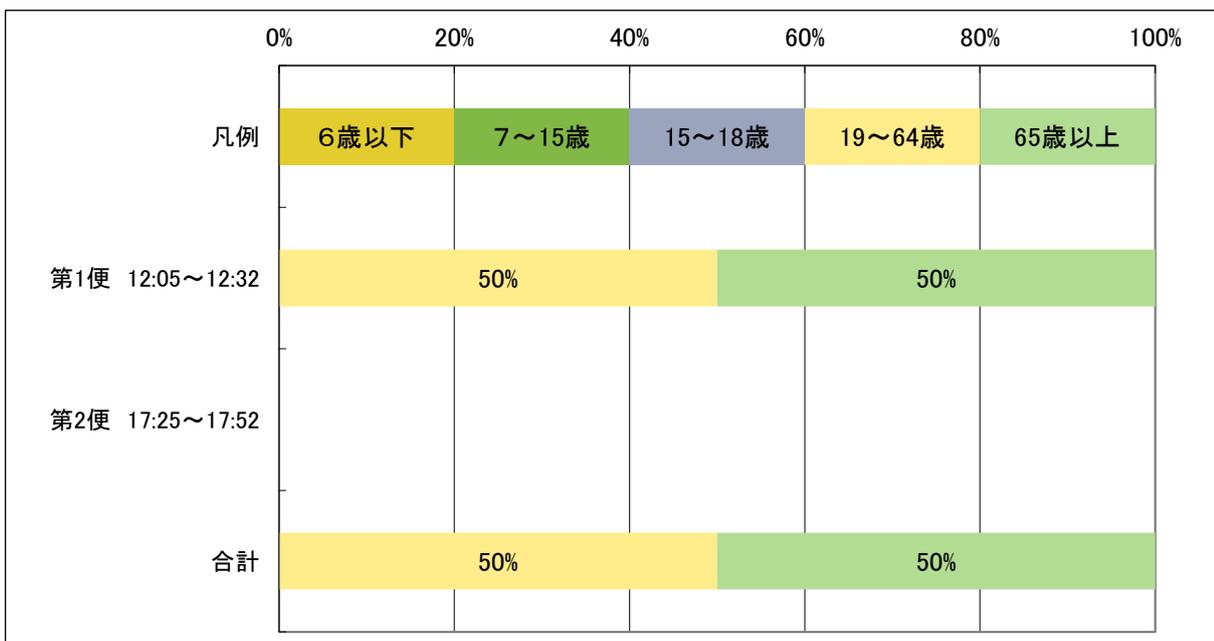


図 多度志行き（復路）の乗客の年齢階層（多度志線）

③性別

深川行き（往路）の乗客の性別は、「男性」と「女性」の乗客がそれぞれ50%と半数を占めました。

多度志行き（復路）の乗客の性別は、すべて「女性」の乗客となりました。

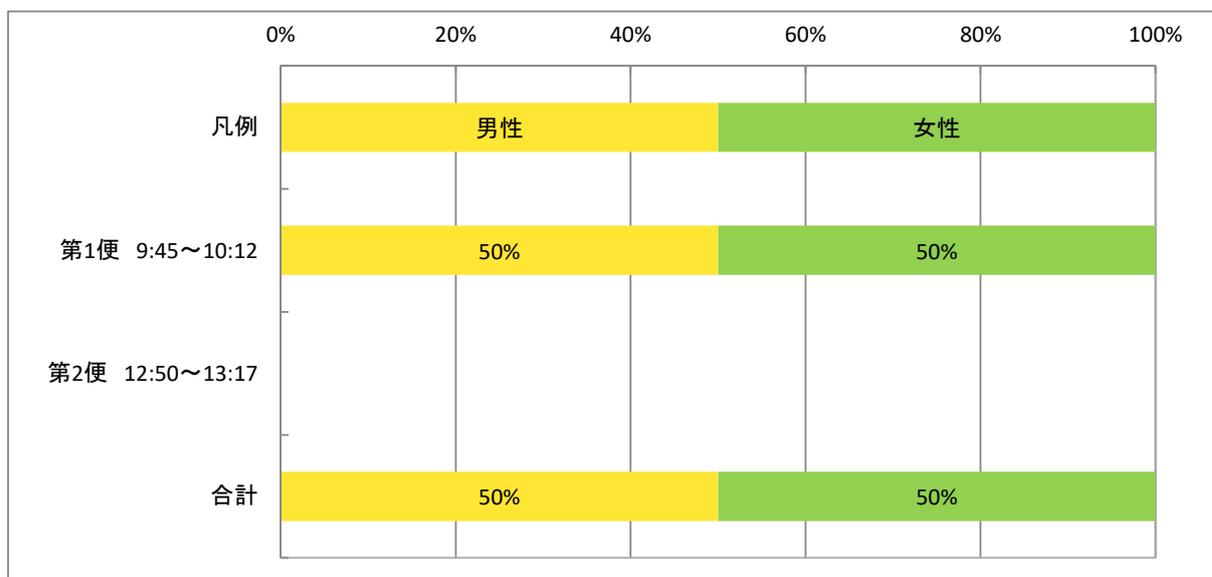


図 深川行き（往路）の乗客の性別（多度志線）

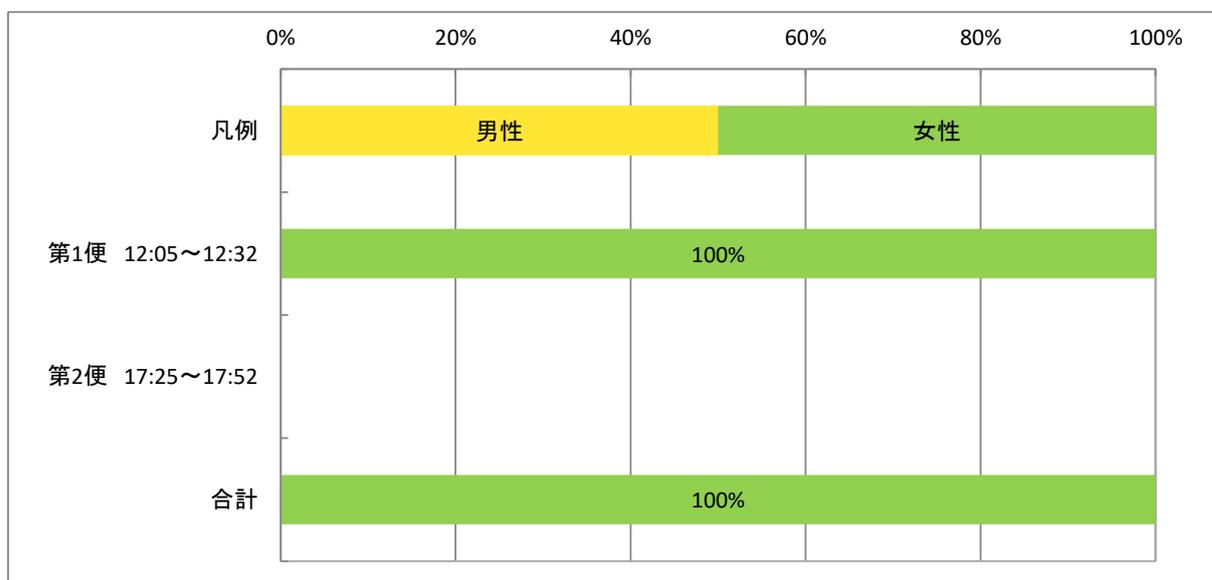


図 多度志行き（復路）の乗客の性別（多度志線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

④各停留所の乗降人数と区間人数

停留所の乗降人数は、深川行き（往路）では「曙団地」と「深川十字街」と「深川市立病院前」が2人など計8人、多度志行き（復路）では「市営住宅前」が2人、「深川市立病院前」と「4条13番」が1人の計4人と、全体的に利用が少ない状況でした。

区間人数は、深川行き（往路）では「市営住宅前-4条11番」が4人、多度志行き（復路）では「4条13番-市営住宅前」が2人で最も多く、市営住宅前から多度志の間は乗客がほぼない状態で運行していることが確認できました。

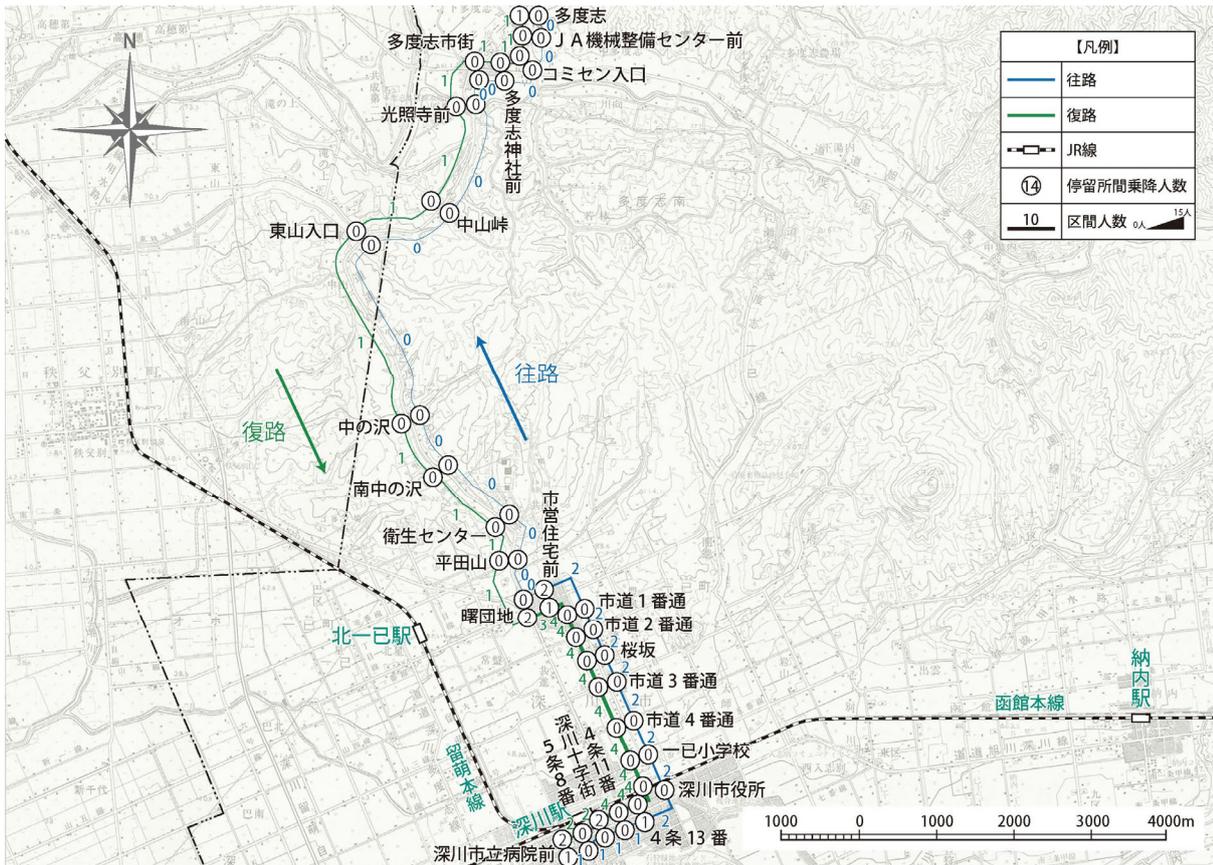


図 乗降調査図（区間人数及び停留所乗降人数）（多度志線）

⑤ 停留所間の移動人数

停留所間の移動人数は、「深川市立病院前」と「市営住宅前」間の移動が2人で最も多く、「深川市立病院前」と「曙団地」間など4つの区間で1人の移動がありました。

利用があった停留所は、「深川市立病院前」と「市営住宅前」が3人、「深川十字街」と「曙団地」が2人、「4条13番」と「多度志」が1人と6箇所のみとなり、それ以外の利用はあまりありませんでした。

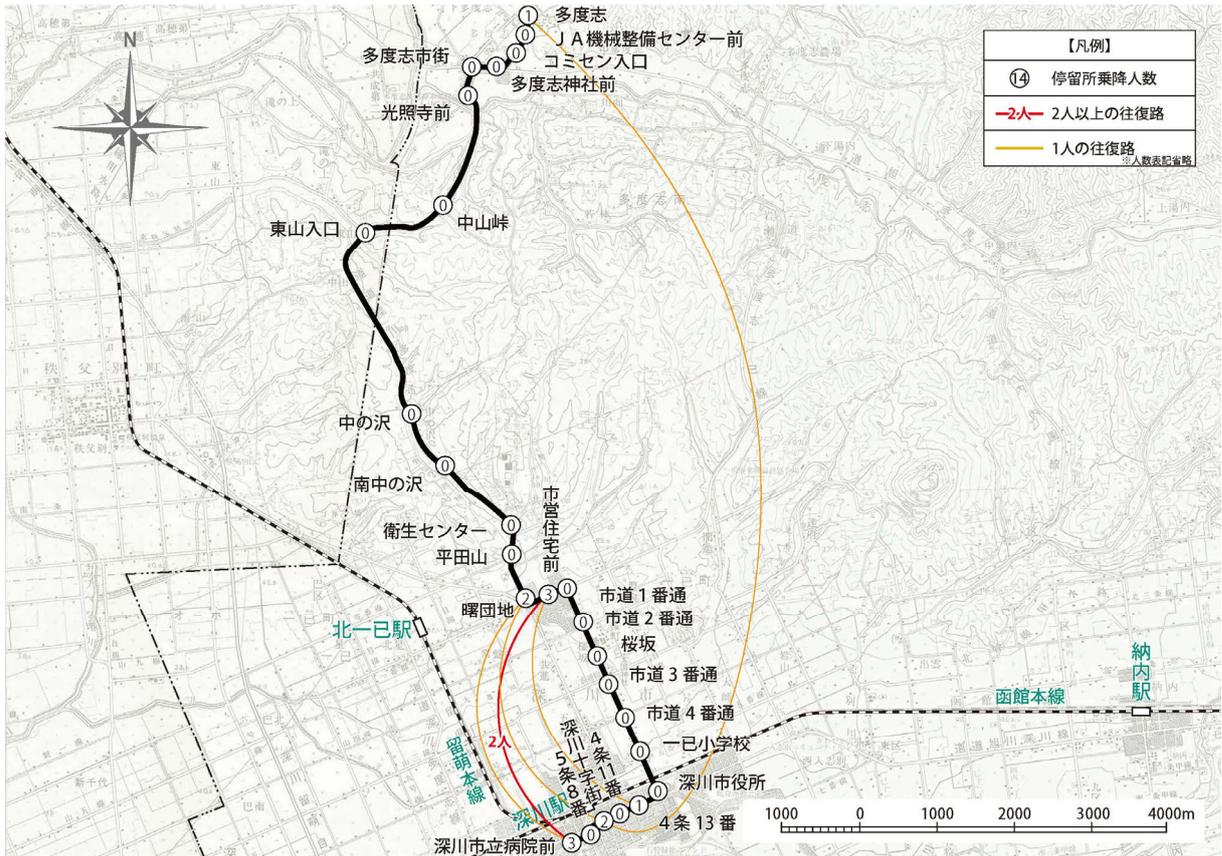


図 乗降調査図（停留所間移動人数）（多度志線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

3) 西北星線

①利用者数

深川行き（往路）の利用者数は、合計で19人となり、「第1便」は17人の利用がありました。それ以外の便はほとんど利用がなく、第1便に利用が集中している状況となりました。

西北星行き（復路）の利用者数は、合計で16人となり、「第2便」が9人で最も多く、「第3便」が4人、「第4便」が3人となり、「第1便」は利用がありませんでした。

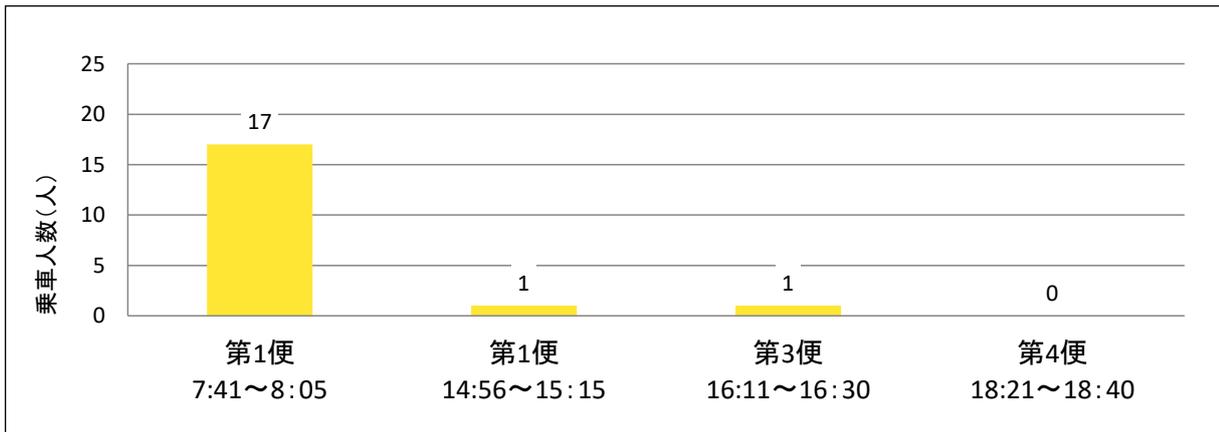


図 深川行き（往路）の利用者数（西北星線）

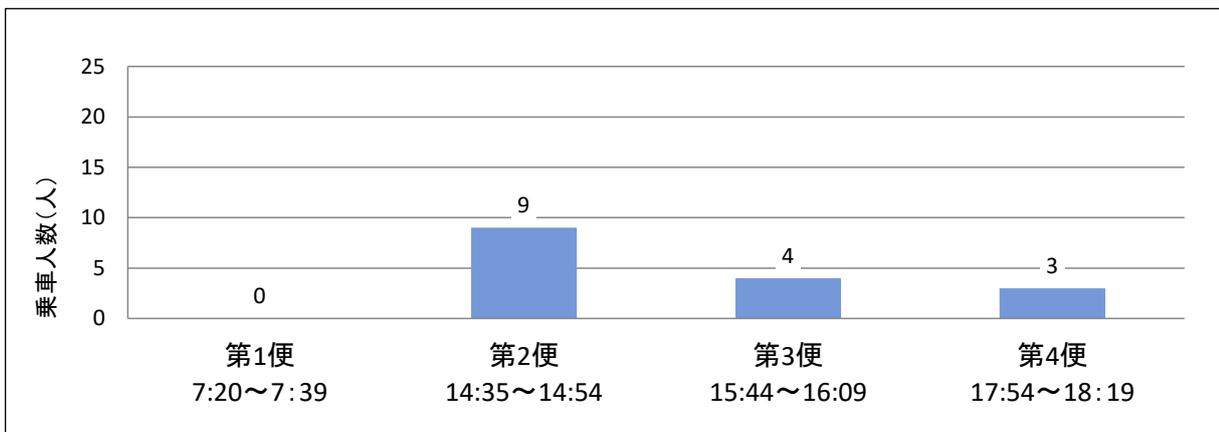


図 西北星行き（復路）の利用者数（西北星線）

②年齢

深川行き（往路）の乗客の年齢階層は、第1便は「7～15歳」の利用が多く、第2便は「19～65歳」、第3便は「65歳以上」のみの利用となりました。

西北星行き（復路）の乗客の年齢階層は、第2便は「7～15歳」、第3便は「16～18歳」のみの利用となり、第4便は「19～65歳」の利用が多くなりました。

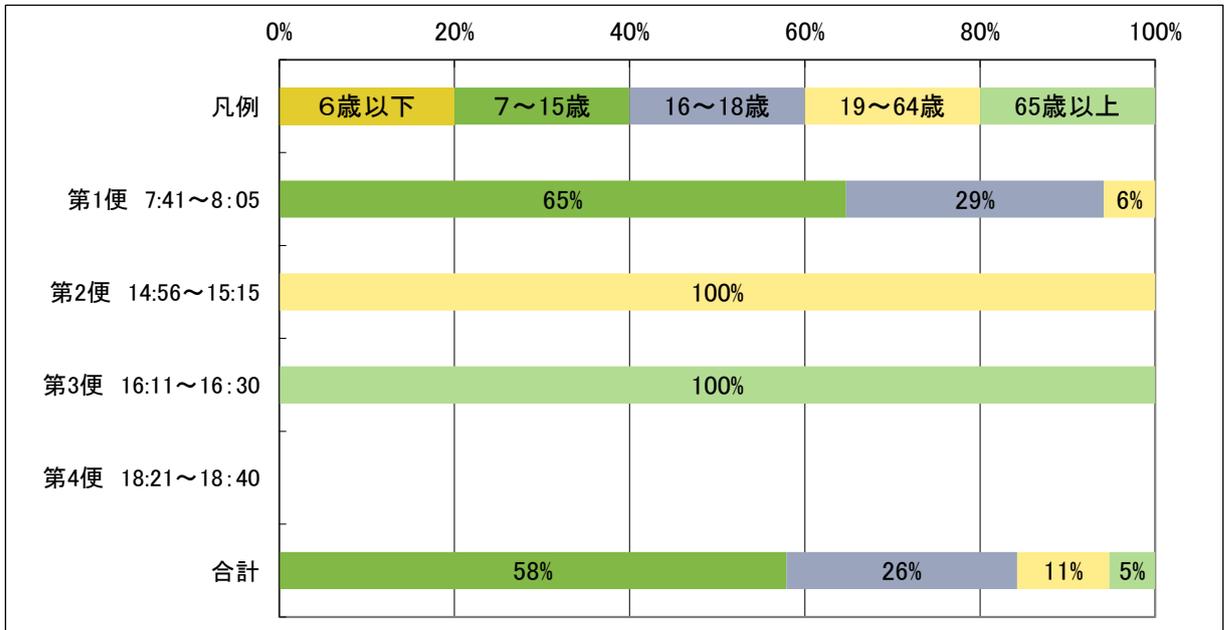


図 深川行き（往路）の乗客の年齢階層（西北星線）

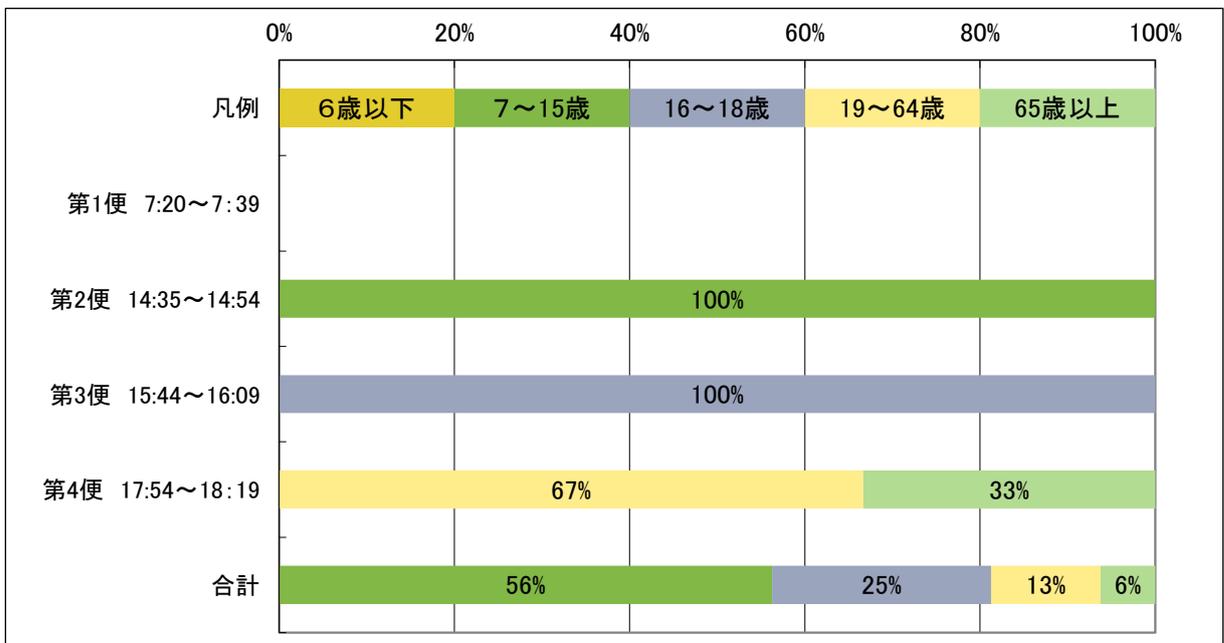


図 西北星行き（復路）の乗客の年齢階層（西北星線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

③性別

深川行き（往路）の乗客の性別は、第1便と第3便は「男性」の利用が多く、第2便は「女性」のみの利用となりました。

西北星行き（復路）の乗客の性別は、第2便と第4便は「男性」の利用が多く、第3便は「女性」が75%となりました。

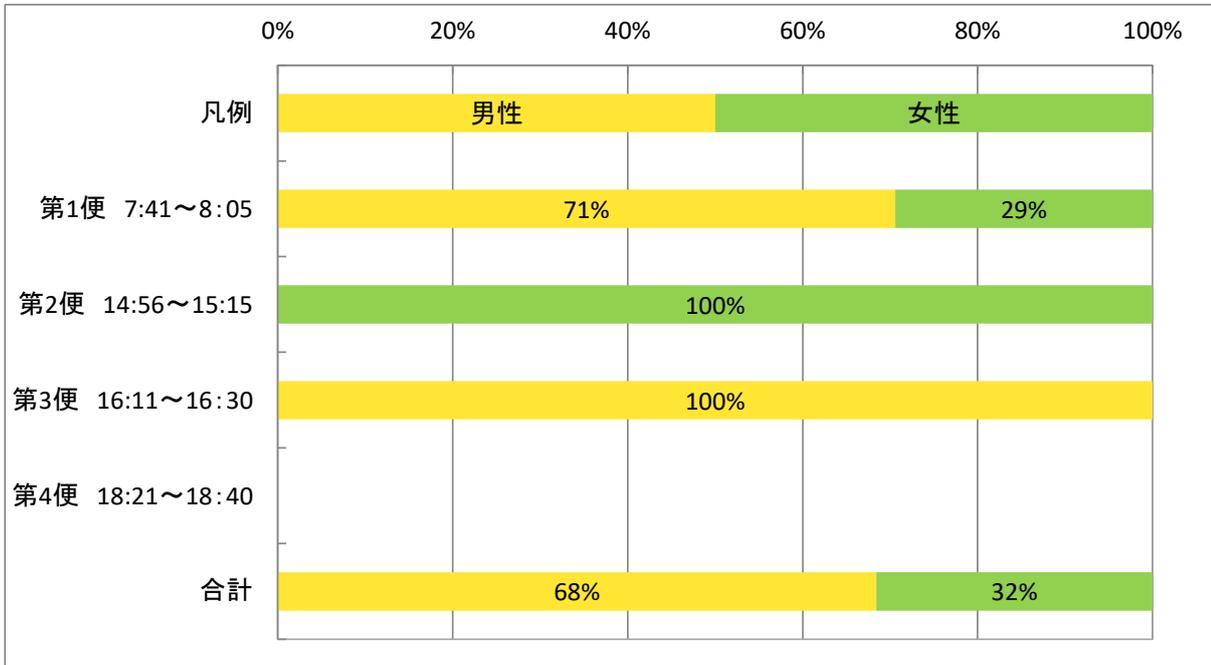


図 深川行き（往路）の乗客の性別（西北星線）

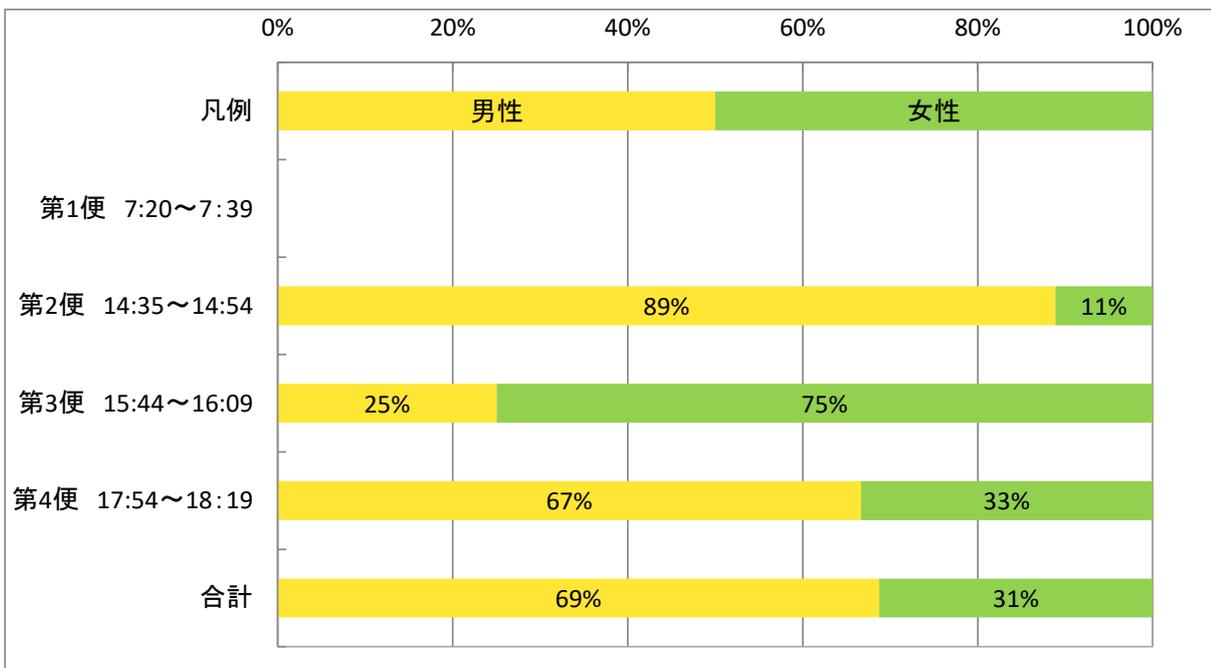


図 西北星行き（復路）の乗客の性別（西北星線）

④各停留所の乗降人数と区間人数

停留所の乗降人数は、深川行き（往路）では「一已小学校」が9人で最も多く、続いて「深川西高前」が6人、西北星行き（復路）では「一已小学校」が9人で最も多く、続いて「市道1番通」が6人となりました。

区間人数は、深川行き（往路）では「市道2番通-一已小学校」が12人、西北星行き（復路）では「一已小学校-市道2番通」が11人で最も多く、往路・復路ともに市道2番通から一已小学校までの区間はバス車内が混雑することが確認できました。

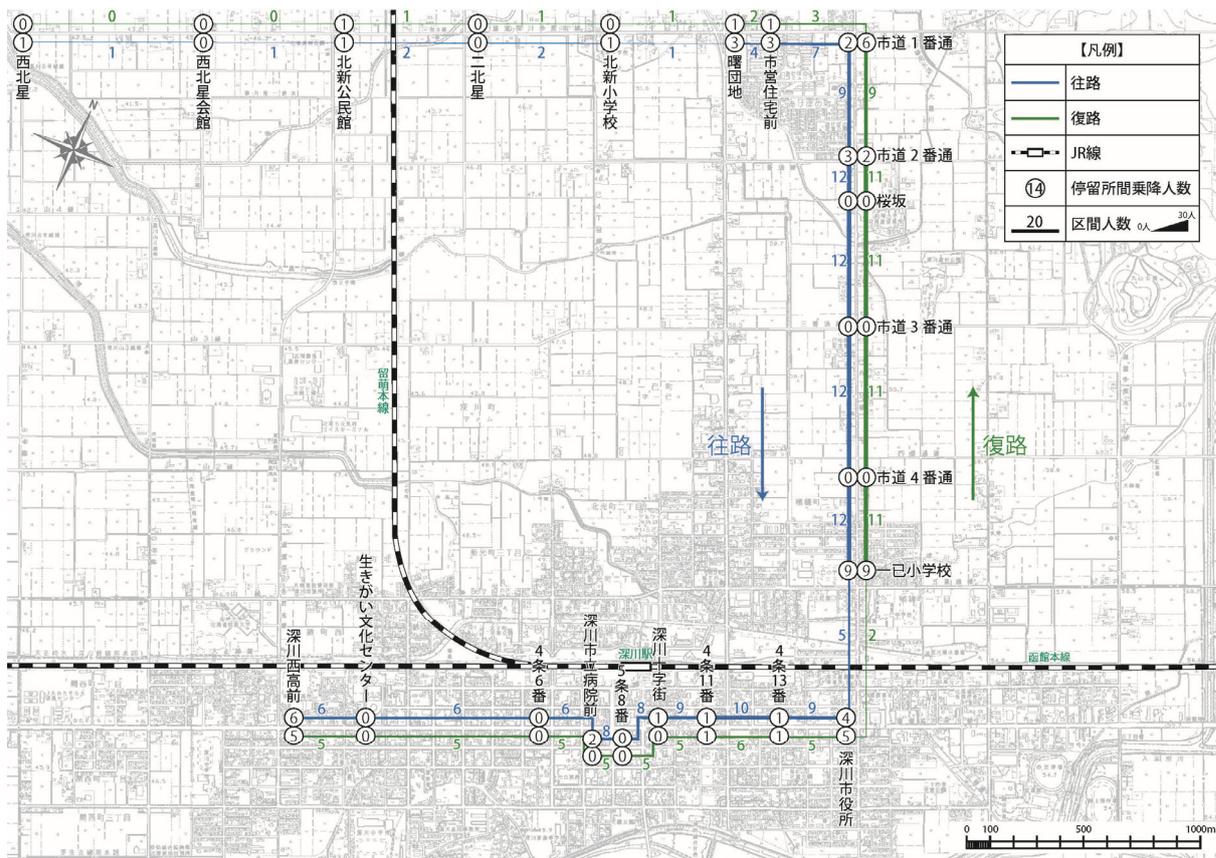


図 乗降調査図（区間人数及び停留所乗降人数）（西北星線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

⑤ 停留所間の移動人数

停留所間の移動人数は、「市道1番通」と「一已小学校」間の移動と、「深川市役所」と「深川西高前」間の移動が7人で最も多く、続いて「市営住宅前」と「一已小学校」間で4人の移動がありました。

利用が少なかった区間としては、「桜坂」から「市道4番通」までは乗降がなく、「5条8番」から「生きがい文化センター」までは乗降が2人で、「深川市立病院前」以外の停留所は利用がありませんでした。

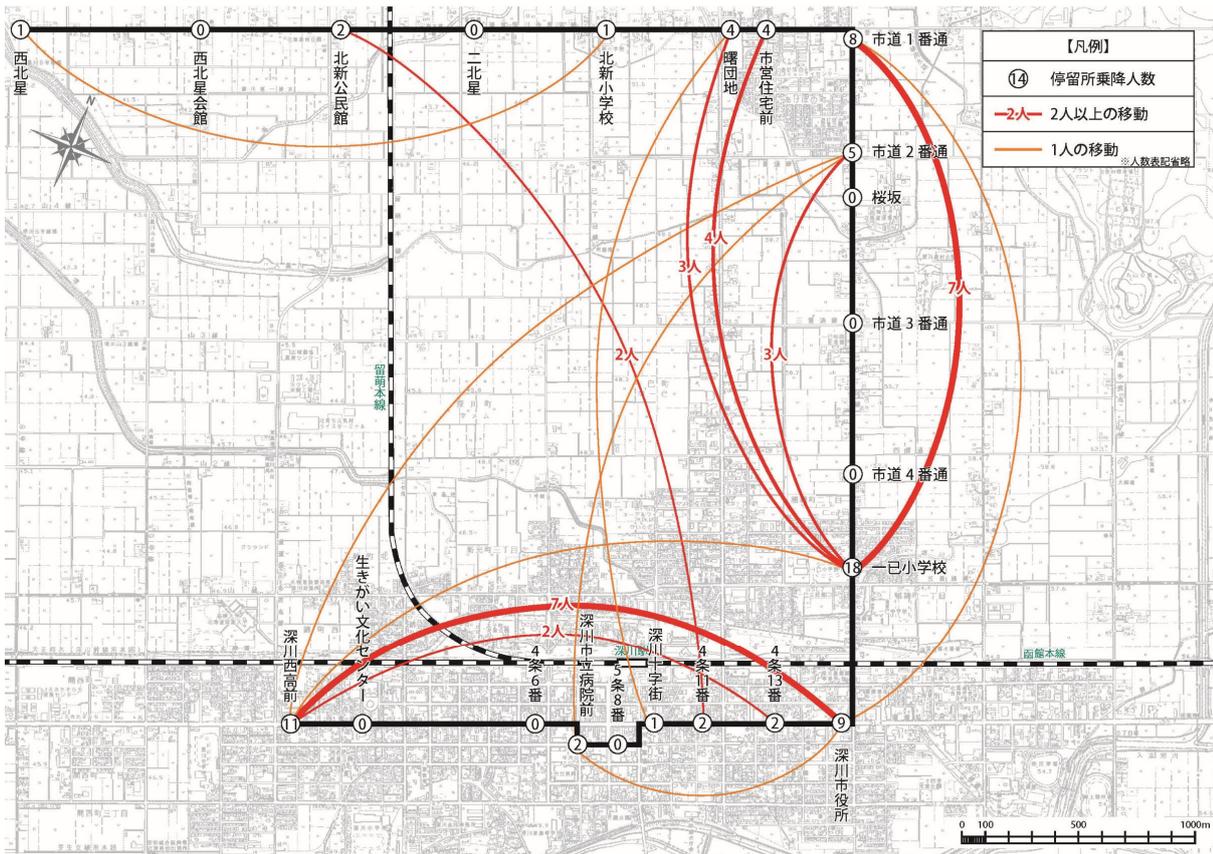


図 乗降調査図（停留所間移動人数）（西北星線）

4) 滝深線

①利用者数

滝川行き（往路）の利用者数は、合計で53人となり、「第7便」が12人で最も多く、続いて「第2便」と「第3便」が9人となり、「第1便」は利用がありませんでした。

深川行き（復路）の利用者数は、合計で54人となり、「第2便」が13人で最も多く、続いて「第4便」が12人、「第3便」が11人と午前中の時間帯に利用が集中し、「第1便」と「第6便」は利用がありませんでした。

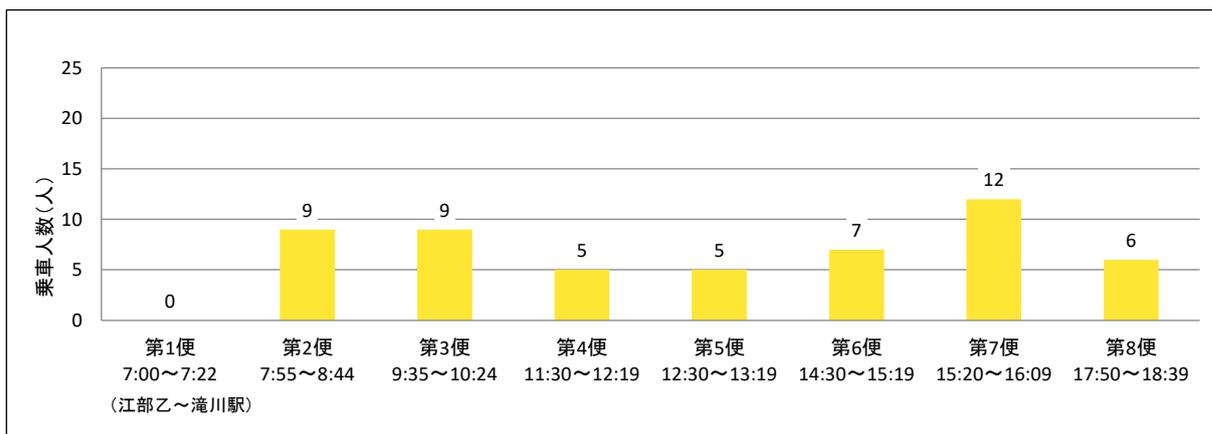


図 滝川行き（往路）の利用者数（滝深線）

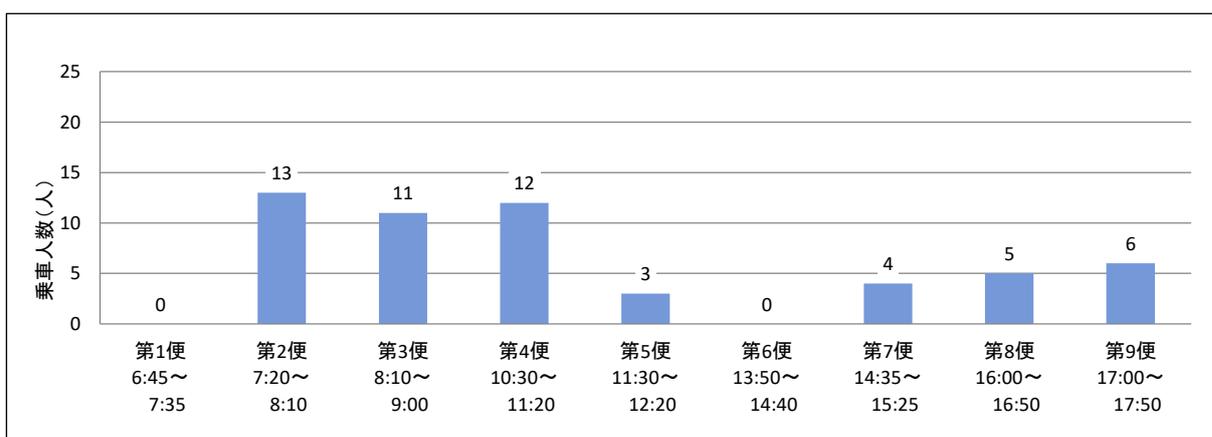


図 深川行き（復路）の利用者数（滝深線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

②年齢

滝川行き（往路）の乗客の年齢階層は、第2便から第4便及び第6便は「65歳以上」、第5便は「19～65歳」、第7便は「7～15歳」、第8便は「16～18歳」の利用が多くなりました。

深川行き（復路）の乗客の年齢階層は、第2便と第7便は「7～15歳」、第3便から第5便は「65歳以上」、第8便と第9便は「16～18歳」、「19～65歳」の利用が多くなりました。

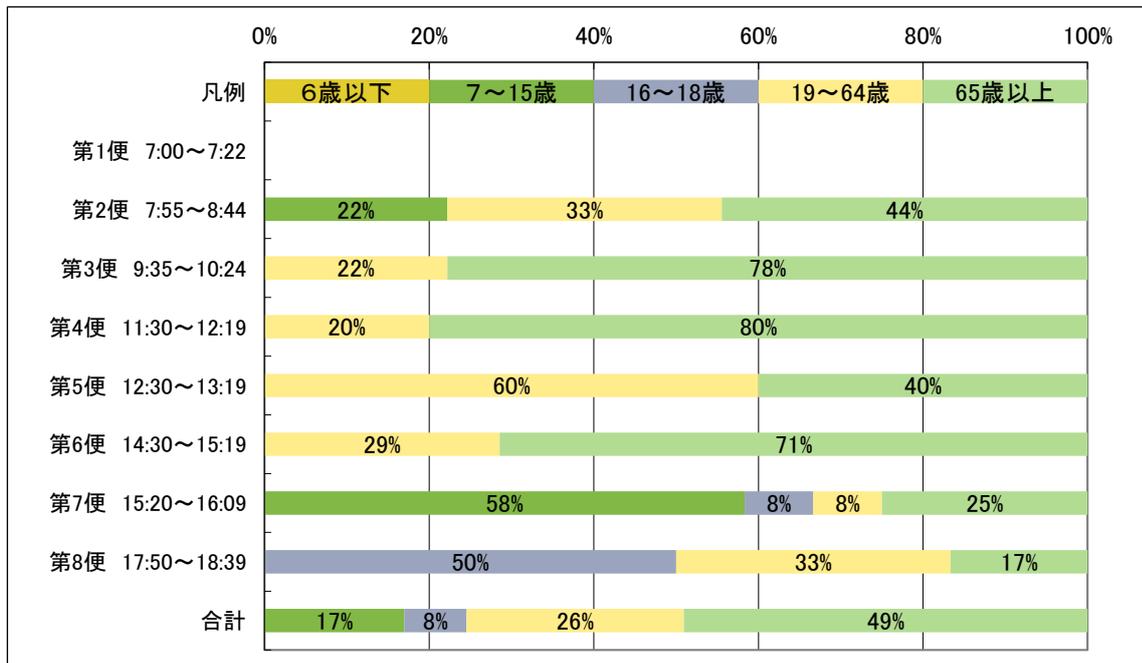


図 滝川行き（往路）の乗客の年齢階層（滝深線）

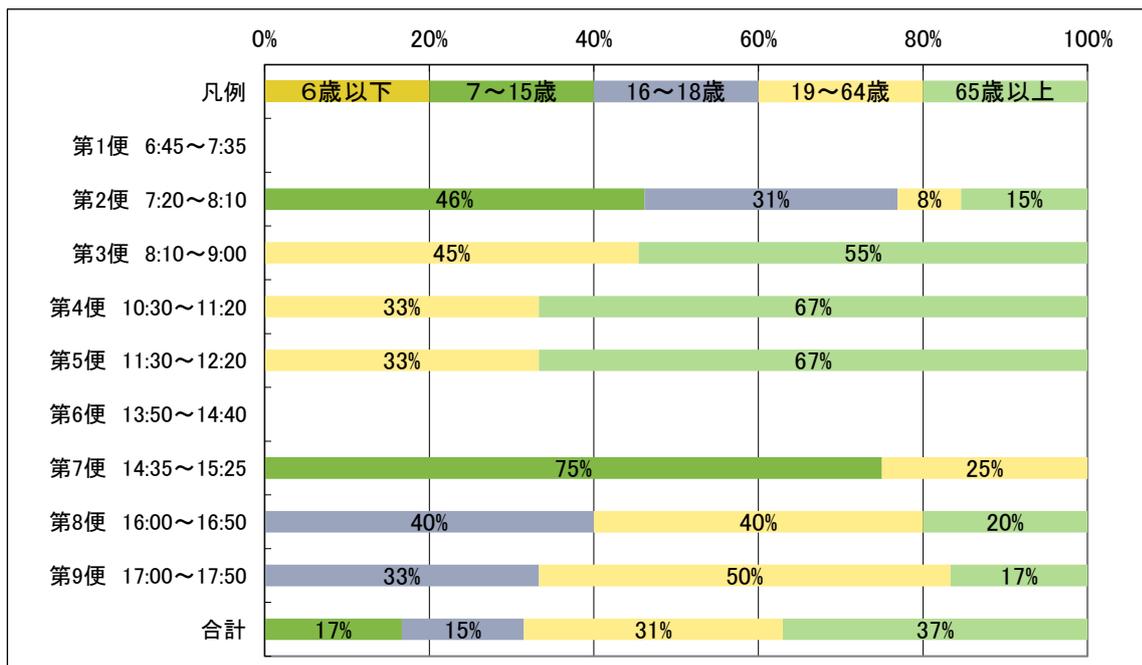


図 深川行き（復路）の乗客の年齢階層（滝深線）

③性別

滝川行き（往路）の乗客の性別は、第2便は「男性」が56%と多くなりましたが、それ以外の便はすべて「女性」が多く、第3便、第5便、第8便は8割以上となりました。

深川行き（復路）の乗客の性別は、第4便と第8便は「男性」、第2便と第3便は「女性」が多く、第7便と第9便は「男性」と「女性」の割合がそれぞれ半数となりました。



図 滝川行き（往路）の乗客の性別（滝深線）

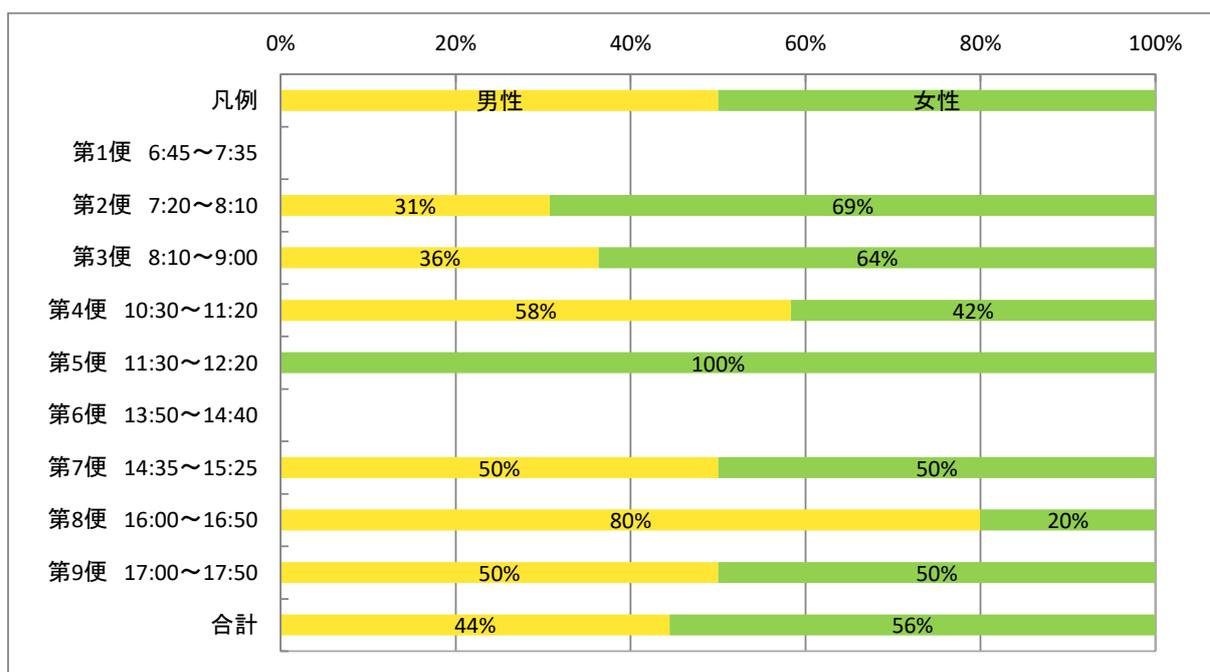


図 深川行き（復路）の乗客の性別（滝深線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

④各停留所の乗降人数と区間人数

停留所の乗降人数は、滝川行き（往路）では「深川市立病院前」が18人で最も多く、続いて「音江」が17人、深川行き（復路）では「音江」が20人で最も多く、続いて「深川市立病院前」が14人となりました。

区間人数は、滝川行き（往路）では「広里町1丁目-音江分岐点」が27人、深川行き（復路）では「音江分岐点-広里工業団地」が23人で最も多く、深川市立病院前から稲田までは、いずれの区間も10人以上の乗車が確認できました。

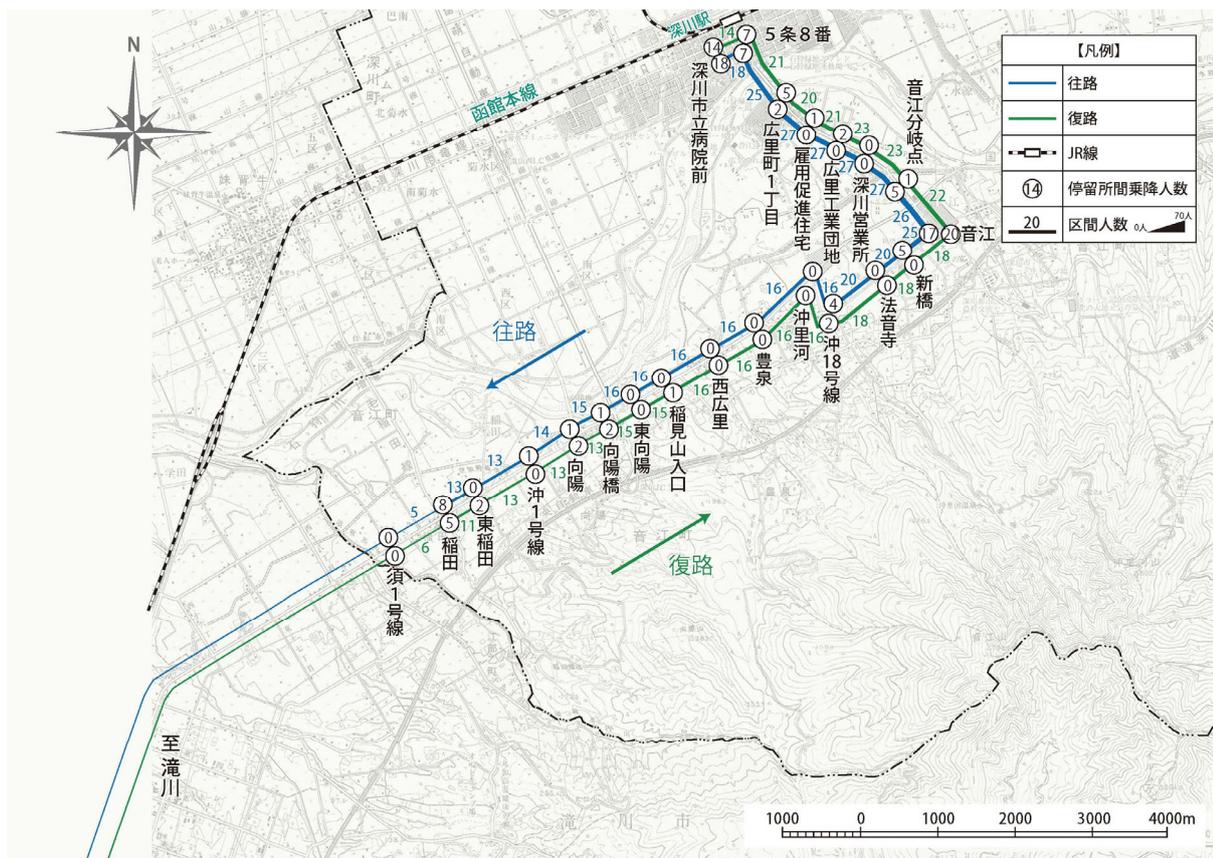


図 乗降調査図（区間人数及び停留所乗降人数）（滝深線）

⑤ 停留所間の移動人数

停留所間の移動人数は、「5条8番」と「音江」間を移動した人が12人で最も多く、続いて「深川市立病院前」と「稲田」間が8人、「深川市立病院前」と「新橋」間が5人となりました。

利用が少なかった区間としては、「沖里河」から「東向陽」までは乗降が1人しかなく、「稲見山入口」以外の停留所は利用がありませんでした。

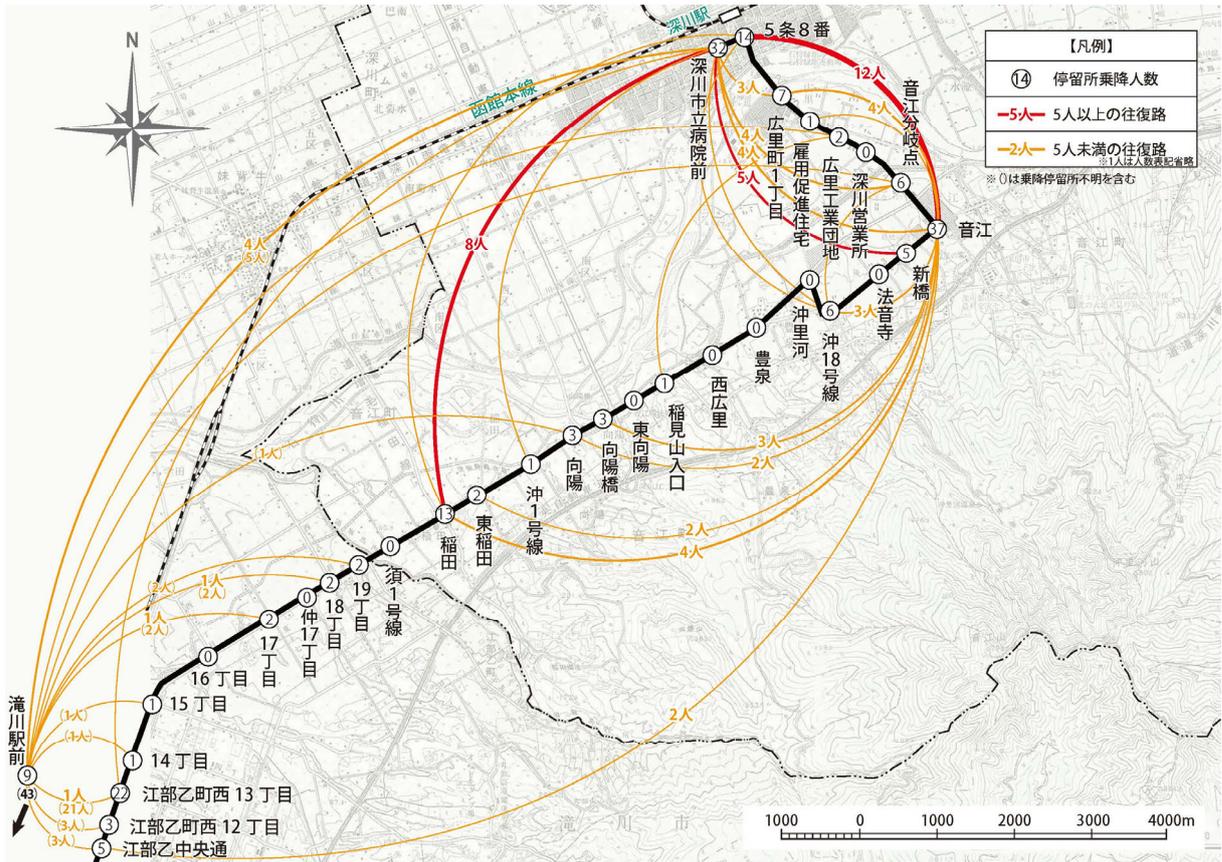


図 乗降調査図（停留所間移動人数）（滝深線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

5) 深滝線

①利用者数

滝川行き（往路）の利用者数は、合計で78人となり、「第10便」が15人で最も多く、続いて「第2便」が14人、「第9便」が10人となり、「第4便」は利用がありませんでした。

深川行き（復路）の利用者数は、合計で42人となり、「第8便」と「第9便」が7人で最も多く、続いて「第1便」が6人、「第2便」から「第4便」がそれぞれ5人となり、「第5便」と「第7便」と「第11便」は利用がありませんでした。

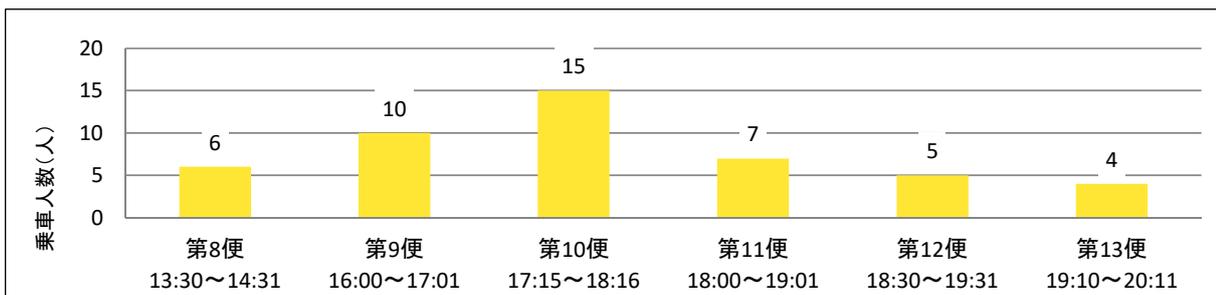
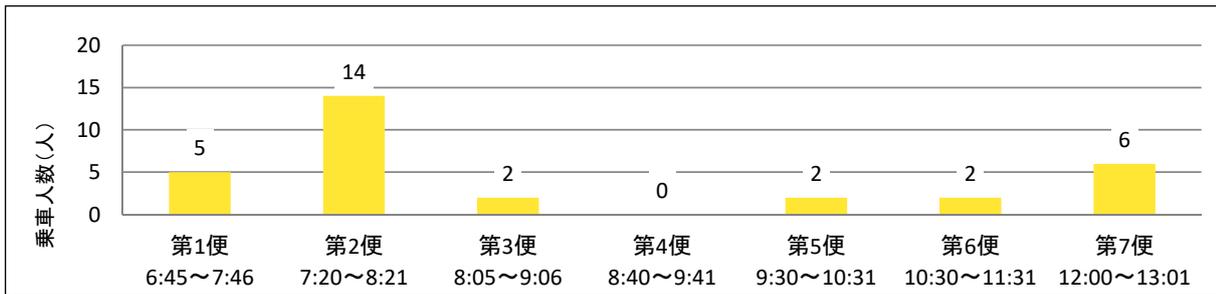


図 滝川行き（往路）の利用者数（深滝線）

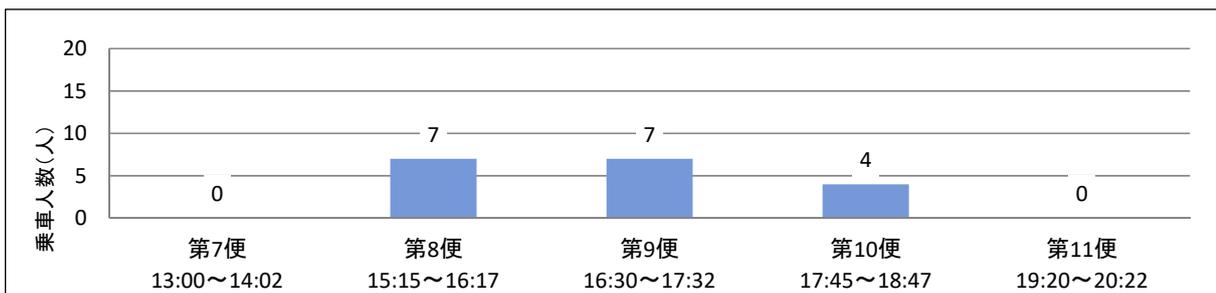
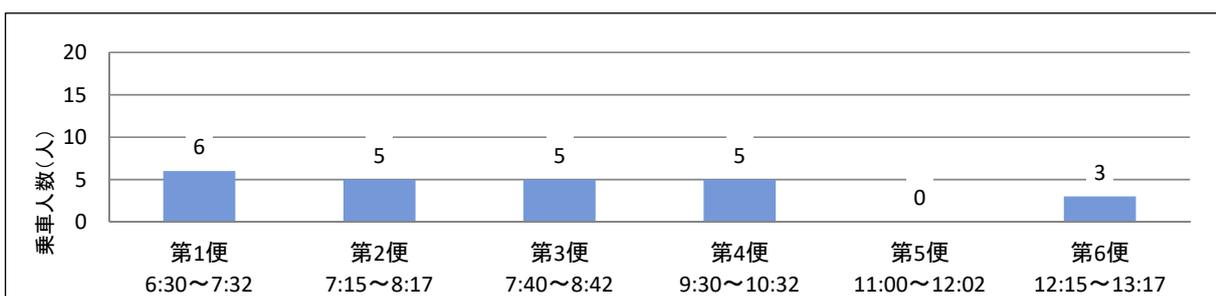


図 深川行き（復路）の利用者数（深滝線）

②年齢

滝川行き（往路）の乗客の年齢階層は、第1便から第8便は「19～65歳」、第9便から第13便は「16～18歳」の利用が多く、「65歳以上」は第6便で多くなりました。

深川行き（復路）の乗客の年齢階層は、各便で「19～65歳」が最も多く、「16～18歳」は第1・2・8便で利用がありました。

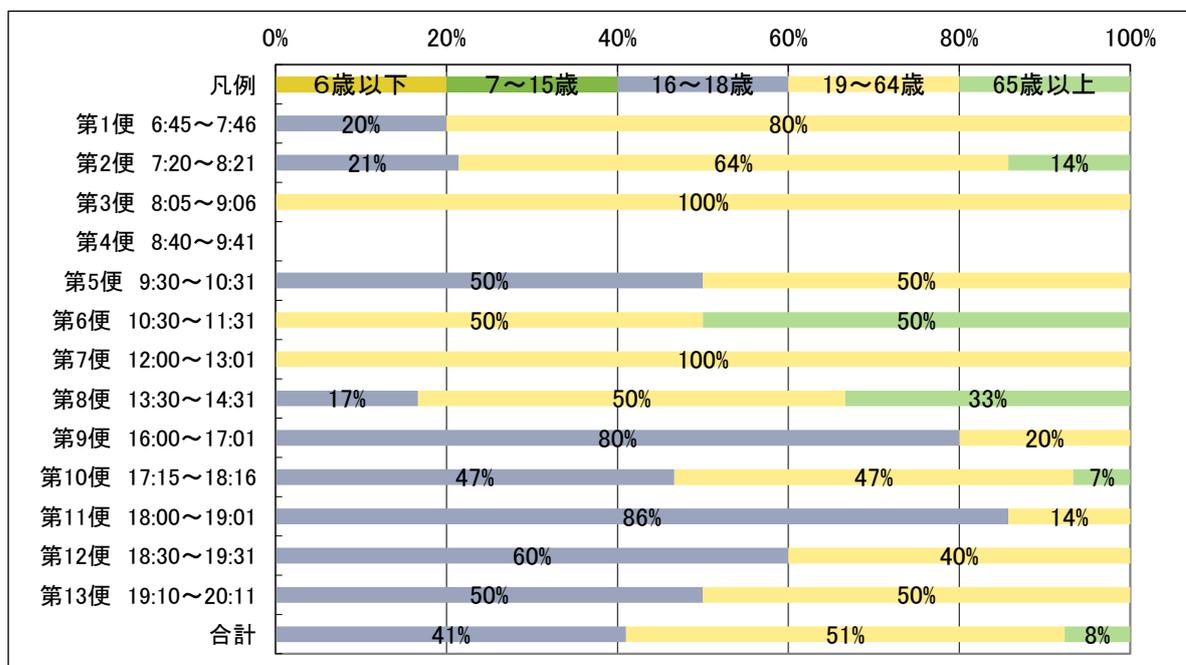


図 滝川行き（往路）の乗客の年齢階層（深滝線）

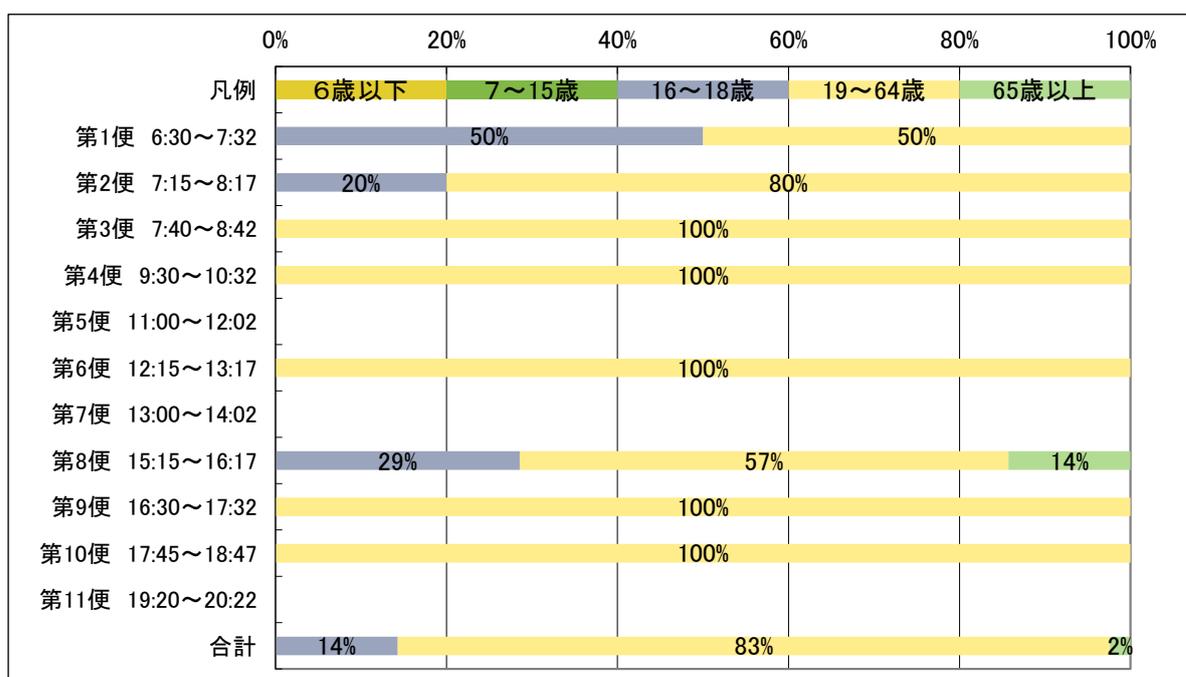


図 深川行き（復路）の乗客の年齢階層（深滝線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

③性別

滝川行き（往路）の乗客の性別は、第1便、第2便、第5便は「男性」が多くなりましたが、第6便以降の時間帯はすべて「女性」が多く、第3便は男女が同数となりました。

深川行き（復路）の乗客の性別は、第1便と第3便は「男性」、それ以外の便は「女性」が多く、第2便と第4便と第9便は女性が8割以上を占めました。

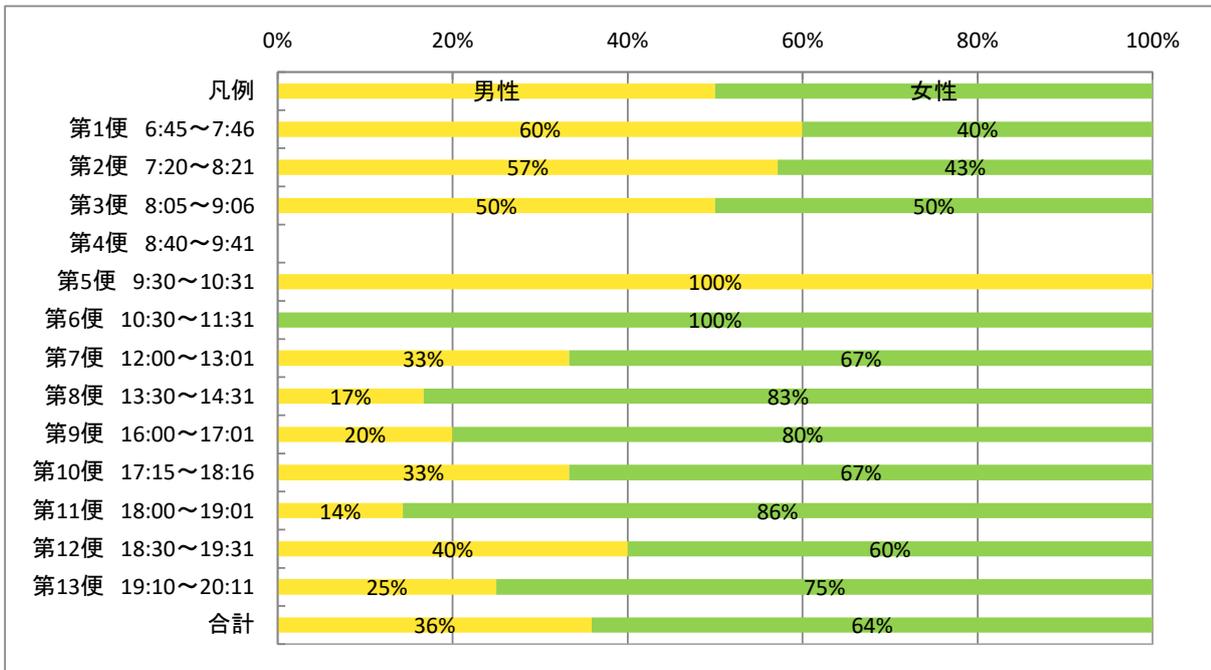


図 滝川行き（往路）の乗客の性別（深滝線）

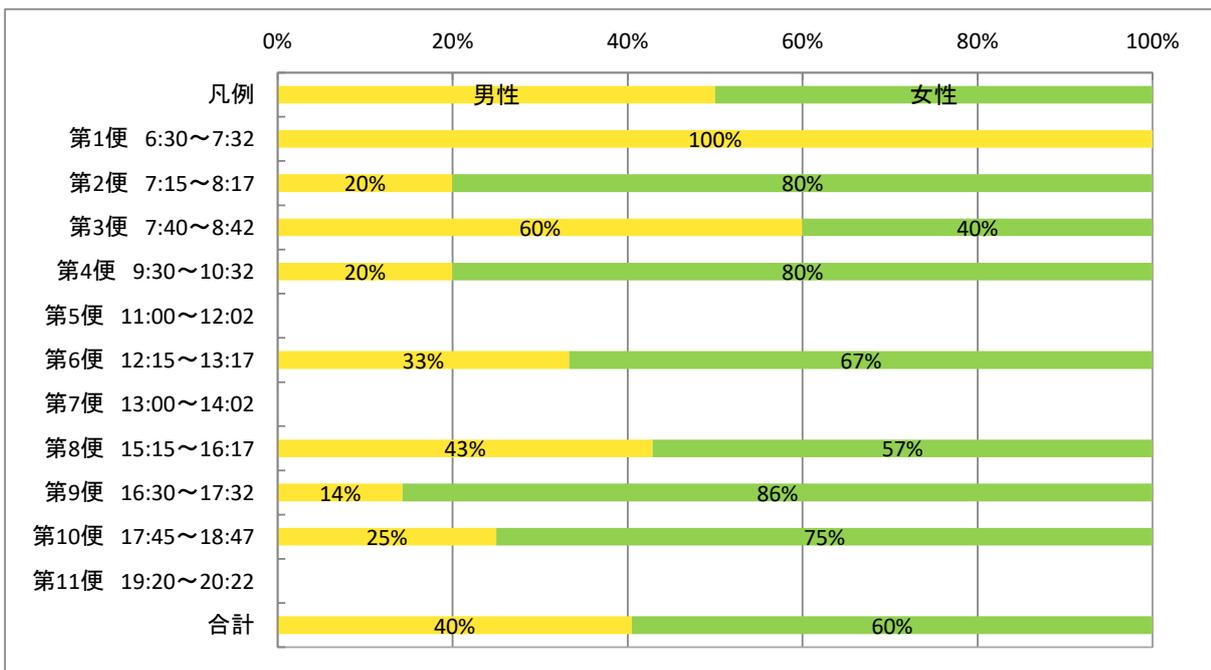


図 深川行き（復路）の乗客の性別（深滝線）

④各停留所の乗降人数と区間人数

停留所の乗降人数は、滝川行き（往路）では「深川市立病院前」が22人で最も多く、続いて「深川西高前」が17人、深川行き（復路）では「深川市立病院前」が13人で最も多く、続いて「深川十字街」が8人となりました。

区間人数は、滝川行き（往路）では「深川中学校前-3号線」が68人、深川行き（復路）では「3号線-深川西高前」が36人から37人で最も多く、最も少ない区間でも16人の乗車がありました。

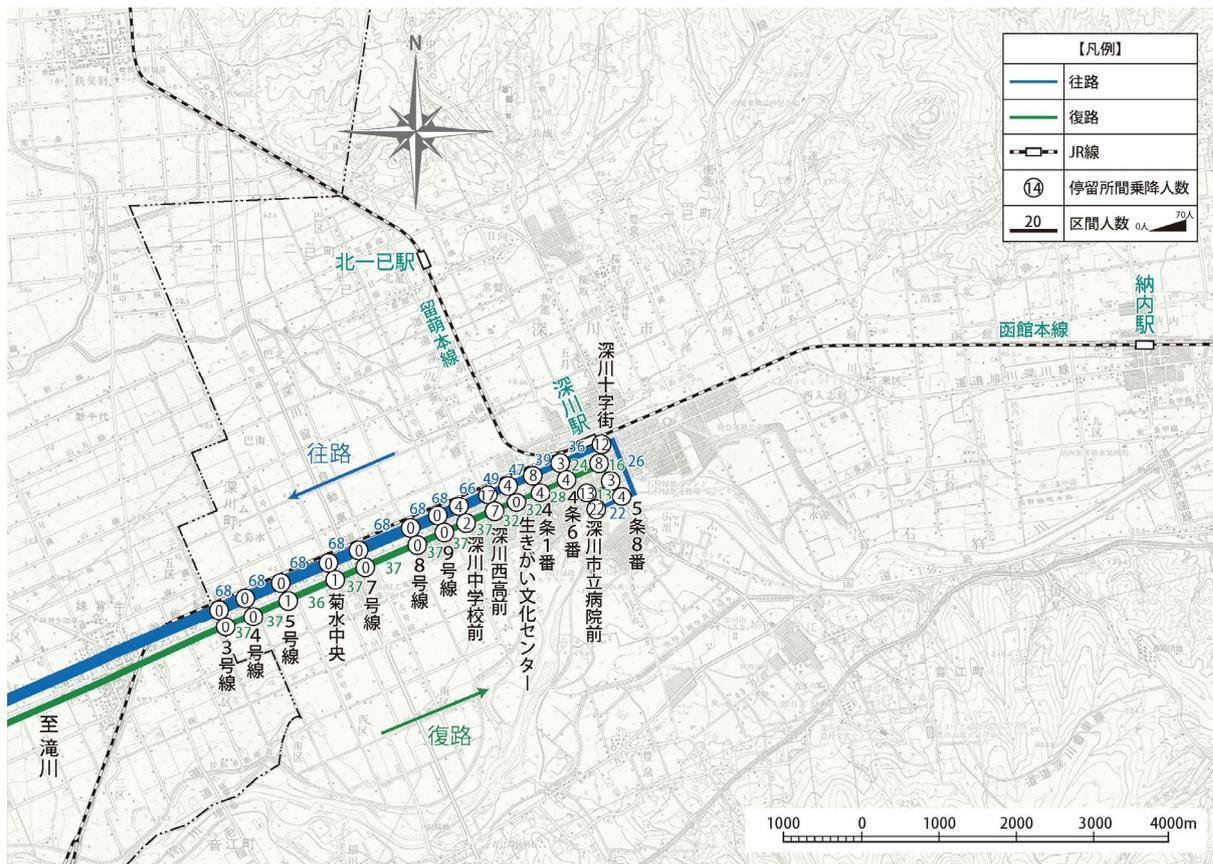


図 乗降調査図（区間人数及び停留所乗降人数）（深滝線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

⑤ 停留所間の移動人数

停留所間の移動人数は、「深川西高前」と「滝川駅前」間を移動した人が14人で最も多く、続いて「深川市立病院前」と「妹背牛」間が10人、「深川市立病院前」と「滝川駅前」間が8人となりました。

利用が少なかった区間としては、「9号線」から「3号線」までは乗降が3人しかなく、「菊水中央」と「5号線」以外の停留所は利用がありませんでした。

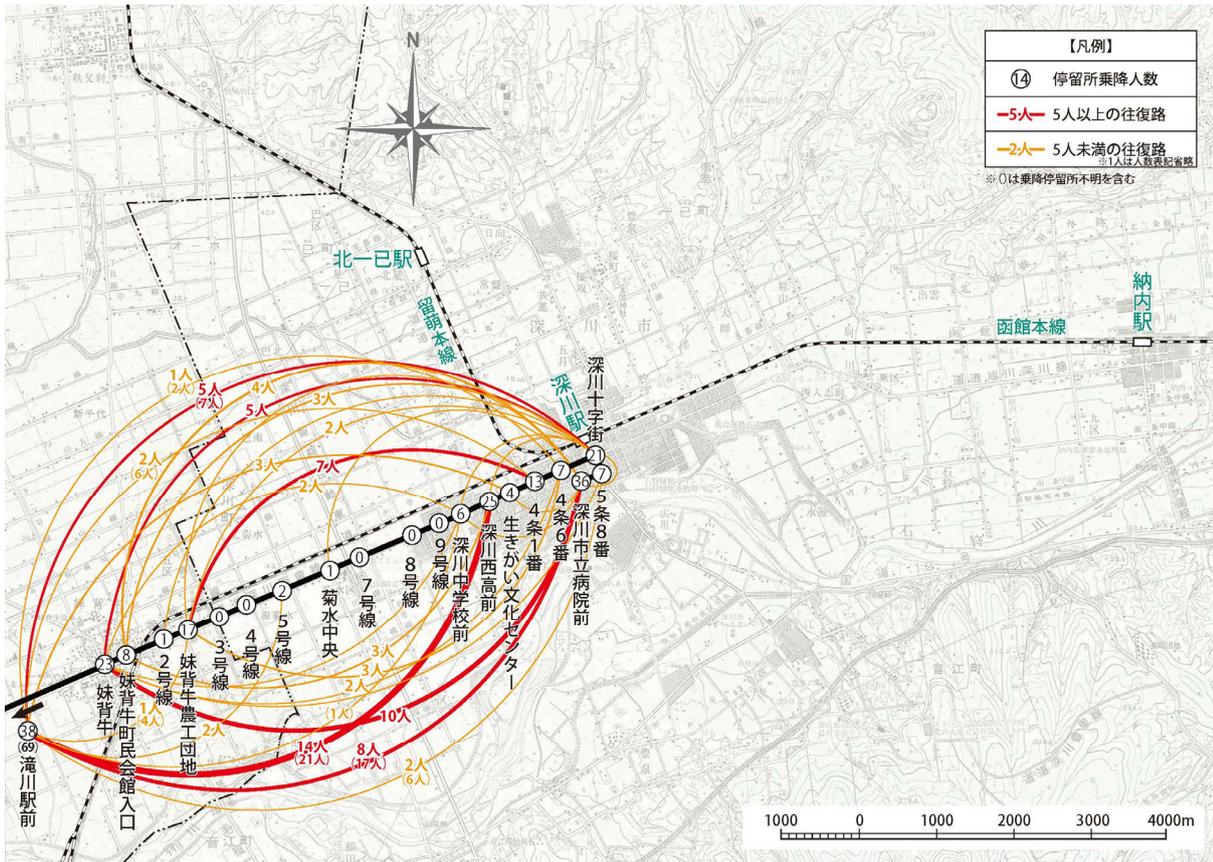


図 乗降調査図（停留所間移動人数）（深滝線）

6) 深旭線

①利用者数

旭川行き（往路）の利用者数は、合計で38人となり、「第5便」が14人で最も多く、続いて「第6便」が7人と遅い時間帯に利用が集中し、「第1便」から「第4便」は5人以下となりました。

深川行き（復路）の利用者数は、合計で38人となり、「第1便」が20人で最も多く、続いて「第2便」が9人と早い時間帯に利用が集中し、「第7便」については利用がありませんでした。

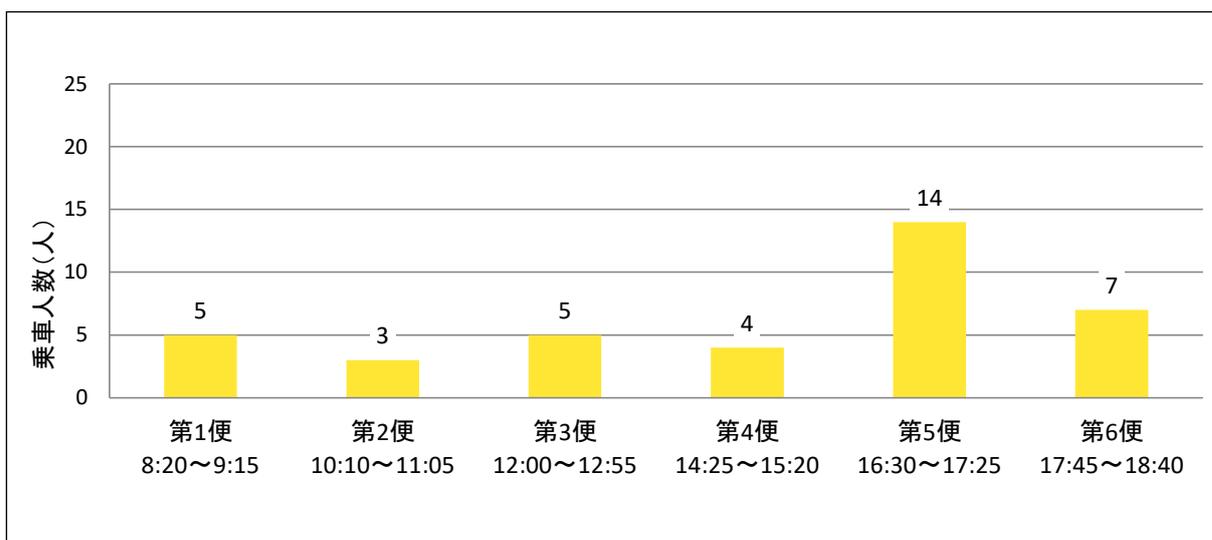


図 旭川行き（往路）の利用者数（深旭線）

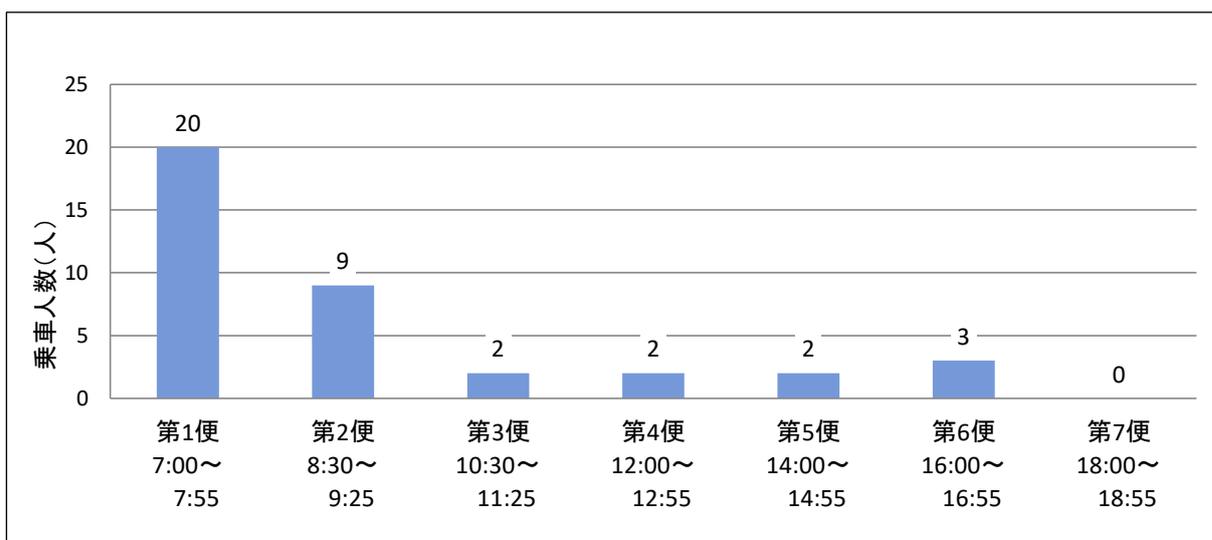


図 深川行き（復路）の利用者数（深旭線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

②年齢

旭川行き（往路）の乗客の年齢階層は、第1便と第3便は「19～65歳」、第2便と第4便は「65歳以上」、第5便と第6便は「16～18歳」の利用が多くなりました。

深川行き（復路）の乗客の年齢階層は、第1便は「16～18歳」、第2便、第5便、第6便は「19～65歳」、第4便は「65歳以上」の利用が多く、第3便は「19～65歳」と「65歳以上」の利用がそれぞれ半数となりました。

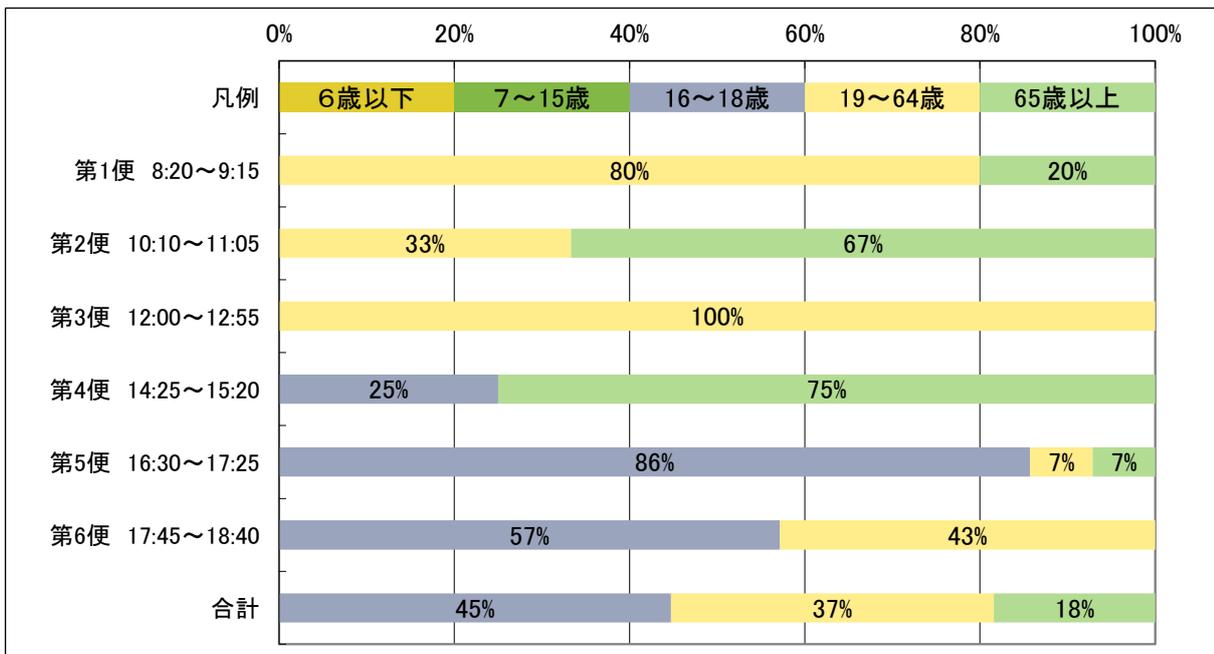


図 旭川行き（往路）の乗客の年齢階層（深旭線）

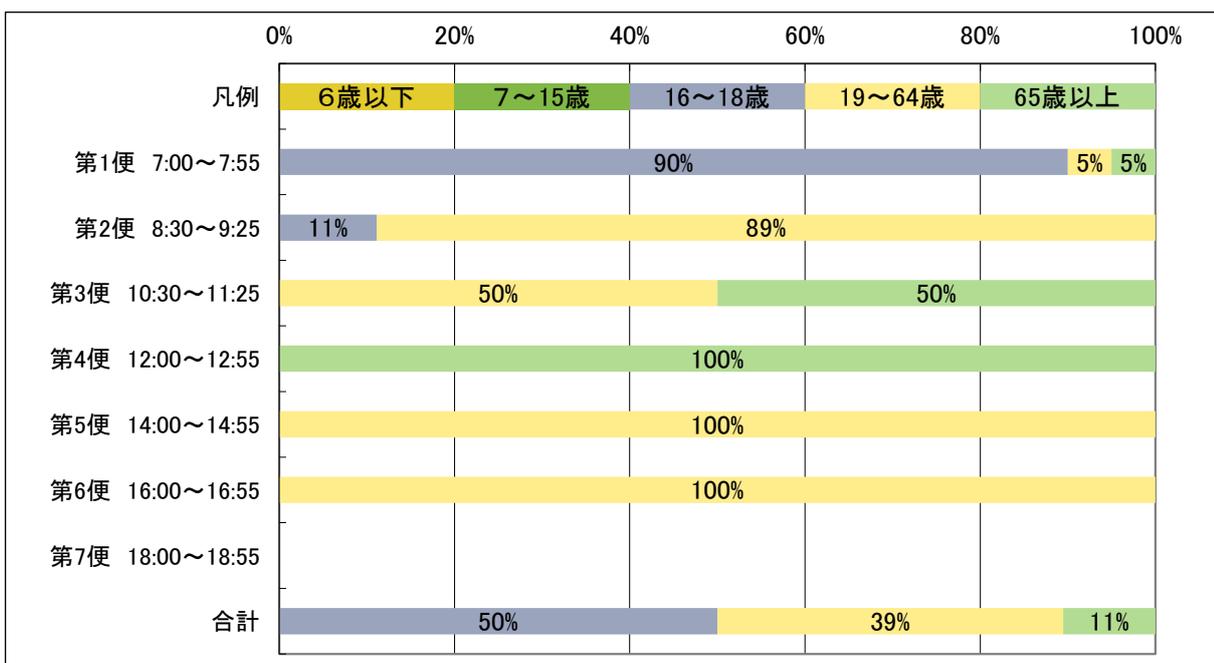


図 深川行き（復路）の乗客の年齢階層（深旭線）

③性別

旭川行き（往路）の乗客の性別は、第1便、第4便、第5便は「男性」、第2便、第3便、第6便は「女性」の利用が多く、第4便は男性が75%となりました。

深川行き（復路）の乗客の性別は、第1便から第4便は「女性」、第6便は「男性」が多く、第3便と第4便はすべて女性の利用となりました。

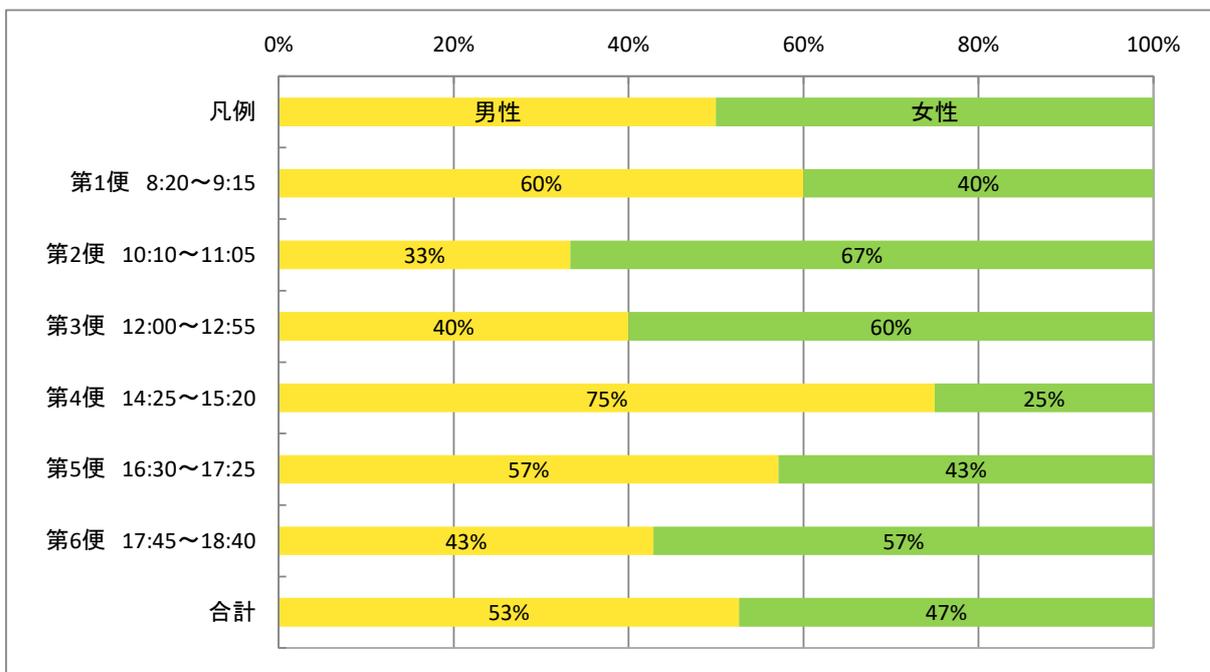


図 旭川行き（往路）の乗客の性別（深旭線）

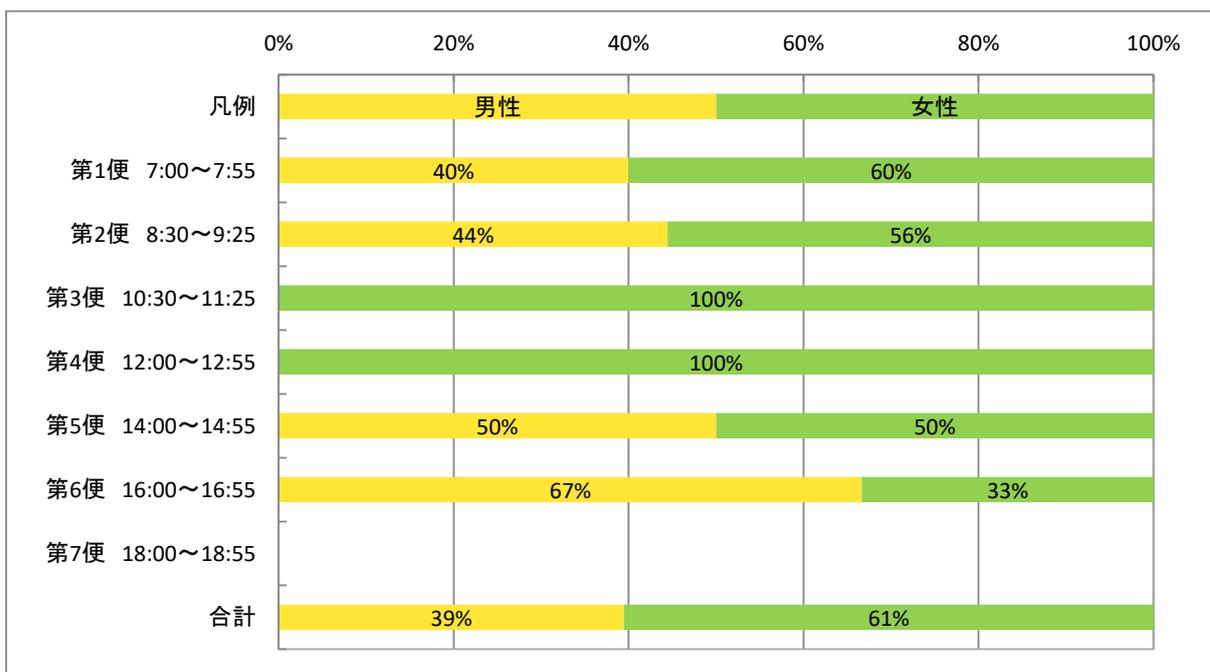


図 深川行き（復路）の乗客の性別（深旭線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

④各停留所の乗降人数と区間人数

停留所の乗降人数は、旭川行き（往路）では「深川市立病院前」が25人で最も多く、続いて「納内」が7人、深川行き（復路）では「深川市立病院前」が23人で最も多く、続いて「納内」が8人となりました。

区間人数は、旭川行き（往路）では「一已7丁目-一已13丁目」が36人、深川行き（復路）では「一已8丁目-一已7丁目」が36人で最も多く、少ない区間でも20人前後の乗車がありました。

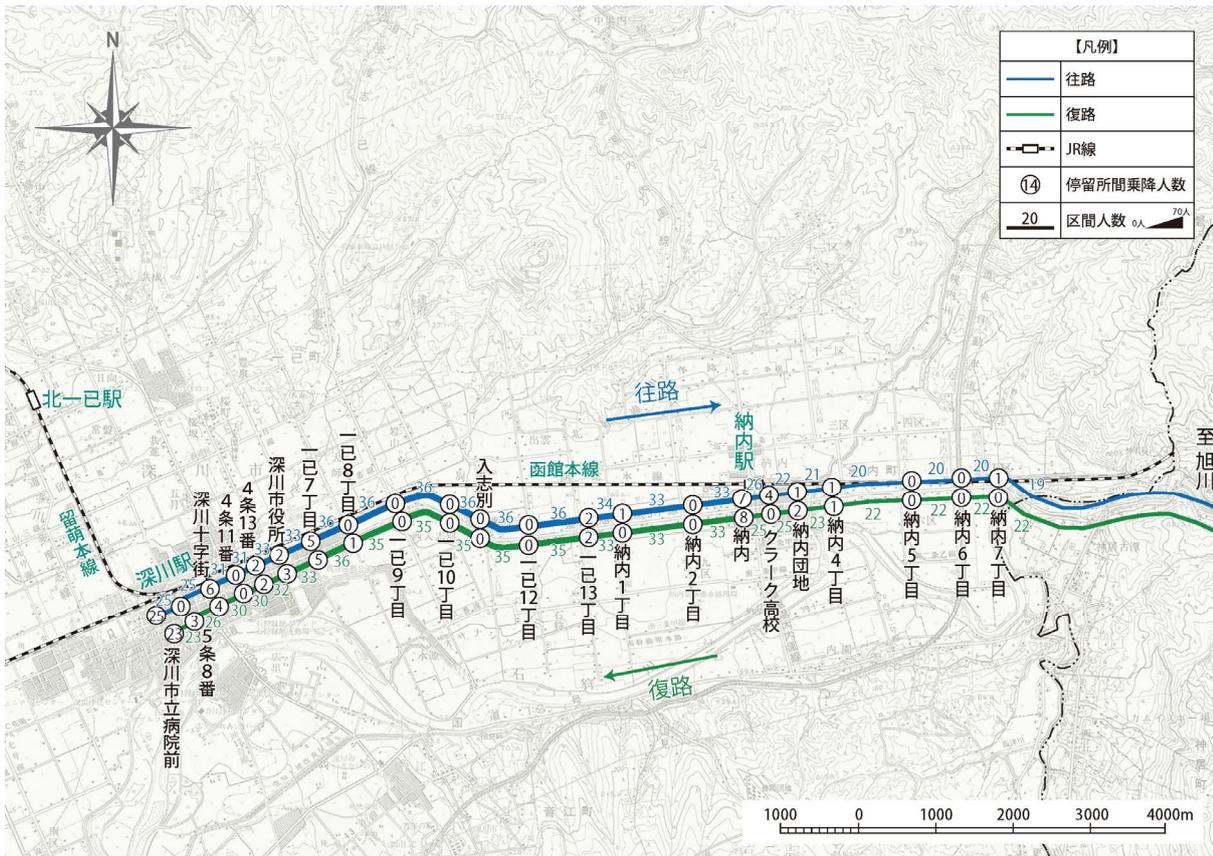


図 乗降調査図（区間人数及び停留所乗降人数）（深旭線）

⑤ 停留所間の移動人数

停留所間の移動人数は、「深川市立病院前」と「旭川駅前」間を移動した人が10人で最も多く、続いて「一已7丁目」と「納内」間が7人となり、深川市立病院前は11箇所の停留所と往来がありました。

利用が少なかった区間としては、「一已9丁目」から「一已12丁目」までは乗降がなく、「納内5丁目」から「神納橋」までは乗降が1人で、「納内7丁目」以外の停留所は利用がありませんでした。

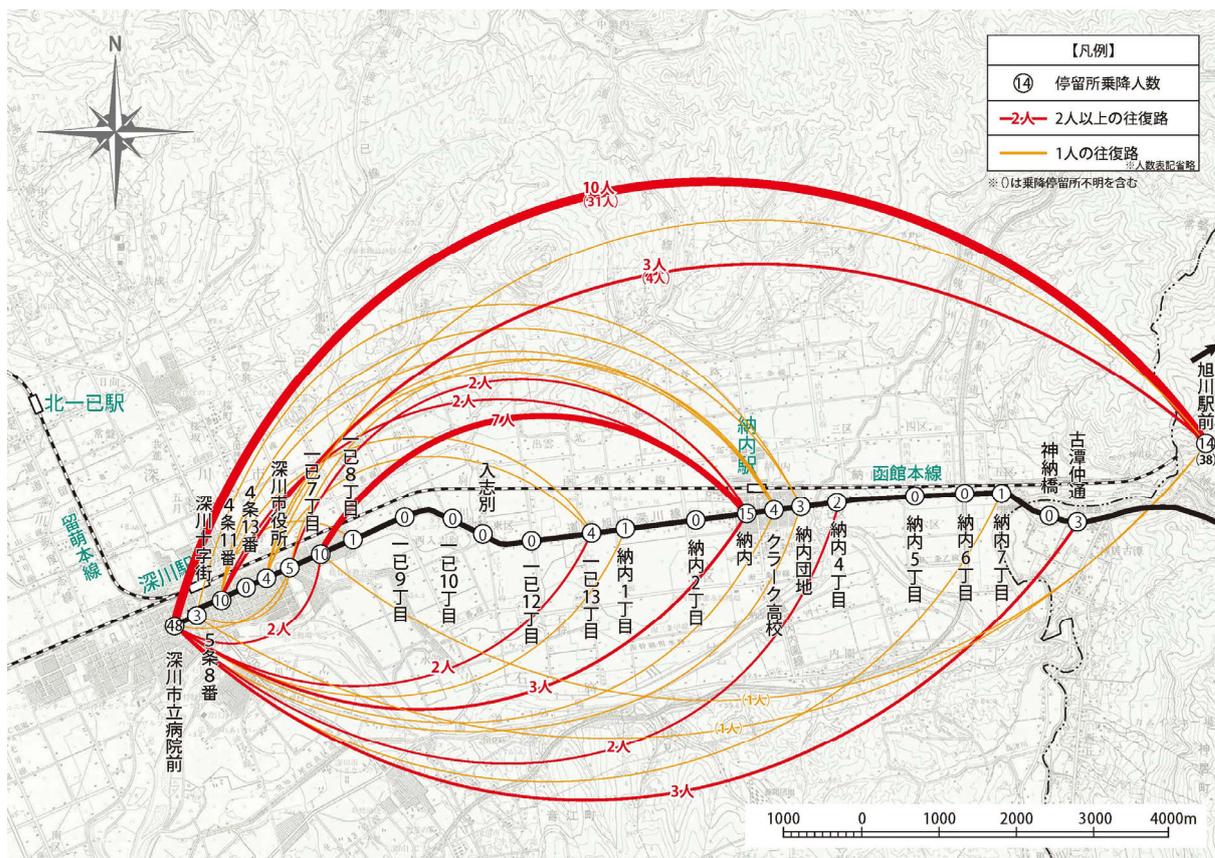


図 乗降調査図（停留所間移動人数）（深旭線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

7) 沼田線

①利用者数

沼田行き（往路）の利用者数は、合計で32人となり、「第3便」が11人で最も多く、続いて「第2便」と「第5便」が6人、「第1便」が5人、「第4便」が4人となりました。

深川行き（復路）の利用者数は、合計で27人となり、「第1便」が16人で最も多く、「第2便」以降は4人以下の利用と、第1便に利用が集中している状況となりました。

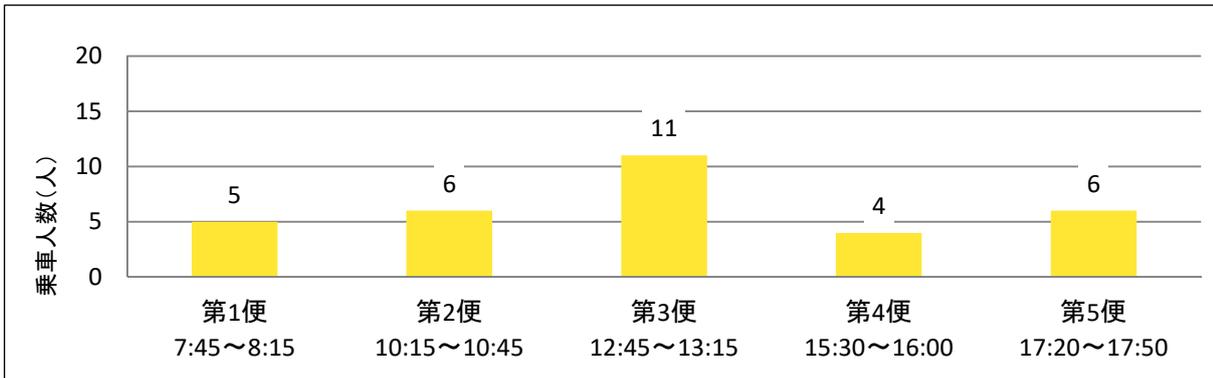


図 沼田行き（往路）の利用者数（沼田線）

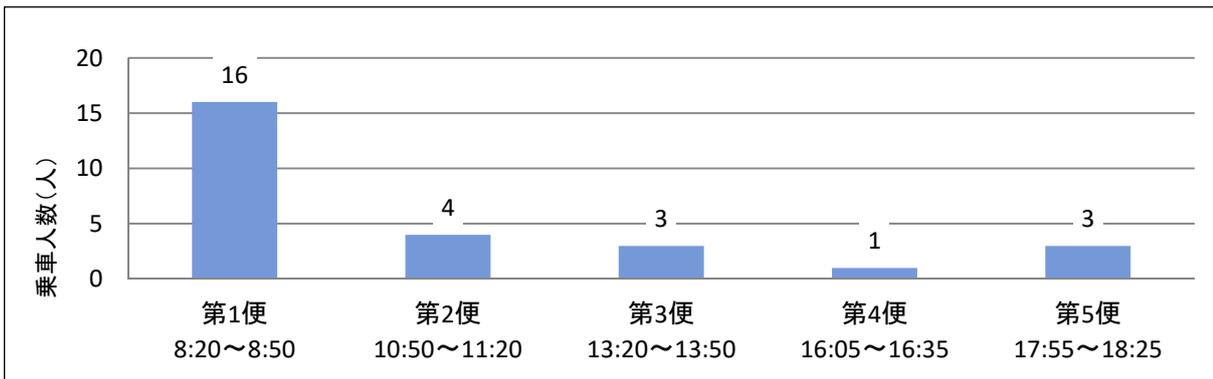


図 深川行き（復路）の利用者数（沼田線）

②年齢

沼田行き（往路）の乗客の年齢階層は、第1便、第4便、第5便は「19～65歳」、第2便と第3便は「65歳以上」の利用が多く、「16～18歳」は第5便で17%の利用がありました。

深川行き（復路）の乗客の年齢階層は、第1便は「65歳以上」、第2便以降は「19～65歳」の利用が多く、「16～18歳」は第2便で25%の利用がありました。

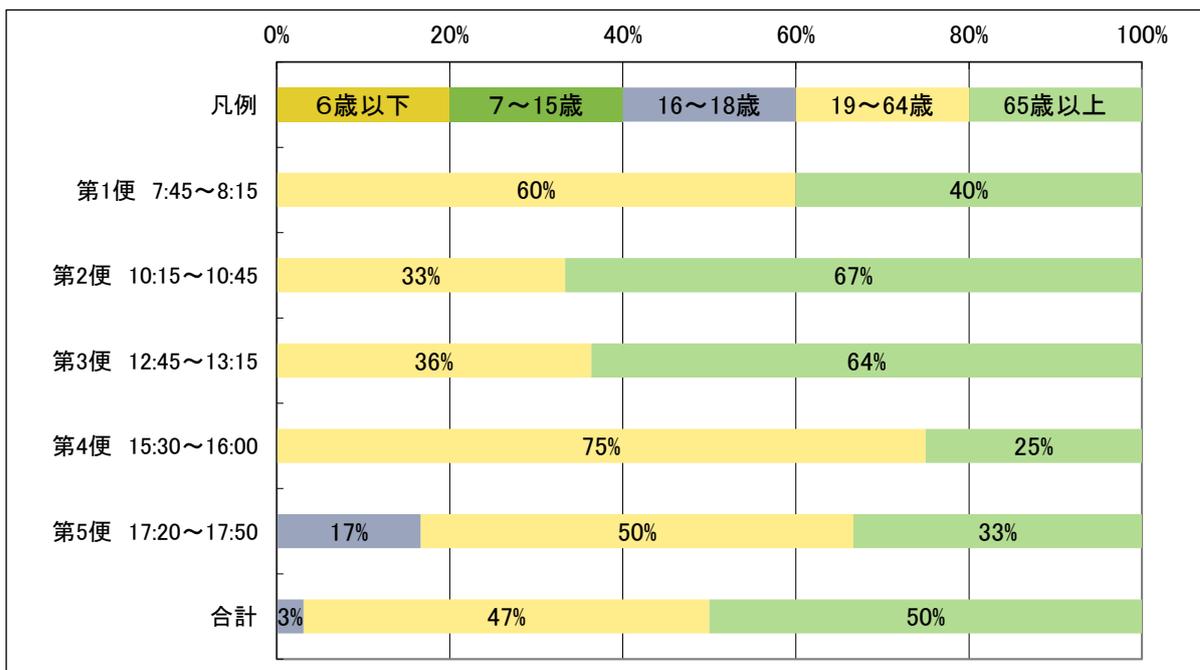


図 沼田行き（往路）の乗客の年齢階層（沼田線）

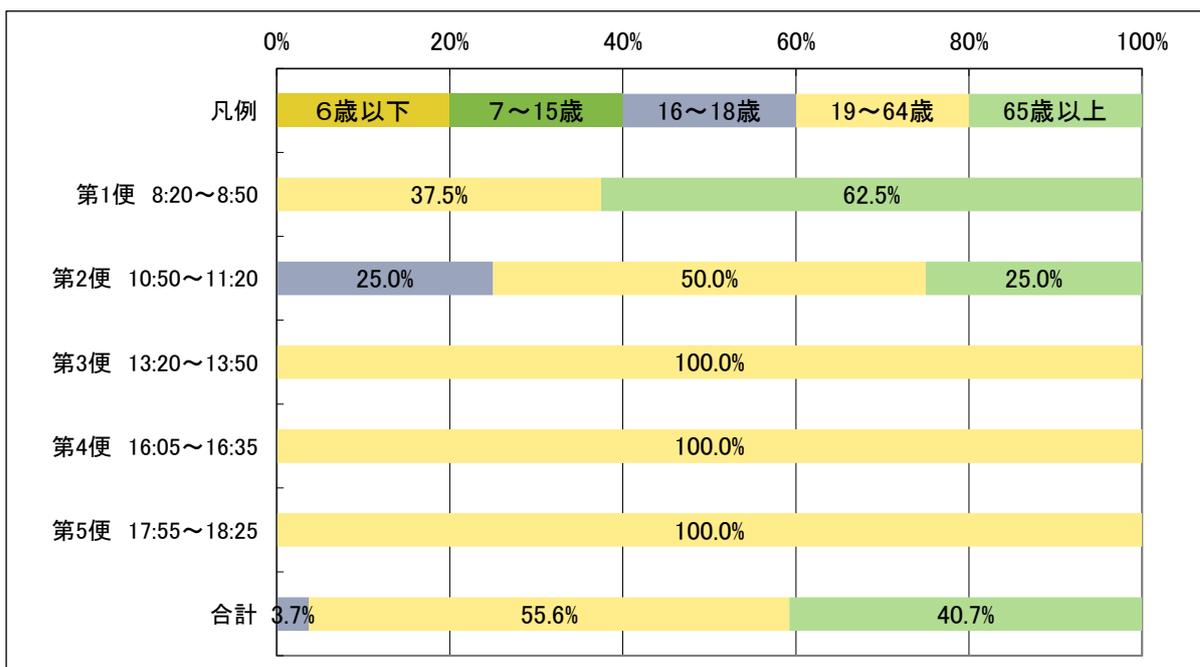


図 深川行き（復路）の乗客の年齢階層（沼田線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

③性別

沼田行き（往路）の乗客の性別は、第1便と第2便は「男性」、第3便から第5便は「女性」の利用が多く、第5便は女性が83%となりました。

深川行き（復路）の乗客の性別は、第1便、第4便、第5便は「女性」、第3便は「男性」が多く、第4便はすべて女性の利用となりました。

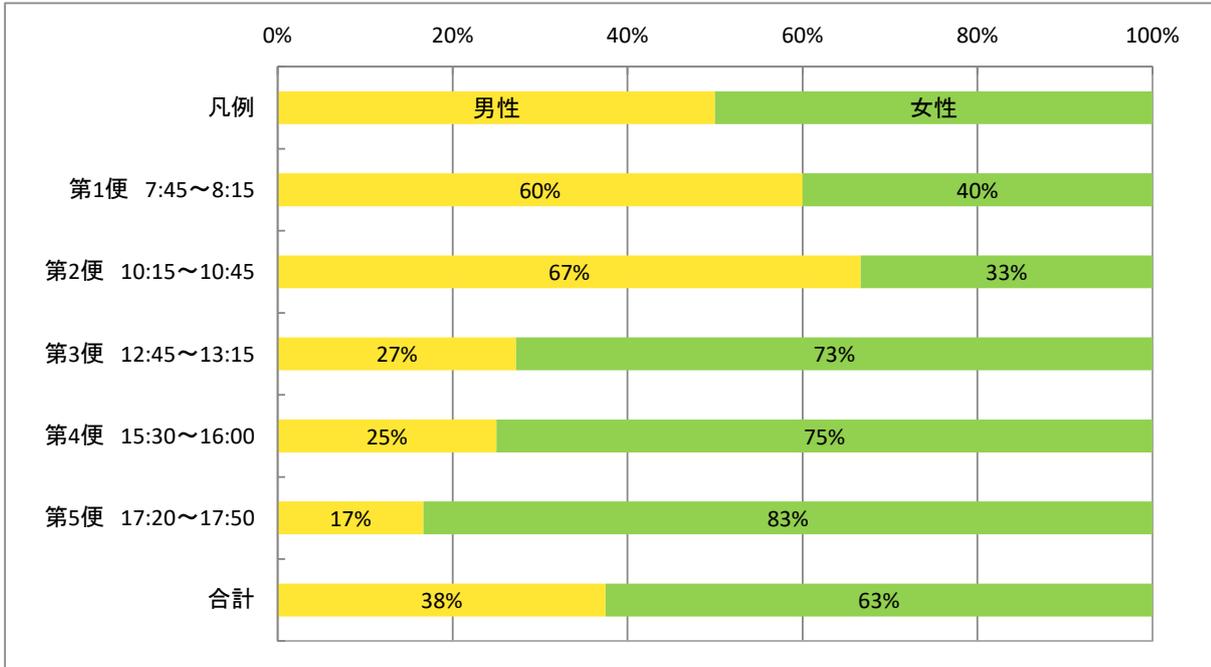


図 沼田行き（往路）の乗客の性別（沼田線）

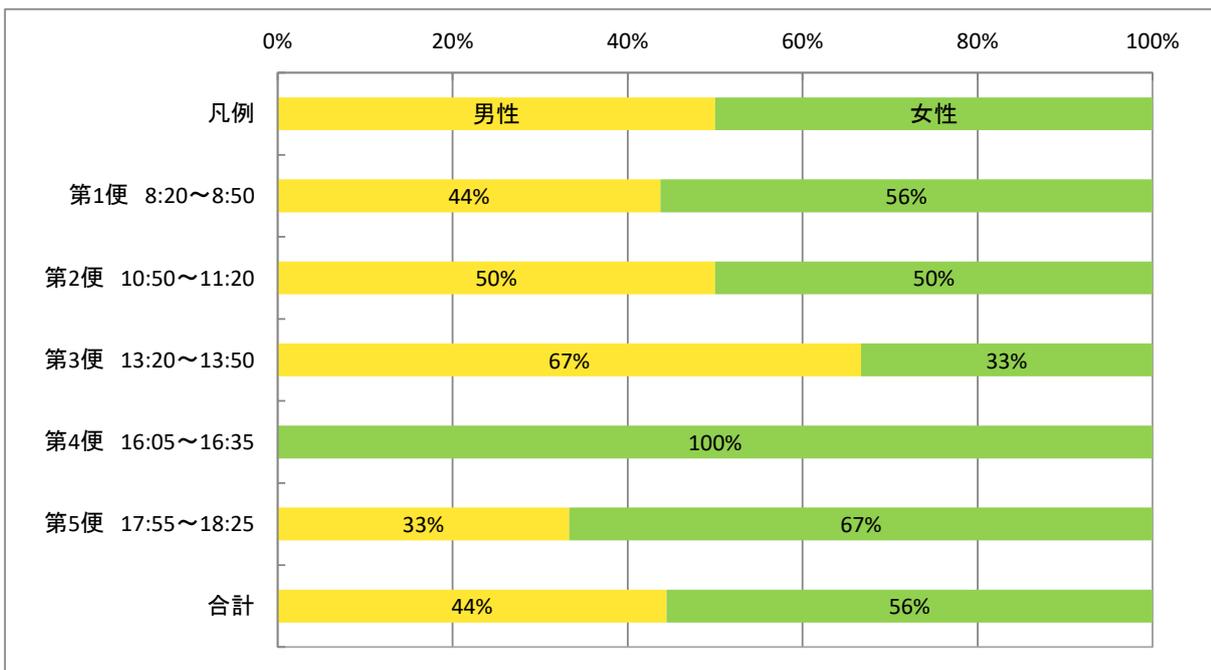


図 深川行き（復路）の乗客の性別（沼田線）

④各停留所の乗降人数と区間人数

停留所の乗降人数は、沼田行き（往路）では「深川市立病院前」が14人で最も多く、続いて「深川十字街」が12人、深川行き（復路）では「深川市立病院前」が14人で最も多く、続いて「深川十字街」が7人となりました。

区間人数は、沼田行き（往路）では「4条11番-北光町2丁目」と「北光町3丁目-深川第一病院」が28人、深川行き（復路）では「深川第一病院-北光町3丁目」が27人で最も多く、最も少ない区間でも14人の乗車がありました。

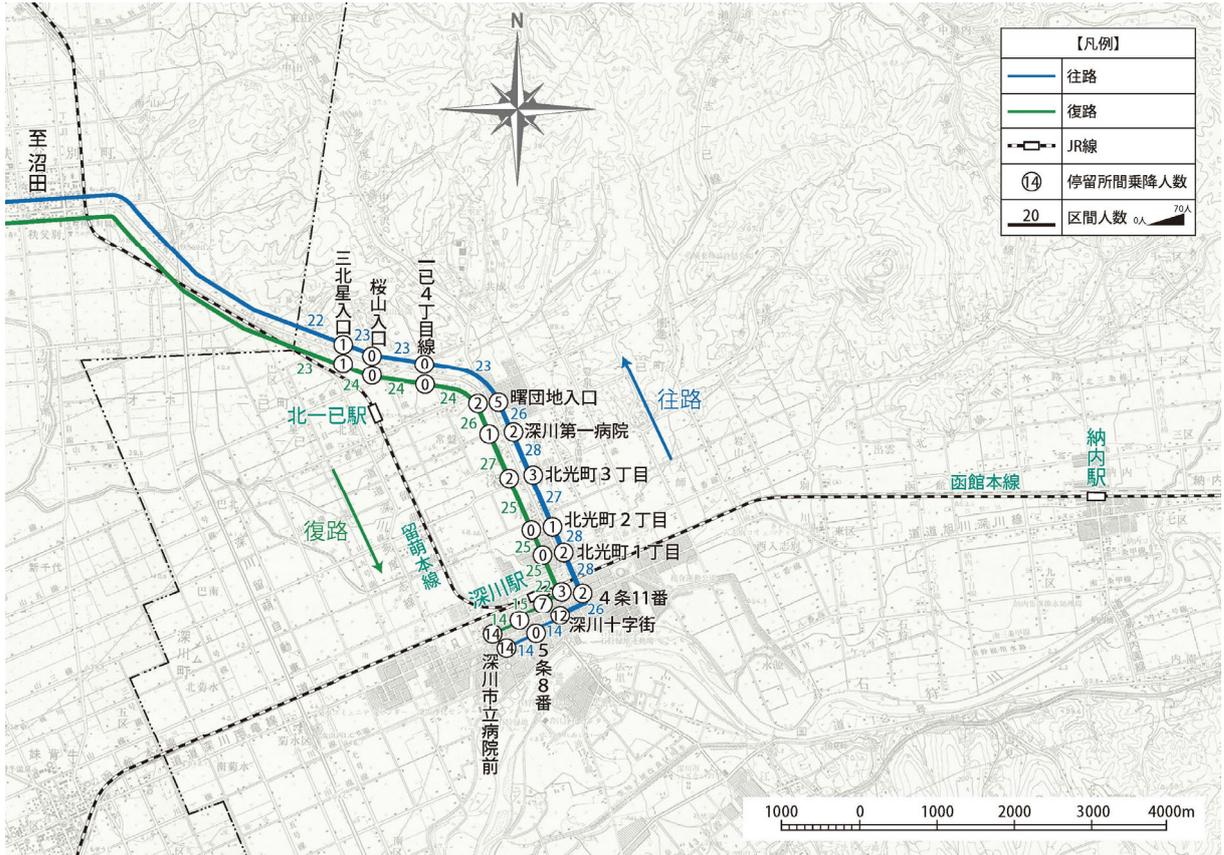


図 乗降調査図（区間人数及び停留所乗降人数）（沼田線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

⑤ 停留所間の移動人数

停留所間の移動人数は、「深川市立病院前」と「沼田駅前」間を移動した人が8人で最も多く、続いて「深川十字街」と「沼田駅前」間が7人、「深川十字街」と「曙団地入口」間が5人となりました。

利用が少なかった区間としては、「一已4丁目線」から「大聖寺前」までは乗降が3人しかなく、「三北星入口」と「南2条」と「南1条」以外の停留所は利用がありませんでした。

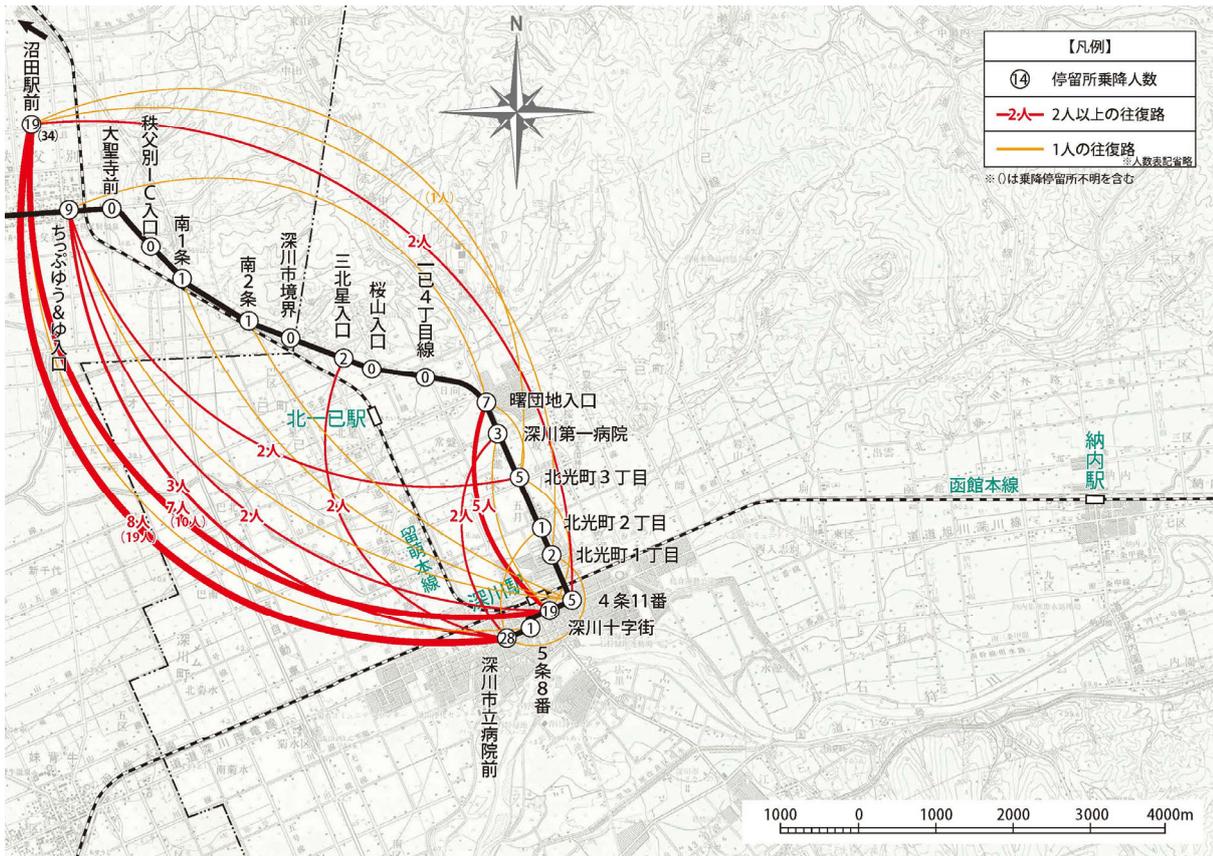


図 乗降調査図（停留所間移動人数）（沼田線）

8) 北竜線

①利用者数

北竜行き（往路）の利用者数は、合計で23人となり、「第5便」が11人で最も多く、「第3便」が9人、「第2便」と「第4便」が1～2人と続き、「第1便」は利用がありませんでした。

深川行き（復路）の利用者数は、合計で32人となり、「第1便」が19人で最も多く、「第3便」が6人、「第2便」が5人、「第4便」と「第5便」がそれぞれ1人と、第1便に利用が集中している状況となりました。

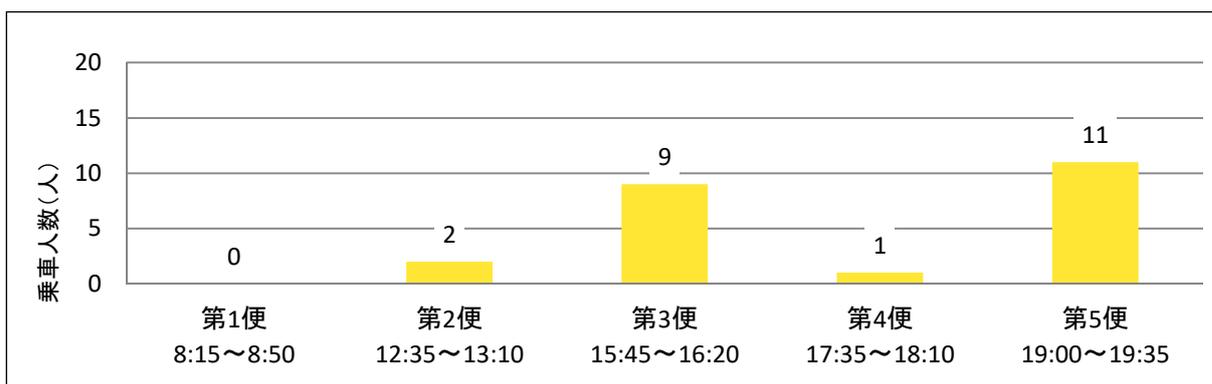


図 北竜行き（往路）の利用者数（北竜線）

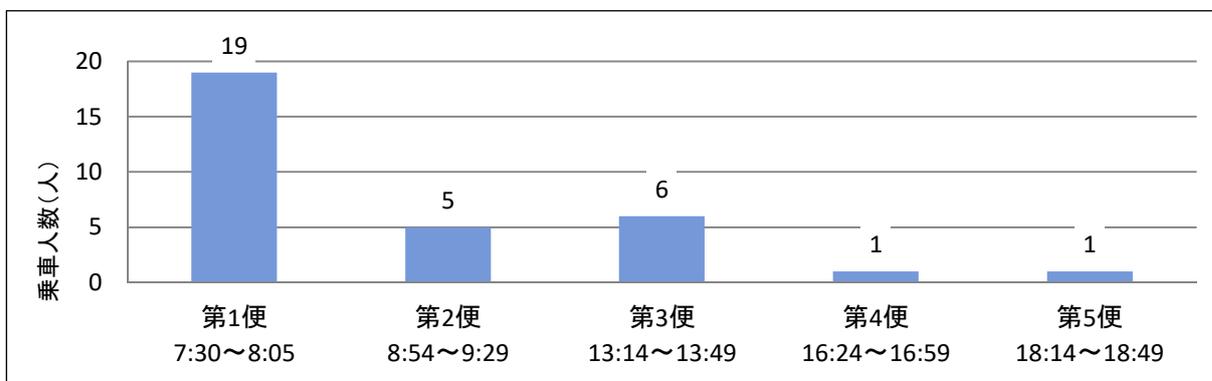


図 深川行き（復路）の利用者数（北竜線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

②年齢

北竜行き（往路）の乗客の年齢階層は、第3便と第5便は「16～18歳」、第4便は「65歳以上」の利用が多く、第2便は「19～65歳」と「65歳以上」の利用がそれぞれ半数となりました。

深川行き（復路）の乗客の年齢階層は、第1便は「16～18歳」、第2便と第3便と第5便は「65歳以上」、第4便は「19～65歳」の利用が大半を占めました。

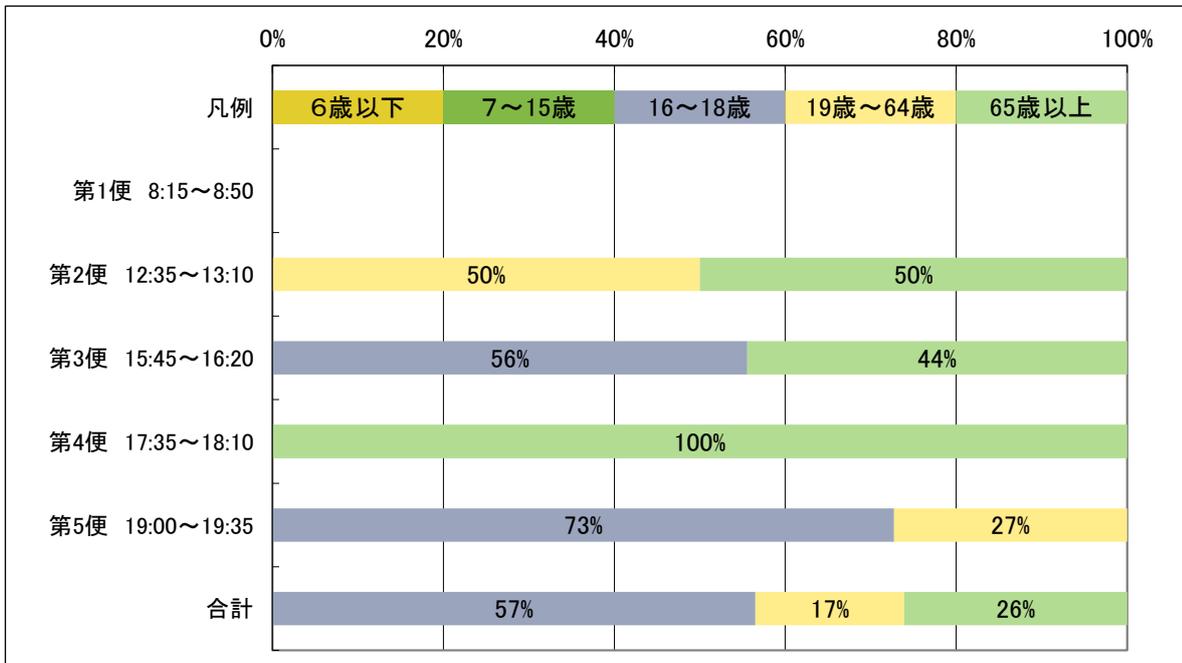


図 北竜行き（往路）の乗客の年齢階層（北竜線）

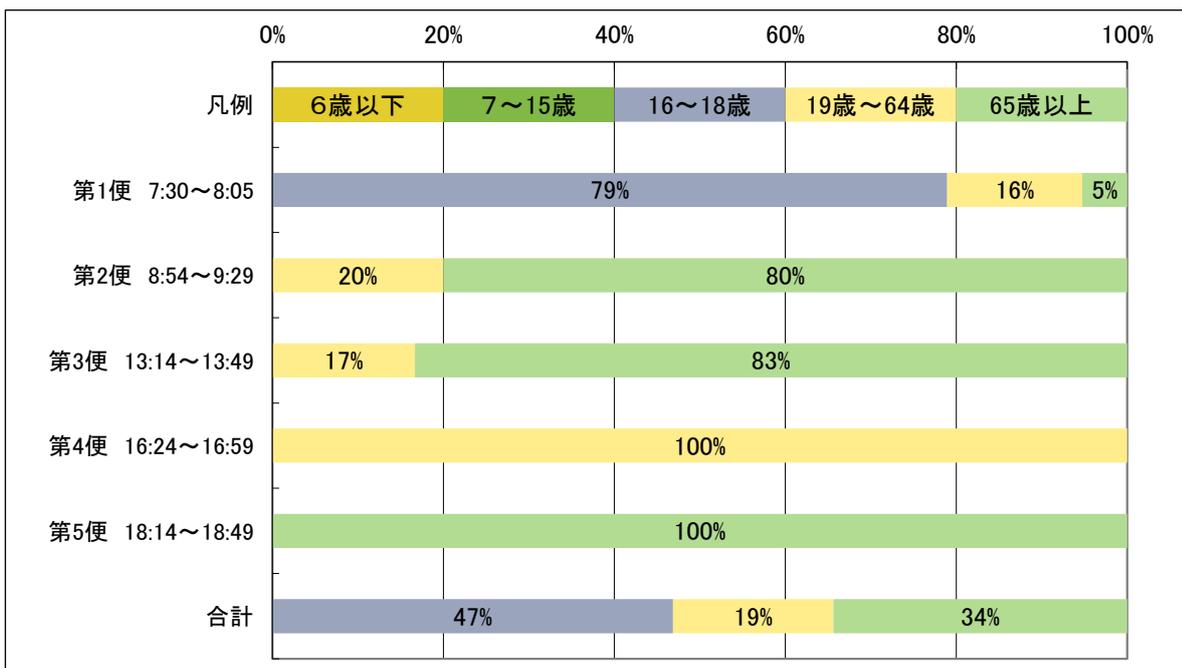


図 深川行き（復路）の乗客の年齢階層（北竜線）

③性別

北竜行き（往路）の乗客の性別は、すべての便で「女性」の利用が多く、第2便と第4便は全員、第3便と第5便は6割以上が「女性」の利用となりました。

深川行き（復路）の乗客の性別は、第1便から第3便は「女性」が多く、第4便と第5便はすべて「男性」の利用となりました。

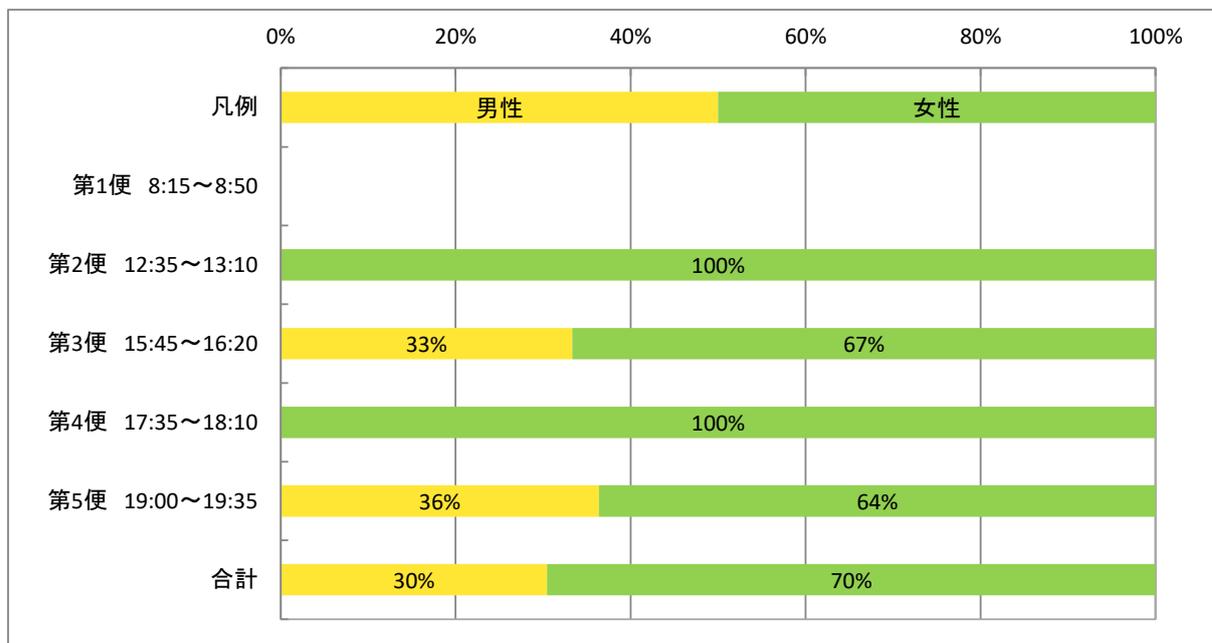


図 北竜行き（往路）の乗客の性別（北竜線）

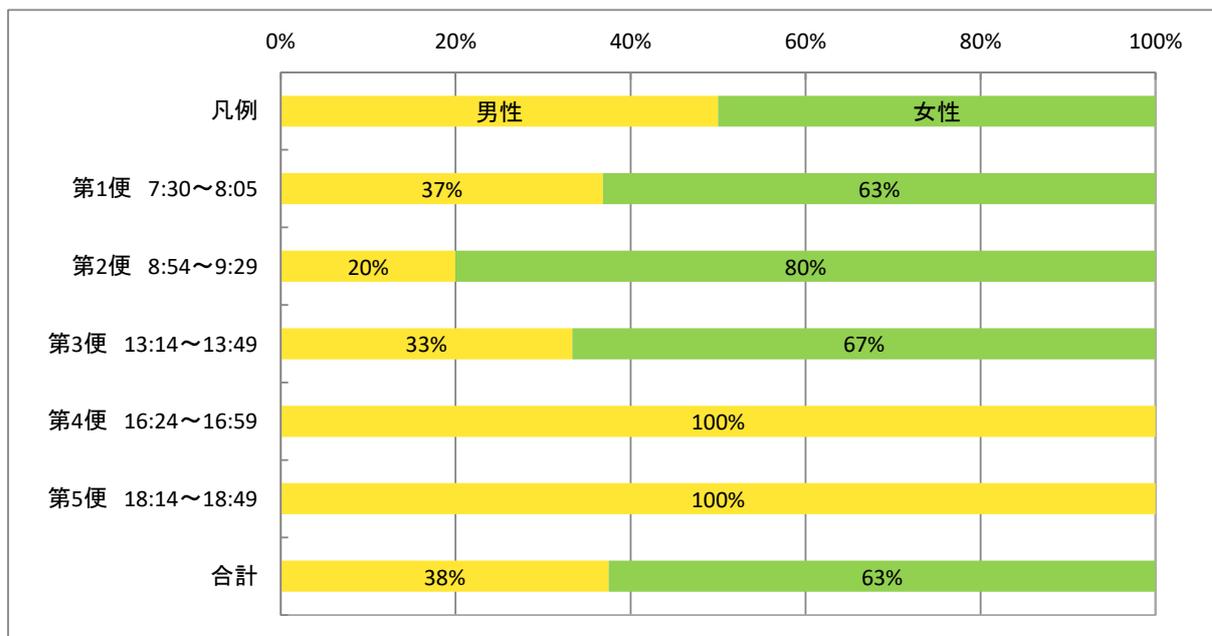


図 深川行き（復路）の乗客の性別（北竜線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

④各停留所の乗降人数と区間人数

停留所の乗降人数は、北竜行き（往路）では「深川西高前」が13人で最も多く、続いて「深川十字街」が4人、深川行き（復路）では「深川西高前」が14人で最も多く、続いて「深川市立病院前」が8人となりました。

区間人数は、北竜行き（往路）では「深川西高前-3号線」が22人、深川行き（復路）では「3号線-8号線」と「深川中学校前-深川西高前」が30人で最も多く、深川西高前と深川十字街で乗客数が大きく変わることが把握できました。

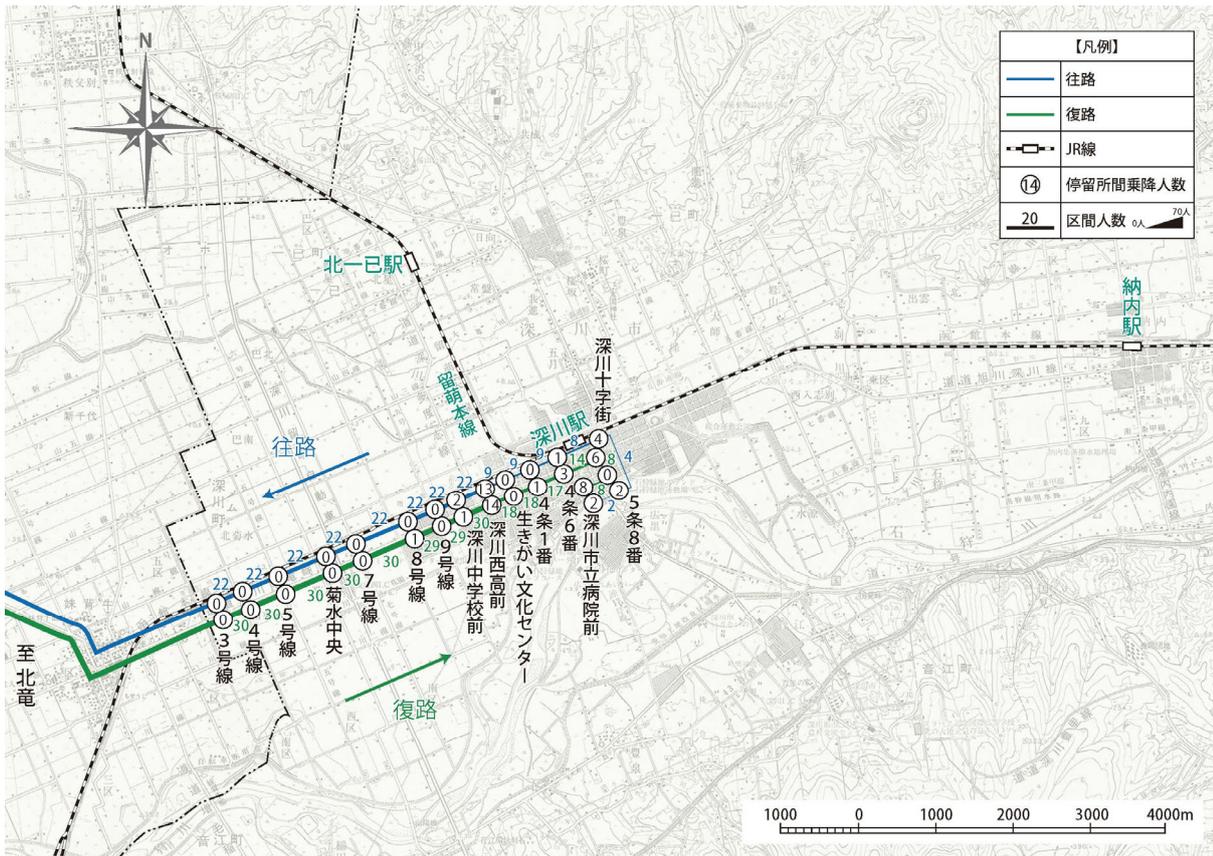


図 乗降調査図（区間人数及び停留所乗降人数）（北竜線）

⑤ 停留所間の移動人数

停留所間の移動人数は、「深川西高前」と「妹背牛」間を移動した人が11人で最も多く、続いて「深川市立病院前」と「妹背牛」間が8人、「深川西高前」と「北竜温泉」間が6人となりました。

利用が少なかった区間としては、「9号線」から「2号線」までは乗降が1人しかなく、「8号線」以外の停留所は利用がありませんでした。

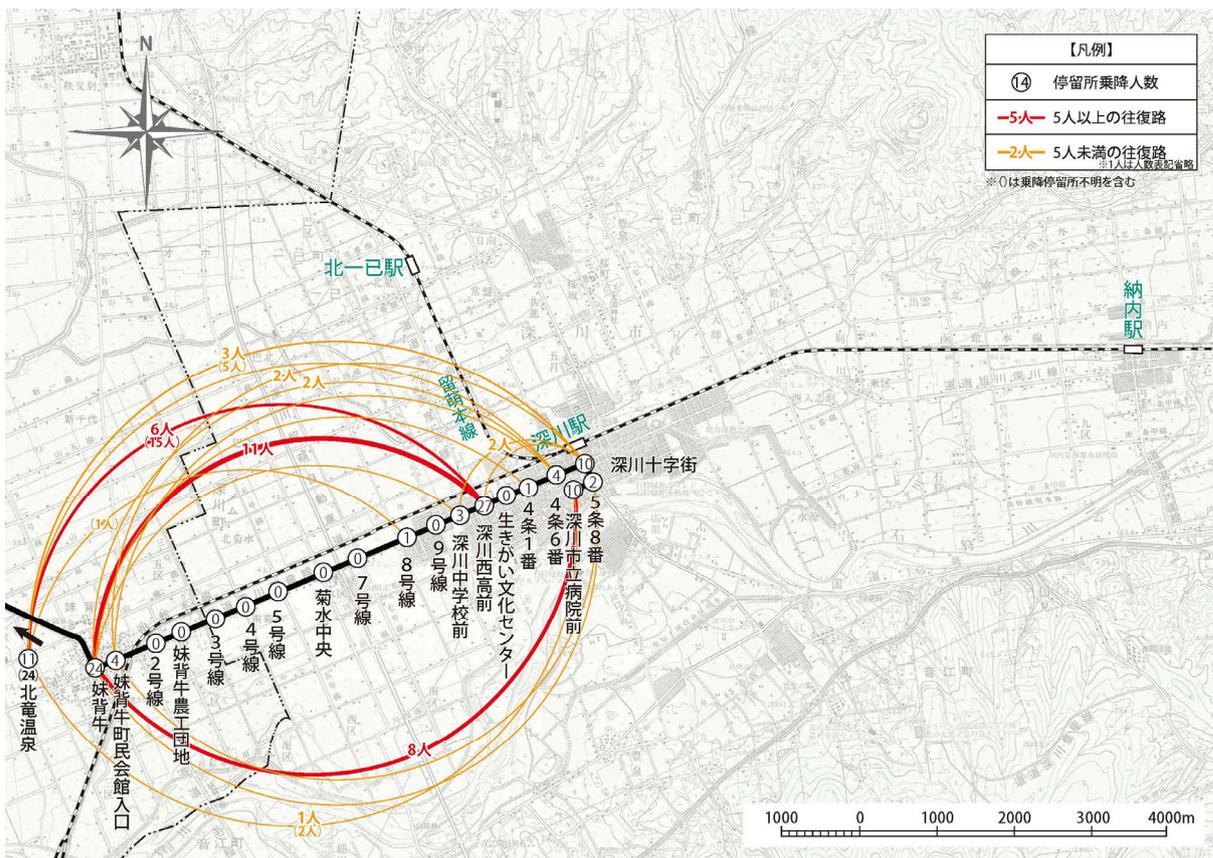


図 乗降調査図（停留所間移動人数）（北竜線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

9) 留萌旭川線

①利用者数

旭川行き（往路）の利用者数は、合計で28人となり、「第1便」が13人で最も多く、「第5便」と「第8便」が5人で続き、「第2便」と「第3便」と「第6便」は利用がありませんでした。

留萌行き（復路）の利用者数は、合計で26人となり、「第6便」と「第7便」と「第8便」が5人、「第1便」と「第4便」が4人とほとんど変わらず、「第3便」と「第5便」は利用がありませんでした。

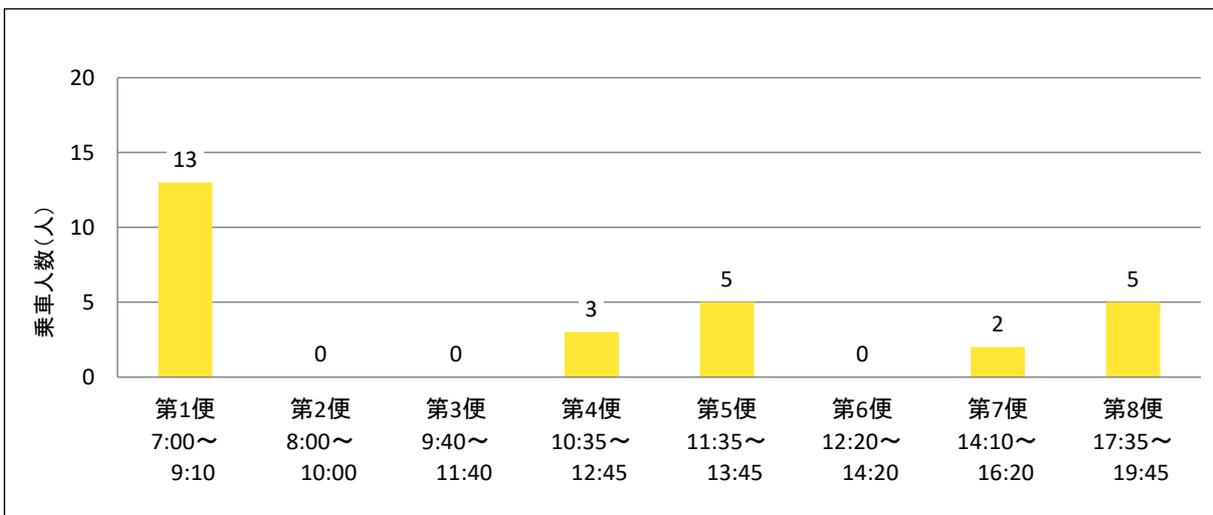


図 旭川行き（往路）の利用者数（留萌旭川線）

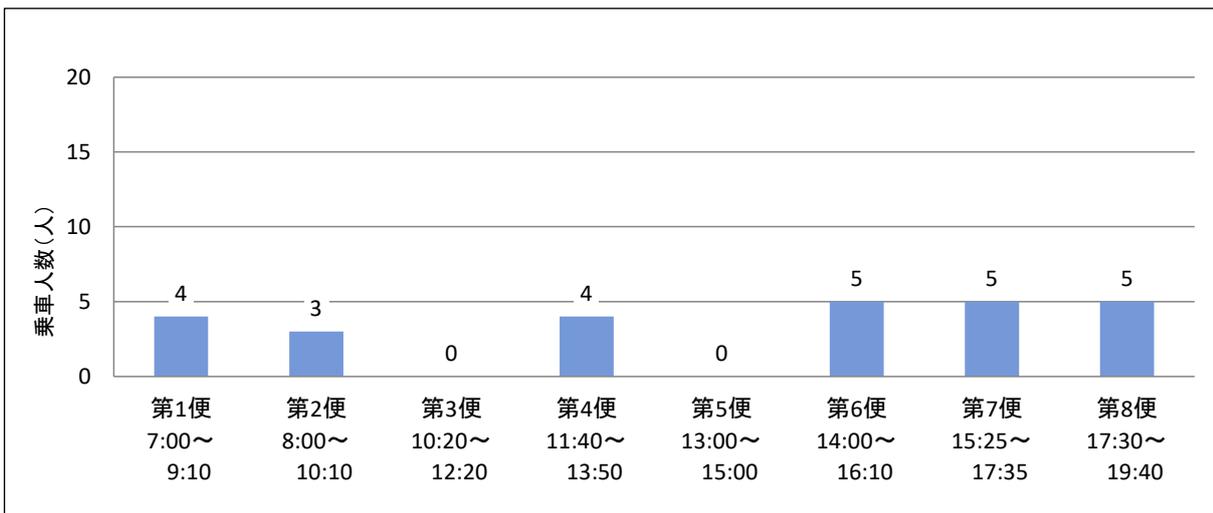


図 留萌行き（復路）の利用者数（留萌旭川線）

②年齢

旭川行き（往路）の乗客の年齢階層は、第1便と第4便は「19～65歳」、第5便は「65歳以上」の利用が多く、第7便は「19～65歳」と「65歳以上」が50%、第8便は「16～18歳」と「65歳以上」の利用が40%で同数となりました。

留萌行き（復路）の乗客の年齢階層は、第2便と第7便はすべて「19～65歳」、第4便がすべて「65歳以上」、第6便、第8便は「65歳以上」の利用が多く、第1便は「16～18歳」と「19～65歳」の利用が同数となりました。

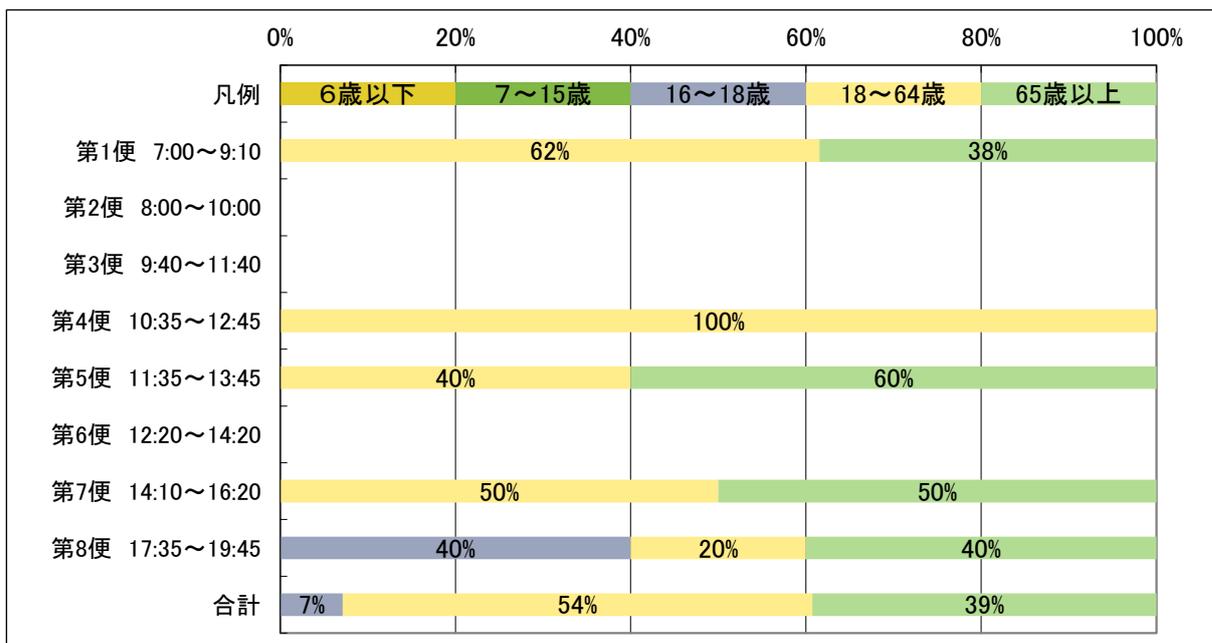


図 旭川行き（往路）の乗客の年齢階層（留萌旭川線）

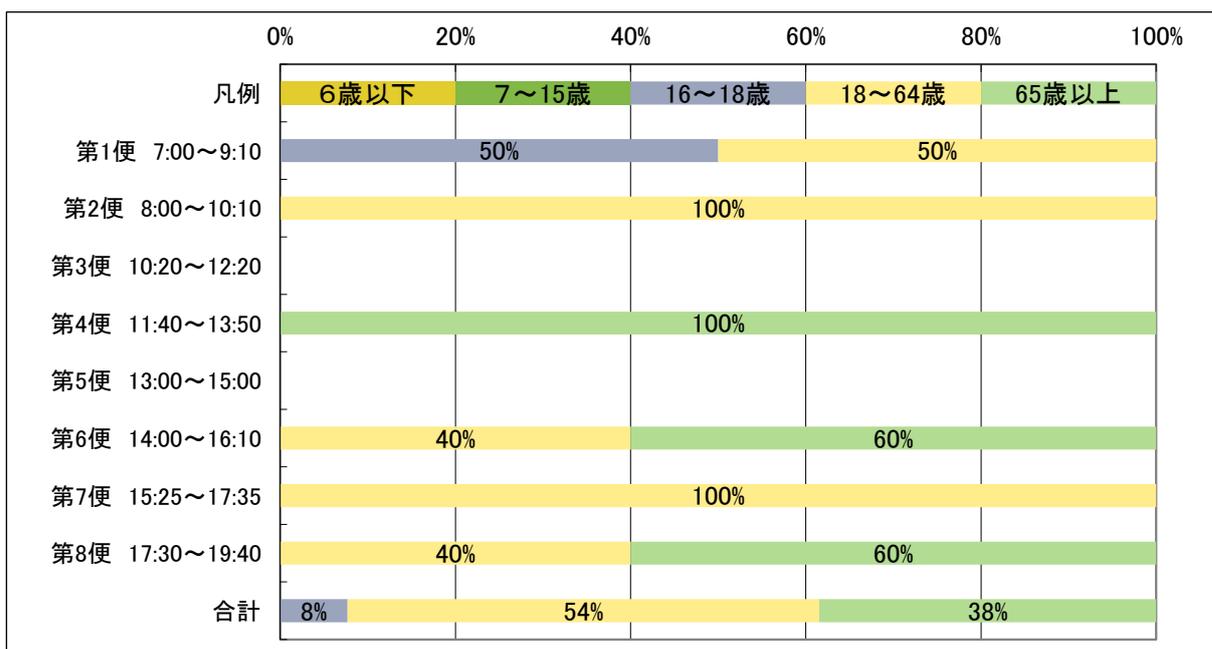


図 留萌行き（復路）の乗客の年齢階層（留萌旭川線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

③性別

旭川行き（往路）の乗客の性別は、第1便、第4便、第8便は「女性」、第5便は「男性」の利用が多く、第7便は「男性」と「女性」がそれぞれ同数の利用となりました。

留萌行き（復路）の乗客の性別は、第4便は「女性」、それ以外の便は「男性」の利用が多く、第4便以外は男性の利用が6割以上となりました。

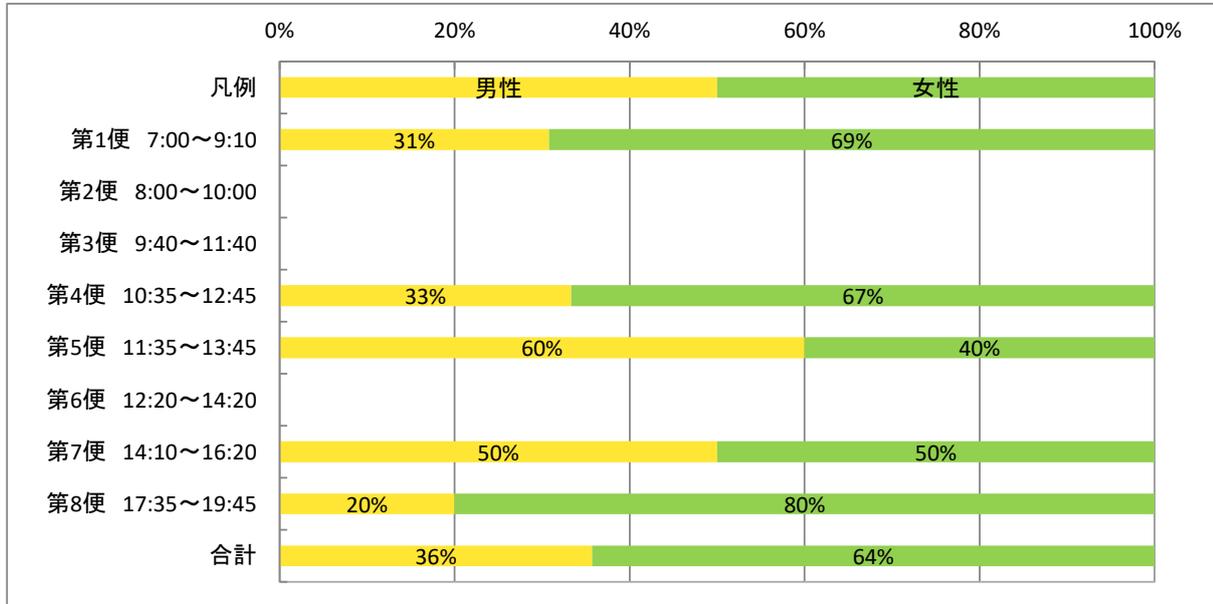


図 旭川行き（往路）の乗客の性別（留萌旭川線）



図 留萌行き（復路）の乗客の性別（留萌旭川線）

④各停留所の乗降人数と区間人数

停留所の乗降人数は、旭川行き（往路）では「深川十字街」が6人、「北光町3丁目」が2人など計10人、留萌行き（復路）では「深川十字街」が9人、「音江分岐点」と「北光町1丁目」が2人など計15人と、全体的に利用が少ない状況でした。

区間人数は、旭川行き（往路）では「深川第一病院-深川十字街」が18人、留萌行き（復路）では「北光町1丁目-1番通5丁目」が21人で最も多く、停留所の利用は少ないがバス内には乗客がいる状況で運行していることが把握できました。

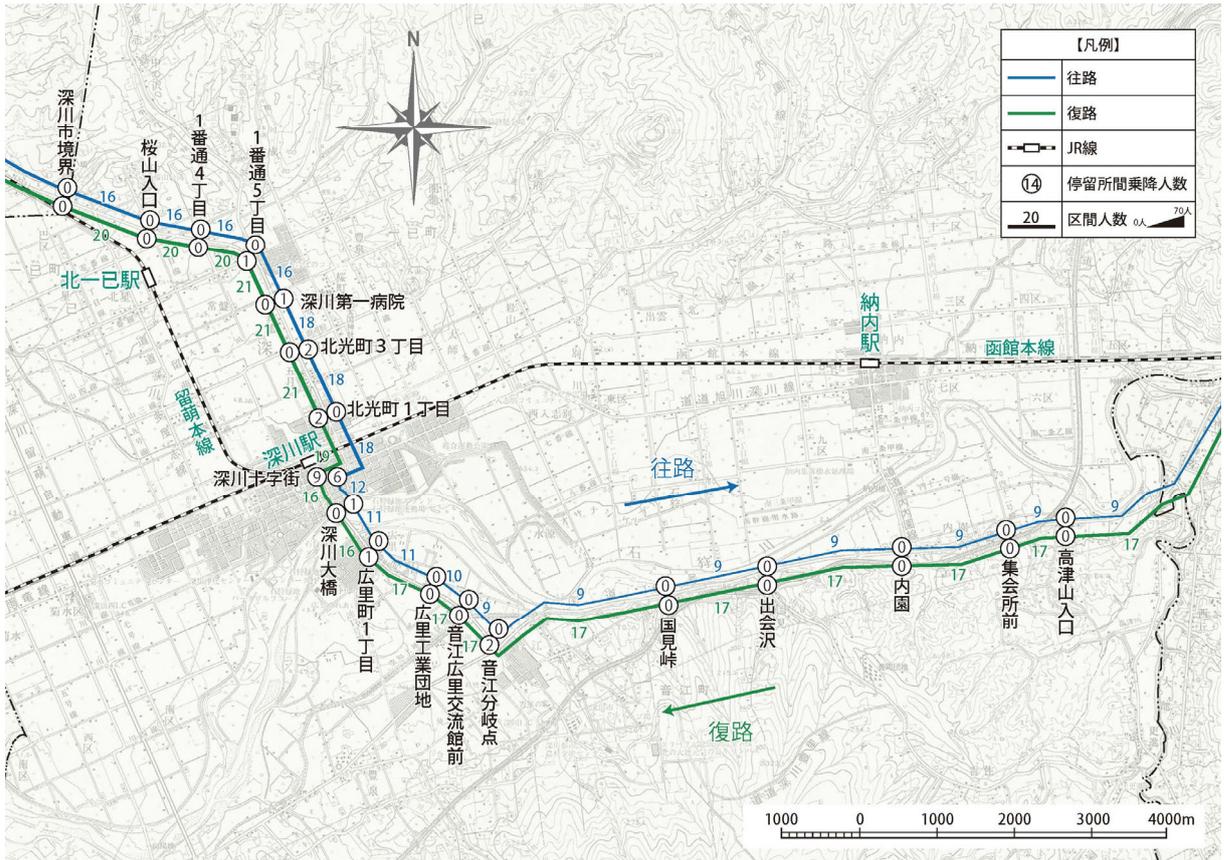


図 乗降調査図（区間人数及び停留所乗降人数）（留萌旭川線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

⑤ 停留所間の移動人数

停留所間の移動人数は、「深川十字街」と「旭川駅前」間を移動した人が2人で最も多く、深川十字街からは6箇所、旭川駅前からは4箇所の停留所と往来がありました。

「深川市境界」から「1番通4丁目」までと、「国見峠」から「高津山入口」までは乗降がありませんでした。

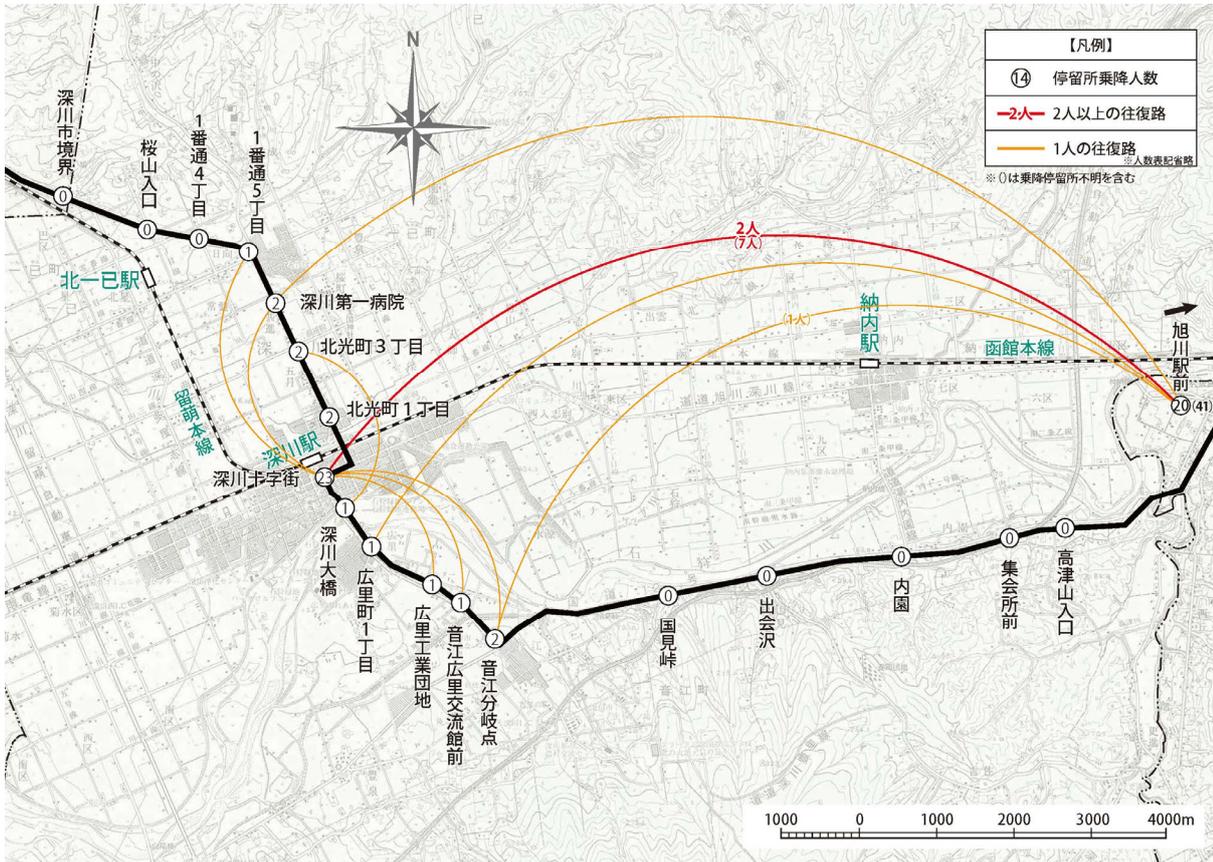


図 乗降調査図（停留所間移動人数）（留萌旭川線）

10) 深名線

①利用者数

幌加内行き（往路）の利用者数は、合計で11人となり、「第5便」は6人の利用がありました。それ以外の便はほとんど利用がなく、「第1便」と「第3便」は利用がありませんでした。

深川行き（復路）の利用者数は、合計で10人となり、「第1便」は5人の利用がありました。それ以外の便はほとんど利用がなく、「第4便」と「第6便」と「第7便」は利用がありませんでした。

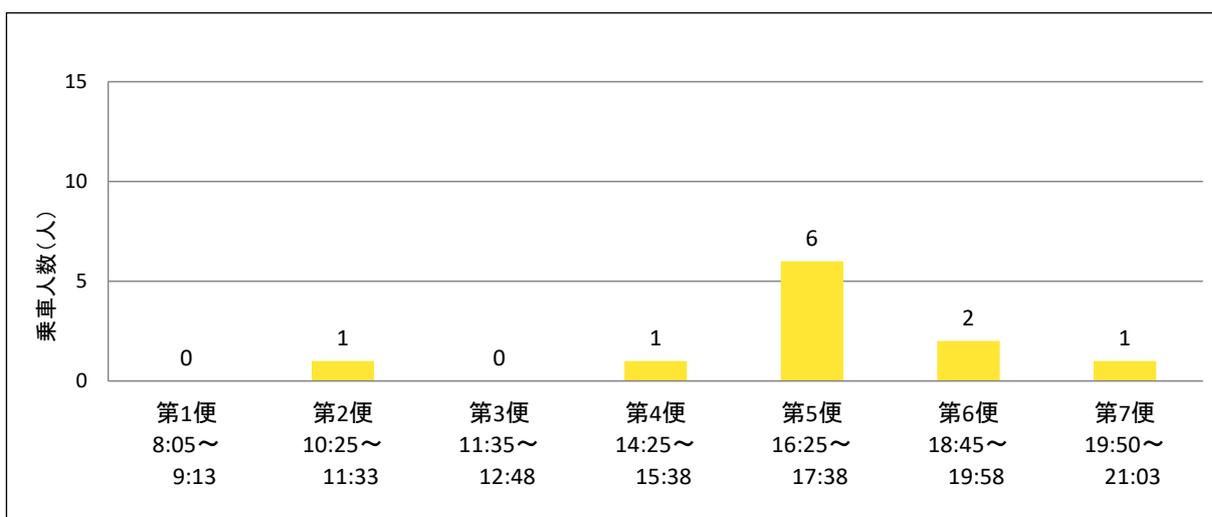


図 幌加内行き（往路）の利用者数（深名線）

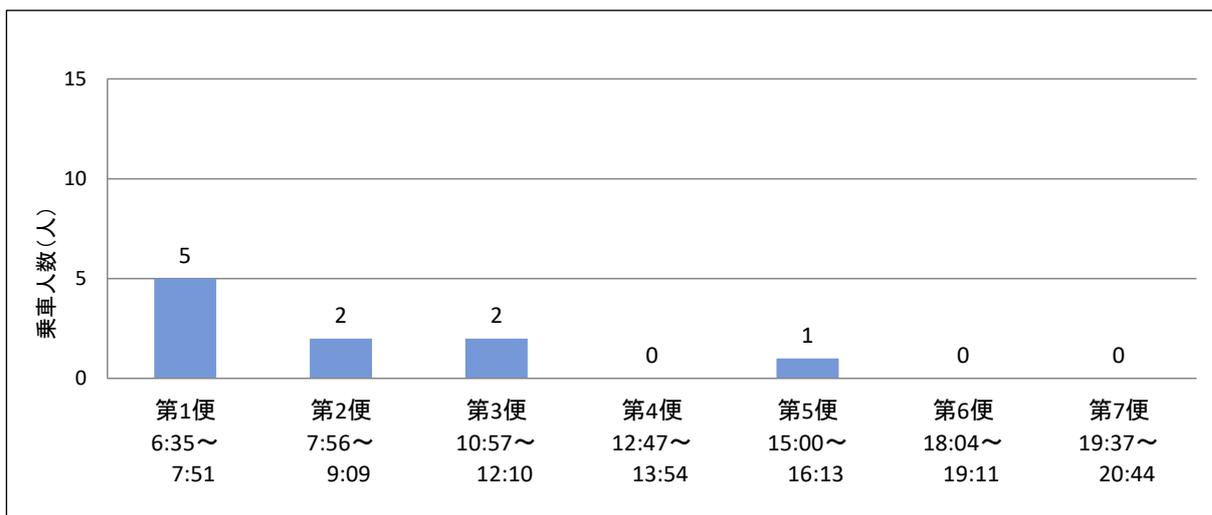


図 深川行き（復路）の利用者数（深名線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

②年齢

幌加内行き（往路）の乗客の年齢階層は、第2便と第4便はすべて「65歳以上」、第5便と第7便は「16～18歳」の利用が多く、第6便は「16～18歳」と「65歳以上」の利用がそれぞれ同数となりました。

深川行き（復路）の乗客の年齢階層は、第1便は「16～18歳」のみ、第2便、第3便、第5便は「65歳以上」のみの利用となり、第1便における5人の利用者は、すべて16～18歳であることが示されました。

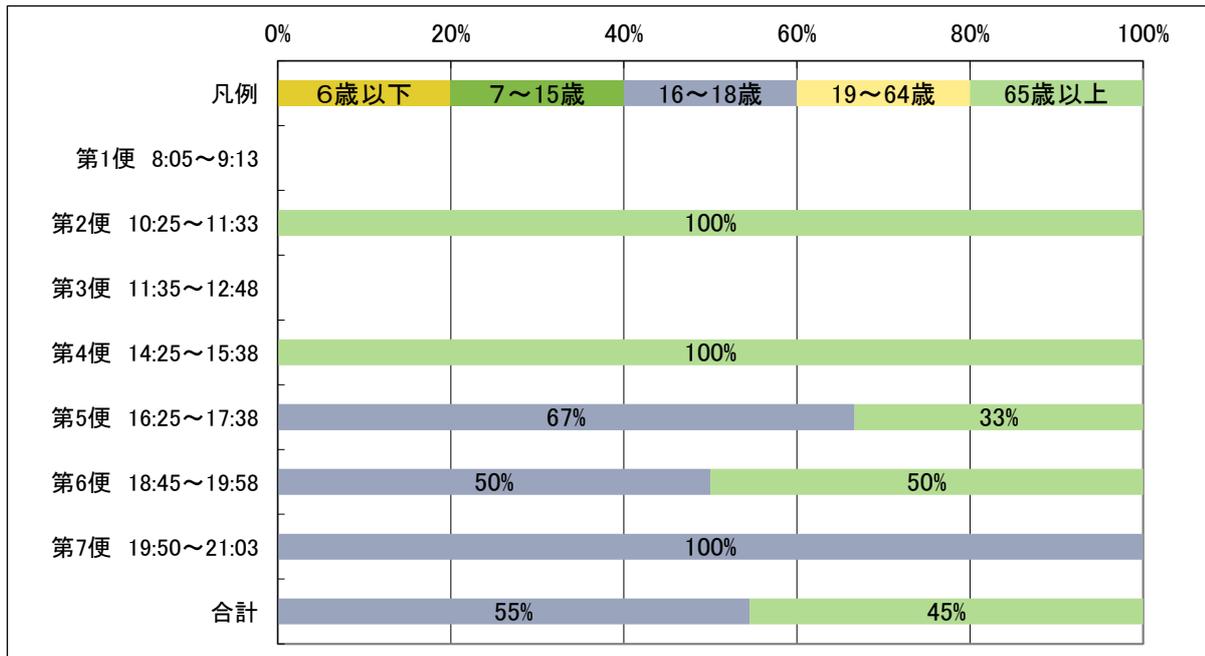


図 幌加内行き（往路）の乗客の年齢階層（深名線）

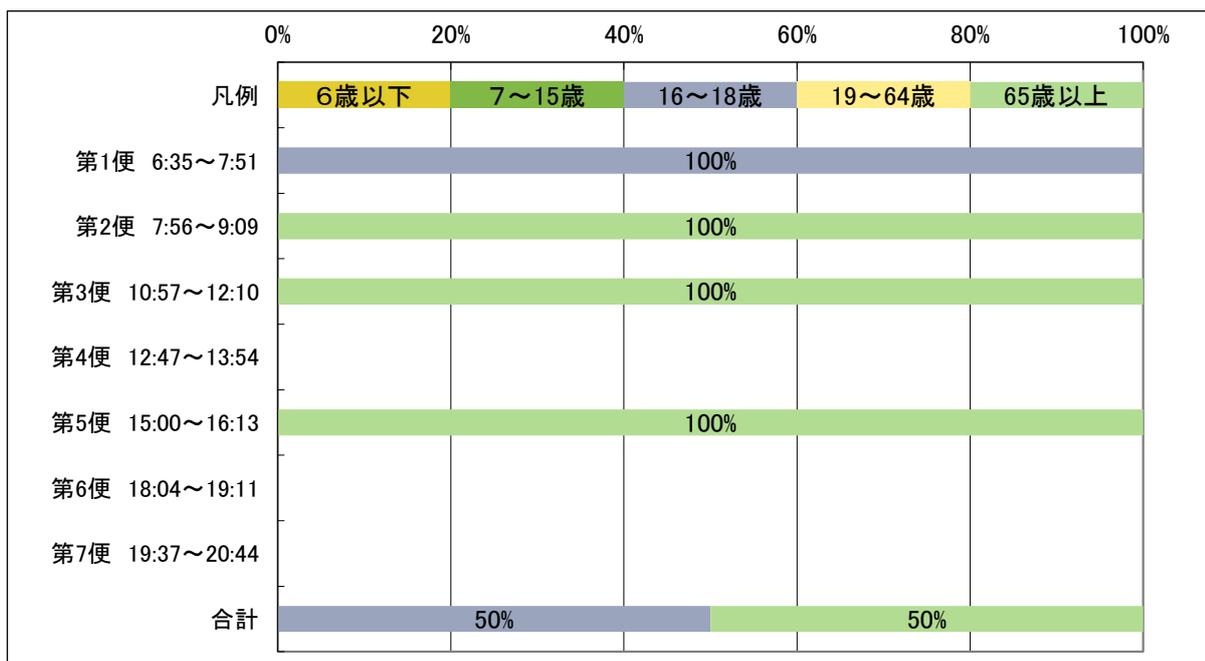


図 深川行き（復路）の乗客の年齢階層（深名線）

③性別

幌加内行き（往路）の乗客の性別は、第2便、第4便、第7便は「男性」のみの利用、第5便と第6便は「男性」と「女性」がそれぞれ同数の利用となりました。

深川行き（復路）の乗客の性別は、第1便と第5便は「男性」が多く、第2便と第3便は「男性」と「女性」がそれぞれ同数の利用となりました。

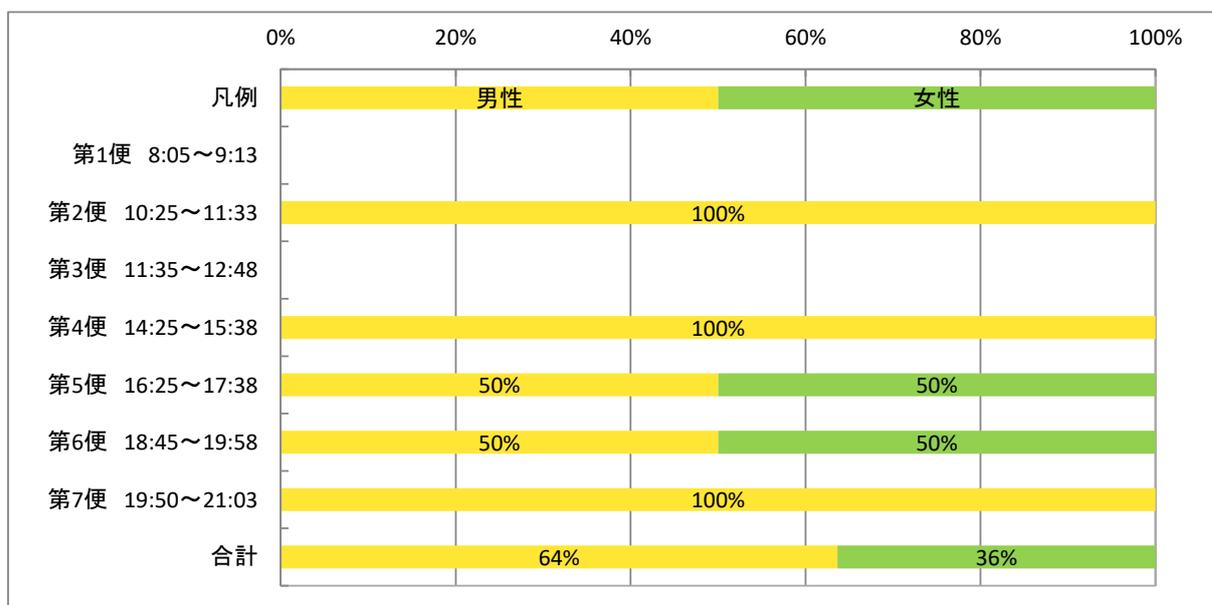


図 幌加内行き（往路）の乗客の性別（深名線）

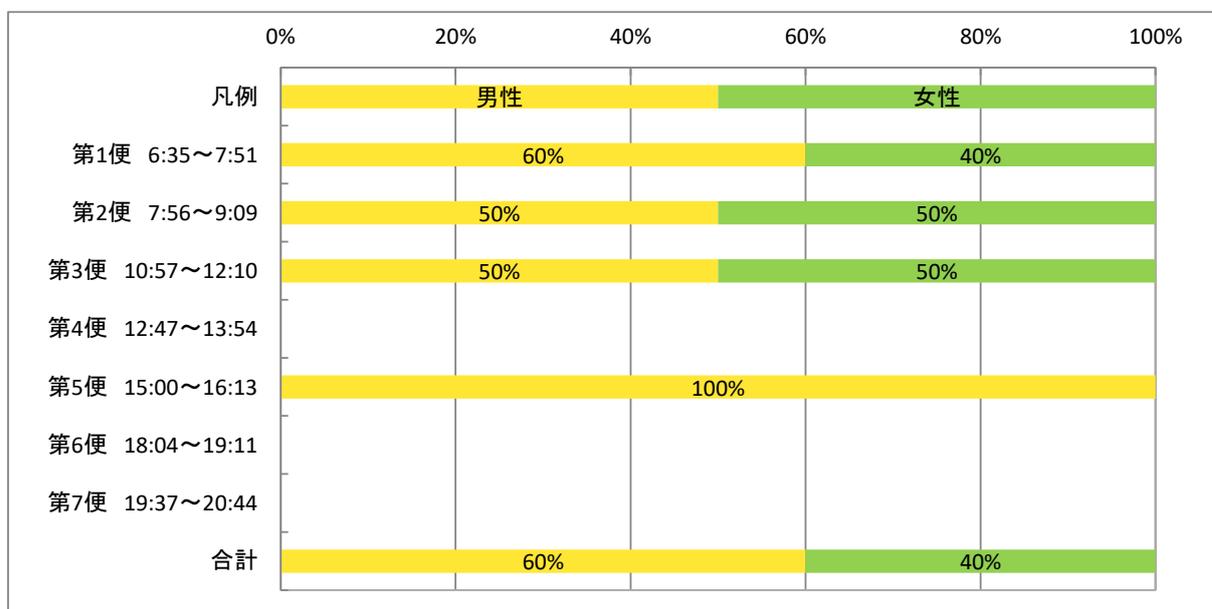


図 深川行き（復路）の乗客の性別（深名線）

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

④各停留所の乗降人数と区間人数

停留所の乗降人数は、幌加内行き（往路）では「深川駅前」が10人、「深川市役所」等が1人など計14人、深川行き（復路）では「深川駅前」が8人、「深川市役所」が2人、「鷹泊自然公園入口」等が1人など計14人となりました。

区間人数は、幌加内行き（往路）では全区間で0人から10人、深川行き（復路）では全区間で1人から10人となっており、停留所の利用は少ないがバス内には乗客がいる状態で運行していることが把握できました。

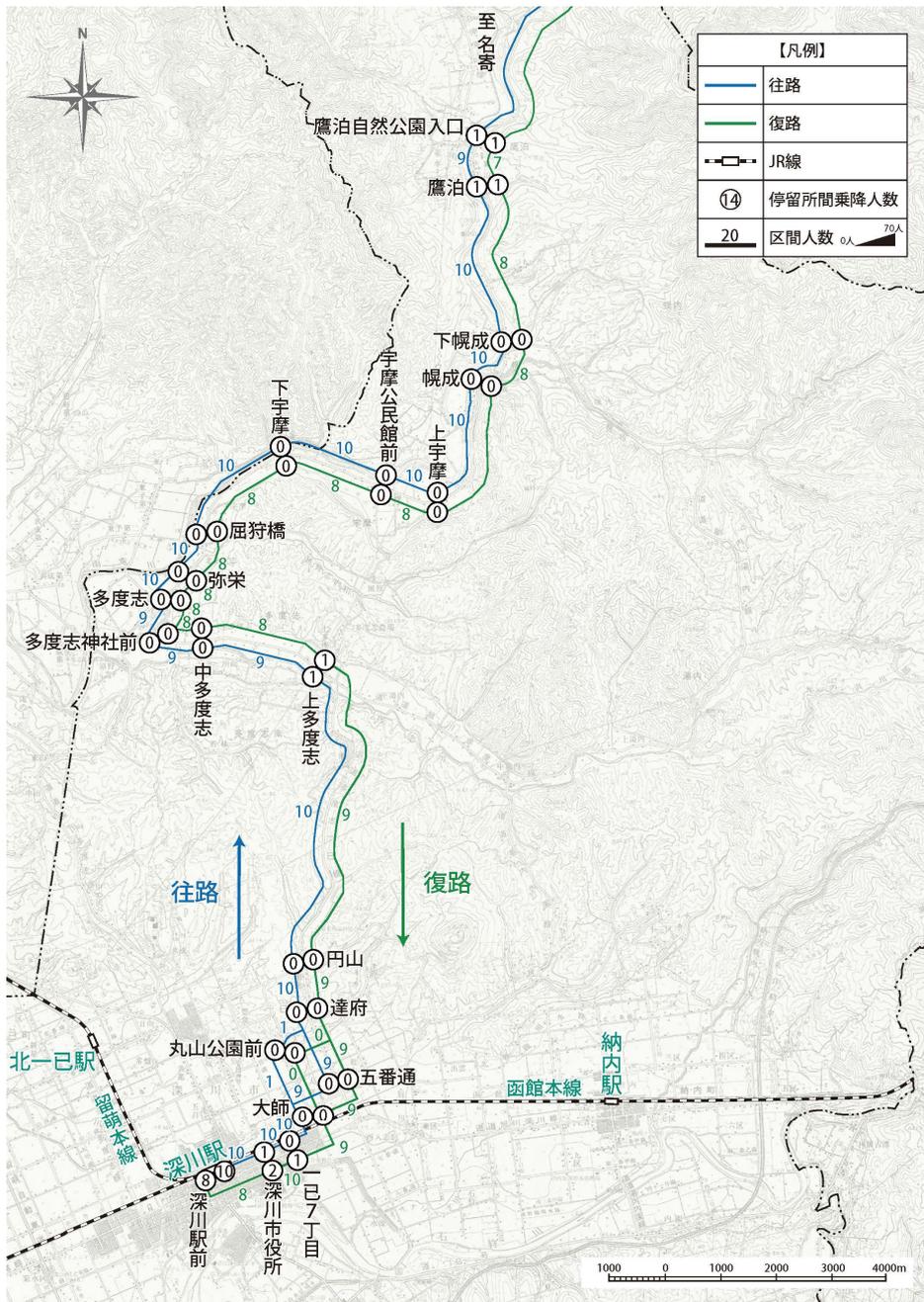


図 乗降調査図（区間人数及び停留所乗降人数）（深名線）

⑤ 停留所間の移動人数

停留所間の移動人数は、「深川市役所」と「幌加内」間を移動した人が12人で最も多くなり、その他では移動人数が2人の区間が3つ、1人の区間が3つとなりました。

「大師」から「円山」までと、「中多度志」から「下幌成」までは乗降がありませんでした。

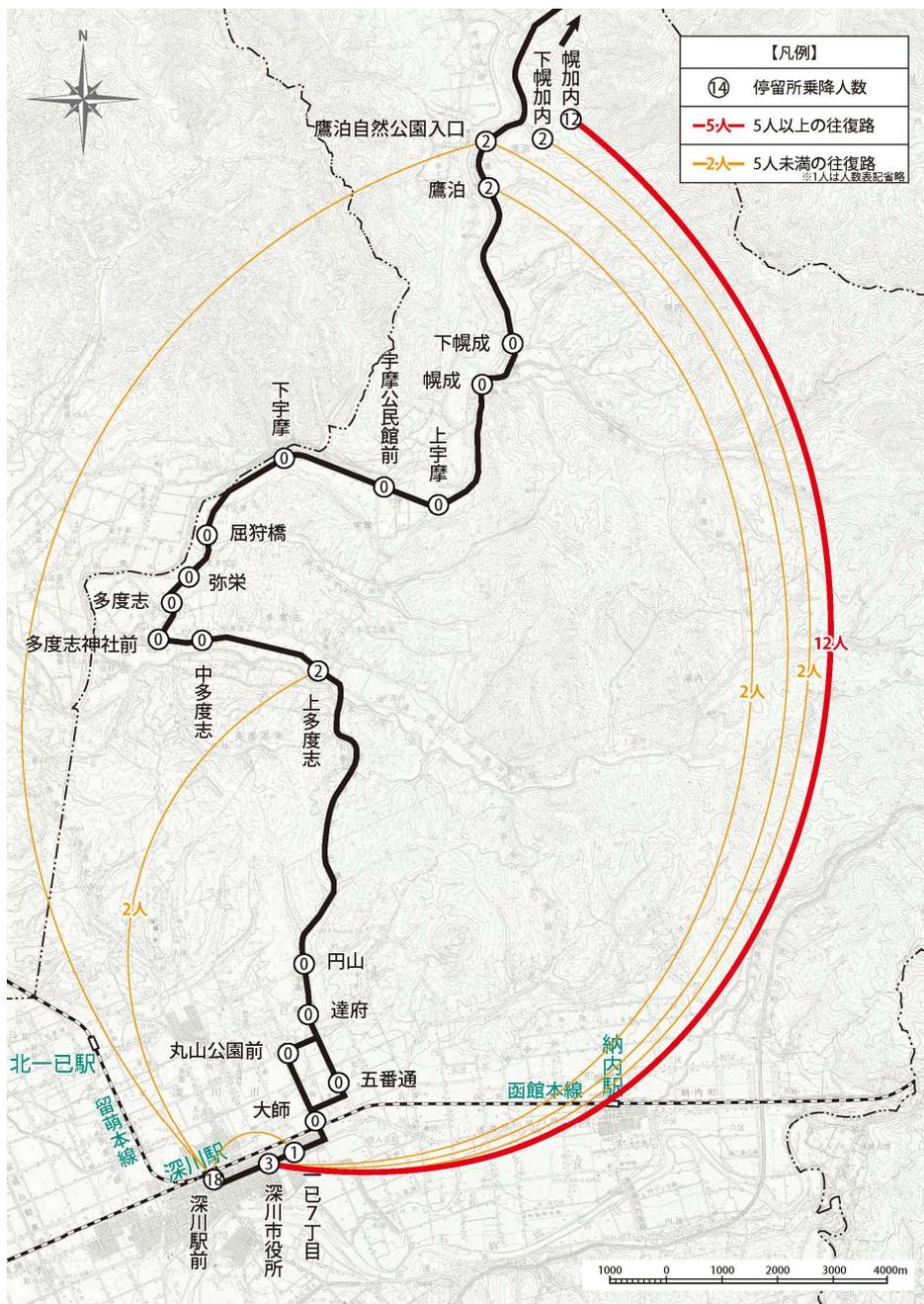


図 乗降調査図 (停留所間移動人数) (深名線)

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

2.5 意識調査結果

1) 住まい

回答者の住まいは、「市内」は「④深旭線」、「⑥滝深線」、「⑧循環線」、「⑨多度志線」、「⑩西北星線」の5路線、「市外」は「①留萌旭川線」、「②深名線」、「③沼田線」、「⑤深滝線」、「⑦北竜線」の5路線で多くなりました。

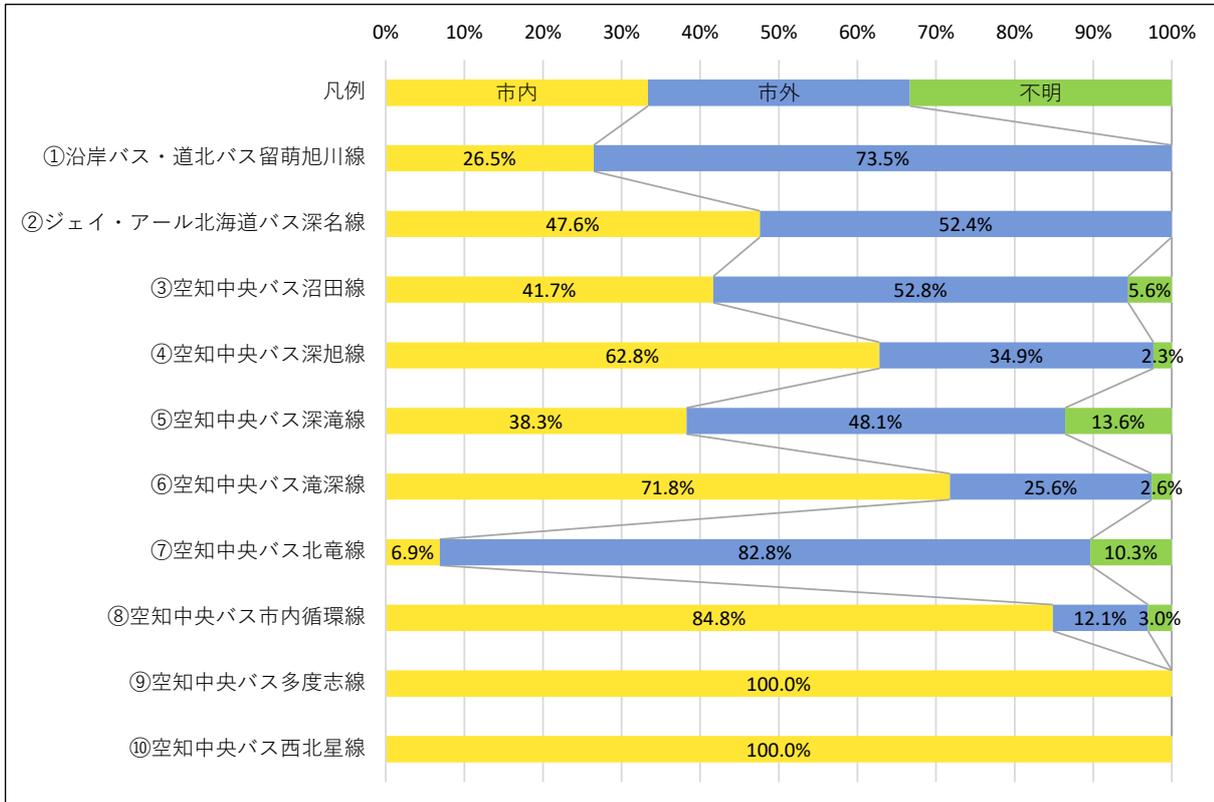


図 回答者の住まい

2) 路線ごとの住まいの詳細

①留萌旭川線

留萌旭川線の乗客の住まいは、「②⑦留萌市」が20.6%で最も多く、続いて「②④旭川市」が14.7%、「③①北竜町」が11.8%となりました。

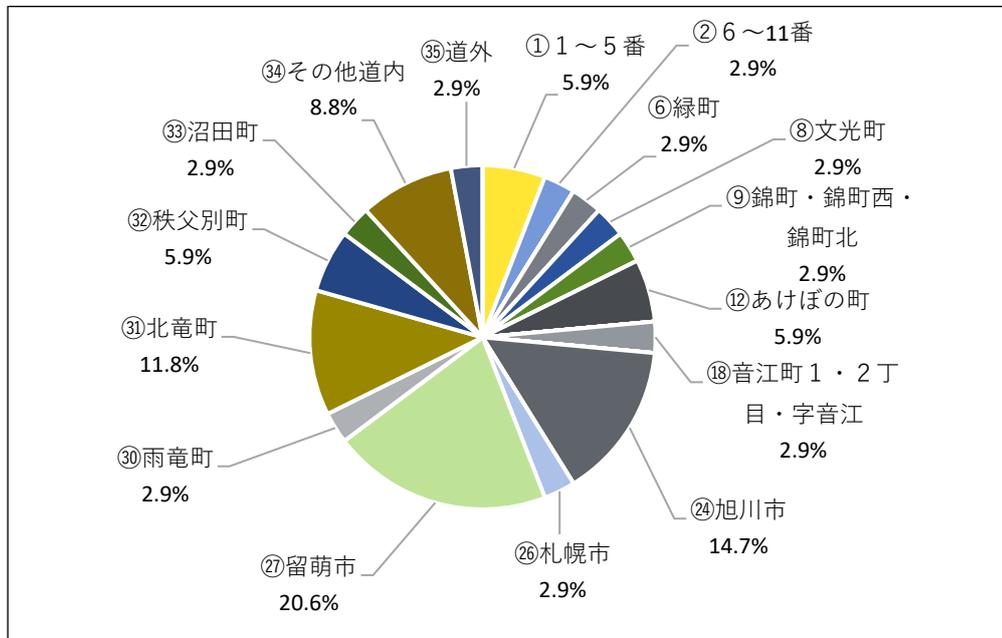


図 留萌旭川線の乗客の住まい

②深名線

深名線の乗客の住まいは、「②⑧幌加内町」が52.4%で最も多く、続いて「②③多度志南・湯内・字摩・ウッカ・幌内・鷹泊」が28.6%となり、両地域で全体の8割程度を占めました。

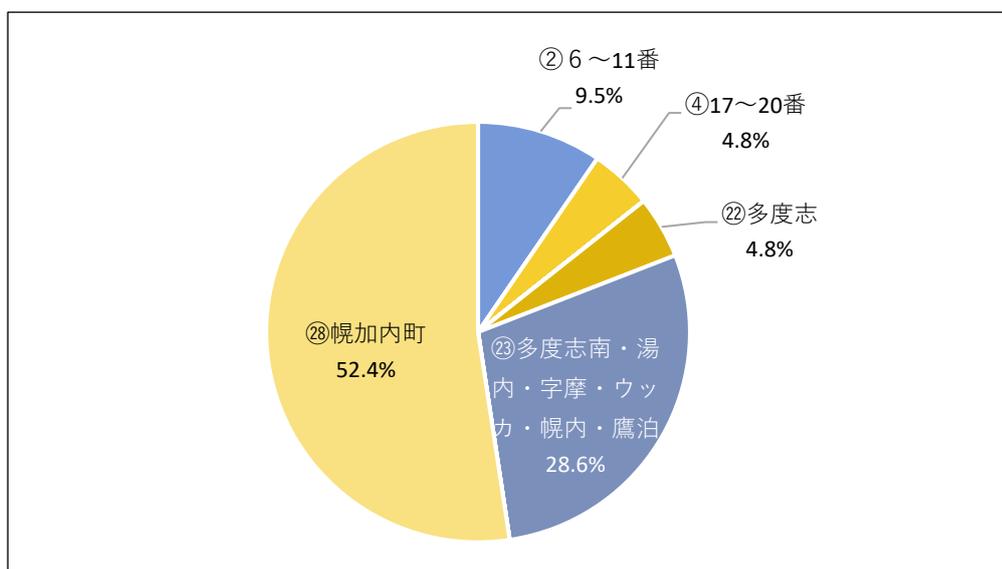


図 深名線の乗客の住まい

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

③沼田線

沼田線の乗客の住まいは、「⑫秩父別町」が30.6%で最も多く、「⑫あけぼの町」と「⑬沼田町」が同数で16.7%、「⑥緑町」が11.1%と続きました。

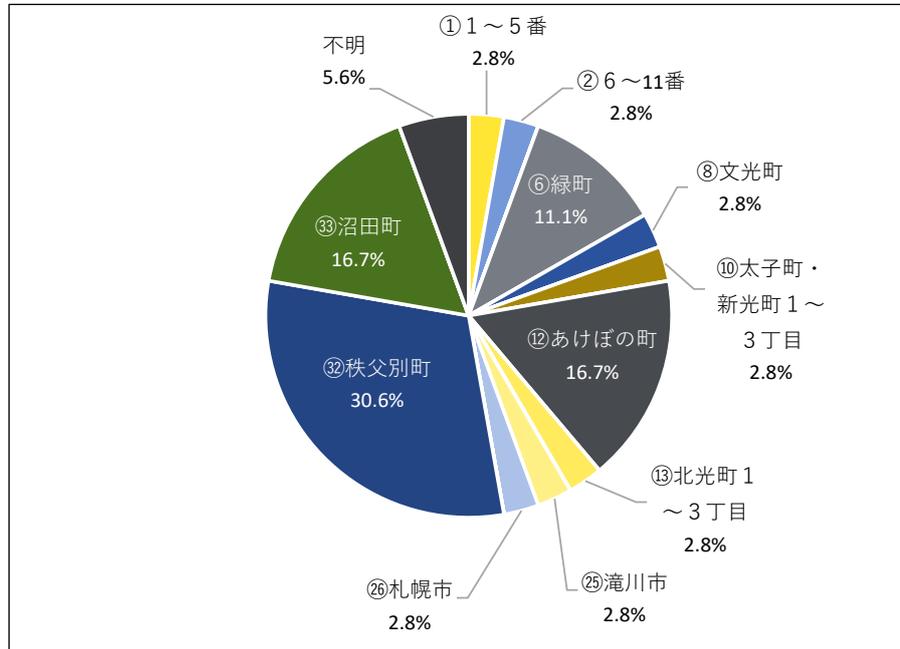


図 沼田線の乗客の住まい

④深旭線

深旭線の乗客の住まいは、「⑳納内町北・2丁目・3丁目・グリーンタウン・字納内」が39.5%、「㉑旭川市」が34.9%と多く、両地域で全体の8割程度を占めました。

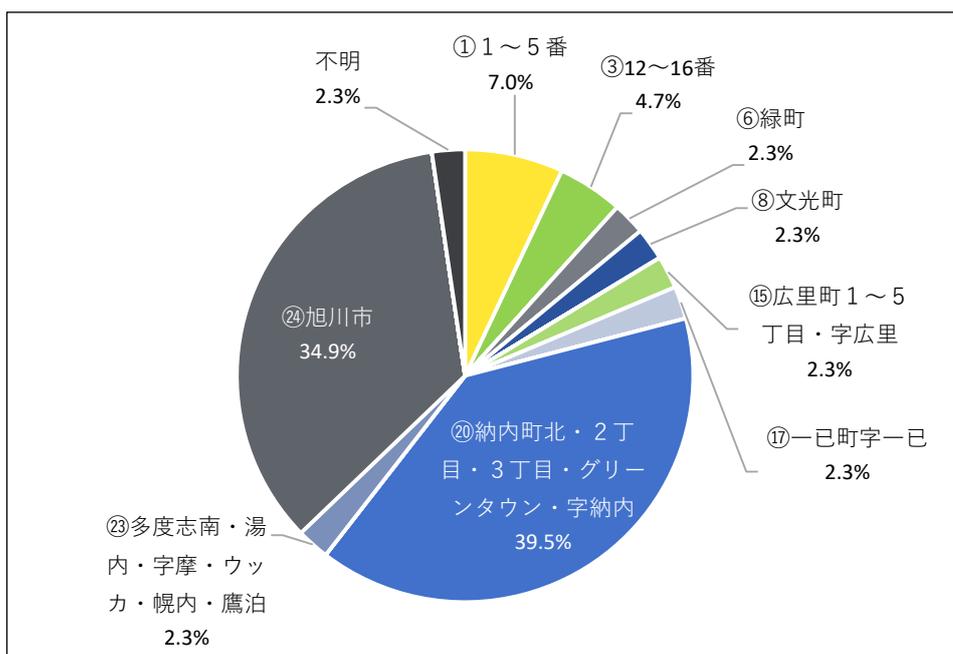


図 深旭線の乗客の住まい

⑤ 深滝線

深滝線の乗客の住まいは、「㉑妹背牛町」が23.5%で最も多く、続いて「④17～20番」が13.6%、「①1～5番」、「㉕滝川市」が12.3%と、深川市の中心市街地の居住が確認できました。

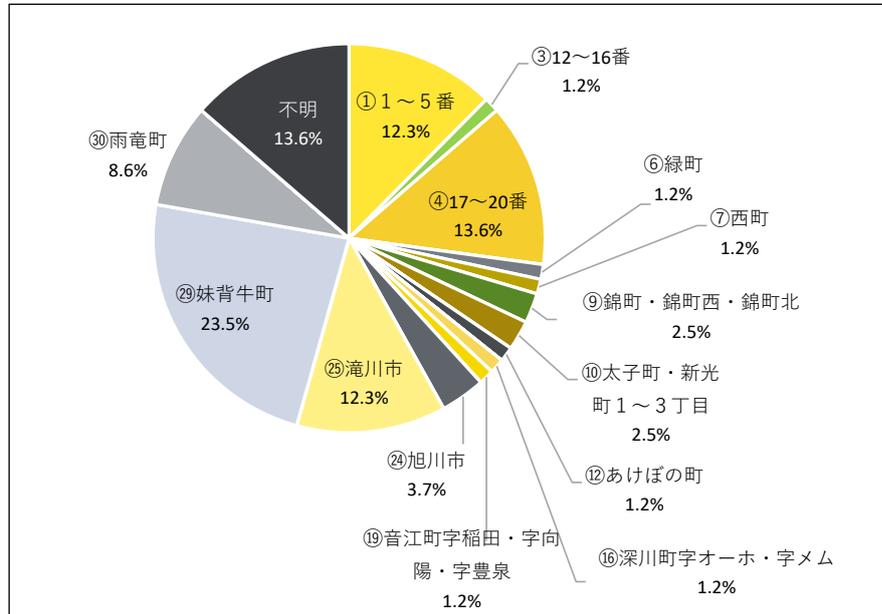


図 深滝線の乗客の住まい

⑥ 滝深線

滝深線の乗客の住まいは、「⑱音江町1・2丁目・字音江」が30.8%で最も多く、続いて「㉕滝川市」が20.5%、「⑲音江町字稲田・字向陽・字豊泉」が17.9%となりました。

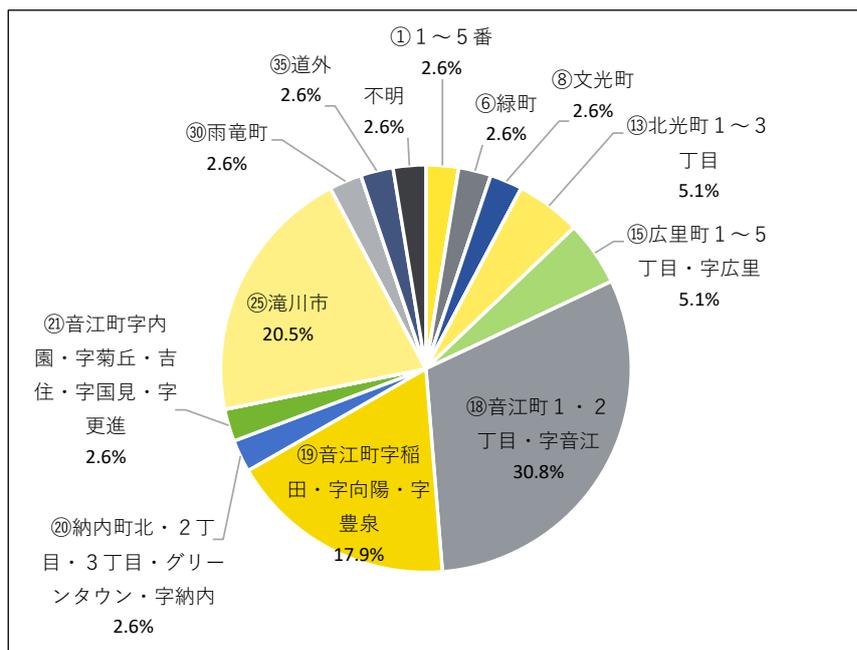


図 滝深線の乗客の住まい

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

⑦北竜線

北竜線の乗客の住まいは、「⑳妹背牛町」が55.2%で最も多く、続いて「㉑北竜町」が20.7%となり、両地域で全体の8割程度を占めました。

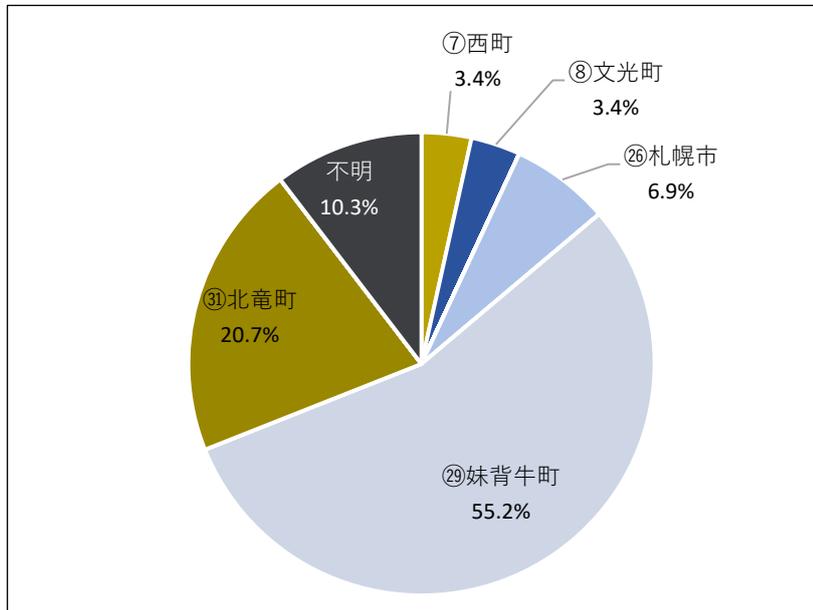


図 北竜線の乗客の住まい

⑧循環線

循環線の乗客の住まいは、「㉑あけぼの町」が36.4%で最も多く、続いて「①1～5番」が15.2%、「㉑西町」、「㉑北光町1～3丁目」が9.1%となりました。

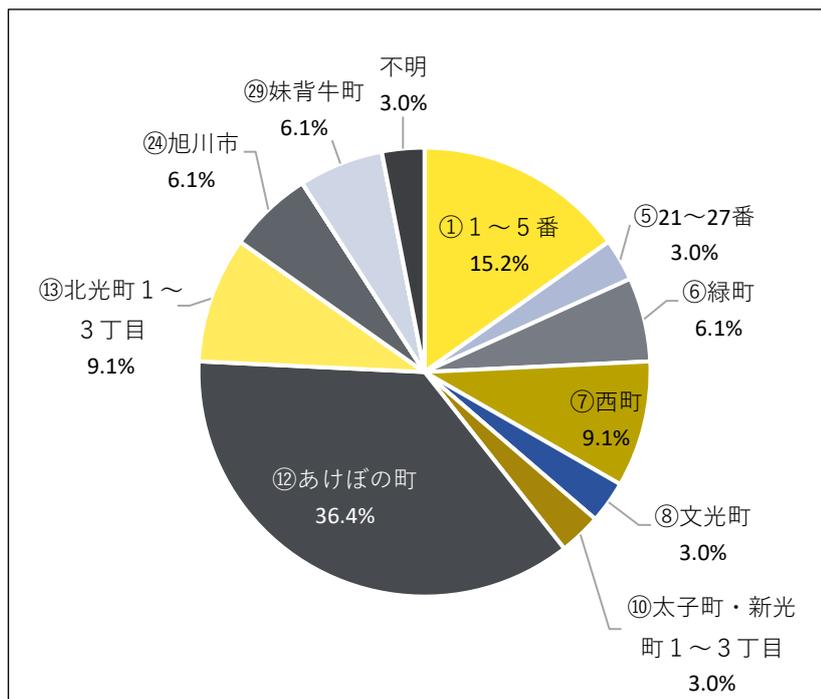


図 循環線の乗客の住まい

⑨多度志線

多度志線の乗客の住まいは、「⑫あけぼの町」が80.0%、「⑫多度志」が20.0%を占め、両地域の居住者のみの利用となりました。

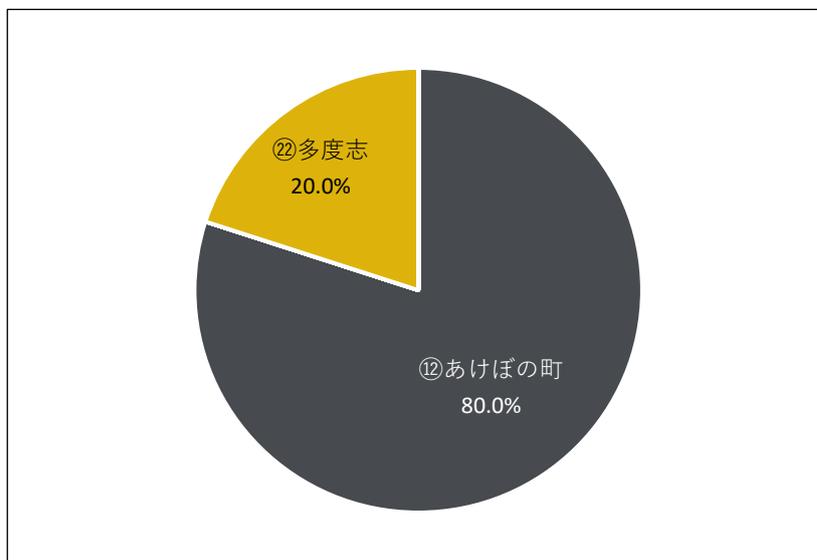


図 多度志線の乗客の住まい

⑩西北星線

西北星線の乗客の住まいは、「⑫あけぼの町」が34.8%で最も多く、続いて「④17～20番」が26.1%、「⑰一已町字一已」が13.0%となりました。

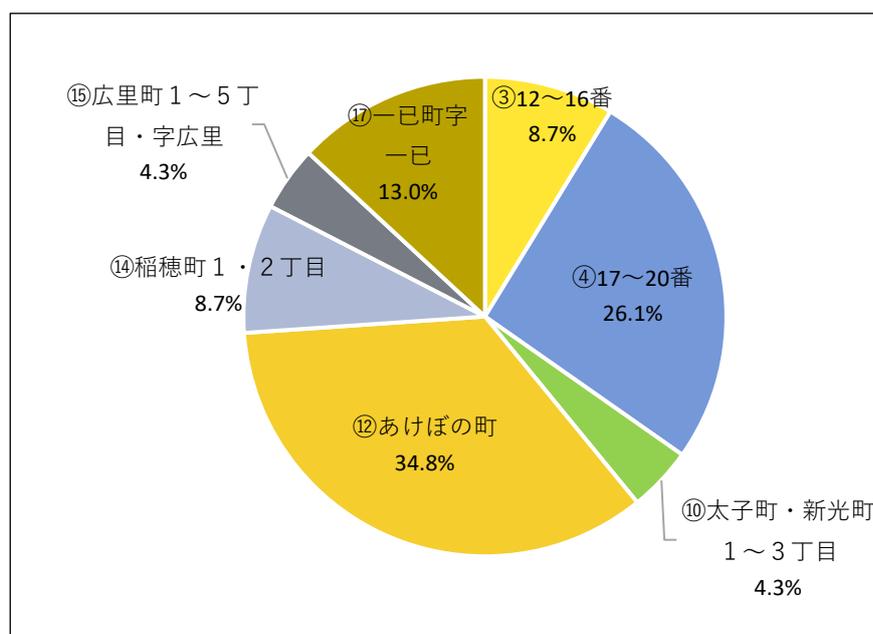


図 西北星線の乗客の住まい

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

3) バスの利用状況

①行き・帰りの利用

バスの行き・帰りの利用状況は、「①行き・帰りともに利用」がどの路線も多く、「沼田線」と「循環線」を除いた路線では8割以上を占めました。

「①行き・帰りともに利用」については、「沼田線」は38.9%と全路線で最も少なく、「②行きのみ利用」、「③帰りのみ利用」と同程度の割合となりました。

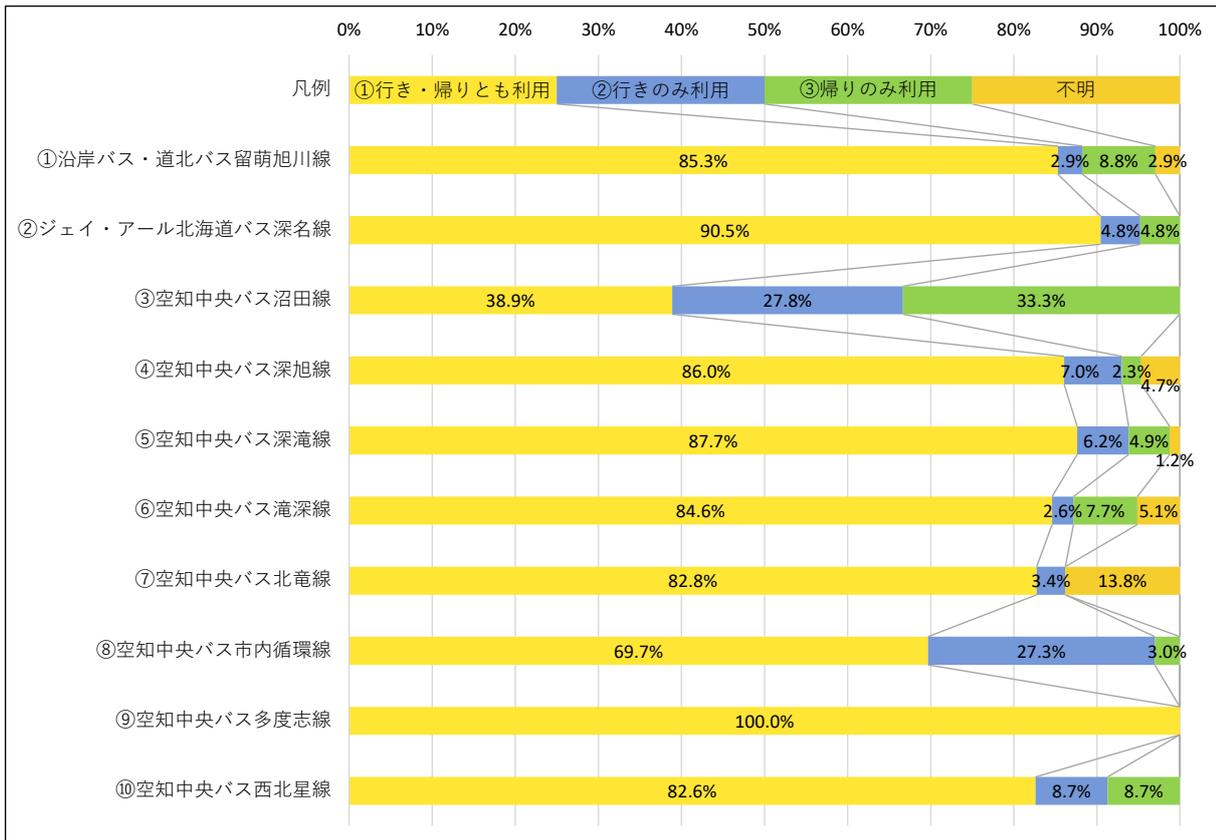


図 バスの行き・帰りの利用状況

②利用頻度

バスの利用頻度は、「①ほぼ毎日」は「深名線」と「深滝線」と「循環線」、「②週に4、5日」は「深旭線」と「滝深線」と「北竜線」と「西北星線」、「③週に2、3日」は「多度志線」で最も多くなりました。

「留萌旭川線」は「⑥年に数回」が38.2%、「沼田線」は「⑤月に数回」が36.1%と最も多くなり、他路線と比較して利用頻度が少ない傾向でした。

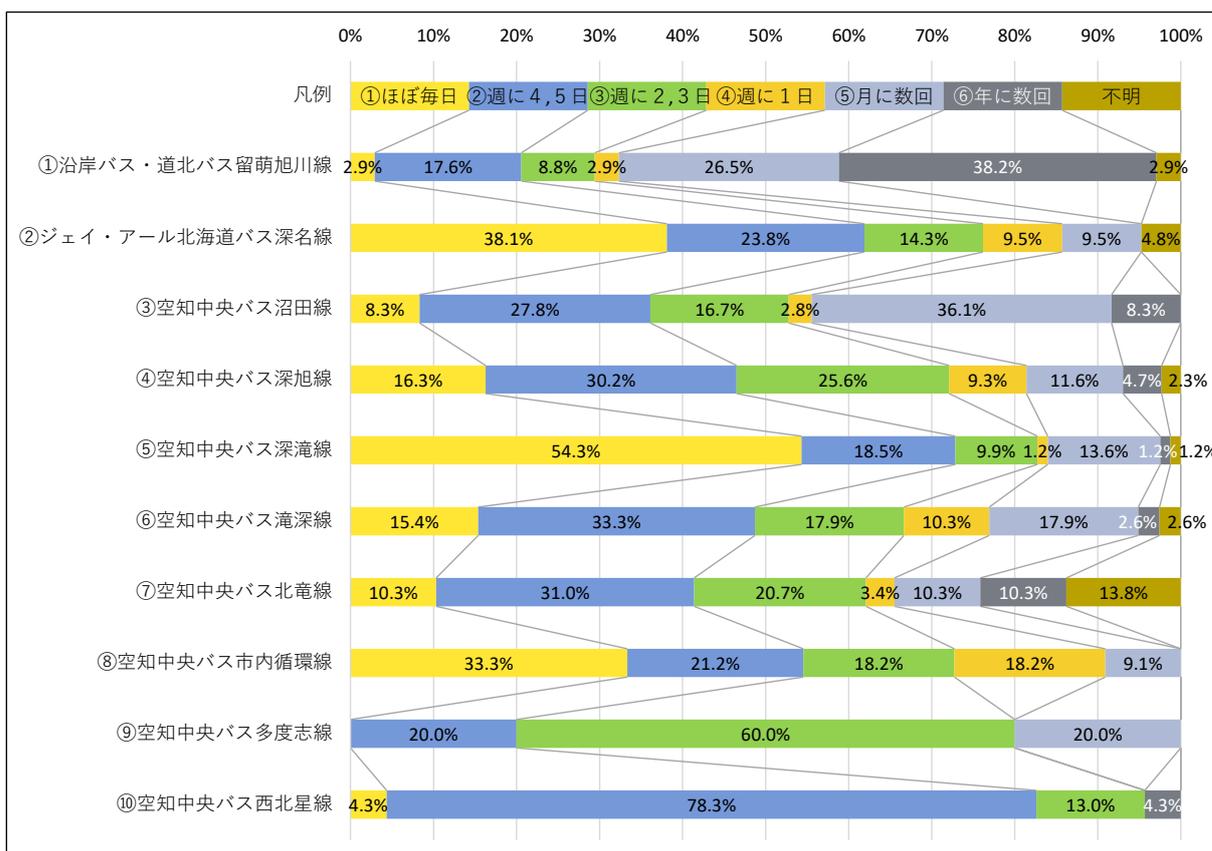


図 バスの利用頻度

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

4) 本日の外出目的

本日の外出目的は、「沼田線」と「滝深線」は「①通勤」、「深名線」、「深旭線」、「深滝線」、「西北星線」は「②通学」、「多度志線」は「③通院、治療」、「循環線」は「⑤レクリエーション・趣味活動等」で最も多くなりました。

「留萌旭川線」は通学、通院、レクリエーション、「北竜線」は通勤、通学、通院、買物が同程度の割合となっており、多様な目的に利用されていることがわかりました。

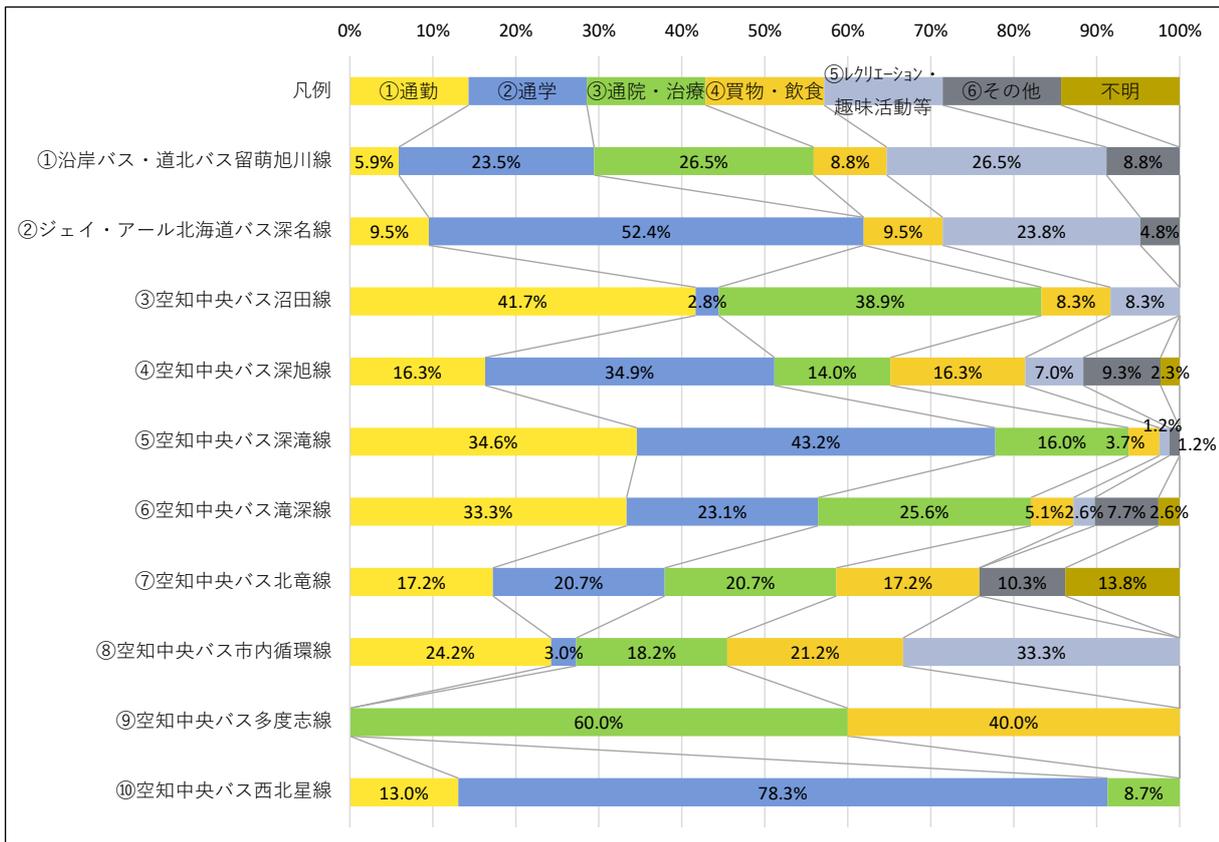


図 本日の外出目的

5) 本日、行かれる（行かれた）公共・公益施設（全ての施設番号を記載）

当日に回答者が行った公共・公益施設では、「②市立病院」が46件で最も多く、続いて「⑭深川東高等学校」が29件、「⑬深川西高等学校」が27件と高校が多くなりました。

医療では、市立病院に利用が集中しており、他の施設の利用は少数でした。

買物では、「⑩コープさっぽろふかがわ店」が13件、「⑳マックスバリュ深川店」が12件と多く、「㉑スーパーアークス深川店」と「㉒スーパーチェーンふじ深川店」も複数人の利用が確認できました。

公共施設では、「㉓市役所」が9件となりましたが、他の施設の利用はほとんどありませんでした。

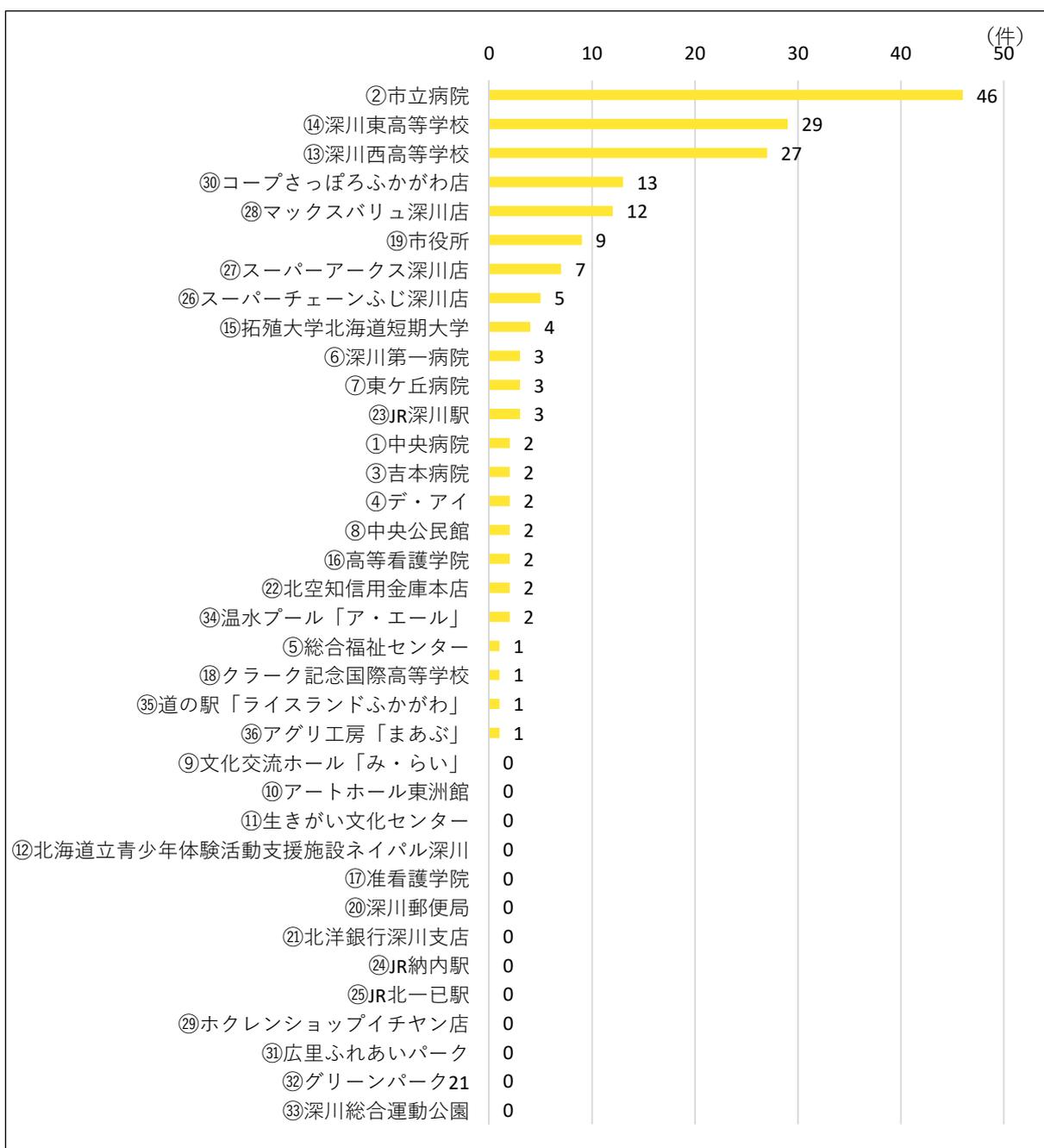


図 ヒアリング当日に行った公共・公益施設

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

6) 今、乗車されているバスから乗継いで乗車される公共交通手段あるいは、今、乗車されているバスの前に乗車された公共交通手段

乗継ぎについては、「乗継ぎはしていない」が92.2%と大半を占め、「乗継ぎした」は7.8%となりました。

乗継ぎの交通手段は、「②JR函館本線旭川方面」が30.8%で最も多く、続いて「①JR函館本線札幌方面」が26.9%とJRの利用が6割程度を占め、バスでは「⑨空知中央バス滝深線（音江経由）」が11.5%で最も多くなりました。

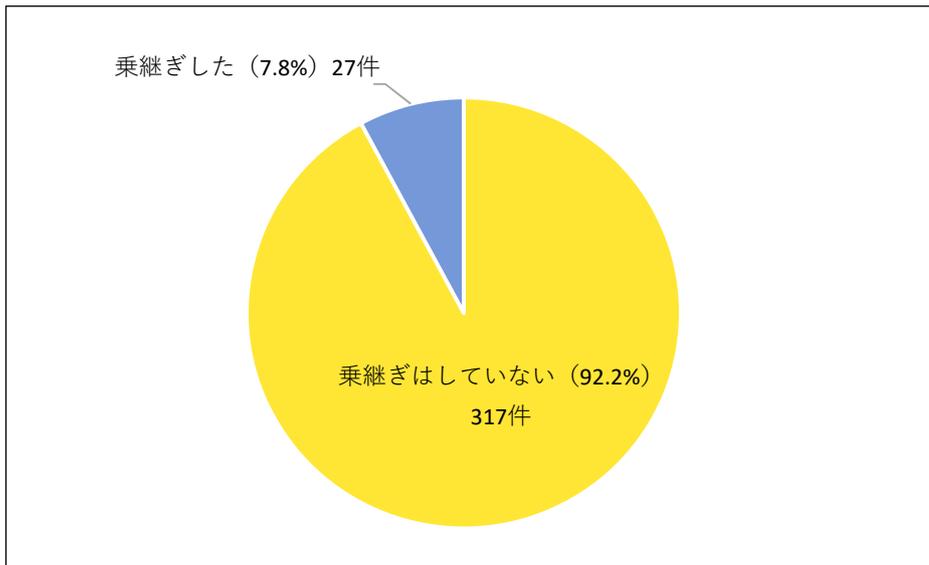


図 乗継ぎの有無

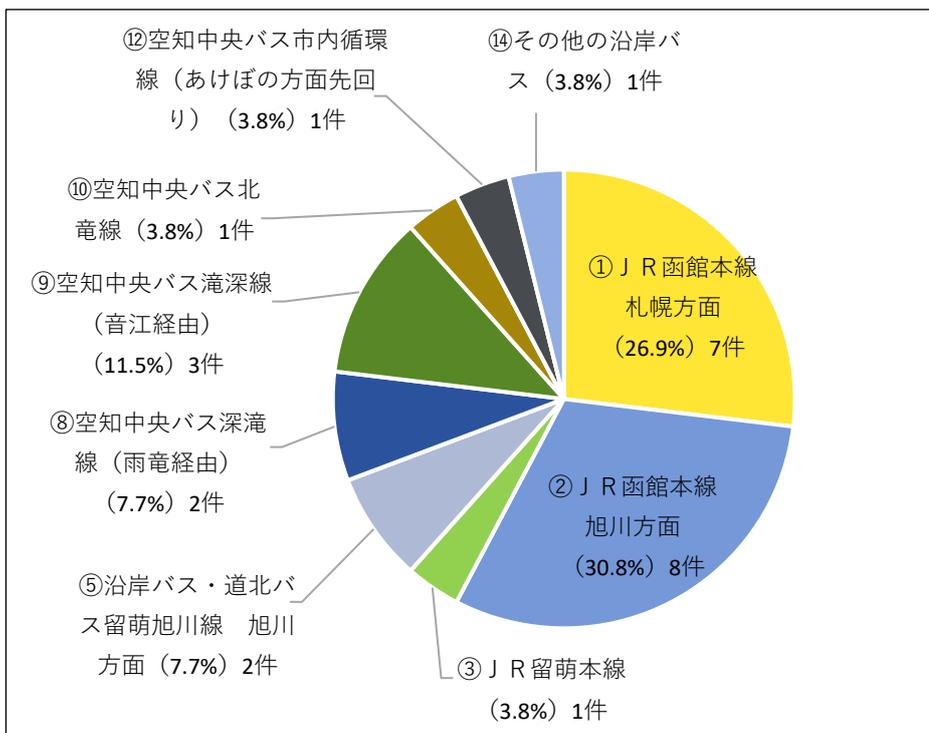


図 乗継ぎ交通手段

7) バスの満足度

①留萌旭川線

留萌旭川線の満足度は、すべての項目で「③普通」が最も多くなりましたが、「2)運行便数の多さ」では「②やや不満」が32.4%となりました。

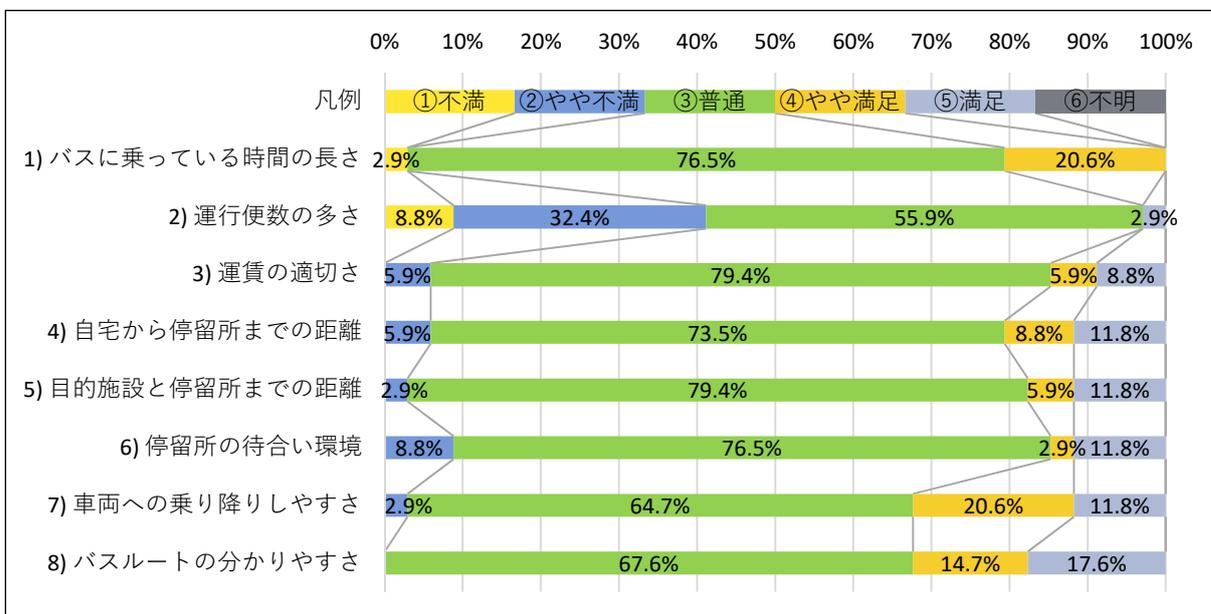


図 留萌深川線の満足度

②深名線

深名線の満足度は、すべての項目で「③普通」が最も多く、続いて「⑤満足」となり、不満については「2)運行便数の多さ」と「3)運賃の適切さ」が他よりも多くなりました。



図 深名線の満足度

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

③沼田線

沼田線の満足度は、「2)運行便数の多さ」では「②やや不満」が38.9%、「①不満」も25.0%となりましたが、その他の項目については「③普通」が最も多くなりました。

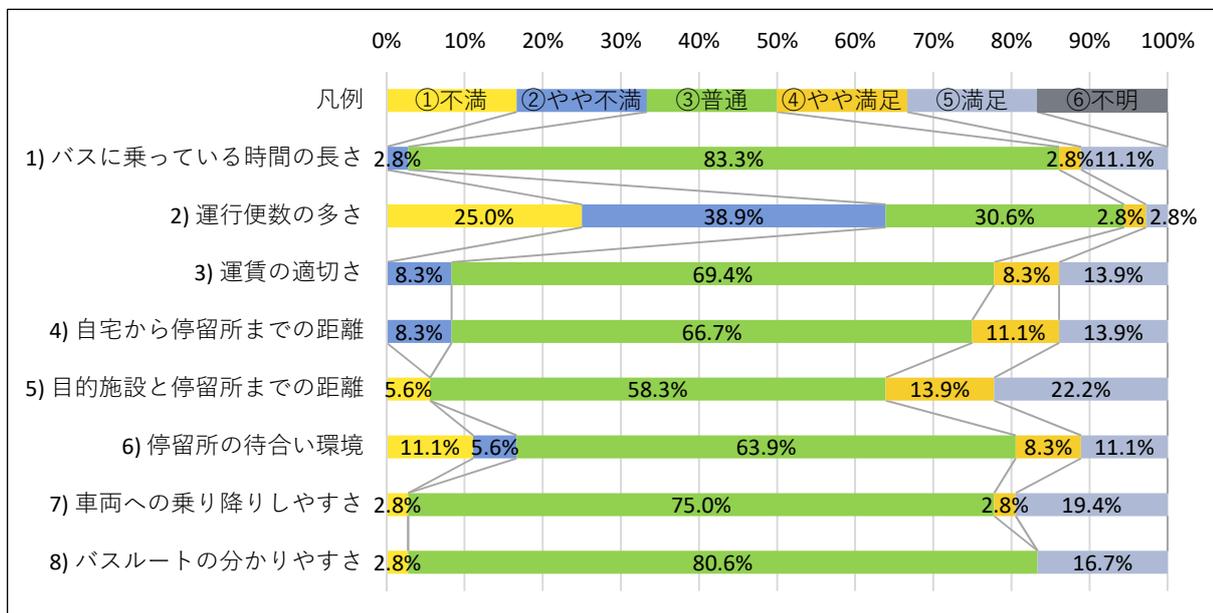


図 沼田線の満足度

④深旭線

深旭線の満足度は、「2)運行便数の多さ」では「②やや不満」が51.2%となりましたが、「5)目的施設と停留所までの距離」と「8)バスルートの分かりやすさ」は高い評価が得られました。

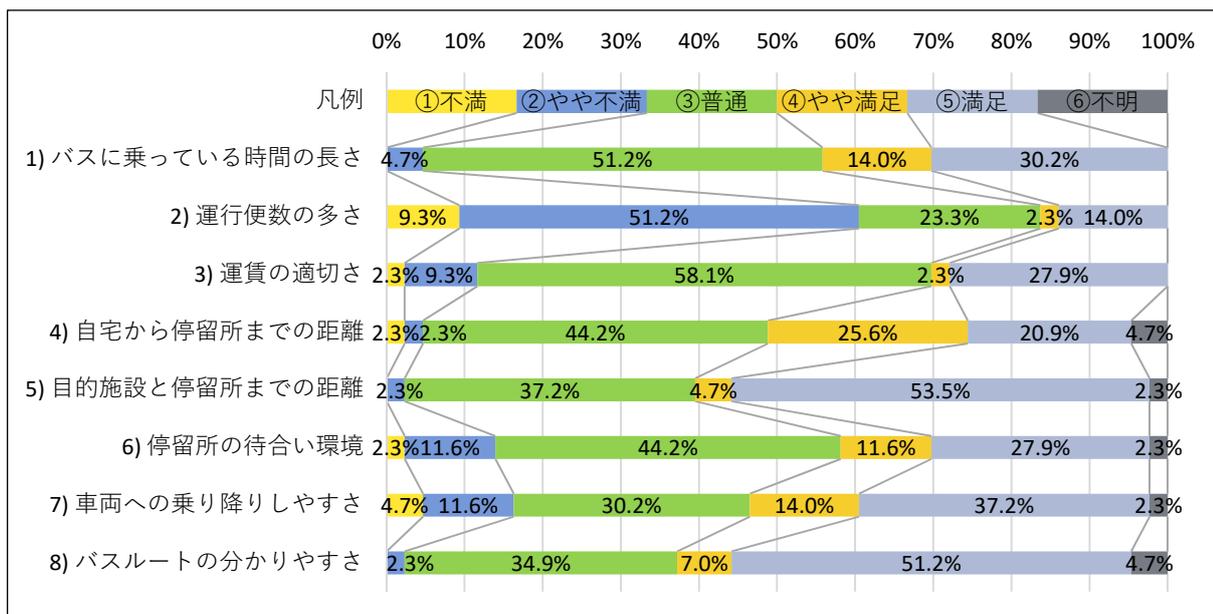


図 深旭線の満足度

⑤ 深滝線

深滝線の満足度は、すべての項目で「③普通」が最も多くなりましたが、「2)運行便数の多さ」では「②やや不満」が19.8%、「①不満」が11.1%となりました。

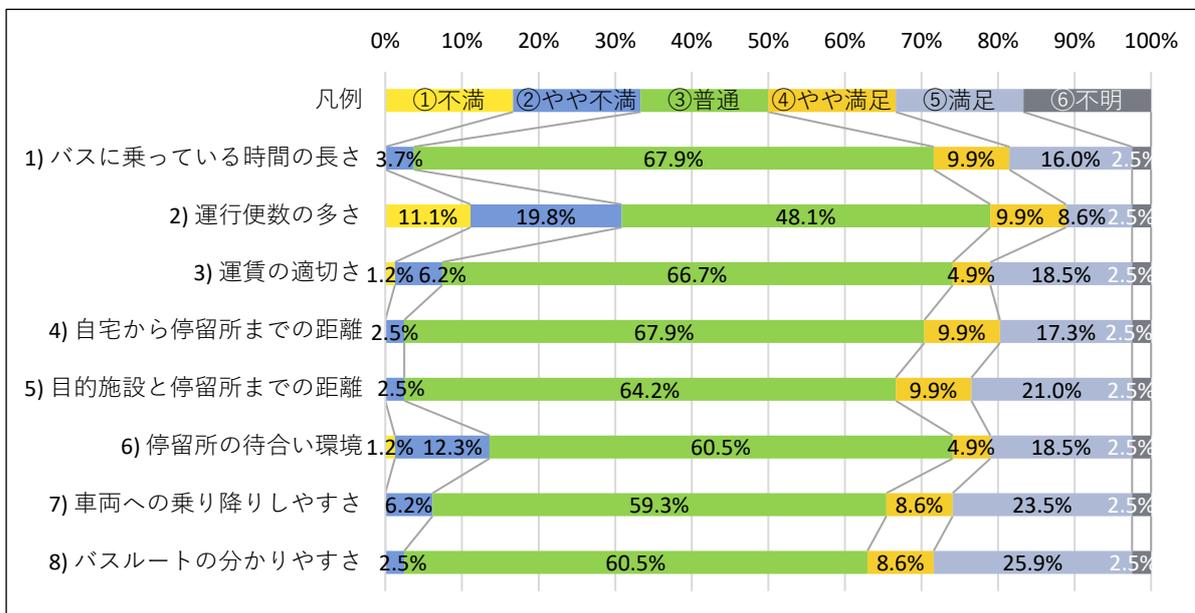


図 深滝線の満足度

⑥ 滝深線

滝深線の満足度は、「5)目的施設と停留所までの距離」、「7)車両への乗り降りしやすさ」、「8)バスルートの分かりやすさ」で「④やや満足」と「⑤満足」が半数程度を占めました。 「2)運行便数の多さ」では「②やや不満」が38.5%、「①不満」が20.5%と多くなりました。

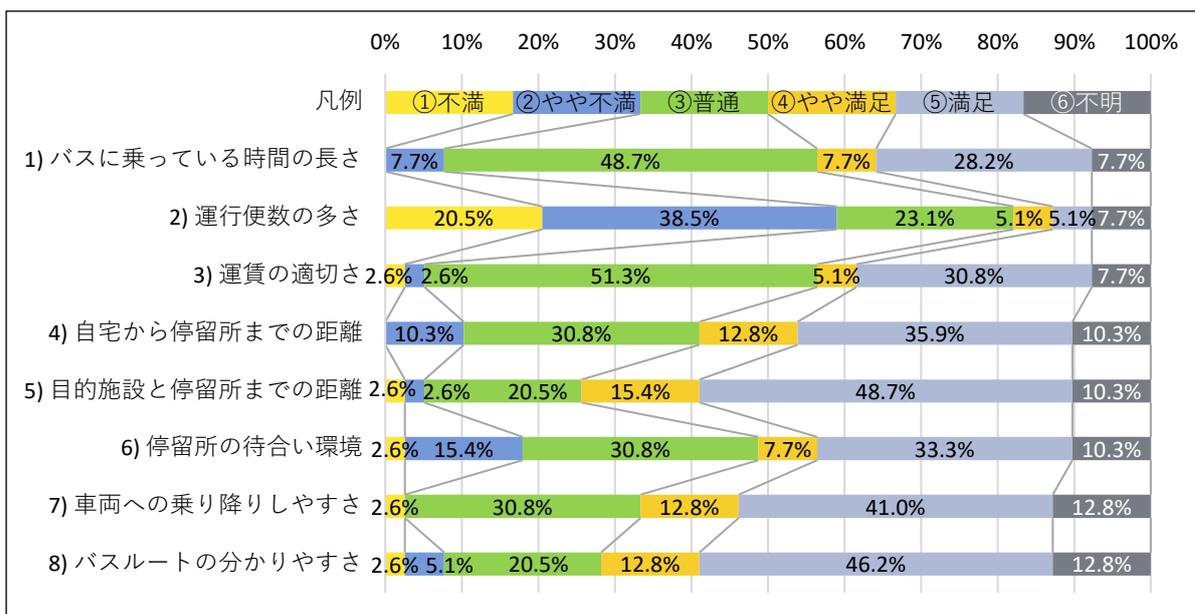


図 滝深線の満足度

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

⑦北竜線

北竜線の満足度は、すべての項目で「③普通」が最も多くなりましたが、「2)運行便数の多さ」では「①不満」が24.1%となりました。

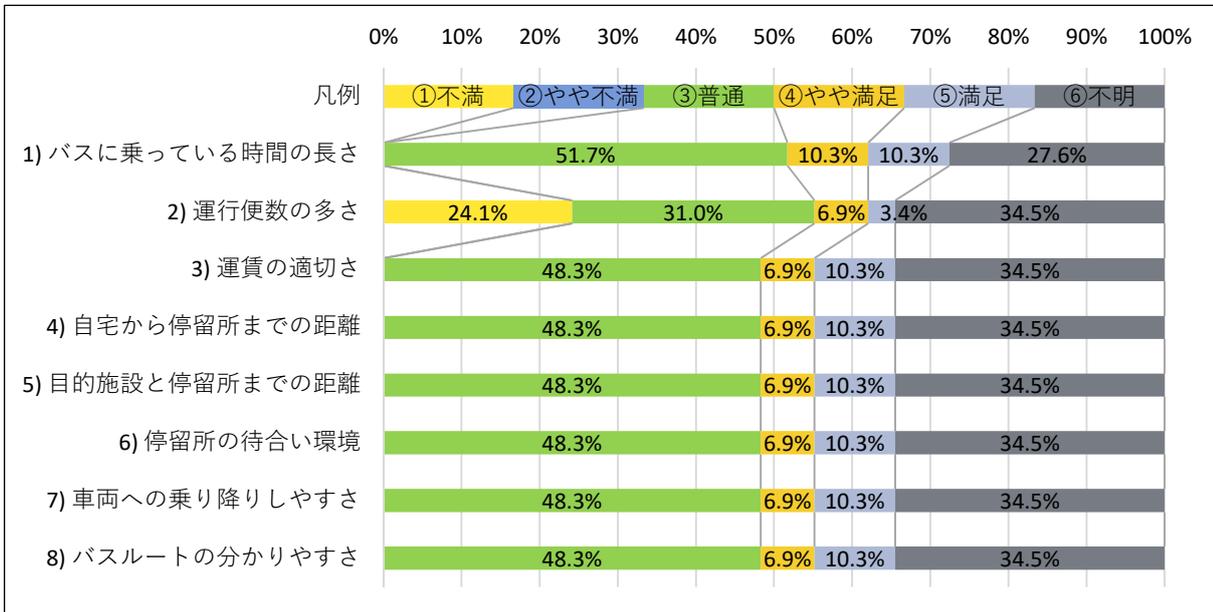


図 北竜線の満足度

⑧循環線

循環線の満足度は、「2)運行便数の多さ」では「②やや不満」が42.4%、「①不満」も12.1%となりましたが、その他の項目については「③普通」が最も多くなりました。

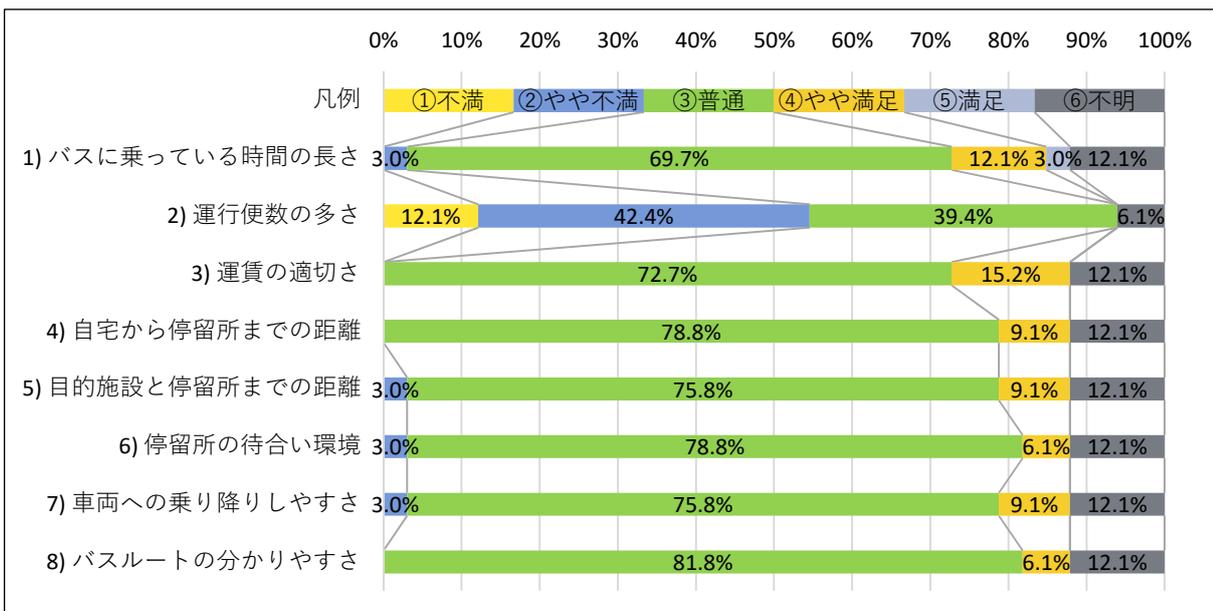


図 循環線の満足度

⑨多度志線

多度志線の満足度は、「5)目的施設と停留所までの距離」で「⑤満足」、「4)自宅から停留所までの距離」と「3)運賃の適切さ」で「④やや満足」が最も多くなりましたが、「6)停留所の待合い環境」は「①不満」が20.0%となりました。

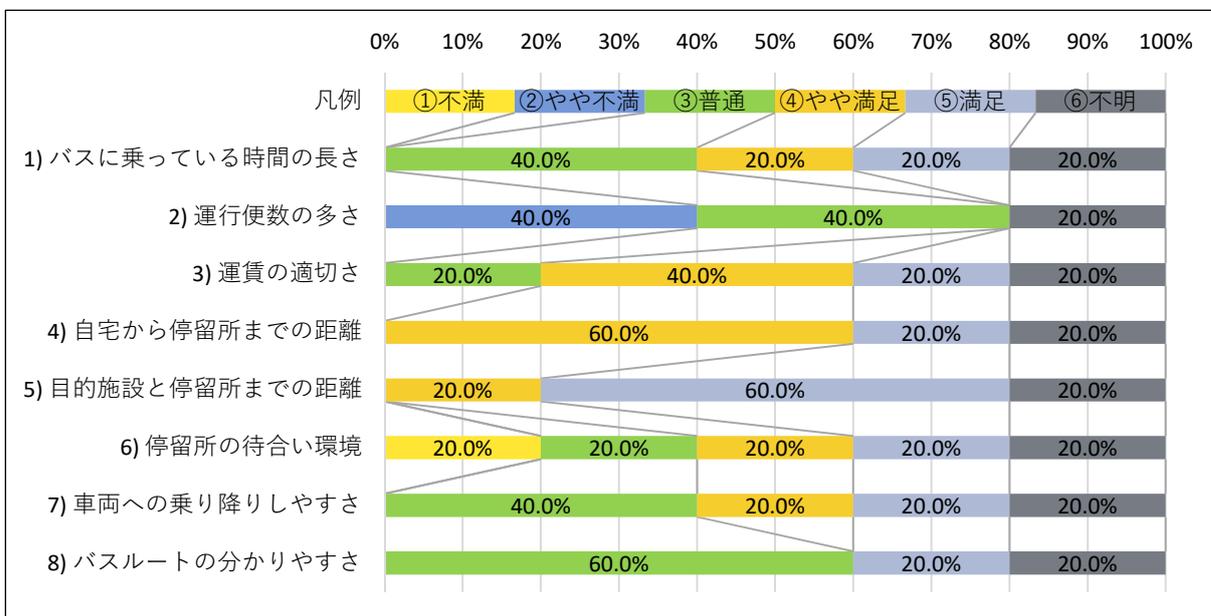


図 多度志線の満足度

⑩西北星線

西北星線の満足度は、「1)バスに乗っている時間の長さ」では「⑤満足」が60.9%と高い評価となり、「2)運行便数の多さ」は「①不満」が26.1%となりました。

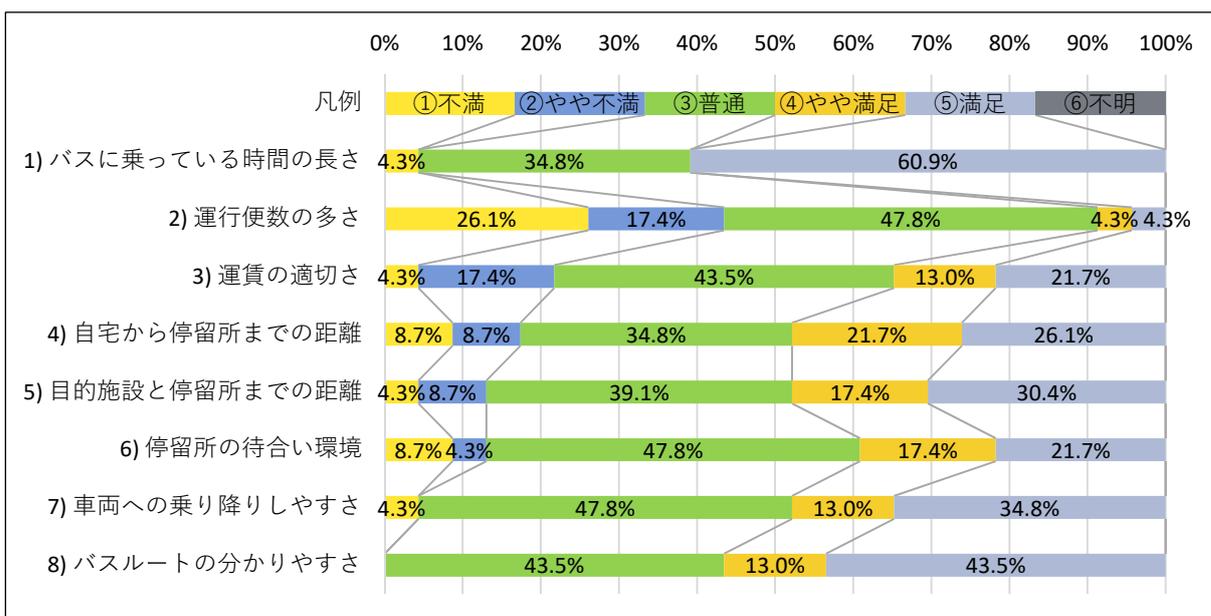


図 西北星線の満足度

2. 路線バス乗降調査及び意識調査

⑪全線

全線の満足度は、すべての項目で「③普通」が最も多くなりましたが、「2)運行便数の多さ」では「②やや不満」が29.1%、「①不満」が14.8%となり、運行便数に対する満足度の低さが示されました。

「①満足」は「8)バスルートの分かりやすさ」が26.7%、「5)目的施設と停留所までの距離」が25.6%、「②やや不満」は「6)停留所の待合い環境」が8.4%となりました。

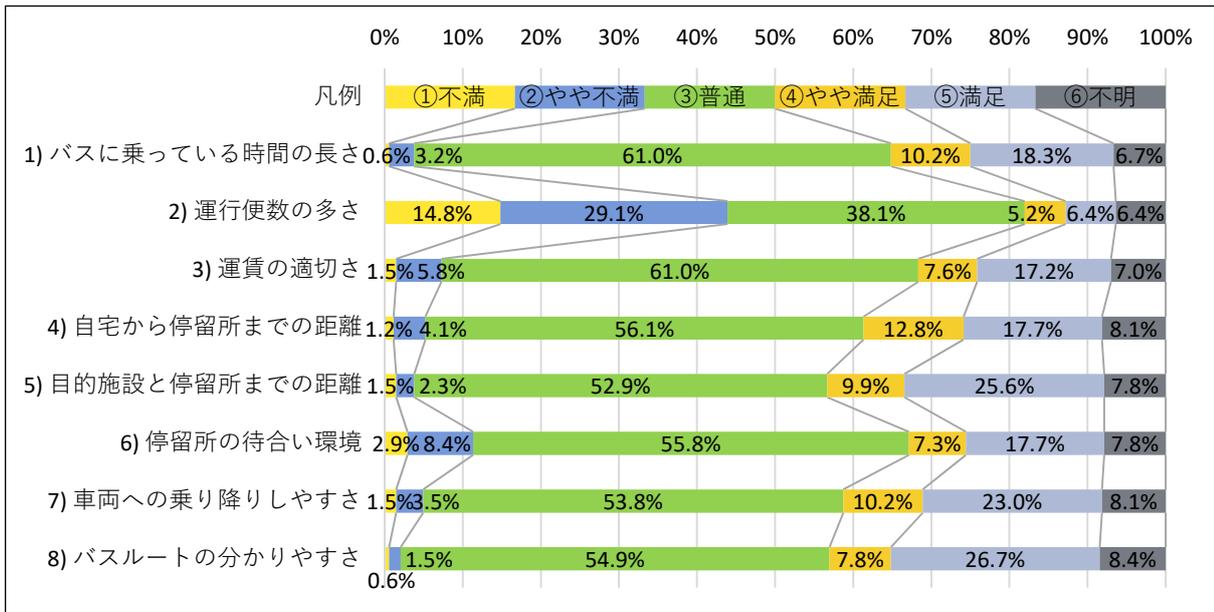


図 全線の満足度

資料 付属資料

資料-1 住民アンケート調査票

問1 ご自身、ご家族のことについてお答えください。

Q1. 居住地域をお答えください。(一つに○)

【1条～9条にお住まいの方】

①1～5番 ②6～11番 ③12～16番 ④17～20番 ⑤21～27番

【その他の地区にお住まいの方】

⑥緑町 ⑦西町 ⑧文光町 ⑨錦町・錦町西・錦町北 ⑩太子町・新光町1～3丁目
 ⑪開西町1～3丁目 ⑫あけぼの町 ⑬北光町1～3丁目 ⑭稲穂町1・2丁目
 ⑮広里町1～5丁目・字広里 ⑯深川町字オーホ・字メム ⑰一已町字一已
 ⑱音江町1・2丁目・字音江 ⑲音江町字稲田・字向陽・字豊泉
 ⑳納内町北・2丁目・3丁目・グリーンタウン・字納内
 ㉑音江町字内園・字菊丘・吉住・字国見・字更進 ㉒多度志
 ㉓多度志南・湯内・字摩・ウッカ・幌内・鷹泊

Q2. 最寄りのバス停は歩いて行こうと思える距離にありますか。(一つに○)

①ある ②ない

Q3. 同居のご家族全員の人数と、年齢構成別の人数をお答えください。(数字を記入してください)

●ご家族全員であなたを含め 人●内訳 0～15歳 人 16～18歳 人 19～29歳 人30～49歳 人 50～64歳 人 65～74歳 人75～84歳 人 85歳以上 人

★以下の質問は、ご家族で最大3人までお答えください。対象の方が4人以上いらっしゃる場合、高齢者の方、高校生以上の学生の方、または公共交通を使われる方が優先してお答えください。

Q4. 「性別」をお答えください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①男 ②女	①男 ②女	①男 ②女

Q5. 「年齢」をお答えください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①16～18歳 ②19～29歳	①16～18歳 ②19～29歳	①16～18歳 ②19～29歳
③30～49歳 ④50～64歳	③30～49歳 ④50～64歳	③30～49歳 ④50～64歳
⑤65～74歳 ⑥75～84歳	⑤65～74歳 ⑥75～84歳	⑤65～74歳 ⑥75～84歳
⑦85歳以上	⑦85歳以上	⑦85歳以上

Q6. あなたは自動車運転免許証をお持ちですか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①持っている	①持っている	①持っている
②持っていない ⇒Q9へ	②持っていない ⇒Q9へ	②持っていない ⇒Q9へ

Q7. Q6で「①持っている」と回答した方にお聞きします。普段は自分で運転しますか。

(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①概ね自分で運転する	①概ね自分で運転する	①概ね自分で運転する
②時々運転する	②時々運転する	②時々運転する
③ほとんど運転はしない(Q9へ)	③ほとんど運転はしない(Q9へ)	③ほとんど運転はしない(Q9へ)

Q8. Q7で「①概ね自分で運転する」もしくは「②時々運転する」と回答した方にお聞きします。

Q8-1. 何歳くらいまで自分で運転したいと考えていますか。(年齢記入)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
() 歳まで運転したい	() 歳まで運転したい	() 歳まで運転したい

Q8-2. 今後運転が困難になった場合の移動についてどのように考えていますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①バスなどの公共交通に頼る	①バスなどの公共交通に頼る	①バスなどの公共交通に頼る
②家族・知人に送迎してもらう	②家族・知人に送迎してもらう	②家族・知人に送迎してもらう
③自転車や徒歩により移動する	③自転車や徒歩により移動する	③自転車や徒歩により移動する
④長い距離の移動が必要のない市街地などに引っ越す	④長い距離の移動が必要のない市街地などに引っ越す	④長い距離の移動が必要のない市街地などに引っ越す
⑤その他 ()	⑤その他 ()	⑤その他 ()

Q8-3. 運転に不安を感じる時がありますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 冬の運転が特に不安	① 冬の運転が特に不安	① 冬の運転が特に不安
② 長距離の運転が特に不安	② 長距離の運転が特に不安	② 長距離の運転が特に不安
③ ①、②以外の時も不安がある	③ ①、②以外の時も不安がある	③ ①、②以外の時も不安がある
④ 不安はない	④ 不安はない	④ 不安はない

Q8-4. もしもの時に事故を回避できる自信がありますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①自信がある ②自信がない	①自信がある ②自信がない	①自信がある ②自信がない

Q8-5. 65歳以上の方へお聞きします。(65歳未満の方はQ10へお進みください。)
免許証返納の特典等があれば、返納しやすくなりますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①返納しやすくなる	①返納しやすくなる	①返納しやすくなる
②少し返納しやすくなる	②少し返納しやすくなる	②少し返納しやすくなる
③あまり返納しやすくない	③あまり返納しやすくない	③あまり返納しやすくない
④全く返納しやすくない	④全く返納しやすくない	④全く返納しやすくない

⇒Q10へ

Q9. Q6で自動車運転免許証を「②持っていない」、あるいはQ7で「③ほとんど運転はしない」と回答した方にお聞きします。自分以外が運転する車での移動状況を教えてください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①自分の希望に合わせて家族や知り合いに比較的自由に送迎してもらえる	①自分の希望に合わせて家族や知り合いに比較的自由に送迎してもらえる	①自分の希望に合わせて家族や知り合いに比較的自由に送迎してもらえる
②家族や知り合いに送迎してもらえる時もある	②家族や知り合いに送迎してもらえる時もある	②家族や知り合いに送迎してもらえる時もある
③車で移動する方法はない	③車で移動する方法はない	③車で移動する方法はない

Q10. スマートフォン(スマホ)や携帯電話(ガラケー)をお持ちですか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①スマホ・ガラケーとも保有	①スマホ・ガラケーとも保有	①スマホ・ガラケーとも保有
②スマホのみ保有	②スマホのみ保有	②スマホのみ保有
③ガラケーのみ保有	③ガラケーのみ保有	③ガラケーのみ保有
④どちらも保有していない	④どちらも保有していない	④どちらも保有していない

問2. 公共交通などによる日常的な外出についてお答えください。

Q11. 市内外を運行する次の公共交通の利用状況について、次の凡例から該当する番号をそれぞれ教えてください。(項目ごとに一つに○)

【凡例】 ①ほとんど利用なし ②年に数回 ③月に数回 ④週に数回 ⑤概ね毎日

★JR

公共交通手段	一人目の方	二人目の方	三人目の方
a) 函館本線	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤
b) 留萌本線	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤

★北海道中央バス

公共交通手段	一人目の方	二人目の方	三人目の方
c) 高速るもい号	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤

★沿岸バス・道北バス

公共交通手段	一人目の方	二人目の方	三人目の方
d) 留萌旭川線	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤

★ジェイ・アール北海道バス

公共交通手段	一人目の方	二人目の方	三人目の方
e) 深名線	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤

★空知中央バス

公共交通手段	一人目の方	二人目の方	三人目の方
f) 沼田線	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤
g) 深旭線	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤
h) 深滝線（雨竜経由）	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤
i) 滝深線（音江経由）	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤
j) 北竜線	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤
k) 市内循環線	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤
l) 多度志線	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤
m) 西北星線	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤

★乗り合い型デマンド交通

公共交通手段	一人目の方	二人目の方	三人目の方
n) 納内経由菊丘線 (実証運行)	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤	①・②・③・④・⑤

Q12. **先週1週間の外出状況**について、Q12-1からQ12-6をお答えください。

※外出していない曜日は、何も書かないでください

Q12-1. 外出した目的を選択肢から選んで番号を回答欄に記入してください。

(複数回答可。ただし主な目的を先に記入)

「③通院」の帰りに「④買物」した

		月	火	水	木	金	土	日
記入例		③④	⑥			④		⑤
回 答 欄	一人目の方							
	二人目の方							
	三人目の方							

番号を選んで記載

● 選択肢 (選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。)

- ①通勤 ②通学 ③通院・治療 ④買物・飲食
 ⑤観光等 (レジャー・レクリエーション・散歩・温泉等)
 ⑥その他の私用 (趣味、友人宅等)

Q12-2. 家を出た時間と帰宅した時間をおおよそで構いませんので回答欄に記入してください。

8時に外出して12時に帰宅した

		月	火	水	木	金	土	日
記入例		8～12時	10～17時	～時	～時	10～12時	～時	9～19時
回 答 欄	一人目の方	～時	～時	～時	～時	～時	～時	～時
	二人目の方	～時	～時	～時	～時	～時	～時	～時
	三人目の方	～時	～時	～時	～時	～時	～時	～時

Q12-3. 行先について、右の図を参考に選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。
 なお、行先が複数ある場合は、行った順に番号をお書きください。
 選択肢に無い場合、直接回答欄に市町村名をお書きください。



		月	火	水	木	金	土	日
記入例		⑦、②	②			②		②④
回答欄	一人目の方							
	二人目の方							
	三人目の方							

番号を選んで記載

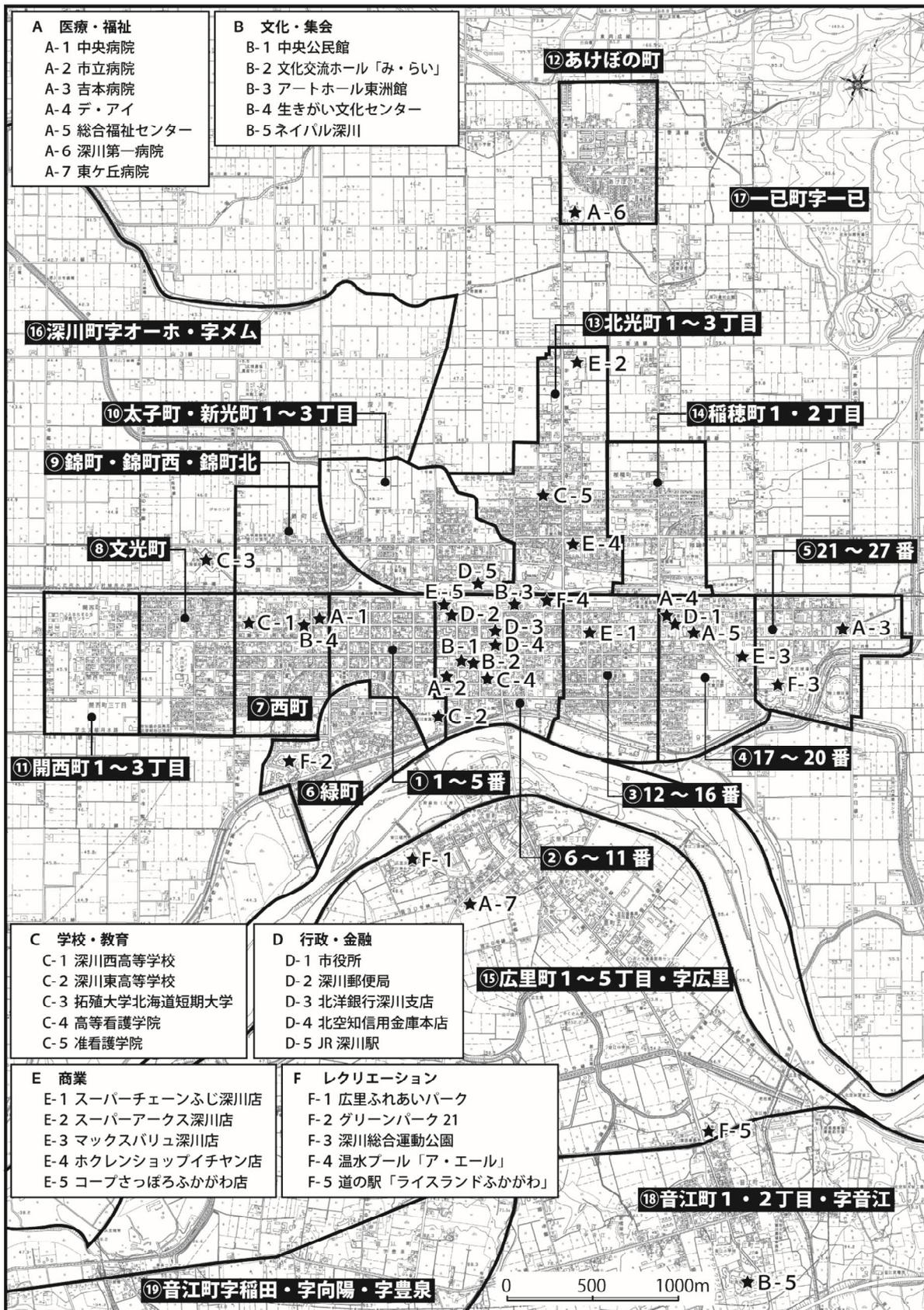
●選択肢（選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。）

右のページに市街地の区分を地図に表しましたので、参照ください。

【1条～9条】
 ① 1～5番 ② 6～11番 ③ 12～16番 ④ 17～20番 ⑤ 21～27番

【その他の地区】
 ⑥ 緑町 ⑦ 西町 ⑧ 文光町 ⑨ 錦町・錦町西・錦町北
 ⑩ 太子町・新光町1～3丁目 ⑪ 開西町1～3丁目 ⑫ あげぼの町
 ⑬ 北光町1～3丁目 ⑭ 稲穂町1・2丁目 ⑮ 広里町1～5丁目・字広里
 ⑯ 深川町字オーホ・字メム ⑰ 一已町字一已 ⑱ 音江町1・2丁目・字音江
 ⑲ 音江町字稲田・字向陽・字豊泉
 ⑳ 納内町北・2丁目・3丁目・グリーンタウン・字納内
 ㉑ 音江町字内園・字菊丘・吉住・字国見・字更進
 ㉒ 多度志
 ㉓ 多度志南・湯内・字摩・ウッカ・幌内・鷹泊

【市外】
 ㉔ 旭川市 ㉕ 滝川市 ㉖ 札幌市 ㉗ その他（直接記入ください。）



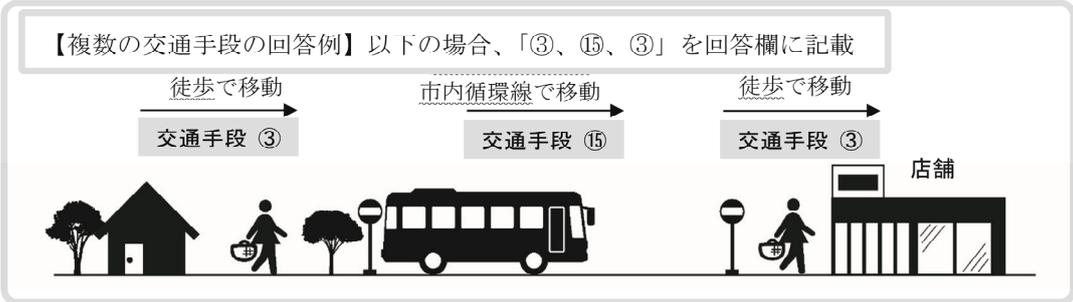
Q12-4. 最初に行った行先へは、どの交通手段を利用しましたか。利用した順に交通手段の番号を回答欄に記入してください。

「③徒歩」で停留所に行き「⑮市内循環線」で
深川市立病院まで行った

番号を選んで記載

		月	火	水	木	金	土	日
記入例		③⑮③	②			⑤		②
回答欄	一人目の方							
	二人目の方							
	三人目の方							

- 選択肢（選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。）
- ①自家用車（自分で運転） ②自家用車（家族などによる送迎）
 - ③徒歩 ④自転車・バイク ⑤タクシー ⑥J R 函館本線 ⑦J R 留萌本線
 - ⑧北海道中央バス高速るもい号 ⑨沿岸バス・道北バス留萌旭川線
 - ⑩ジェイ・アール北海道バス深名線 ⑪空知中央バス沼田線 ⑫空知中央バス深旭線
 - ⑬空知中央バス深滝線（雨竜経由） ⑭空知中央バス滝深線（音江経由）
 - ⑮空知中央バス北竜線 ⑯空知中央バス深川市内循環線 ⑰空知中央バス多度志線
 - ⑱空知中央バス西北星線 ⑲デマンド交通納内経由菊丘線（実証運行） ⑳その他



Q12-5. Q12-4の交通手段で「①」、「②」の自家用車をご記入した方へお聞きします。
公共交通が今よりも便利になったら、移動手段を自家用車から他の公共交通に変えてみても良い曜日がありますか。変えてみても良いと考える曜日に「○」をお書きください。

「自家用車」から「公共交通」の利用に変えてもいい

		月	火	水	木	金	土	日
記入例			○					
回答欄	一人目の方							
	二人目の方							
	三人目の方							

Q12-6. 公共・公益施設及びスーパーなど利便施設に行かれた方は、該当する番号を回答欄に記入してください。選択肢に無い場合、直接回答欄に施設名をお書きください。

「中央病院」の後、
「スーパーチェーンふじ深川店」に行った

		月	火	水	木	金	土	日
記入例		A-1、E-1	F-4			E-1		
回答欄	一人目の方							
	二人目の方							
	三人目の方							

番号を選んで記載

● 選択肢（選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。）

△医療・福祉	A-1 中央病院 A-2 市立病院 A-3 吉本病院 A-4 デ・アイ A-5 総合福祉センター A-6 深川第一病院 A-7 東ヶ丘病院 その他（直接回答欄に記入）
B文化・集会	B-1 中央公民館 B-2 文化交流ホール「み・らい」 B-3 アートホール東洲館 B-4 生きがい文化センター B-5 北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川 その他（直接回答欄に記入）
C学校・教育	C-1 深川西高等学校 C-2 深川東高等学校 C-3 拓殖大学北海道短期大学 C-4 高等看護学院 C-5 准看護学院 C-6 クラーク記念国際高等学校 その他（直接回答欄に記入）
D行政・金融	D-1 市役所 D-2 深川郵便局 D-3 北洋銀行深川支店 D-4 北空知信用金庫本店 D-5 JR 深川駅 D-6 JR 納内駅 D-7 JR 北一已駅 その他（直接回答欄に記入）
E商業	E-1 スーパーチェーンふじ深川店 E-2 スーパーアークス深川店 E-3 マックスバリュ深川店 E-4 ホクレンショップイチャン店 E-5 コープさっぽろふかがわ店 その他（直接回答欄に記入）
Fレクリエーション	F-1 広里ふれあいパーク F-2 グリーンパーク 21 F-3 深川総合運動公園 F-4 温水プール「ア・エール」 F-5 道の駅「ライスランドふかがわ」 F-6 アグリ工房「まあぶ」 その他（直接回答欄に記入）

Q14. 新型コロナウイルス感染症拡大前(2019年12月以前)との外出状況の違いについてお答えください。

Q14-1. 感染拡大前と比べて公共交通の利用頻度はどのようになりましたか。選択肢から番号を一つ選んで回答欄にお書きください。

	一人目の方	二人目の方	三人目の方
回答欄			

番号を選んで記載

●選択肢（選択肢から番号を一つ選んで回答欄に記入してください。）

①公共交通の利用頻度が減った(Q14-2へ)
 ②公共交通の利用頻度が増えた ③公共交通の利用頻度は変わらない
 ④コロナ前と現在で生活が変わったため、比較できない
 （転居・転勤・転職・進学など）
 ⑤一時的に利用頻度は減ったが、元に戻った

Q15へ

Q14-2. Q14-1で「①公共交通の利用頻度が減った」と答えた方へお聞きします。公共交通の利用頻度が減った要因について選択肢から番号を一つ選んで回答欄にお書きください。

	一人目の方	二人目の方	三人目の方
回答欄			

番号を選んで記載

●選択肢（選択肢から番号を一つ選んで回答欄に記入してください。）

①外出そのものが減った ②「自家用車（自分で運転）」を利用することが多くなった
 ③「自家用車（家族などによる送迎）」を利用することが多くなった
 ④「徒歩」による移動が多くなった
 ⑤「自転車・バイク」を利用することが多くなった ⑥その他

Q15. 空知中央バス深川市内循環線についてお聞きします。

Q15-1. 深川市内循環線は利用されますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①利用していない	①利用していない	①利用していない
②あまり利用していない	②あまり利用していない	②あまり利用していない
③時々利用する	③時々利用する	③時々利用する
④日常的に利用する	④日常的に利用する	④日常的に利用する

Q15-2. 深川市内循環線の満足度についてお答えください。なお、回答はご家族で相談してそれぞれの項目に対して該当するものに○を付けてください。(項目ごとに一つ○)

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
記載例		○			
a) バスの便数 (全8便)					
b) 始発時刻 (7時台)					
c) 最終時刻 (15時台)					
d) バスに乗っている時間の長さ					
e) 運賃 (190円)					
f) 自宅と停留所間の距離					
g) 目的地と停留所間の距離					
h) 停留所の待合い環境					
i) 車両への乗り降りしやすさ					
j) バスルートの分かりやすさ					
k) 総合評価					

Q16. Q1で①～⑤をお答えの方へお聞きします。

Q1で⑥～⑧をお答えの方はQ17へお進みください。

Q16-1. 現在よりもバス停留所が細かく設置され、乗りたいときに電話などで連絡をしたら、最寄りのバス停留所まで10分程度で小型のバスが来てくれると仮定します。あなたは利用すると思いますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①利用すると思う ⇒Q16-2へ	①利用すると思う ⇒Q16-2へ	①利用すると思う ⇒Q16-2へ
②利用しないと思う } Q18へ	②利用しないと思う } Q18へ	②利用しないと思う } Q18へ
③わからない } Q18へ	③わからない } Q18へ	③わからない } Q18へ

Q16-2. Q16-1で「①利用すると思う」をお答えの方へお聞きします。

どのぐらいの頻度でご利用されますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①週に5日以上	①週に5日以上	①週に5日以上
②週に3、4日	②週に3、4日	②週に3、4日
③週に1、2日	③週に1、2日	③週に1、2日
④月に数回程度	④月に数回程度	④月に数回程度
⑤年に数回程度	⑤年に数回程度	⑤年に数回程度

Q16-3. Q16-1のバスが下記の運賃の場合、利用しますか。(それぞれ一つに○)

運賃	回答欄 (ご家族で相談してお答えください)	
200円	①利用する	②利用しない
250円	①利用する	②利用しない
300円	①利用する	②利用しない
400円	①利用する	②利用しない
500円	①利用する	②利用しない
700円	①利用する	②利用しない
1,000円	①利用する	②利用しない

Q17. Q1で⑩～⑬をお答えの方へお聞きします(Q1で①～⑮をお答えの方はQ18へお進みください)。乗り合い型デマンド交通*の運行について、Q17-1からQ17-4をお答えください。

※デマンド交通とは

事前の予約に応じ、自宅から病院などの乗降指定場所までの間を運行する公共交通のこと。路線バスのように1台の車両に他の利用者との「乗り合い」を基本としているので、運賃は路線バスより高く、タクシーやハイヤーよりは安いのが一般的。

Q17-1. 現在、空知中央バス「更進線」と北海道中央バス「芦旭線」の代替交通として乗り合い型デマンド交通「納内経由菊丘線」の実証運行が行われていますが、ご存知でしょうか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①知っている	①知っている	①知っている
②知らなかった	②知らなかった	②知らなかった

Q17-2. 乗り合い型デマンド交通「納内経由菊丘線」の対象地域にお住いの方にお聞きします。現在ご利用はされていますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①利用している	①利用している	①利用している
②利用していない	②利用していない	②利用していない

Q17-3. 仮に乗り合い型デマンド交通デマンド交通をご自宅で利用できるようになった場合の利用の有無についてお答えください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①利用すると思う ⇒Q17-4へ	①利用すると思う ⇒Q17-4へ	①利用すると思う ⇒Q17-4へ
②利用しないと思う } Q18へ	②利用しないと思う } Q18へ	②利用しないと思う } Q18へ
③わからない } Q18へ	③わからない } Q18へ	③わからない } Q18へ

Q17-4. Q17-3で「①利用すると思う」をお答えの方へお聞きします。
どのぐらいの頻度でご利用されると思いますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①週に5日以上	①週に5日以上	①週に5日以上
②週に3、4日	②週に3、4日	②週に3、4日
③週に1、2日	③週に1、2日	③週に1、2日
④月に数回程度	④月に数回程度	④月に数回程度
⑤年に数回程度	⑤年に数回程度	⑤年に数回程度

Q17-5. 乗り合い型デマンド交通が下記の運賃の場合、利用しますか。(それぞれ一つに○)

運賃	回答欄 (ご家族で相談してお答えください)	
300円	①利用する	②利用しない
400円	①利用する	②利用しない
500円	①利用する	②利用しない
750円	①利用する	②利用しない
1,000円	①利用する	②利用しない
1,500円	①利用する	②利用しない
2,000円	①利用する	②利用しない
3,000円	①利用する	②利用しない

Q18. バスなど公共交通にあると便利なサービス等についてお答えください。

(三つ以内を○で囲んでください)

回答欄 (ご家族で相談してお答えください)
①商店・店舗と連携して、バスの利用に応じた買物や飲食の割引サービス
②空知中央バス市内循環線とJR函館本線や空知中央バス郊外線等との接続、乗継ぎしやすさ
③空知中央バス市内循環線に乗車するごとにポイントが貯まるサービス
④スマートフォンで、今バスがどこを運行しているか把握できるサービス
⑤店舗や病院等にモニターを設置して、バスがどの辺りを動いているか、何分後に到着するかが分かるサービス
⑥店舗や病院等の一角にバスなどを待てる休憩室の確保
⑦バスの乗り方がよくわからないので、バスの乗り方教室などを開催する
⑧空知中央バス市内循環線の運行時刻とJR函館本線や空知中央バス郊外線等との接続時刻がわかる公共交通利用パンフレット
⑨その他 ()

Q19. 市では、平成 19 年に廃止されて以降未整備となっているバスターミナルと、老朽化が進む中央公民館(深川市 5 条 7-23)の現状を踏まえて、JR 深川駅西側に交通結節機能の強化を図ることが可能な、新たなまちの交流拠点となる「複合施設」の整備検討を進めています。この施設の中核となるバスターミナル機能と生涯学習機能についてお聞きます。

Q19-1. 複合施設の整備にあたり、機能が組み込まれる現在の中央公民館について、これまでの利用有無と利用頻度をお答えください。(それぞれ一つに○)

(1)中央公民館の利用の有無

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①利用したことがある	①利用したことがある	①利用したことがある
②利用したことはない(Q19-3 へ)	②利用したことはない(Q19-3 へ)	②利用したことはない(Q19-3 へ)

(2)利用頻度(中央公民館を利用したことはない方は「Q19-3」へ)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①ほぼ毎日	①ほぼ毎日	①ほぼ毎日
②週 1～5 回程度	②週 1～5 回程度	②週 1～5 回程度
③月 1～3 回程度	③月 1～3 回程度	③月 1～3 回程度
④ 1 年に 1～10 回程度	④ 1 年に 1～10 回程度	④ 1 年に 1～10 回程度
⑤これまでに行ったことはある	⑤これまでに行ったことはある	⑤これまでに行ったことはある

Q19-2. 現在の中央公民館について、満足度をお答えください。ご家族で相談してそれぞれの項目に対して該当する満足度に○を付けてください。(項目ごとに一つ○)

項 目	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない
記 載 例		○			
a) 交通の便					
b) 安全性・災害対応					
c) バリアフリー対応					
d) 寒暖・照度等の室内環境					
e) トイレ等の設備					
f) 駐車場・駐輪場の数					
g) 施設全体の満足度					

資料 付属資料

Q19-3. バスターミナル機能と生涯学習機能を中心とした、新たなまちの交流拠点として、利用したいと思う機能(空間)について、ご家族で相談してお答えください。
(当てはまるもの三つまで○)

①JR・バス待合	②軽飲食(カフェ)	③休憩・読書・学習
④特産品等販売	⑤親子交流(キッズスペース)	⑥図書貸出・返却
⑦講演・展示・イベント	⑧研修・会議	⑨仕事(コワーキングスペース)
⑩調理・食品加工	⑪工作・陶芸	⑫和の活動(和室)
⑬音楽活動	⑭ダンス・舞踊・軽スポーツ	⑮その他()

問4. その他、公共交通についてご意見等がありましたら、お書きください。

調査へのご協力、ありがとうございました。

資料-2 バス乗降調査ヒアリング調査票

空知中央バス

空知中央バス

■路線バスのご利用者様へのヒアリング調査

(1) お住まい (番号を記載)

別紙1 (3ページ) のリストを参照:

(2) 今、乗車されているバスの「乗車停留所」と「降車停留所」(番号を記載)

	乗車停留所	降車停留所
別紙2 (4ページ) のリストを参照		

(3) このバス路線の利用状況

1) 行き・帰りのご利用 (一つに○)

- ①行き・帰りとも利用
②行きのみ利用
③帰りのみ利用

2) ご利用の頻度 (一つに○)

- ①ほぼ毎日 ②週に4, 5日
③週に2, 3日 ④週に1日
⑤月に数回 ⑥年に数回

(4) 本日の外出目的 (主な目的一つを選択して○)

- ①通勤 ②通学 ③通院・治療 ④買物・飲食
⑤レクリエーション・趣味活動等 ⑥その他 ()

(5) 本日、行かれる (行かれた) 施設 (該当する全ての番号を記載)

別紙3 (5ページ) のリストを参照:

(6) 今、乗車されているバスから乗継いで乗車される公共交通手段
あるいは、今、乗車されているバスの前に乗車された公共交通手段
(該当する番号に○)

- ①乗継ぎはしていない
②JR函館本線 (札幌方面 ・ 旭川方面 ←いずれかに「○」)
③JR留萌本線
④沿岸バス・道北バス留萌旭川線
(留萌方面 ・ 旭川方面 ←いずれかに「○」)
⑤ジェイ・アール北海道バス深名線
(幌加内方面 ・ 名寄方面 ←いずれかに「○」)
⑥空知中央バス沼田線
⑦空知中央バス深旭線
⑧空知中央バス深滝線 (雨竜経由)
⑨空知中央バス滝深線 (音江経由)
⑩空知中央バス北竜線
⑪空知中央バス深川市内循環線 (深川西高校方面先回り)
⑫空知中央バス深川市内循環線 (あけぼの方面先回り)
⑬空知中央バス多度志線

次のページにも質問があります。

空知中央バス

(7) このバス路線の満足度（それぞれ①から⑤の内、一つ選んで○）

項 目	満 足 度（5段階評価）				
	①不満	②やや不満	③普通	④やや満足	⑤満足
1) バスに乗っている時間の長さ	①	②	③	④	⑤
2) 運行便数の多さ	①	②	③	④	⑤
3) 運賃の適切さ	①	②	③	④	⑤
4) 自宅から停留所までの距離	①	②	③	④	⑤
5) 目的施設と停留所までの距離	①	②	③	④	⑤
6) 停留所の待合い環境	①	②	③	④	⑤
7) 車両への乗り降りしやすさ	①	②	③	④	⑤
8) バスルートの分かりやすさ	①	②	③	④	⑤

(8) 性別・年齢（それぞれ一つに○）

性 別	①男性 ・ ②女性				
年 齢	①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代
	⑥60代	⑦70代	⑧80歳以上		

(9) このバス路線でお気づきの点

○以下、調査員記載事項

バス路線名	①沿岸バス・道北バス留萌旭川線 ②ジェイ・アール北海道バス深名線 ③空知中央バス沼田線 ④空知中央バス深旭線 ⑤空知中央バス深滝線（雨竜経由） ⑥空知中央バス滝深線（音江経由） ⑦空知中央バス北竜線 ⑧空知中央バス深川市内循環線（深川西高校方面先回り） ⑨空知中央バス深川市内循環線（あけぼの方面先回り） ⑩空知中央バス多度志線
往路・復路	往路 ・ 復路 ・ 該当なし
始発時刻	_____時_____分

空知中央バス

別紙 1

「(1) お住まい」のリスト

○深川市内にお住まいの方

【1条～9条】

- ① 1～5番 ② 6～11番 ③ 12～16番 ④ 17～20番 ⑤ 21～27番

【その他の地区】

- ⑥ 緑町 ⑦ 西町 ⑧ 文光町 ⑨ 錦町・錦町西・錦町北
- ⑩ 太子町・新光町 1～3丁目 ⑪ 開西町 1～3丁目 ⑫ あけぼの町
- ⑬ 北光町 1～3丁目 ⑭ 稲穂町 1・2丁目 ⑮ 広里町 1～5丁目・字広里
- ⑯ 深川町字オーホ・字メム
- ⑰ 一己町字一己
- ⑱ 音江町 1・2丁目・字音江
- ⑲ 音江町字稲田・字向陽・字豊泉
- ⑳ 納内町北・2丁目・3丁目・グリーンタウン・字納内
- ㉑ 音江町字内園・字菊丘・吉住・字国見・字更進
- ㉒ 多度志
- ㉓ 多度志南・湯内・字摩・ウッカ・幌内・鷹泊

○深川市以外にお住まいの方

- ㉔ 旭川市 ㉕ 滝川市 ㉖ 札幌市 ㉗ 留萌市 ㉘ 幌加内町
- ㉙ その他（直接、回答欄にお書きください。）

「(2) バス停留所」のリスト

(循環線 深川西高校方面先回り)

①深川市立病院前		
②2条5番		
③深川駅前		
④深川十字街		
⑤4条11番		
⑥北光団地		
⑦新光町		
⑧三和コミュニティセンター		
⑨錦町		
⑩中央病院		
⑪生きがい文化センター		
⑫深川西高前		
⑬文西コミュニティセンター		
⑭深川小学校前		
⑮緑町団地		
⑯深川東高校前		
	⑰深川市立病院前	⑳市道1番通
	⑱2条5番	㉑市営住宅前
	㉒深川駅前	㉒曙団地
	㉓深川十字街深川十字街	㉓曙団地入口
	㉔4条11番	㉔深川第一病院前
	㉕4条13番	㉕北光町3丁目
	㉖深川市役所	㉖北光町2丁目
	㉗一已7丁目	㉗北光町1丁目
	㉘一已8丁目	㉘4条13番
	㉙1条24番	㉙深川市役所
	㉚深川保健所前	㉚幼稚園前
	㉛一已小学校	㉛8条12番
	㉜市道4番通	㉜深川市立病院前
	㉝市道3番通㉞桜坂	㉝2条5番
	㉞市道2番通	㉞深川駅前

空知中央バス

別紙 2

「(2) バス停留所」のリスト

(循環線 あけぼの方面先回り)

①深川市立病院前		
②2条5番		
③深川駅前		
④8条12番		
⑤幼稚園前		
⑥深川市役所		
⑦4条13番		
⑧北光町1丁目		
⑨北光町2丁目		
⑩北光町3丁目		
⑪深川第一病院		
⑫曙団地入口		
⑬曙団地		
⑭市営住宅前		
⑮市道1番通		
⑯市道2番通		
	⑰桜坂	⑳緑町団地
	⑱市道3番通	㉑深川小学校前
	㉒市道4番通	㉓文西コミュニティセンター
	㉔一已小学校	㉕深川西高前
	㉖深川保健所前	㉗生きがい文化センター
	㉘1条24番	㉙中央病院
	㉚一已8丁目	㉛錦町
	㉜一已7丁目	㉝三和コミュニティセンター
	㉞深川市役所	㉟新光町
	㊱4条13番	㊲北光団地
	㊳4条11番	㊴4条11番
	㊵深川十字街	㊶深川十字街
	㊷深川市立病院前	㊸深川市立病院前
	㊹2条5番	㊺2条5番
	㊻深川駅前	㊼深川駅前
	㊽深川東高校前	

「(2) バス停留所」のリスト (多度志線)

<ul style="list-style-type: none"> ①深川市立病院前 ②5条8番 ③深川十字街 ④4条11番 ⑤4条13番 ⑥深川市役所 ⑦一己小学校 ⑧市道4番通 ⑨市道3番通 ⑩桜坂 ⑪市道2番通 ⑫市道1番通 ⑬市営住宅前 		<ul style="list-style-type: none"> ⑭曙団地 ⑮平田山 ⑯衛生センター ⑰南中の沢 ⑱中の沢 ⑲東山入口 ⑳中山峠 ㉑光照寺前 ㉒多度志市街 ㉓多度志神社前 ㉔コミ入口 ㉕J A 機械整備センター前 ㉖多度志
--	--	--

空知中央バス

別紙2

「(2) バス停留所」のリスト (滝深線)

深川市内	<ul style="list-style-type: none"> ①深川市立病院前 ②5条8番 ③広里町1丁目 ④雇用促進住宅 ⑤広里工業団地 ⑥深川営業所 ⑦音江分岐点 ⑧音江 ⑨新橋 ⑩法音寺 ⑪沖18号線 ⑫沖里河 ⑬豊泉 ⑭西広里 ⑮稲見山入口 ⑯東向陽 ⑰向陽橋 ⑱向陽 ⑲沖1号線 ⑳東稲田 ㉑稲田 ㉒須1号線 		<div style="text-align: center;">↓</div> <ul style="list-style-type: none"> ㉓19丁目 ㉔18丁目 ㉕仲17丁目 ㉖17丁目 ㉗16丁目 ㉘15丁目 ㉙14丁目 ㉚江部乙町西13丁目 ㉛江部乙町西12丁目 ㉜江部乙中央通 ㉝江部乙町西11丁目 ㉞江部乙町西10丁目 ㉟9丁目 ㊱8丁目 ㊲中央工業団地 ㊳屯田町西4丁目 ㊴屯田町西1丁目 ㊵滝の川町西6丁目 ㊶滝の川町西4丁目 ㊷第二小学校 ㊸スポーツセンター前 ㊹滝川工業高校 ㊺黄金町西3丁目 ㊻黄金町西1丁目 ㊼朝日町西3丁目 ㊽朝日町西1丁目 ㊾第一小学校 ㊿本町局前 ①滝川農協前 ②市役所通 ③N T T前 ④滝川駅
-------------	---	--	---

「(2) バス停留所」のリスト (深滝線)

<p>深川市内</p>	<p>①深川市立病院前 ②5条8番 ③深川十字街 ④4条6番 ⑤4条1番 ⑥生きがい文化センター ⑦深川西高前 ⑧深川中学校前 ⑨9号線 ⑩8号線 ⑪7号線 ⑫菊水中央 ⑬5号線 ⑭4号線 ⑮3号線</p>	<p>雨竜町内</p> <p>⑳雨竜橋 ㉑追分 ㉒雨竜寿園前 ㉓雨竜5丁目 ㉔満寿工業団地 ㉕雨竜4丁目 ㉖伏古通 ㉗雨竜中学校 ㉘雨竜3丁目 ㉙新雨竜第一病院前 ㉚雨竜 ㉛寿団地 ㉜伏古会館 ㉝旧渡船場</p>	<p>滝川市内</p> <p>⑥⑤滝の川町西6丁目 ⑥⑥滝の川町西4丁目 ⑥⑦第二小学校 ⑥⑧スポーツセンター前 ⑥⑨滝川工業高校 ⑥⑩小金町西3丁目 ⑥⑪小金町西1丁目 ⑥⑫朝日町西3丁目 ⑥⑬朝日町西1丁目 ⑥⑭第一小学校 ⑥⑮本町局前 ⑥⑯滝川農協前 ⑥⑰市役所通 ⑥⑱NTT前 ⑥⑲滝川駅</p>
<p>妹背牛町内</p>	<p>⑰⑩妹背牛農工団地 ⑰⑪2号線 ⑰⑫妹背牛町民会館入口 ⑰⑬妹背牛 ⑰⑭妹背牛小学校前 ⑰⑮妹背牛診療所 ⑰⑯下4号 ⑰⑱下5号 ⑰⑲社地 ⑰⑳下7号 ⑰㉑永宮 ⑰㉒下8号</p>	<p>滝川市内</p> <p>④②江竜橋 ④③西14丁目 ④④14丁目 ④⑤江部乙町西13丁目 ④⑥江部乙町西13丁目 ④⑦江部乙中央通 ④⑧江部乙町西11丁目 ④⑨江部乙町西10丁目 ④⑩9丁目 ④⑪8丁目 ④⑫中央工業団地 ④⑬屯田町西4丁目 ④⑭屯田町西1丁目</p>	

空知中央バス

別紙2

「(2) バス停留所」のリスト (深旭線)

深 川 市 内	①深川市立病院前	旭 川 市 内	↓
	②5条8番		⑳神納橋
	③深川十字街		㉑古潭仲通
	④4条11番		㉒神居古潭神社前
	⑤4条13番		㉓神居古潭
	⑥深川市役所		㉔夢殿観音前
	⑦一已7丁目		㉕春志内
	⑧一已8丁目		㉖観魚橋
	⑨一已9丁目		㉗台場2条1丁目
	⑩一已10丁目		㉘台場小学校
	⑪入志別		㉙台場中央
	⑫一已12丁目		㉚スキー場入口
	⑬一已13丁目		㉛ゴルフ場入口
	⑭納内1丁目		㉜高砂台入口
	⑮納内2丁目		㉝神居6条1丁目
	⑯納内		㉞神居2条1丁目
	⑰クラーク高校		㉟神居2条4丁目
	⑱納内団地		㊱神居支所入口
	㉑納内4丁目		㊲神居2条10丁目
	㉒納内5丁目		㊳神楽4条4丁目
	㉓納内6丁目		㊴1条2丁目
	㉔納内7丁目		㊵1条7丁目
	㊶旭川駅前		

「(2) バス停留所」のリスト (沼田線)

深川市内	①深川市立病院前 ②5条8番 ③深川十字街 ④4条11番 ⑤北光町1丁目 ⑥北光町2丁目 ⑦北光町3丁目 ⑧深川第一病院 ⑨曙団地入口 ⑩一己4丁目線 ⑪桜山入口 ⑫三北星入口 ⑬深川市境界		↓ ⑳旭町 ㉑厚生クリニック ㉒沼田本通 ㉓沼田駅前
秩父別町内	⑭南2条 ⑮南1条 ⑯秩父別IC入口 ⑰大聖寺前 ⑱ちっぷゆう&ゆ入口 ㉔秩父別農協前 ㉕秩父別役場 ㉖2条3丁目 ㉗3条3丁目 ㉘4条3丁目 ㉙5条3丁目 ㉚6条3丁目 ㉛7条3丁目 ㉜8条3丁目		

空知中央バス

別紙2

「(2) バス停留所」のリスト (北竜線)

深川市内	①深川市立病院前 ②5条8番 ③深川十字街 ④4条6番 ⑤4条1番 ⑥生きがい文化センター ⑦深川西高前 ⑧深川中学校前 ⑨9号線 ⑩8号線 ⑪7号線 ⑫菊水中央 ⑬5号線 ⑭4号線 ⑮3号線		妹背牛町内	⑯4線 ⑰大鳳橋 ⑱小藤 ⑲小藤2線 ⑳小藤コミュニティセンター ㉑小藤3線 ㉒小藤4線
	妹背牛町内			⑳和川端 ㉑和2線 ㉒和八戸 ㉓和東町 ㉔和 ㉕北竜役場前 ㉖桜岡 ㉗北竜中学校 ㉘北竜温泉
妹背牛町内	⑯妹背牛農工団地 ⑰2号線 ⑱妹背牛町民会館入口 ⑲妹背牛 ⑳桜町 ㉑妹背牛役場入口 ㉒2線 ㉓赤川橋 ㉔3線 ㉕大鳳1線			

「(3) 施設」のリスト

○医療・福祉

- ①中央病院 ②市立病院 ③吉本病院
④デ・アイ ⑤総合福祉センター ⑥深川第一病院
⑦東ヶ丘病院

○文化・集会

- ⑧中央公民館 ⑨文化交流ホール「み・らい」
⑩アートホール東洲館 ⑪生きがい文化センター
⑫北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川

○学校・教育

- ⑬深川西高等学校 ⑭深川東高等学校
⑮拓殖大学北海道短期大学 ⑯高等看護学院
⑰准看護学院 ⑱クラーク記念国際高等学校

○行政・金融

- ⑲市役所 ⑳深川郵便局 ㉑北洋銀行深川支店
㉒北空知信用金庫本店 ㉓JR 深川駅 ㉔JR 納内駅
㉕JR 北一已駅

○商業

- ㉖スーパーチェーンふじ深川店 ㉗スーパーアークス深川店
㉘マックスバリュ深川店 ㉙ホクレンショップイチャン店
㉚コープさっぽろふかがわ店

○レクリエーション

- ㉛広里ふれあいパーク ㉜グリーンパーク 21
㉝深川総合運動公園 ㉞温水プール「ア・エール」
㉟道の駅「ライスランドふかがわ」 ㊱アグリ工房「まあぶ」

沿岸バス・道南バス

沿岸バス・道北バス

■路線バスのご利用者様へのヒアリング調査

(1) お住まい (番号を記載)

別紙1 (3ページ) のリストを参照：

(2) 今、乗車されているバスの「乗車停留所」と「降車停留所」(番号を記載)

	乗車停留所	降車停留所
別紙2 (4ページ) のリストを参照		

(3) このバス路線の利用状況

1) 行き・帰りのご利用 (一つに○)

- ①行き・帰りとも利用
②行きのみ利用
③帰りのみ利用

2) ご利用の頻度 (一つに○)

- ①ほぼ毎日 ②週に4, 5日
③週に2, 3日 ④週に1日
⑤月に数回 ⑥年に数回

(4) 本日の外出目的 (主な目的一つを選択して○)

- ①通勤 ②通学 ③通院・治療 ④買物・飲食
⑤クリエイション・趣味活動等 ⑥その他 ()

(5) 本日、行かれる (行かれた) 施設 (該当する全ての番号を記載)

別紙3 (5ページ) のリストを参照：

(6) 今、乗車されているバスから乗継いで乗車される公共交通手段

あるいは、今、乗車されているバスの前に乗車された公共交通手段

(該当する番号に○)

- ①乗継ぎはしていない
②J R 函館本線 (札幌方面 ・ 旭川方面 ←いずれかに「○」)
③J R 留萌本線
⑤ジェイ・アール北海道バス深名線
(幌加内方面 ・ 名寄方面 ←いずれかに「○」)
⑥空知中央バス沼田線
⑦空知中央バス深旭線
⑧空知中央バス深滝線 (雨竜経由)
⑨空知中央バス滝深線 (音江経由)
⑩空知中央バス北竜線
⑪空知中央バス深川市内循環線 (深川西高校方面先回り)
⑫空知中央バス深川市内循環線 (あけぼの方面先回り)
⑬空知中央バス多度志線

次のページにも質問があります。

沿岸バス・道北バス

(7) このバス路線の満足度（それぞれ①から⑤の内、一つ選んで○）

項 目	満 足 度（5段階評価）				
	①不満	②やや不満	③普通	④やや満足	⑤満足
1) バスに乗っている時間の長さ	①	②	③	④	⑤
2) 運行便数の多さ	①	②	③	④	⑤
3) 運賃の適切さ	①	②	③	④	⑤
4) 自宅から停留所までの距離	①	②	③	④	⑤
5) 目的施設と停留所までの距離	①	②	③	④	⑤
6) 停留所の待合い環境	①	②	③	④	⑤
7) 車両への乗り降りしやすさ	①	②	③	④	⑤
8) バスルートの分かりやすさ	①	②	③	④	⑤

(8) 性別・年齢（それぞれ一つに○）

性 別	①男性 ・ ②女性				
年 齢	①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代
	⑥60代	⑦70代	⑧80歳以上		

(9) このバス路線でお気づきの点

○以下、調査員記載事項

バス路線名	①沿岸バス・道北バス留萌旭川線 ②ジェイ・アール北海道バス深名線 ③空知中央バス沼田線 ④空知中央バス深旭線 ⑤空知中央バス深滝線（雨竜経由） ⑥空知中央バス滝深線（音江経由） ⑦空知中央バス北竜線 ⑧空知中央バス深川市内循環線（深川西高校方面先回り） ⑨空知中央バス深川市内循環線（あけぼの方面先回り） ⑩空知中央バス多度志線
往路・復路	往路 ・ 復路 ・ 該当なし
始発時刻	_____時_____分

沿岸バス・道北バス

別紙 1

「(2) お住まい」のリスト

○深川市内にお住まいの方

【1条～9条】

- ① 1～5番 ② 6～11番 ③ 12～16番 ④ 17～20番 ⑤ 21～27番

【その他の地区】

- ⑥ 緑町 ⑦ 西町 ⑧ 文光町 ⑨ 錦町・錦町西・錦町北
- ⑩ 太子町・新光町1～3丁目 ⑪ 開西町1～3丁目 ⑫ あけぼの町
- ⑬ 北光町1～3丁目 ⑭ 稲穂町1・2丁目 ⑮ 広里町1～5丁目・字広里
- ⑯ 深川町字オーホ・字メム
- ⑰ 一已町字一已
- ⑱ 音江町1・2丁目・字音江
- ⑲ 音江町字稲田・字向陽・字豊泉
- ⑳ 納内町北・2丁目・3丁目・グリーンタウン・字納内
- ㉑ 音江町字内園・字菊丘・吉住・字国見・字更進
- ㉒ 多度志
- ㉓ 多度志南・湯内・字摩・ウッカ・幌内・鷹泊

○深川市以外にお住まいの方

- ㉔ 旭川市 ㉕ 滝川市 ㉖ 札幌市 ㉗ 留萌市 ㉘ 幌加内町
- ㉙ その他（直接、回答欄にお書きください。）

「(1) バス停留所」のリスト (留萌旭川線)

留萌市内 ①留萌十字街 ②錦町 ③開運町2丁目 ④留萌駅前 ⑤末広町 ⑥高砂町 ⑦五十嵐町 ⑧元川町 ⑨南九条橋 ⑩東橋 ⑪潮静団地前 ⑫潮静小学校 ⑬上層 ⑭大和田 ⑮跨線橋 ⑯15線沢 ⑰藤山 ⑱藤山第1 ⑲番外の沢 ⑳藤山21線 ㉑加藤の沢 ㉒幌糠1線 ㉓幌糠 ㉔チバベリ ㉕南幌 ㉖タルマップ ㉗東幌 ㉘峠下 ㉙峠下分岐点	↓	北竜町内 ⑳奥美葉牛 ㉑美葉牛中央 ㉒美葉牛十字街 ㉓美葉牛入口 ㉔岩村ライオンター ㉕清雲寺 ㉖碧水 ㉗古作 ㉘築紫大橋	↓	深川市内 ㉙広里工業団地前 ㉚音江広里交流館前 ㉛音江分岐点 ㉜国見峠 ㉝出会沢 ㉞内園 ㉟集会所前 ㊱高津山入口
	↓	秩父別町内 ㊲秩父別2条9丁目 ㊳秩父別2条8丁目 ㊴秩父別2条7丁目 ㊵秩父別2条6丁目 ㊶秩父別2条5丁目 ㊷秩父別2条3丁目 ㊸秩父別役場 ㊹秩父別1丁目 ㊺南1条	↓	旭川市内 ㊻神居古潭分岐点 ㊼神居古潭小学校前 ㊽神居古潭神社前 ㊾神居古潭 ㊿夢殿観音前 ㉀春志内 ㉁台場2条1丁目 ㉂台場小学校入口 ㉃高砂台入口 ㉄神居2条1丁目 ㉅神居2条10丁目 ㉆JA あさひかわ神居支所前 ㉇神楽4条4丁目 ㉈神楽3条 ㉉1条2丁目 ㊰1条7丁目 ㊱旭川駅前
	↓	深川市内 ㊲深川市境界 ㊳桜山入口 ㊴1番通4丁目 ㊵1番通5丁目 ㊶深川第一病院 ㊷北光町3丁目 ㊸北光町1丁目 ㊹深川十字街 ㊺深川大橋 ㊻広里町1丁目	↓	

沿岸バス・道北バス

別紙 3

「(3) 施設」のリスト

○医療・福祉

- ①中央病院 ②市立病院 ③吉本病院
④デ・アイ ⑤総合福祉センター ⑥深川第一病院
⑦東ヶ丘病院

○文化・集会

- ⑧中央公民館 ⑨文化交流ホール「み・らい」
⑩アートホール東洲館 ⑪生きがい文化センター
⑫北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川

○学校・教育

- ⑬深川西高等学校 ⑭深川東高等学校
⑮拓殖大学北海道短期大学 ⑯高等看護学院
⑰准看護学院 ⑱クラーク記念国際高等学校

○行政・金融

- ⑲市役所 ⑳深川郵便局 ㉑北洋銀行深川支店
㉒北空知信用金庫本店 ㉓JR 深川駅 ㉔JR 納内駅
㉕JR 北一已駅

○商業

- ㉖スーパーチェーンふじ深川店 ㉗スーパーアークス深川店
㉘マックスバリュ深川店 ㉙ホクレンショップイチャン店
㉚コープさっぽろふかがわ店

○レクリエーション

- ㉛広里ふれあいパーク ㉜グリーンパーク 21
㉝深川総合運動公園 ㉞温水プール「ア・エール」
㉟道の駅「ライスランドふかがわ」 ㊱アグリ工房「まあぶ」

J R 北海道バス

J R 北海道バス

■路線バスのご利用者様へのヒアリング調査

(1) お住まい (番号を記載)

別紙1 (3 ページ) のリストを参照：

(2) 今、乗車されているバスの「乗車停留所」と「降車停留所」(番号を記載)

	乗車停留所	降車停留所
別紙2 (4 ページ) のリストを参照		

(3) このバス路線の利用状況

1) 行き・帰りのご利用 (一つに○)

- ① 行き・帰りとも利用
- ② 行きのみ利用
- ③ 帰りのみ利用

2) ご利用の頻度 (一つに○)

- ① ほぼ毎日
- ② 週に 4, 5 日
- ③ 週に 2, 3 日
- ④ 週に 1 日
- ⑤ 月に数回
- ⑥ 年に数回

(4) 本日の外出目的 (主な目的一つを選択して○)

- ① 通勤
- ② 通学
- ③ 通院・治療
- ④ 買物・飲食
- ⑤ レクリエーション・趣味活動等
- ⑥ その他 ()

(5) 本日、行かれる (行かれた) 施設 (該当する全ての番号を記載)

別紙3 (5 ページ) のリストを参照：

(6) 今、乗車されているバスから乗継いで乗車される公共交通手段

あるいは、今、乗車されているバスの前に乗車された公共交通手段

(該当する番号に○)

- ① 乗継ぎはしていない
- ② J R 函館本線 (札幌方面 ・ 旭川方面 ←いずれかに「○」)
- ③ J R 留萌本線
- ④ 沿岸バス・道北バス留萌旭川線 (留萌方面 ・ 旭川方面 ←いずれかに「○」)
- ⑥ 空知中央バス沼田線
- ⑦ 空知中央バス深旭線
- ⑧ 空知中央バス深滝線 (雨竜経由)
- ⑨ 空知中央バス滝深線 (音江経由)
- ⑩ 空知中央バス北竜線
- ⑪ 空知中央バス深川市内循環線 (深川西高校方面先回り)
- ⑫ 空知中央バス深川市内循環線 (あけぼの方面先回り)
- ⑬ 空知中央バス多度志線

次のページにも質問があります。

J R北海道バス

(7) このバス路線の満足度（それぞれ①から⑤の内、一つ選んで○）

項 目	満 足 度（5段階評価）				
	①不満	②やや不満	③普通	④やや満足	⑤満足
1) バスに乗っている時間の長さ	①	②	③	④	⑤
2) 運行便数の多さ	①	②	③	④	⑤
3) 運賃の適切さ	①	②	③	④	⑤
4) 自宅から停留所までの距離	①	②	③	④	⑤
5) 目的施設と停留所までの距離	①	②	③	④	⑤
6) 停留所の待合い環境	①	②	③	④	⑤
7) 車両への乗り降りしやすさ	①	②	③	④	⑤
8) バスルートの分かりやすさ	①	②	③	④	⑤

(8) 性別・年齢（それぞれ一つに○）

性 別	①男性 ・ ②女性				
年 齢	①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代
	⑥60代	⑦70代	⑧80歳以上		

(9) このバス路線でお気づきの点

--

○以下、調査員記載事項

バス路線名	①沿岸バス・道北バス留萌旭川線 ②ジェイ・アール北海道バス深名線 ③空知中央バス沼田線 ④空知中央バス深旭線 ⑤空知中央バス深滝線（雨竜経由） ⑥空知中央バス滝深線（音江経由） ⑦空知中央バス北竜線 ⑧空知中央バス深川市内循環線（深川西高校方面先回り） ⑨空知中央バス深川市内循環線（あけぼの方面先回り） ⑩空知中央バス多度志線
往路・復路	往路 ・ 復路 ・ 該当なし
始発時刻	_____時_____分

「(1) お住まい」のリスト

○深川市内にお住まいの方

【1条～9条】

- ① 1～5番 ② 6～11番 ③ 12～16番 ④ 17～20番 ⑤ 21～27番

【その他の地区】

- ⑥ 緑町 ⑦ 西町 ⑧ 文光町 ⑨ 錦町・錦町西・錦町北
- ⑩ 太子町・新光町 1～3丁目 ⑪ 開西町 1～3丁目 ⑫ あけぼの町
- ⑬ 北光町 1～3丁目 ⑭ 稲穂町 1・2丁目 ⑮ 広里町 1～5丁目・字広里
- ⑯ 深川町字オーホ・字メム
- ⑰ 一己町字一己
- ⑱ 音江町 1・2丁目・字音江
- ⑲ 音江町字稲田・字向陽・字豊泉
- ⑳ 納内町北・2丁目・3丁目・グリーンタウン・字納内
- ㉑ 音江町字内園・字菊丘・吉住・字国見・字更進
- ㉒ 多度志
- ㉓ 多度志南・湯内・字摩・ウッカ・幌内・鷹泊

○深川市以外にお住まいの方

- ㉔ 旭川市 ㉕ 滝川市 ㉖ 札幌市 ㉗ 留萌市 ㉘ 幌加内町
- ㉙ その他（直接、回答欄にお書きください。）

J R 北海道バス

別紙 2

「(2) バス停留所」のリスト (深名線)

深川市内	①深川駅前 ②深川市役所 ③一已7丁目 ④大師 ⑤五番通 ⑥丸山公園前 ⑦達府 ⑧円山 ⑨上多度志 ⑩中多度志 ⑪多度志神社前 ⑫多度志 ⑬弥栄 ⑭屈狩橋 ⑮下宇摩 ⑯宇摩公民館前 ⑰上宇摩 ⑱幌成 ⑲下幌成 ⑳鷹泊 ㉑鷹泊自然公園入口		幌加内町内	 ㉒振興 ㉓上幌加内 ㉔雨煙別 ㉕ルオント前 ㉖政和 ㉗政和第3 ㉘政和8線 ㉙新富 ㉚添牛内郵便局前 ㉛添牛内小学校前 ㉜大曲 ㉝共栄 ㉞朱鞠内小学校前 ㉟朱鞠内 ㊱まどか前 ㊲三股 ㊳湖畔 ㊴エンジン橋前 ㊵母子里 ㊶牧場前
幌加内町内	㉗幌加内峠下 ㉘下幌加内 ㉙下幌加内会館前 ㊱沼牛小学校前 ㊲新成生 ㊳新成生三叉路 ㊴平和 ㊵幌加内高校前 ㊶幌加内 ㊷幌加内小学校前		名寄市内	㊸日塔宅前 ㊹北川宅前 ㊺天塩弥生 ㊻ライスセンター前 ㊼稲荷商店前 ㊽市立病院前 ㊾西3条南6丁目 ㊿名寄駅前

「(3) 施設」のリスト

○医療・福祉

- ①中央病院 ②市立病院 ③吉本病院
④デ・アイ ⑤総合福祉センター ⑥深川第一病院
⑦東ヶ丘病院

○文化・集会

- ⑧中央公民館 ⑨文化交流ホール「み・らい」
⑩アートホール東洲館 ⑪生きがい文化センター
⑫北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川

○学校・教育

- ⑬深川西高等学校 ⑭深川東高等学校
⑮拓殖大学北海道短期大学 ⑯高等看護学院
⑰准看護学院 ⑱クラーク記念国際高等学校

○行政・金融

- ⑲市役所 ⑳深川郵便局 ㉑北洋銀行深川支店
㉒北空知信用金庫本店 ㉓JR 深川駅 ㉔JR 納内駅
㉕JR 北一已駅

○商業

- ㉖スーパーチェーンふじ深川店 ㉗スーパーアークス深川店
㉘マックスバリュ深川店 ㉙ホクレンショップイチャン店
㉚コープさっぽろふかがわ店

○レクリエーション

- ㉛広里ふれあいパーク ㉜グリーンパーク 21
㉝深川総合運動公園 ㉞温水プール「ア・エール」
㉟道の駅「ライスランドふかがわ」 ㊱アグリ工房「まあぶ」

